

令和5年度

事業報告書



「すべては愛から始まった」

社会福祉法人 成仁会

特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里
養護（盲）老人ホーム 祥風苑
認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ
小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷
富美岡荘ホームヘルプ事業所
大船渡市福祉の里在宅介護支援センター

特別養護老人ホーム 富美岡荘
地域密着型介護老人福祉施設 蔵ハウス大船渡
認知症対応型共同生活介護事業所 さくら亭
大船渡市デイサービスセンター
大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
社会福祉法人 成仁会 S G ビル



社会福祉法人 成仁会

基本理念

「すべては愛から始まった」

我が法人の基本理念・方針は、創業者精神にある

成仁会は、福祉の理想を実現し、皆が幸せに暮らすために、社会福祉法及び介護保険法に基づき、深い愛情と尊敬、法人をあげて至誠の心と情熱を持ち、施設経営事業の推進と地域福祉に貢献することを基本理念とする。

- 一、博く愛すること
- 一、礼をもって老者に仕えること
- 一、広く万人のために活動すること
- 一、健康を大切にすること
- 一、生涯学ぶこと

<法人の一番大事なこと>

「法人のサービスをご利用されるお一人おひとりの尊厳を守り、
やさしく、やさしく、ご利用者様が納得する良き介護をすること」

◎施設サービス

お一人おひとりの尊厳を守ることを第一とし、その人の人生を理解し、住みやすく生活しやすく、安心した穏やかで自律的な暮らしが継続できる介護施設サービスを行う。

◎在宅サービス

住み慣れた地域において、それぞれの自律的な暮らしが安定し、安心した生活が継続できる在宅サービスを行う。

＜創業者精神・成仁会の思い＞

私たち「成仁会」の創業者精神とは、創業者山崎伊一郎先生と山崎シゲ会長が、悲惨な状況で困っていた高齢者を目の当たりにし、「どうにかしてあげられないか」という、本当に困っていた高齢者を「救う」という一文字の「人間愛」から始まったものが創業者精神である。

「すべては愛から始まった」を法人の基本理念と位置づけ、慈しみ、愛情、そして、高齢者が困難な時こそ「どうにかしてあげられないか」の意志表示と行動を受け継ぎ、成仁会は、社会福祉法・介護保険法の理念に基づき、さらに創業者精神を堅持し、広く深く事業の発展と安定のためまい進するものである。

山崎シゲ会長のケアの哲学と思想は以下のものであり、これを法人の方針とする。

- ① 相談されたらいやとは言わないケアの実践とサービス開発
- ② 看取りを尊重できることが究極のケア、ケアの根源
- ③ 食べる喜び、食べたいと思う心を尊重するケア
- ④ 不安に寄り添い、和らげるケア
- ⑤ 生きることを喜び合えるケア
- ⑥ 一期一会のケア
- ⑦ ケアの言語化、データ化によるケアの科学化、見える化
- ⑧ 地域を愛し、地域に愛されるケア
- ⑨ 「古い」を尊重し、「古い」に礼を尽くし、感謝し、「古い」に学ぶケア
- ⑩ 職員が人間として成長し、輝くケア

私たち「成仁会」は、この高齢者福祉への愛情と情熱を掲げ、高齢者の尊厳と暮らしを守り、「相手の身になって」を真に実践し、高齢者サービスを利用する方々のために、グループ法人である社会福祉法人杜の里福祉会とともに実行するものである。

＜山崎シゲ会長の栄誉＞

- ◎平成 22 年 4 月 29 日、山崎シゲ会長は、春の叙勲にて瑞宝双光章を天皇陛下より授与されました。長年にわたり高齢者福祉に従事し成績を挙げたことが評価されたものである。
- ◎平成 30 年 12 月 23 日、山崎シゲ会長は、天皇陛下より御下賜金を拝受されました。会長の長年に亘たる公明正大な法人経営と先進的な技術を取り入れた施設運営などの功績が高く評価されたものであり、天皇陛下の社会福祉事業御奨励の思召により、下賜されたものです。
- ◎令和 2 年 11 月 13 日、山崎シゲ会長は、埼玉医科大学病院緩和医療科の客員研究員に任命されました。会長のケアの哲学と思想が同病院に評価されたものであり、併せて予防医学を目指す同病院の「介護医療連携プロジェクト」の実証実験施設に法人施設が認定された。

<「至誠」を貫く>

「至誠を貫く」とは、その時その時に与えられた仕事に本気で取り組むということです。それが当たり前になれば、誰の前であっても、与えられた仕事に真剣に取り組む姿が本当の自分の姿になるのです。そして、知らず知らずのうちに誰からも頼られる人になるのです。この人だったら「しっかり責任を果たすだろう。」と誰もが思うようになるのです。いわば周囲からの信頼が「自分の役割」に気づかせてくれるのです。

また、「至誠」すなわち誠を尽くし、精いっぱい真心を持って相手に話し尽くすことで、その相手に必ずわかってもらえる、心に思うことを言葉にしてこそ初めてわかり合えるのです。

<成仁会 五つの思い>

- 一、真心を込めて入居者様と接しましたか
- 一、言ったことをきちんと行うことができましたか
- 一、気持ちを込めていましたか
- 一、自分のできる限りのことができましたか
- 一、最後まで諦めずに行うことができましたか

<職員のあるべき姿>

介護員を含む私たち全職員は、利用者・入居者の皆様に対して、「じゃあ明日します」と言うことは、有ってはならないことです。明日という日が必ずあるとは限りません。今、その時その瞬間に行動、実践することが、利用者・入居者皆さまの「生命を守り」「生きがいを守り」「心を守り」その人の「尊厳を守る」ことになるのです。

更に、介護の仕事は、一人の力では決してうまく行かず、チームワークが必要である。介助する職員によってサービスや対応が違えば、入居されている方は戸惑ってしまうことになる。どの職員が現場に入っても、同じサービスを提供できるようにするのは、普段から職員同士が互いに理解し合うことが不可欠です。

そのため、「心を手にして」・「心を声にして」・「心を行動にして」、職員は思っていることを相手に伝えることが必要です。会長・理事長の施設づくりを施設長→副施設長→課長→担当職員へ広く伝えることによって、全職員が思いを共有し、心をつにして日々の仕事に臨むことができるものであります。

全職員は、基本理念である「すべては愛から始まった」を胸に刻み、シゲ会長が創業来貫いて来た、とことんとことん「相手の身になって」やさしく思いやる気持ちを心にして実践することが、介護の姿勢にも通じるものであり職員のあるべき姿であると考えられます。

目 次

○ 基本理念	
○ 山崎シゲ名誉会長の歴史を振り返る	1
○ 社会福祉法人成仁会	
令和5年度を振り返って	80
1 社会福祉法人成仁会事業報告	82
2 社会福祉法人成仁会沿革	88
3 社会福祉法人成仁会役員名簿	94
4 社会福祉法人成仁会経営施設概要	95
5 評議員会の開催状況	103
6 理事会の開催状況	103
7 監事による監査会開催状況	106
8 苦情解決第三者委員会の開催状況	107
9 公益的取組状況	108
10 法人開催による会議等関係	109
社会福祉法人成仁会組織	110
備蓄品管理状況	113
社会福祉法人成仁会1年間の様子	116
○ 防災訓練報告	
防災訓練実施概要	123
社会福祉法人成仁会自衛消防隊組織図	124
各事業所防災訓練の様子	125
○ 特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里	
令和5年度の事業を振り返って	140
1 各課の事業実施状況	
(1) 総務部総務課	141
(2) 事業部生活相談課	142
(3) 事業部介護課	148
(4) 事業部看護課	151
(5) 事業部栄養管理室	153
2 委員会の開催状況	156
3 職員研修の実施状況	165
成仁ハウス百年の里1年間の様子	166
○ 特別養護老人ホーム 富美岡荘	
令和5年度の事業を振り返って	192
1 各課の事業実施状況	
(1) 総務部総務課	193
(2) 事業部生活相談課	193
(3) 事業部介護課	194
(4) 事業部看護課	194

(5) 事業部栄養管理室	195
2 委員会の開催状況	209
3 職員研修の実施状況	218
富美岡荘1年間の様子	219
○ 養護（盲）老人ホーム 祥風苑		
令和5年度の事業を振り返って	238
1 各課の事業実施状況		
(1) 総務課	239
(2) 生活相談課	239
(3) 介護課	242
(4) 看護課	244
(5) 栄養管理室	245
2 委員会の開催状況	248
3 職員研修の実施状況	254
祥風苑1年間の様子	255
○ 地域密着型介護老人福祉施設 蔵ハウス大船渡		
令和5年度の事業を振り返って	266
1 各課の事業実施状況		
(1) 生活相談課	267
(2) 介護課	270
(3) 看護課	273
(4) 栄養管理室	275
2 委員会の開催状況	280
3 職員研修の実施状況	285
蔵ハウス大船渡1年間の様子	287
○ 認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ		
1 各課の事業実施状況		
(1) 生活相談係	298
(2) 介護係	299
2 入退所の状況	300
3 委員会の開催状況	303
4 職員研修の実施状況	305
運営推進会議の実施状況	315
まちぐるみ1年間の様子	316
○ 大船渡市デイサービスセンター		
令和5年度の事業を振り返って	324
1 各係の事業実施状況		
(1) 総務相談係	325
(2) 介護係	326
(3) 看護係	327
2 職員研修の実施状況	328

大船渡市デイサービスセンター1年間の様子	332
○ 小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷	
令和5年度の事業を振り返って	342
1 各係の事業実施状況	
(1) 総務相談係	343
(2) 介護係	343
(3) 看護係	344
2 職員研修の実施状況	348
3 運営推進会議の実施状況	349
ひころいちの郷1年間の様子	350
○ 富美岡荘ホームヘルプ事業所	
令和5年度の事業を振り返って	354
事業実施状況	355
○ 大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所	
令和5年度の事業を振り返って	360
事業実施状況	361
○ 大船渡市福祉の里在宅介護支援センター	
令和5年度の事業を振り返って	366
事業実施状況	367
○ 社会福祉法人成仁会 SGビル	
事業実施状況	370

 「すべては愛から始まった」

山崎シゲ名誉会長の 歴史を振り返る



社会福祉法人 成仁会



山崎シゲ名誉会長と成仁会の歩み



昭和51年5月 特別養護老人ホーム富美岡荘が開所し成仁会の事業がスタートしました



入所50名の定員でスタートしました

昭和55年2月 特別養護老人ホーム富美岡荘が50床から105床に定員変更となりました



昭和55年9月 夫である初代理事長山崎伊一郎先生の逝去。悲しむ暇もなく、富美岡荘へ通い続けた



平成4年6月 大船渡市デイサービスセンターの運営委託を受ける

大船渡市デイサービスセンター



社会福祉法人 成仁会
特別企画老人ホーム 富岡荘
〒985-8501 大船渡市大船渡1-1-1
TEL 0982-22-1100



平成5年4月 養護(盲)老人ホーム祥風苑が50床でスタートしました



平成7年10月 大船渡市福祉の里在宅介護支援センター開所



平成7年10月 ケアプラン評価モデル事業指定施設として富岡荘にコンピューターシステム導入



平成8年5月 富美岡荘創立20周年記念事業として物故者法要と初代理事長山崎伊一郎先生の胸像を
建立しました。大船渡プラザホテルにて市内のお寺様をお願いし大々的な法要が執り行われました。



社会福祉法人成仁会 特別養護老人ホーム富美岡荘創立20周年記念 平成8年5月10日

平成10年12月 富美岡荘大観音が富美岡荘前庭に建立



平成12年11月 盛町に富美岡荘介護センターを開所。



平成14年11月 大船渡市市政功労者表彰をうける。



平成16年9月 「富美岡荘物語」を自主出版する。記念パーティーを開催。



平成18年3月 社会福祉法人成仁会 ロゴマークの制定



木の年輪に見立てたマークを作りました。樹の年齢には、ここでの時間を起きていく人々が幸せな歳を積み重ねてほしいという願いが込められています。また、外側の円には人々の結びつきを表し、愛を育む姿を表現しています。

平成20年7月 秋篠宮殿下、同妃殿下 養護(盲)老人ホーム祥風苑へお成り。山崎シゲ名誉会長が案内を行った。



平成20年8月 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・グループホームまちぐるみがオープン



平成21年11月 山崎シゲ名誉会長 厚生労働大臣賞受賞



平成22年4月 山崎シゲ名誉会長 春の叙勲瑞宝双光章受賞 皇居にて平成天皇より拝受



平成23年3月 東日本大震災発生。シゲ名誉会長は仙台社の里福社会の理事会参加していた。大船渡より大きい震度6の揺れを高層ビルで受けた。成仁会で運営していた富美岡荘住宅介護支援事業所は全壊となった。被害を受けながらも、シゲ名誉会長は、大船渡市民の皆さんを助けたい！という一心で、内陸のラジオ局へ職員を走らせ「困っている方はみなさん富美岡荘に避難してきてください！」と訴えた。1日で1000人



平成23年9月 蔵ハウス大船渡にて鎮魂・復興祭が開催された。被災した皆様に亡くなられた皆様の供養として、中尊寺より不滅の法灯が分灯された。



平成24年10月 新施設(成仁ハウス百年の里)建設のため岩手県へ協議書を提出。完成までの長い月日、来る日も来る日も、山崎シゲ名誉会長は現場事務所へ足を運び打合せに参加した。



平成27年4月 小規模多機能型居宅介護施設ひころいちの郷が開所となる。



平成27年5月 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里が開所となる。施設長として山崎シゲ名誉会長が就任する。



平成30年5月 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里が医療福祉建築賞2017を受賞した。



平成30年12月 天皇陛下より、御下賜金の拝受を受ける。



令和2年11月 山崎シゲ名誉会長が埼玉医科大学病院緩和医療科客員研究員となる。



令和5年11月 山崎シゲ名誉会長の半生を詠う相撲甚句が完成する。



令和5年12月 山崎シゲ名誉会長百年の里に出勤した最後の日



令和5年12月 気力を振り絞って職員への感謝の気持ちを伝えてくださった冬季賞与支給式



令和6年1月 「今年も元気に頑張りましょう！」と職員に号令をかけたシゲ名誉会長。公に職員の前で顔を出したのはこの日が最後となった。







何事にも全力投球の山崎シゲ名誉会長でした！

この富美園の坂道ぞ
喜びと 慈しみと
感謝と 思いやりと 感激と
さまざまに さまざまに 思い出さず
富美園荘物語

とうとう人生 とうとう人生
ささえつづけてる 礼と仁
四十九年間でした。

感謝 感謝 ありがたく ありがたく
ありがたく スタッフを誇りに思っています。
そして新しい五十年目(また)一歩

みんな、ありがとう
山崎 シゲ

令和六年一月四日
ごきん様の最後のことばでした
和彦





職員みんなのお陰さん。ありがとうございます、ありがとうございます。
山崎シゲ名誉会長の言葉から



山崎シゲ名誉会長の歴史を振り返る(成仁ハウス百年の里)













































山崎シゲ名誉会長の歴史を振り返る(富美岡荘)





社会福祉法人 成仁会 昭和62年11月4日





















山崎シゲ名誉会長の歴史を振り返る(祥風苑)





























山崎シゲ名誉会長の歴史を振り返る(蔵ハウス大船渡)



































令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

社会福祉法人 成仁会

令和5年度を振り返って

<取り巻く状況>

(1) 新型コロナが5類感染症へ移行し、物価高騰による介護業界への影響

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」とされてきましたが、令和5年5月8日から「5類感染症」になり、法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、国民の自主的な取り組みをベースとした対応に変更されました。感染症法に基づく、新型コロナ陽性者及び濃厚接触者の外出自粛は求められなくなりました。

また、エネルギー価格の高騰と円安による原材料価格の上昇が重なり、物価高騰が続いており、国民生活や経済活動に重大な影響を及ぼしています。特に、国が設定する介護報酬で事業を運営する介護業界は、経営面に大きな影響を受けており、多くの法人の決算状況は軒並み厳しい状況となっています。

<事業の概況>

(1) 介護の安定提供と事業の持続性

介護事業は、支援を要する高齢者の日常生活を支える事業であり、いかなる状況下でも継続が求められます。入居者は、いったん状態に変化があると重症化リスクが高く、その命を守ることを第一に、感染対策の徹底、面会の制限、施設内感染への迅速な対応などの対策を講じ、信頼される介護の安定提供に取り組みました。

(2) 外国人介護員の採用

介護を担う人材としてインドネシア国籍の外国人5名、ネパール国籍の外国人3名を介護職員として採用しました。外国人の採用は、人材確保に留まらず、教育する側の日本人スタッフにとっても、介護の質向上につながる取り組みであると考えております

(3) 事業の拡大と整備

大船渡市公募の「大船渡市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」に沿って、「グループホーム」定員18名の計画で、大船渡市の介護環境の充実と地域住民の要望に応えるべく、令和6年6月新規開業に向けて、施設整備に着手しました。

(4) 公益的な取組とSDGs宣言

地区公民館等と連携しながら介護予防教室への講師派遣、新型コロナワクチン接種会場の提供、IWATE あんしんサポート事業に参画し、「地域における公益的な取り組み」を行うとともに、社会・地域に貢献するべく取り組みを行いました。

私たち成仁会は、昭和 51 年の設立以来、基本理念である「すべては愛から始まった」という創業者精神の下、ご利用者様お一人おひとりの尊厳を守りながら事業を行ってまいりましたが、去る令和 6 年 2 月 23 日、創業者である山崎シゲ会長が逝去しました。私たちにとって、今日までの成仁会を築き上げた偉大な創業者であり、会長であり、母であり、誰からも愛されたシゲ会長を失ってしまったことは、あまりにも大きな損失でした。いま一度、創業者精神に立ち返り深く追求して、ご利用者様お一人おひとりの尊厳を守りながら、皆様が満足いただけるサービスの提供に誠心誠意心を込めて努めて参ります。

令和 5 年度も、評議員並びに理事・監事の皆様からご支援いただき心から感謝を申し上げます。これからもご入居者様・ご利用者様の幸せを願い、全職員一丸となってシゲ会長が実践してきた「相手の身になって」「心を手にして」「心を言葉にして」「心を行動にして」ということを継承し、精進して参りますので、ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人成仁会

理事長 山崎 和彦

1 令和5年度事業報告

I パーソナルケアの徹底

我が法人は、個人の尊厳保持、権利擁護、利用者の自律的な暮らしへの全人的なサポートを目指した利用者本位のサービスを提供する。

- (1) 全人的理解に基づくケアの推進
- (2) 嘱託医と連携した健康管理・医療・看取りの充実

【実績】

◎創業者精神である「救う」という一文字を常に意識し、入居者様利用者様お一人おひとり尊厳を守ることを第一とし、実態調査を充実させ、幼少期から成人期、現在に至るまで人生の背景等、利用前の生活パターン、病歴などから、「その人を良く知る（全人的理解）」ケアカンファレンスを徹底しご本人の尊厳を守り徹底したパーソナルケアに努めた。また、嘱託医である山崎内科医院と連携を密にし、お一人おひとりの適切な医療の提供とご家族様の意向に耳を傾け寄り添った見取りの充実に努めた。

II. 介護の質の向上等

介護と医療の連携によって得られる各種のデータから実証されたエビデンス（科学的根拠）に基づいた科学的介護を実践して介護の質の向上に取り組むと共に、家族への情報提供と説明責任を果たす。

- (1) 充実したケアの統一化
- (2) 科学的介護による介護の質の向上
- (3) 家族等への情報提供と説明責任
- (4) 利用者情報の事業所間の連携と共有

【実績】

◎埼玉医科大学病院緩和医療科と連携で培ったノウハウを基に、お一人おひとりのADL（日常生活動作）評価のため、BI（バーセルインデックス）の標準化基準化に努め、日常の支援を行いながら入居者様の食事、移動、排泄等の現状について、可視化・数値化し、科学的根拠の基礎となる取組を行った。更に、ご家族様へは、日常生活の情報提供を随時行いながら、説明責任を果たすとともに、事業所間や職員間でも連携を深めながら、創業者精神である

「救う」という原点に立ち返り、寄り添い統一化したケアの実践に取り組み、包括的な「介護の質の向上」に努めた。

Ⅲ. 危機管理対策の強化

自然災害など予期せぬ事態が発生した場合に、被害の拡大防止と業務継続に向けた危機管理対策に努める。

- (1) 災害に備える
- (2) 感染症対策
- (3) サーバー攻撃対策
- (4) BCP（事業継続計画）の策定

【実績】

- ◎東日本大震災の経験や過去に起こった災害等を踏まえ、事業所立地状況に沿った年間を通じた避難訓練の実施、長期避難に備えた食料や各種器材・日常消耗品の備蓄など、自然災害への対策に努めた。
- ◎感染症対策としては、5類となったコロナ対策として、日頃の感染予防対策の徹底はもとより、感染事案の発生を想定したマニュアルの策定、研修訓練を実施し、感染症対策の強化に努めた。また、行政と連携し、感染予防水際対策として定期的な抗原検出キットを活用した職員一斉検査の実施や徹底した環境整備の取組を行った。
- ◎自然災害や感染症の場合でも、事業継続が可能となるようBCP計画の策定を行った。

Ⅳ. 職員の意欲・能力向上への取組

職員が専門性を発揮しながら安心して働き続けられるよう、職員の意欲・能力の向上を促す取り組みを推進する。

- (1) 職員教育・スキルアップ研修
- (2) 職員の資格取得助成制度の充実

【実績】

- ◎外部研修は、オンライン参加型、内部研修は、専門知識の習得や技術向上の取組を行い、職員資格取得へ向けた研修受講も積極的に取り組み、介護福祉士が4名の合格となり、職員の意欲と能力向上の成果となった。

V. 人材の確保、職員教育・研修の充実

介護の社会的価値や魅力を広く正しく伝えるなど、様々な人材確保対策に積極的に取り組む

- (1) 外国人介護人材受け入れの継続
- (2) ホームページを活用した人材確保の取組み

【実績】

◎外国籍介護人材（特定技能）を令和5年8月、9月、11月に、介護職員として8名（インドネシア国籍5名、ネパール国籍3名）採用し、ホームページの活用と併せて人材確保の取組を行った。

VI. 地域連携包括事業の実施

地域の多様な主体と連携し、支援を必要とする地域住民の課題を受け止めながら、包括的な相談支援を行う。

- (1) 居宅介護支援センター事業
- (2) 「成仁会」地域包括システムの充実と展開

【実績】

◎大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所は、より良い介護サービスの提案と在宅生活の充実が可能となるよう訪問調査を充実化させ、効率的且つ強固な相談支援体制を構築するとともに、「成仁会」地域包括システムを強化し、ケアプランの作成、要介護認定申請代行や関係機関・サービス事業者との調整など、地域の要介護高齢者が必要な介護サービスを適切に利用しながら在宅生活を継続できるよう、包括的な支援を行った。

VII. 公益的取組の推進

地域の多様な福祉ニーズや課題等への社会貢献として、地域の支え合い活動と連動した公益的取組等を推進する。

- (1) 公益的取組の推進
- (2) IWATE あんしんサポート事業の推進
- (3) 施設・設備等の資源を活用する公益的取組や地域貢献

【実績】

- ◎日頃市地区のサロン交流会への講師派遣を行い、介護保険の制度や消費者トラブル防止啓発の活動を行った。
- ◎公益的取組として、IWATE あんしんサポート事業に参画し、「福祉サービスを提供するにあたっての責務」を果たすべく、福祉的課題を抱える方の自立サポートを岩手県や大船渡市、県・市の社会福祉協議会等と連携し取組に努めた。

Ⅷ. 経営ガバナンスの強化

評議員会・理事会の内部統制機能の発揮や監事監査の実施等により、自立的で適正な法人運営を行う。

- (1) 評議員会・理事会による内部統制
- (2) 法人の監事による業務監査・会計監査の実施

【実績】

- ◎評議員会・理事会を開催し、役割・権限に基づく審議と意思決定を適切に行い、法人の内部統制が確実に機能する適正な法人運営を行った。
- ◎法人の自主点検に加え、法人の監事による業務監査と会計監査を実施し、適正な業務執行と効率的な経営を推進、及び公正で安定した法人経営に努めた。

Ⅸ. 事業計画の進捗管理

事業計画の円滑な推進に向け、定期的な検討会議による事業の検証・評価・見直しなど、確実な進捗管理を行う。

- (1) 財務会議等における進捗管理
- (2) 収益事業の推進

【実績】

- ◎月例の財務会議を実施し、法人全体及び各施設ごとの事業進捗や財務状況を把握・検証し、確実な事業の推進に努めた。また、法人運営会議、施設内外連絡会議開催により、法人本部・施設・事業所間の職員の意識共有と事業の円滑な推進を努めた。
- ◎新型コロナウイルスの抗原検査キットの販売や感染予防に役立つと言われている抗体入りスプレーの販売に努め、「人々の健康と未来に貢献する事業」としての役割を果たしながら、法人の財源確保に努めた。

X. 財務・資産の適正管理

財務状況の把握・分析や法人保有の遊休資産の有効活用など、コスト意識をもった財務・資産の適正管理に努める。

- (1) 財務状況・資金運用の適正管理
- (2) 保有資産の有効活用

【実績】

◎月ごとの決算状況を明らかにし、毎月開催される財務会議において財務状況・資金運用のリスク管理や運用状況を把握・検証し、資金運用規程に基づいた適正な管理に努めた。また、監事監査を定期的を実施し、運営体制、管理体制、透明性、安全性、充実性を確保し、社会福祉法人として適正な管理体制強化に努めた。また、法人所有の土地等については、大船渡市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画と連動した新規事業において、法人所有の土地を活用する検討を行った。

XI. 施設整備計画

大船渡市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づく計画

- (1) 新規事業の開業準備

【実績】

◎大船渡市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画において、盛地区での認知症高齢者グループホーム施設の新規事業決定に伴い、保有している土地等を活用しながら、大船渡の高齢社会に貢献することを実現すべく、令和6年度開業に向けて、令和5年9月に新築工事に着手した。

XII. 中長期計画の策定

岩手のそして大船渡の高齢社会に貢献する

- (1) 中長期計画の策定
- (2) 中長期的な施設整備計画
- (3) 災害への備えと連動した施設整備計画
- (4) 法人合併の継続的検討

【実績】

- ◎5年～10年後を見添え施設老朽化に伴う富美岡荘・祥風苑の建替え、盛地区災害時における蔵ハウス大船渡・グループホーム入居者の避難場所確保の検討などについて検討を行うとともに、今後発生すると予測されている地震や津波などの災害も想定し、比較的標高の低い盛地区事業所などの入居者や職員の避難先の確保。そして避難先でも入居者の暮らしを守り、事業の継続が可能となるよう、災害時でも事業継続ができる施設整備の検討を行った。
- ◎当法人のグループ法人である社会福祉法人杜の里福社会（仙台市）との合併について、継続的に両法人間の合意形成に向けた課題について検討を行った。

XII 法人 50 周年記念事業

創業からこれまでの法人の歩みを振り返るとともに検証し、今後の事業運営に資するために記念事業を実施する。

- (1) 物故者大法要の開催の取組
- (2) 50周年記念誌、富美岡荘物語第二版発行に向けた取組

【実績】

- ◎新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、継続して取組むこととする。



社会福祉法人成仁会の沿革

社会福祉法人成仁会は、昭和46年気仙広域圏事業として、昭和51年度建設計画が策定された。昭和49年8月に気仙広域首長会議で、特別養護老人ホームの建設と運営は社会福祉法人とするべきとの報告がなされ、大船渡市より特別養護老人ホーム建設の打診が山崎伊一郎（初代理事長）にあり、気仙地域の各市町の支援及び有志の協力により、同年10月山崎伊一郎が大船渡市長に特別養護老人ホーム建設計画の申出をし、昭和50年3月に事業計画協議書を提出する運びとなり、身体上又は精神上著しい障害があるため常に介護を必要とし、かつ家庭においてこれを受けることの困難なお年寄りを介護し、老後を心配なく豊かに日々を送って頂く老人福祉施設「特別養護老人ホーム富美岡荘」を建設することにした。

昭和50年12月25日社会福祉法人成仁会設立認可（第1114号）。昭和51年1月19日社会福祉法人成仁会設立登記（山崎伊一郎初代理事長）。同年5月1日特別養護老人ホーム富美岡荘を開設（50床）した。

昭和55年2月17日富美岡荘の定員を変更（定員105床）。昭和58年4月1日老人居宅生活支援事業の開始（定員10床）。昭和60年2月26日福祉の里整備推進協議会に参加。平成4年6月1日大船渡市長より大船渡市デイサービスセンターの運営委託を受け、同年6月25日大船渡市長と盲養護老人ホーム用地の土地使用貸借契約締結をし、平成5年4月1日養護（盲）老人ホーム祥風苑を開設（定員50床）した。平成6年3月15日特別養護老人ホームショートステイ専用室棟の（定員20床）の利用開始となり、同年10月1日大船渡市長より独居のお年寄りの方々への配食訪問サービス事業を開始した。平成9年4月1日大船渡市長より富美岡荘ホームヘルプ事業所の受託を受けた。

平成12年4月1日より介護保険制度開始に伴い、介護老人福祉施設富美岡荘、富美岡荘ショートステイ事業所、大船渡市デイサービスセンター、富美岡荘ホームヘルプ事業所、大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所を開始し、同年7月1日より地域に密着した相談業務を目指し、盛町に富美岡荘介護センターを開所した。

このように当法人は40年余の歴史があり、山崎シゲ会長は常日頃、「月日が変われど、制度・政策が変われど、『利用者の尊厳』『利用者の幸せ』『愛する』は変わらない」との信念で、40年間基本のケアを実践してきた。

さらに、平成7年10月に厚生省並びに岩手県の「ケアプラン評価モデル事業」指定施設として、富美岡荘にコンピューターシステムを導入し、科学的データを基にしたケア、全人的なケアプラン：パーソナルケアを確立・実践してきた。

平成18年3月には、成仁会のロゴマークを制定。このロゴマークは「私たちの原点は、創設者である山崎伊一郎・山崎シゲ会長の精神である、相手の幸せを心から願う姿勢から始まる。樹の年輪には、ここでの時間を生きていく人々に幸せな歳を積み重ねてほしいという願いが込められている。また、外側の円には人々の結びつきを現し、愛を育む姿を表現している。成仁会の愛のかたちを、これからも共に育ていけるように。」という思いから制作をした。職員の帰属心を高め、「利用者の幸せ」を願って成仁会の役職員が一致団結していく証としての社章とした。

また、地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡及びグループホームまちぐるみは、盛町内の各種団体から事業への陳情書を大船渡市に提出した旨の報告を受け、応募申込書を提出し、同年9月14日には大船渡市から今事業の候補決定を受けた。盛町での事業は、施策が求める“日常生活圏域を基本としたサービス体系”に適した立地環境で、建物も街並みに沿った昔ながらの蔵造りとした。

平成12年4月1日から施行された介護保険制度の導入によって、高齢者介護のあり方は大きく変容しつつある。成仁会は、「高齢者が、尊厳をもって暮らすこと」を確保することが最も重要であると考え、高齢者がたとえ介護を必要とする状態になっても、「その人らしい生活を自分の意思で送ること」を可能とすること、すなわち「高齢者の尊厳を支えるケア」の実現を目指す施設づくりに努めている。

平成20年7月22日に大船渡市で開催された海フェスタいわてにご臨席された、秋篠宮同妃両殿下が養護（盲）老人ホーム祥風苑にお成りになり、山崎シゲ会長から施設についてお尋ねになり、また入居者に親しくお声をお掛けになった。



平成22年4月29日に山崎シゲ会長が春の叙勲瑞宝双光章受章。

平成23年3月11日、東日本大震災発生。富美岡荘、祥風苑、デイサービスセンターで避難者約500名を受け入れ、蔵ハウス大船渡も避難者約100名を受け入れた。結果的には総勢1000名を超える大所帯を受け入れ続けた。地盤沈下や外壁に亀裂が入るなど、富美岡荘が半壊認定を受ける。また、富美岡荘大船渡介護センターは津波により流出（全壊）した。

平成27年4月1日、日頃市町に小規模多機能型居宅介護施設【ひころいちの郷】を開設した。

平成27年5月1日、立根町に特別養護老人ホーム【成仁ハウス百年の里】（定員81名）及び【百年の里ショートステイ事業所】（定員21名）を開設した。

平成30年4月16日、太陽福祉文化賞功労賞を受賞。



平成30年5月18日、特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里が、医療福祉建築賞2017受賞。



平成30年12月23日、天皇陛下より御下賜として金一封を賜る。



平成30年12月25日伝達式（岩手県知事より）

【准看護師養成事業】

平成26年度、看護師不足の解消を図る為、成仁会職員から募集し、公費で看護師を養成することとし、気仙沼市医師会附属準看護学校に2名が受験して合格した。平成26年4月7日より入学し、2年間履修する。平成27年度生募集に、2名が気仙沼市医師会附属準看護学校を受験して合格した。合計4名の職員が准看護師養成事業により履修。平成28年3月に2名が卒業し、准看護師の国家試験に合格した。



社会福祉法人成仁会の沿革

許可年月日・番号	昭和50年12月25日第1114号	設立登記年月日	昭和51年1月19日
昭和46年	気仙広域圏事業とし、養護老人ホームの昭和51年度建設計画が策定される		
49. 8. 12	気仙広域圏首長会議に特別養護老人ホーム建設と運営は社会福祉法人とすべきとの報告がされる		
10. 2. 5	山崎伊一郎、大船渡市長に特別養護老人ホーム建設計画の申出する		
10. 3. 1	大船渡市助役、県へ建設計画を説明		
50. 3. 5	特別養護老人ホーム建設計画協議書提出		
4. 2. 9	社会福祉法人成仁会設立準備総会開催		
4. 2. 9	山崎伊一郎・山崎シゲと特別養護老人ホーム用地の土地使用貸借契約締結		
6. 2. 7	気仙地域各市町の支援、山崎伊一郎及び有志の協力により特別養護老人ホームの設置の要望がまとまり、社会福祉法人成仁会認可申請書提出		
12. 2. 5	社会福祉法人成仁会設立認可（第1114号）		
51. 1. 19	社会福祉法人成仁会設立登記		
	初代理事長 山崎伊一郎就任		
5. 1. 1	特別養護老人ホーム富美岡荘開設（定員 50床）		
53. 2. 26	気仙広域圏協議会に増床（50床）計画を説明		
5. 2. 0	昭和52年2号台風被害による土留災害復旧工事（岩手県福祉基金助成）		
54. 2. 16	特別養護老人ホーム富美岡荘整備（拡張）計画協議書提出		
55. 2. 17	特別養護老人ホーム富美岡荘定員変更（定員105床）		
9. 2. 9	創業者 初代理事長 山崎伊一郎 逝去		
10. 2. 1	第2代理事長 志田武之助就任		
58. 4. 1	老人居宅生活支援事業の開始（定員 10床）		
60. 2. 26	福祉の里整備推進協議会に参加		
61. 11. 1	大船渡市市政功労表彰（社会福祉法人成仁会）		
63. 12. 22	スプリンクラー整備工事完成		
平成元年8. 14	第3代理事長 山崎一郎就任		
2. 3. 1	養護老人ホームの基本設計		
4. 2. 1	山崎一郎・山崎シゲと、特別養護老人ホーム用地の貸借契約締結		
2. 2. 1	養護老人ホームの整備計画書提出		
6. 1. 1	大船渡市長から大船渡市デイサービスセンターの運営委託		
6. 2. 5	大船渡市長と盲養護老人ホーム用地の土地使用貸借契約締結		
5. 2. 24	特別養護老人ホーム富美岡荘ショートステイ専用居室及び合併浄化槽大規模修繕整備計画書提出		
4. 1. 1	養護（盲）老人ホーム祥風苑開設（定員 50床）		
12. 2. 10	（財）中央競馬馬主福祉財団からの助成により浴室整備事業（浴水循環炉過装置）完成		
6. 2. 28	合併浄化槽大規模修繕工事完成		
3. 1. 2	県に老人居宅生活支援事業変更届の提出（新定員 30床）		
3. 1. 5	特別養護老人ホームショートステイ専用居室棟（20床）の利用開始		
10. 1. 1	大船渡配食訪問サービス事業開始		
7. 1. 10	大船渡市福祉の里在宅介護支援センター開所		
10. 4. 1	厚生省並びに岩手県の「ケアプラン評価モデル事業」指定施設として特別養護老人ホーム富美岡荘に、コンピューターシステム導入		
12. 2. 8	特別養護老人ホーム富美岡荘に、大船渡市福祉の里在宅介護支援センター併設		
8. 5. 10	社会福祉法人成仁会、特別養護老人ホーム富美岡荘創立20周年記念事業		
5. 1. 10	故 山崎伊一郎初代理事長胸像建立		
9. 3. 30	特別養護老人ホーム富美岡荘大規模修繕工事完成		
4. 1. 1	大船渡市より富美岡荘ホームヘルプ事業の受託		
10. 12. 19	「富美岡大観音」を富美岡荘前庭に建立		
12. 4. 1	介護保険制度開始〔指定事業所〕 介護老人福祉施設富美岡荘、富美岡荘ショートステイ事業所、大船渡市デイサービスセンター 富美岡荘ホームヘルプ事業所、大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所		
12. 7. 1	山崎シゲ副理事長の寄贈により、盛町に富美岡荘介護センター開所		
11. 1. 1	富美岡荘ショートステイ床より特別養護老人ホーム富美岡荘に6床を転換し、富美岡荘の定員111名 ショートステイ事業所の定員24名となる		

13,	6,	15	苦情解決第三者委員会の発足
	11,	24	評議員会の発足
15,	6,	3	第4代理事長 山崎シゲ就任
	9,	27	大船渡市へ地域介護・福祉空間整備事業計画書の提出
18,	3,	2	社会福祉法人成仁会ロゴマークの制定 
	4,	1	富美岡荘介護センターを盛町宇町地内に移転
	9,	14	大船渡市より平成19年度地域密着型サービス事業所（地域密着型介護老人福祉施設・認知症対応型共同生活介護）の候補決定を受ける
	10,	1	指定特定入居者生活介護養護（盲）老人ホーム祥風苑事業開始
19,	1,	24	大船渡市が平成19年度地域密着型サービス事業の協議書を岩手県に提出
	6,	28	大船渡市より平成19年度地域密着型サービス施設整備費補助金事業の内示を受ける
	7,	2	大船渡市へ平成19年度地域密着型サービス施設整備費補助金事業補助金等交付申請書を提出
	7,	3	大船渡市より平成19年度地域密着型サービス施設整備費補助金事業補助金等の交付決定を受ける
	9,	20	独立行政法人福祉医療機構から福祉貸付資金の内定を受ける
	12,	14	富美岡荘ホームヘルプ事業用地として使用する土地の行政財産使用許可を受ける
	12,	14	地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ新築工事に係る指名競争入札の実施
20,	1,	8	地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ新築工事着手
	1,	22	介護保険制度指定更新〔指定事業所〕 介護老人福祉施設富美岡荘、富美岡荘ショートステイ事業所、大船渡市デイサービスセンター 富美岡荘ホームヘルプ事業所、大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
	7,	22	秋篠宮殿下、同妃殿下 養護（盲）老人ホーム祥風苑お成り
	8,	1	社会福祉法人成仁会SGビル収益事業（不動産の貸しビルの経営）開始
	8,	7	地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・グループホームまちぐるみ開所式
	8,	11	地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・グループホームまちぐるみ開設
	11,	10	社会福祉法人成仁会山崎シゲ理事長が岩手県知事表彰受賞
21,	1,	8	〔指定事業所〕蔵ハウス大船渡ショートステイ事業所開所
22,	4,	1	〔指定事業所〕富美岡荘指定居宅介護支援事業所開所
	4,	29	社会福祉法人成仁会山崎シゲ会長が春の叙勲瑞宝双光章受章
	7,	26	社会福祉法人成仁会会長山崎シゲ氏叙勲受章祝賀会開催
23,	3,	11	午後2時46分 東日本大震災発生 富美岡荘・祥風苑 } 避難者を約500名受け入れ デイサービスセンター } 蔵ハウス大船渡 } 避難者を約100名受け入れ (社福)成仁会SGビルを大船渡市、大船渡市シルバー人材センター及び(株)アマタケに無償貸与
	7,	1	(社)三陸福祉会の復興のため(社)成仁会・(社)鳴瀬会・(社)高寿会の4法人で復興支援調印式
	9,	2	蔵ハウス大船渡にて鎮魂・復興祭の開催
	9,	15	祥風苑第19回合同敬老会 岩手県知事出席
24,	3,	24	第5代理事長 山崎和彦就任
24,	10,	15	新施設建設のため岩手県へ老人福祉施設整備費協議書を提出
25,	3,	27	老人福祉施設新築工事（宮田地区敷地造成工事）に係る土地売買契約の締結・調印式
	4,	19	岩手県より平成25年度老人福祉施設等整備費補助金の内示
	8,	9	平成25年8月9日大船渡市より平成25年度整備分介護サービス施設整備・運営事業者候補者（小規模多機能型居宅介護分）の決定通知（定員25名）
	9,	26	理事会にて新老人福祉施設の名称を、特別養護老人ホーム「成仁ハウス百年の里」に決定
25,	11,	24	第5代理事長 山崎和彦 2期目重任
	12,	20	小規模多機能型居宅介護施設整備（日頃市町宇上宿17-4）に伴う土地売買契約の締結・調印式を行った。
	12,	26	岩手県へ平成25年度老人福祉施設等整備費補助金交付申請書の提出
	12,	27	特別養護老人ホーム「成仁ハウス百年の里」新築工事安全祈願祭
26,	1,	27	大船渡市より平成25年度介護サービス施設整備等臨時特例事業費補助金の内示
	2,	26	大船渡市より平成25年度施設開設準備経費助成特別対策事業費等補助金の内示

26.	4.	11	小規模多機能型居宅介護施設新築工事安全祈願祭
	4.	7	准看護師養成事業開始 第1回生2名 気仙沼市医師会附属准看護学校入学 新小規模多機能型居宅介護施設の名称を、小規模多機能型居宅介護施設「ひころいちの郷」に決定
11.	28		小規模多機能型居宅介護施設「ひころいちの郷」新築工事の完成届を受けた
27.	3.	25	大船渡市より指定地域密着型サービス事業所の指定通知を受ける（平成27年4月1日）
	4.	1	小規模多機能型居宅介護施設「ひころいちの郷」開所
	4.	30	岩手県より介護老人福祉施設富美岡荘の入所定員減少の認可（入所定員30人 平成27年5月1日）
	4.	30	岩手県より特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里の認可（入所定員81人 平成27年5月1日）
	4.	30	岩手県より特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里の指定通知を受ける（平成27年5月1日）
	4.	30	大船渡市より百年の里ショートステイ事業所の開始届を受ける（定員21人 平成27年5月1日）
	4.	30	岩手県より百年の里ショートステイ事業所の指定通知を受ける（平成27年5月1日）
	5.	1	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里、百年の里ショートステイ事業所開所
27.	11.	24	第5代理事長 山崎和彦 3期目重任
28.	4.	1	富美岡荘ショートステイ事業所 入所定員7名増床
29.	4.	1	特別養護老人ホーム富美岡荘 入所定員12名増床
29.	6.	15	第5代理事長 山崎和彦 4期目重任
30.	5.	18	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 2017医療福祉建築賞受賞
	11.	1	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 入所定員3名増床
	12.	23	天皇陛下より御下賜金を賜る
31.	4.	1	大船渡市デイサービスセンターの管理運営に関する基本協定の締結（期間更新）
R1.	6.	12	社会福祉法人成仁会の定款変更認可（収益事業の追加）
R1.	6.	21	第5代理事長 山崎和彦 5期目重任
R2.	1.	31	大船渡市への派遣職員用宿舎として提供していたSGビル改修工事の竣工
R2.	11.	13	埼玉医科大学緩和医療科より山崎シゲ会長が客員研究員として辞令を受ける
R2.	11.	13	埼玉医科大学緩和医療科より成仁会施設が「医療介護連携プロジェクト」の実証実験施設として認定を受ける
R3.	4.	1	大船渡市デイサービスセンター 利用定員33名（3名増員）
R3.	6.	21	第5代理事長 山崎和彦 6期目重任
R4.	7.	1	外国籍介護人材（特定技能）9名を初めて職員として採用（インドネシア国籍7名、ネパール国籍2名）
R4.	9.	30	社会福祉法人成仁会 SDGs宣言（～生きていくことへの全人的サポートを目指して～）
R5.	6.	20	第5代理事長 山崎和彦 7期目重任
R5.	8.	1	外国籍介護人材（特定技能）2期生3名を職員として採用（ネパール国籍3名）
R5.	8.	8	大船渡市より令和5年度地域密着型サービス施設整備事業費（認知症高齢者グループホーム）補助金交付内示
R5.	8.	23	大船渡市より令和5年度介護施設開設準備経費等事業（認知症高齢者グループホーム）補助金交付内示
R5.	9.	1	外国籍介護人材（特定技能）3期生2名を職員として採用（インドネシア国籍2名）
R5.	9.	7	グループホーム「さくら亭」新築工事安全祈願祭
R5.	11.	7	外国籍介護人材（特定技能）4期生3名を職員として採用（インドネシア国籍3名）
R6.	2.	23	創業者 会長 山崎シゲ 逝去

社会福祉法人成仁会 役員名簿

理事会

令和6年3月31日

役 職	氏 名	任 期
理事長 代表理事	山崎 和彦	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
会長	山崎 一郎	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
副理事長	山口 清人	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
理事	甘竹 勝郎	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
理事	中嶋 豊	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
理事	葛西 修哉	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
理事	川村 久史	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
理事	藤原 千香子	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
理事(常勤)	小笠原 登志江	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時

監事会

役 職	氏 名	任 期
監事	鈴木 信男	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
監事	大浦 操	令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会終結時

評議員会

役 職	氏 名	任 期
評議員	今野 隆子	令和3年6月21日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
評議員	今野 龍雄	令和3年6月21日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
評議員	佐藤 忠清	令和3年6月21日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
評議員	細川 廣行	令和3年6月21日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
評議員	佐藤 かなえ	令和3年6月21日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
評議員	新沼 賢	令和3年6月21日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
評議員	遠藤 雅法	令和3年6月21日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
評議員	山崎 年雄	令和3年6月21日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
評議員	高橋 宮人	令和5年4月13日～令和6年度に関する定時評議員会終結時
評議員	齋藤 和男	令和5年4月13日～令和6年度に関する定時評議員会終結時

執行役員

役 職	氏 名	任 期	業 務
常務執行役員	村上 博	令和5年4月1日～令和6年3月31日	常務執行役員 (富美岡荘:施設長)
執行役員	和田 工	令和5年4月1日～令和6年3月31日	執行役員法人本部長 (成仁ハウス百年の里:副施設長)
執行役員	崎山 美知枝	令和5年4月1日～令和6年3月31日	執行役員法人副本部長 (祥風苑:施設長)

社会福祉法人成仁会 経営施設の概要

【法人本部】

所在地 岩手県大船渡市立根町字宮田9番地1
設立年月日 昭和50年1月19日
代表者 山崎和彦

【特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里】

所在地 岩手県大船渡市立根町字宮田9番地1
経営主体 社会福祉法人成仁会
開設年月日 平成27年5月1日
施設名 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里
(介護保険事業所番号:0370300543)
施設長 山崎和彦
総定員数 105名
長期入所定員 84名
短期入所定員 21名
職員数 70名(調理員は業務委託のため含まず)
敷地の所有 社会福祉法人成仁会所有地
敷地面積 9,958.99㎡
建築面積 2,323.14㎡
建物の面積 5,742.17㎡
建物の構造 鉄筋コンクリート造 3階建
工事施行状況 直営・請負の別 請負
契約年月日 平成25年12月21日
着工年月日 平成25年12月24日
竣工年月日 平成27年2月28日



【特別養護老人ホーム富美岡荘】

所在地	岩手県大船渡市猪川町字富岡 148 番地
経営主体	社会福祉法人 成仁会
開設年月日	昭和 51 年 5 月 1 日
施設名	特別養護老人ホーム 富美岡荘(介護保険事業所番号:0370300147)
施設長	村 上 博
総定員数	52 名
長期入所定員	42 名
短期入所定員	10 名
職員数	31 名(調理員は業務委託のため含まず)
敷地面積	6,730.80 m ²
建物面積	富美岡荘・・・1 階 1,906.93 m ² /2 階 1,064.18 m ² /3 階 32.38 m ² 延合計 3,003.49 m ² ショート専用棟・・・376.01 m ² 建物の構造 富美岡荘・・・鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 ショート専用棟・・・鉄骨亜鉛メッキ鋼板葺平屋建



【養護（盲）老人ホーム祥風苑】

所在地	岩手県大船渡市猪川町字富岡 176 番地	
経営主体	社会福祉法人 成仁会	
施設名	養護（盲）老人ホーム 祥風苑（介護保険事業所番号:0370300360）	
施設長	崎山 美知枝	
開設年月日	平成5年4月1日	
入所定員	50名	
職員数	26名（調理員は業務委託のため含まず）	
敷地面積	6,510 m ²	
敷地の所有	借地（市有地・無償）	
建物の面積	1,658.46 m ²	
建物の構造	鉄筋コンクリート鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	
建設設備の区分	創設	
工事施工状況	直営・請負の別	請負
	契約年月日	平成4年7月29日
	着工年月日	平成4年7月30日
	竣工年月日	平成5年3月22日



【大船渡市デイサービスセンター】

所在地	大船渡市立根町字田ノ上 30 番地 22
施設の名称	大船渡市デイサービスセンター(介護保険事業所番号:0370300071)
所長	鈴木千賀子
開設年月日	平成4年6月1日
設置主体	大船渡市
運営主体	社会福祉法人 成仁会
利用定員	1日33名
職員数	18名(調理員は業務委託のため含まず)
建物面積	347.1㎡
工事施工状況	平成3年8月13日 契約 平成3年8月14日 着工 平成4年2月29日 竣工



【地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡】

所在地 大船渡市盛町字町3番地1
経営主体 社会福祉法人 成仁会
開設年月日 平成20年8月11日
施設名 蔵ハウス大船渡
施設長 小笠原 登志江
施設の種類 地域密着型介護老人福祉施設
入所定員 29名
職員数 20名（調理員は業務委託のため含まず）

【認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ】

所在地 大船渡市盛町字町3番地1
経営主体 社会福祉法人 成仁会
開設年月日 平成20年8月11日
施設名 まちぐるみ
施設長 小笠原 登志江
施設の種類 認知症対応型共同生活介護事業所
入所定員 9名
職員数 7名（調理員は業務委託のため含まず）

敷地面積 1,647.82 m²（社会福祉法人成仁会所有地及び一部借地）
敷地の所有 社会福祉法人成仁会所有地
建物の面積 2,641.55 m²
建物の構造 鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板葺3階建
工事施行状況 直営・請負の別 請負
契約年月日 平成20年1月8日
着工年月日 平成20年1月8日
竣工年月日 平成20年7月31日



【小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷】

所在地	大船渡市日頃市町字上宿17-4
経営主体	社会福祉法人 成仁会
開設年月日	平成27年4月1日予定
施設名	小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷
所長	山崎 絹花
施設の種類	小規模多機能型居宅介護
登録人員	25名
職員数	11名（調理員は業務委託のため含まず）
敷地の所有	社会福祉法人成仁会 所有地
敷地面積	3,020 m ²
建築面積	355.60 m ²
延べ床面積	339.04 m ²
建物の構造	軽量鉄骨造 平屋建
工事施行状況	直営・請負の別 請負
契約年月日	平成26年3月24日
着工年月日	平成26年3月26日
竣工年月日	平成26年10月31日



【富美岡荘ホームヘルプ事業所】

所在地	大船渡市盛町字町 6 番地 1
設置・運営主体	社会福祉法人 成仁会
施設の名称	富美岡荘ホームヘルプ事業所
所長	佐々木 和美
施設の種類	指定訪問介護事業所
開設	平成 12 年 4 月 1 日

【大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所】

所在地	大船渡市盛町字町 6 番地 1
設置・運営主体	社会福祉法人 成仁会
施設の名称	大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
所長	石井 千枝子
施設の種類	指定居宅介護支援事業所
開設	平成 12 年 4 月 1 日

【大船渡市福祉の里在宅介護支援センター】

所在地	大船渡市猪川町字富岡 148 番地
設置主体	大船渡市
運営主体	社会福祉法人 成仁会
施設の名称	大船渡市福祉の里在宅介護支援センター
所長	石井 千枝子
施設の種類	地域型在宅介護支援センター
開設	平成 7 年 10 月 1 日



【社会福祉法人成仁会SGビル】

所在地 大船渡市盛町字町6番地8
経営主体 社会福祉法人 成仁会 理事長 山崎和彦
事業開始年月日 平成20年8月1日
建物名称 社会福祉法人成仁会SGビル
事業の種類 不動産貸しビルの経営



令和6年6月開業予定

【認知症対応型共同生活介護事業所 さくら亭】

所在地 大船渡市盛町字町3番地
経営主体 社会福祉法人 成仁会
開設予定月 令和6年6月開業予定
施設名 さくら亭
施設の種類 認知症対応型共同生活介護事業所
入所定員 18名
敷地面積 1,429.75 m²
敷地の所有 社会福祉法人成仁会所有地及び一部借地
建物の面積 666.76 m²
建物の構造 鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板葺3階建
工事施行状況 直営・請負の別 請負
契約年月日 令和5年9月7日
着工年月日 令和5年9月10日

5 評議員会の開催状況

定時評議員会

日時 令和5年6月20日(火) 午前11時00分

場所 大船渡プラザホテル

出席数 8名 欠席数 3名

○決議事項

議案第1号 社会福祉法人成仁会役員(理事・監事)の選任について

議案第2号 令和4年度社会福祉法人成仁会事業報告の承認について

議案第3号 令和4年度社会福祉法人成仁会会計関係書類の承認について

議案第4号 社会福祉法人成仁会定款の一部を変更することについて

6 理事会の開催状況

第1回 理事会

日時 令和5年6月2日(金) 午前10時30分

場所 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 会議室

出席数 出席理事9名 欠席理事 1名 出席監事 2名

○報告事項

報告第1号 令和5年度設備分介護サービス施設整備に伴う既存建物等の解体工事に係る工事請負契約書の締結について

報告第2号 理事長の職務執行状況について

○決議及び承認事項

議案第1号 令和4年度社会福祉法人成仁会の事業報告の承認について

議案第2号 令和4年度社会福祉法人成仁会会計関係書類の承認について

監査報告第1号 令和4年度社会福祉法人成仁会事業報告及び令和4年度社会福祉法人成仁会会計関係書類の監事による監査報告について

議案第3号 社会福祉法人成仁会定款の一部を変更することについて

議案第4号 社会福祉法人成仁会役員(理事・監事)推薦候補者(案)について

議案第5号 社会福祉法人成仁会の運営に係る極度額内借入について

議案第6号 令和5年度定時評議員会の招集について

議案第7号 養護(盲)老人ホーム祥風苑入所者故工藤トミ様からの相続財産の受領について

第2回理事会

日時 令和5年6月20日(火) 午後1時00分

場所 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 会議室

出席数 出席理事9名 欠席理事 1名 出席監事 2名

○決議事項

議案第1号 社会福祉法人成仁会理事長の選定について

その他 会長等の指名について

第3回理事会

日時 令和5年7月18日(火) 午前11時00分
場所 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 会議室
出席数 出席理事9名 欠席理事1名 出席監事2名

○報告事項

- 報告第1号 令和4年度介護保険施設等の実地指導及び社会福祉施設指導監査の実施について
- 報告第2号 備品の購入・工事及び修繕について
- 報告第3号 理事長の職務執行状況について

○議決事項

- 議案第1号 認知症高齢者グループホーム新築工事指名競争入札実施要綱の制定について
- 議案第2号 認知症高齢者グループホーム新築工事指名参加業者の選定について

第4回理事会

日時 令和5年8月24日(木) 午前11時00分
場所 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 会議室
出席数 出席理事8名 欠席理事2名 出席監事1名 欠席監事1名

○報告事項

- 報告第1号 令和5年度整備分介護サービス施設整備計画の変更決定について
- 報告第2号 認知症高齢者グループホームの名称について
- 報告第3号 認知症高齢者グループホーム新築工事に係る指名競争入札の結果について

○決議事項

- 議案第1号 認知症高齢者グループホーム新築工事に係る建築資金借入について

第5回理事会

日時 令和5年9月28日(木) 午前11時00分
場所 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 会議室
出席数 出席理事9名 欠席理事1名 出席監事2名

○報告事項

- 報告第1号 認知症高齢者グループホーム「さくら亭」新築工事安全祈願祭の実施について
- 報告第2号 理事長の職務執行状況について

○決議事項

- 議案第1号 認知症高齢者グループホーム新築工事に係る工事請負契約書の締結について
- 議案第2号 令和5年度拠点区分収支予算第1次補正(案)について
- 議案第3号 社会福祉法人成仁会職員就業規則の一部改正することについて
- 議案第4号 社会福祉法人成仁会ソーシャルメディア利用管理規定(案)の制定について

議案第 5 号 社会福祉法人成仁会給与規程の一部を改正することについて

第 6 回理事会

日 時 令和 5 年 12 月 5 日 (火) 午後 3 時 00 分

場 所 大船渡プラザホテル会議室

出席数 出席理事 8 名 欠席理事 2 名 出席監事 2 名

○報告事項

報告第 1 号 認知症高齢者グループホーム新築工事工事請負契約書の締結について

報告第 2 号 認知症高齢者グループホーム「さくら亭」新築工事の進捗状況について

報告第 3 号 令和 5 年度地域密着型サービス施設等設備事業補助金等交付決定通知について

報告第 4 号 令和 5 年度介護施設開設準備経費等事業補助金等交付の指示について

報告第 5 号 特定技能外国人の採用について

○決議事項

議案第 1 号 認知症高齢者グループホーム新築工事に係る工事費の一時借入について

議案第 2 号 社会福祉法人成仁会職員就業規則の一部を改正することについて

第 7 回理事会

日 時 令和 6 年 3 月 22 日 (金) 午前 10 時 30 分

場 所 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 会議室

出席数 出席理事 9 名 欠員 1 名 出席監事 2 名

○報告事項

報告第 1 号 社会福祉法人成仁会会長山崎シゲ様のご逝去について

報告第 2 号 株の保有状況について

報告第 3 号 社会福祉法人成仁会新卒職員・特定外国人の採用について

報告第 4 号 令和 5 年度介護施設開設準備経費等事業補助金等交付決定通知について

報告第 5 号 指定管理者候補者の決定について

報告第 6 号 社会福祉法人成仁会執行役員の指名について

報告第 7 号 理事長の職務執行状況について

○決議事項

議案第 1 号 令和 5 年度拠点区分収支予算第 2 次補正(案)について

議案第 2 号 令和 6 年度社会福祉法人成仁会事業計画(案)について

議案第 3 号 令和 6 年度社会福祉法人成仁会拠点区分収支予算(案)について

議案第 4 号 認知症高齢者グループホーム新築工事に係る工事請負変更契約書の締結について

議案第 5 号 認知症高齢者グループホーム新築工事に係る備品購入について

議案第 6 号 社会福祉法人成仁会認知症対応型共同生活介護事業所グループホームさくら亭の運営規程の制定について

議案第 7 号 社会福祉法人成仁会認知症対応型共同生活介護事業所グループホームまちぐるみ運営規程の全部改定について

- 議案第 8 号 社会福祉法人成仁会が設置運営する施設の運営規程の一部を改正することについて
- 議案第 9 号 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡等の運営規程の全部改正について
- 議案第 10 号 社会福祉法人成仁会大船渡市デイサービスセンター等運営規程の一部を改正することについて
- 議案第 11 号 社会福祉法人成仁会自家用車使用取扱規則(案)の制定について
- 議案第 10 号 社会福祉法人成仁会が設置経営する施設等の施設長の任命について

7 監事による監査会開催状況

第 1 回 日時 令和 5 年 5 月 16 日 (火) 午前 10 時 00 分～12 時 00 分
 場所 成仁ハウス百年の里 会議室
 監事 佐藤不二雄 鈴木信夫

[監査対象事業]

令和 4 年度社会福祉法人成仁会の事業報告・決算報告・付属明細書
 令和 5 年度 1 月～3 月の会計資料

—拠点区分—

- ・法人本部拠点区分
- ・特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里拠点区分
- ・指定介護老人福祉施設富美岡荘拠点区分
- ・指定特定施設入居者生活介護事業所 養護(盲)老人ホーム祥風苑拠点区分
- ・地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡拠点区分
- ・認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ拠点区分
- ・指定通所介護大船渡市デイサービスセンター拠点区分
- ・訪問介護富美岡荘ホームヘルプ事業所拠点区分
- ・小規模多機能型居宅介護施設ひころいちの郷拠点区分
- ・福祉の里在宅介護支援センター拠点区分
- ・富美岡荘指定居宅介護支援事業所拠点区分
- ・社会福祉法人成仁会 S G ビル収益事業拠点区分

[監査内容]

- (1) 令和 4 年度社会福祉法人成仁会決算報告書
- (2) 令和 4 年度社会福祉法人事業報告
- (3) 令和 5 年 1 月～3 月分出納調査について
- (4) 利用者預り金について
- (5) 小口現金のない事業所の現金の取り扱いについて

第 2 回 日時 令和 5 年 7 月 26 日 (水) 午前 9 時～11 時 00 分
 場所 成仁ハウス百年の里 会議室
 監事 鈴木信夫 大浦操

[監査内容]

- (1) 令和5年度4月から6月各拠点の出納調査
- (2) 利用者預り金について
- (3) 小口現金について

第3回 日時 令和5年11月2日(木) 午前10時～12時
場所 成仁ハウス百年の里 会議室
監事 鈴木信夫 大浦操

[監査内容]

- (1) 令和5年度7月から9月各拠点の出納調査
- (2) 利用者預り金について
- (3) 小口現金について

第4回 日時 令和6年1月25日(木) 午前10時～12時
場所 成仁ハウス百年の里 会議室
監事 鈴木信夫 大浦操

[監査内容]

- (1) 令和5年度10月から12月各拠点の出納調査
- (2) 利用者預り金について
- (3) 小口現金について

8 苦情解決第三者委員会開催報告

日時 令和6年3月15日(金) 午前10時30分
場所 成仁ハウス百年の里 会議室

1 苦情解決第三者委員：

今野昭男委員、佐藤忠清委員、今野隆子委員

成仁ハウス百年の里	苦情受付担当者	東美也子、佐々木三千代
富美岡荘	苦情解決責任者	村上博(代理)和田工
祥風苑	苦情解決担当者	村上信吾
蔵ハウス大船渡	苦情解決担当者	鎌田由美
まちぐるみ	苦情解決責任者	佐藤廣治

大船渡デイサービス	苦情解決責任者	鈴木千賀子
ひころいちの郷	苦情解決責任者	山崎絹花
ホームヘルプ事業所	苦情解決責任者	佐々木和美
福祉の里指定居宅	苦情解決責任者	石井千枝子
社会福祉法人成仁会	山口清人、和田工、志田純子	

2 報告

各事業所より苦情（意見・要望・相談・不満）・感謝等の状況報告及び意見交換

成仁ハウス百年の里	苦情 0 件・感謝 3 件
富美岡荘	苦情 1 件・感謝 5 件
祥風苑	苦情 0 件・感謝 3 件
蔵ハウス大船渡	苦情 0 件・感謝 4 件
まちぐるみ	苦情 0 件・感謝 4 件
大船渡市デイサービスセンター	苦情 2 件・感謝 2 件
ひころいちの郷	苦情 0 件・感謝 3 件
富美岡荘ホームヘルプ事業所	苦情 1 件・感謝 0 件
大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所	苦情 0 件・感謝 6 件

9 公益的取組状況

1 地域サロンへ講師派遣 1 名

日時：令和 5 年 9 月 4 日

場所：日頃市町坂本沢地区公民館

2 SDGs 宣言

全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉の促進を行う取組

3 コロナワクチン接種会場の提供

大船渡市と連携し新型コロナウイルスワクチンの接種会場として、成仁ハウス百年の里地域交流スペースを会場として提供した。

4 生活困窮者への対応

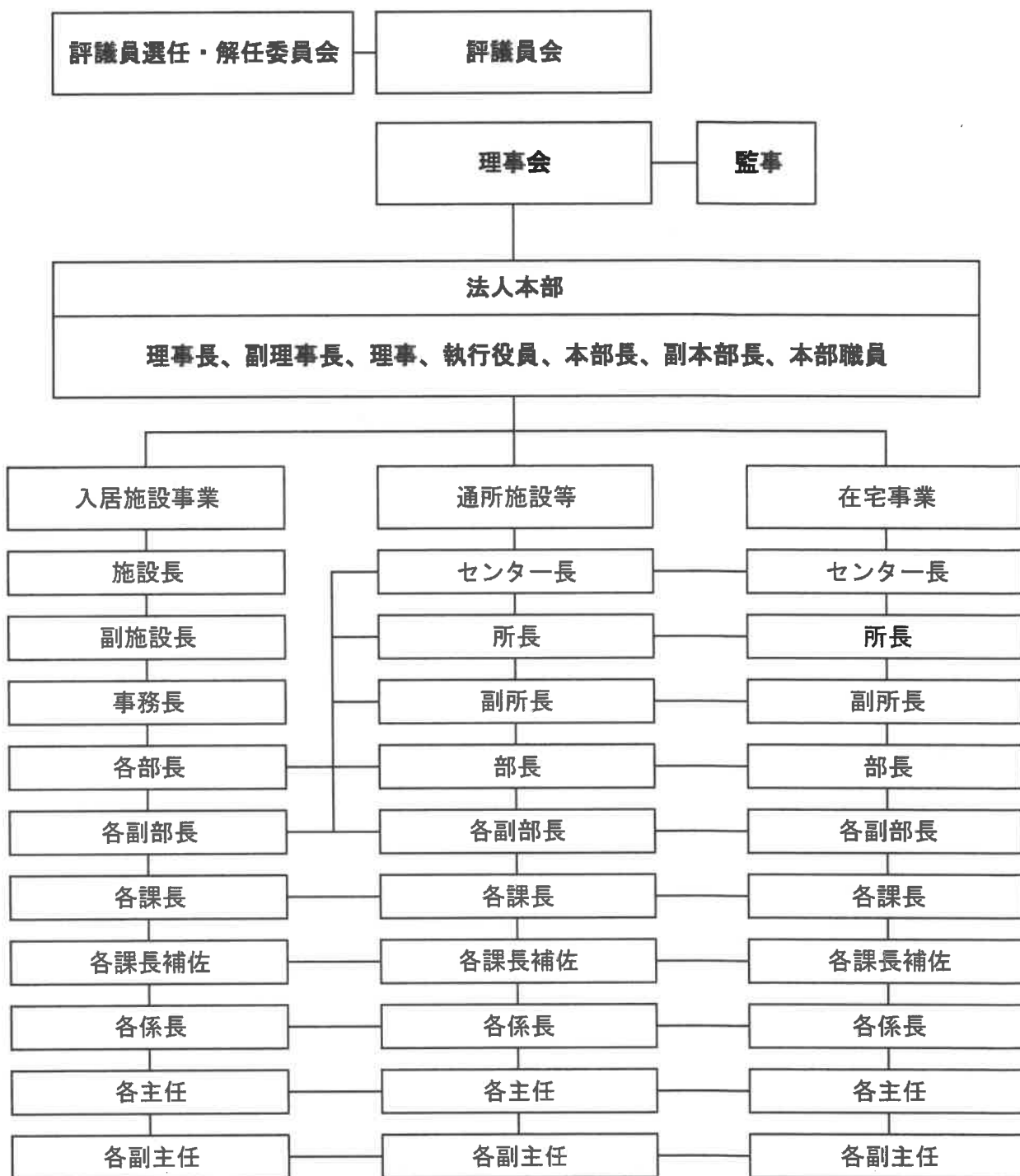
IWATE あんしんサポート事業へ参画し、課題を抱える方の自立サポートを岩手県市町村行政・県市社会福祉協議会と連携し取組を行った。

10 法人開催による会議等関係

日付	内容	場所	参加者
令和 5. 4. 25	事業所運営会議（デイサービスセンター運営について）	百年の里	9名
令和 5. 7. 18	運営会議（会議の在り方・8月の事業所予定について）	百年の里	20名
令和 5. 7. 27	執行役員会議（祥風苑コロナクラスターに伴う現状報告と対策について）	百年の里	12名
令和 5. 8. 17	運営会議（各事業所の事業実態について。新規事業について）	百年の里	15名
令和 5. 8. 21	執行役員会議（新規事業打合せ）	百年の里	9名
令和 5. 8. 31	運営会議（令和5年度敬老会について・会議における準備について・職員としての心構えについて・事務局の在り方について・安全祈願祭について）	百年の里	18名
令和 5. 9. 5	令和5年度敬老会打合せ	百年の里	17名
令和 5. 9. 27	執行役員会（新規事業について）	百年の里	8名
令和 5. 9. 29	運営会議（事業所の事業実態について・各事業所敬老会の報告反省・令和5年10月行事予定について・年次の取得状況について）	百年の里	21名
令和 5. 10. 16	執行役員会議（顧問税理士との勉強会について・相撲甚句について）	百年の里	15名
令和 5. 10. 26	運営会議（事業所の事業実態について・各事業所のコロナ状況・令和5年11月行事予定について・行事の在り方について・治験について）	未実施（資料配布）	0名
令和 6. 1. 11	運営会議（令和6年度成仁会の方針について・令和6年1月～6月までの決算期スケジュールについて）	蔵ハウス大船渡	9名
令和 6. 1. 22	執行役員会議（新規事業について・人事について）	蔵ハウス大船渡	13名

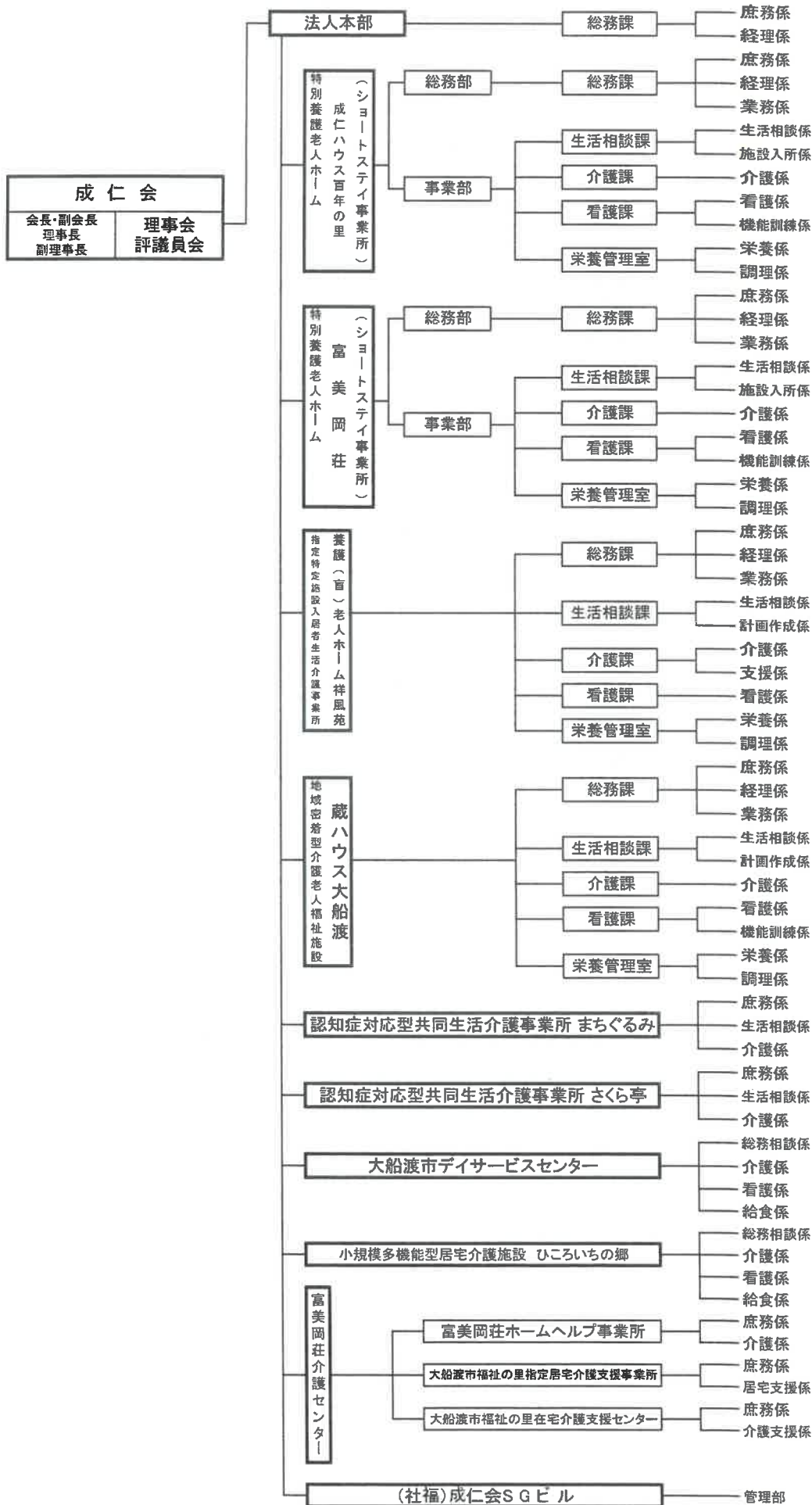
※ 財務経営会議は毎月開催（出席者：法人本部、各施設長、各所長、各事業所、経理担当）

社会福祉法人成仁会 法人組織の格付



※職務格付については、当該当者の現行辞令に基づき、本人の経歴・資格・法人での実績等を勘案して、年度ごとに理事長が別に定めることができる。

社会福祉法人成仁会 組織図



成仁会が実践する施設運営

【私たちは、岩手のそして大船渡の高齢社会に貢献する】

その方が歩んできた人生を理解し、施設での人生のラストステージを安心して過ごして頂く

パーソナルケア の実践

気づきの心

- ・入居者とのコミュニケーション
- ・職員間のコミュニケーション
- ・入居者の健康状態把握
- ・入居者一人ひとりの生き立ちや人生全体を理解すること

相手の身になって

- ・入居者の尊厳を第一に考える
- ・相手の気持ちを考える
- ・不安に寄り添い、和らげること
- ・「はい」という素直な気持ちと心優しい対応

成仁ハウス百年の里

富美岡荘

祥風苑

蔵ハウス大船渡

まちぐるみ

さくら亭

大船渡市デイサービスセンター

ひころいちの郷

富美岡荘ホームヘルプ事業所

大船渡市福祉の里指定居宅介護支

介護の質を向上

- ・データに基づく科学的ケア
- ・看取りを尊重した究極のケア
- ・「食」を大切にされたケア
- ・「老い」を尊重し、「老い」に礼を尽くし、感謝し、学ぶケア

社会福祉法人とし

- ・地域を愛し、地域に愛され、地域の福祉ニーズを踏まえ、自主性、創意工夫による多様な地域貢献による公益活動の実施
- ・地域社会のセーフティネット

サービス担当者会議

入居時

- ・実態調査を徹底して行い、ご本人のこれまでの人生歴史の写真等提供いただき、を徹底的に理解を深め、全職員が「相手の身になって」が実践できるようサービスに活かせるような情報共有可能な資料の作成
- ・施設サービス計画書、24時間シートの作成

入居後

- ・課題の抽出と目標策定、援助内容の検討及び実施、評価
- ・定期的な計画書及び24時間シートの更新

備蓄品管理状況

(令和6年3月現在)

種別	品名	数量	保管場所
食料品 (入居者分)	米	1週間分	各施設厨房
	レトルトお粥		
	粥ゼリーの素		
	缶詰		
	レトルト食品		
	のり佃煮・調味みそ・ねり梅		
	ペースト食品(ソフト食用)		
	乾物品(みそ汁の具など)		
	みそ		
各種調味料			
食料品 (職員分)	米	2週間分	成仁ハウス百年の里・祥風苑・蔵ハウス大船渡に分散して保管
	缶詰	1週間分	
	レトルト食品		
	乾物品(みそ汁の具など)		
	みそ		
各種調味料			
経管栄養	濃厚流動食	2週間分	各施設
水	5年保存水(飲料水)	3日分	各施設
調理用品	使い捨て容器(食器用)、練炭、カセットガスボンベ、練炭コンロ、カセットガスコンロ		富美岡荘 (厨房・地下倉庫)
生活用品	オムツ・尿とりパッド	各種事業所毎	各事業所
	紙パンツ	50箱	富美岡荘
感染予防品	マスク・予防着	多数	各事業所 及び富美岡荘
	使い捨て手袋・電解水	多数	
その他	反射式ストーブ 20台、ポータブル発電機、軍手、ペーパータオル、ゴム手袋、ティッシュペーパー、ファンヒーター、オイルヒーター、長靴、トイレトペーパー、扇風機、ディスポグローブ、ウェットティッシュ、投光器、手指消毒アルコール、タオル、車椅子、消毒ジェル、毛布、歩行器、ガムテープ、乾電池(単1~単4)、杖、ロープ、ラジオ、電灯、電気コードドラム、湯たんぽ、他多数。		

※公用車にヘルメット、タオル、マスク、ラジオ付き電灯等を常に積載している。

主な災害用備蓄品



電力及び照明の確保



食料品の確保 (米)



電力の確保



食糧品の確保 (飲料水)



通信手段の確保 (衛生電話)



非常食の確保 (レトルト食品)



移動手段の確保



介護用おむつ・ウエットティッシュ等

感染予防に関する衛生用品の購入保管状況
(マスク、防護服、手袋、ゴーグル、消毒用アルコール等)



社会福祉法人成仁会1年間の様子



4月 辞令交付式



4月 新規採用者職員研修



4月 法人新規採用者防災訓練



4月 職員家族小学校入学挨拶



4月 大船渡市婦協視察



4月 岩手銀行様小さな幸せ運動寄贈



5月 富美岡荘開荘記念日



社会福祉法人成仁会1年間の様子



5月 成仁ハウス百年の里開所記念日



5月 東北医科薬科大学研修受け入れ



5月 法人監事監査



5月 新規施設土地の祈禱



6月 職員採用辞令交付



6月 東北医科薬科大学実習受け入れ



6月 成仁会OG挨拶訪問



6月 理事委嘱状交付

社会福祉法人成仁会1年間の様子



6月 理事退任者への感謝状



6月 第1回理事会



6月 定時評議員会



6月 夏季賞与支給式



7月 岩手県知事来訪



7月 第2回理事会



7月 案くれっと研究会



8月 特定技能職員辞令交付式

社会福祉法人成仁会1年間の様子



8月 辞令交付式



8月 特定技能職員研修会



8月 案くれっと研究会



8月 第3回理事会



9月 グループホームさくら亭 安全祈願祭



9月 敬老会お膳試作会



9月 特定技能職員辞令交付式

社会福祉法人成仁会1年間の様子



9月 大船渡東高校折り鶴寄贈



9月 大船渡東高校体験実習



9月 第4回理事会



9月 初代理事長山崎伊一郎先生を偲ぶ会



10月 国際ソロプチミスト大船渡様ご寄贈



10月 五葉ライオンズクラブ様ご寄贈



10月 クレイジーウォーカー様来訪



11月 相撲甚句ご一行様来訪

社会福祉法人成仁会1年間の様子



11月 山崎シゲ会長の半生を詠う



11月 特定技能職員辞令交付式



11月 優良従業員表彰式



11月 優良従業員表彰受賞者と記念写真



11月 第5回理事会



12月 荒井綜合法律事務所勉強会



社会福祉法人成仁会1年間の様子



12月 麟祥寺女性部様よりご寄贈



12月 冬季賞与支給式



12月 IBCラジソン



12月 大船渡市地域婦人団体連絡協議会様ご寄贈



1月 正月



2月 労働安全衛生委員会開催



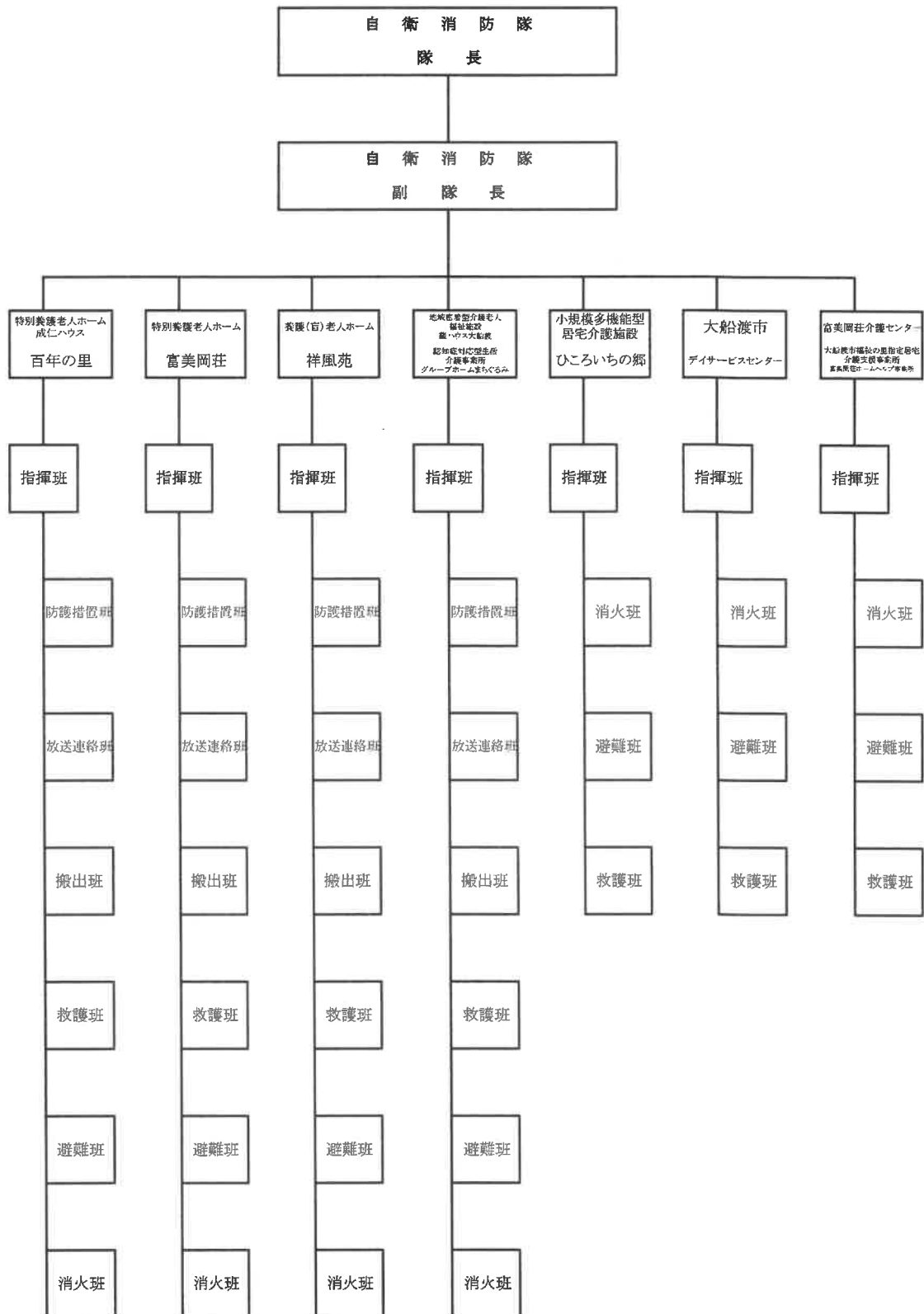
令和5年度

防災訓練報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

社会福祉法人 成仁会

社会福祉法人成仁会 自衛消防隊組織図



成仁会防災訓練実施概要

防災訓練は、地震や火災などの災害が発生した場合を想定し、利用者及び職員の安全確保を最優先に毎月各事業所(富美岡荘、祥風苑、ディサービスセンターの三施設合同訓練)で、起こりうる想定で防災訓練を実施した。実施内容については、三陸沖地震に備え、地震発生直後の火災発生や水害等の複合災害を想定した訓練を繰り返した。発生場所(各施設火元箇所)、発生時間(日中・夜間)のケースを想定し、利用者の安全確保を第一とし、火災発生場所付近よりスモークマシーンを使用した煙の中での誘導や、夜間想定では、開始時間を周囲が暗くなる時間帯にて、施設内も暗い状態で訓練を行った。利用者及び職員の防災意識の向上や避難誘導の方法についても、実践的に徹底して行なう事が出来た。非常連絡網の伝達については、法人職員へBIZメールシステムを活用した連絡や安否確認を行い、電話連絡に比べ短時間で伝達をする体制を図った。

【成仁ハウス百年の里】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
4月27日	※令和5年度新人職員と令和4年度中途採用職員を対象に以下の項目について研修及び機器の操作方法の説明と実施訓練を行い、防災への知識と意識の向上を目的とする。 ①消火器及び屋内消火栓を使用した消火訓練。 ②地震及び火災発生時等の対応。(避難場所及び避難ルートの確認、防火シャッターの使用) ③119番通報専用電話機、消防用設備及び館内非常放送器材の取り扱い説明。 ④担架を実際に使用しての実技指導。	消火器及び屋内消火栓を使用した訓練では、元消防署員を講師として指導し危険な状況下での使用や使用方法など詳細に説明することで参加した職員は理解を深めることが出来た。 施設の避難ルートや避難場所、消防用設備の説明では参加した職員からも積極的に質問が出る等真剣に取り組む様子が見られたので良かった。今後も施設での訓練にて防災への意識をより強く持ち実際の災害時での迅速な対応が出来るよう指導していきたい。	18名
5月9日	◎総合訓練(日中:1階洗濯乾燥室より火災) ・日中震度6強の地震発生後、百年の里1階選択乾燥室より火災発生を想定。・入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。今回の訓練では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら令和4年度新人職員の指導も合わせて行う。※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、折り返し掛かっていた電話にて伝達行う。	新年度になり初めての訓練となる為、早さよりも確実性を重視し、新採用職員への説明を加えながらの訓練とした。緊張感があり、職員間での伝達と連携が非常に大切であると改めて実感した訓練となった。応援職員への本部からの指示、火災発生場所を的確に伝達する必要があると感じた。	149名
6月15日	◎総合訓練(夜間:1階洗濯乾燥室より火災) 夜間、震度6強の地震発生後、百年の里1階洗濯室より火災発生を想定。 入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。 今回の訓練では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行う。※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、折り返し掛かっていた電話にて伝達行う。	前回までの訓練と同様、事前の訓練要綱をユニットに配布せず実施する。夜間帯、5名の勤務者のみの想定の為、緊張感がある中での訓練となった。1階が火元であるのに対し、応援職員が2階3階に多く配置してしまうなどの反省点がでた。	107名
7月22日	◎総合訓練(日中:2階ユニットより火災) 震度6強の地震発生後、百年の里2階祥ユニットより火災発生を想定。 入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。 今回の訓練では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行う。※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、折り返し掛かっていた電話にて伝達行う。	事前の訓練要綱をユニットに配布し実施した。各階のリーダーと指揮班長の指示により迅速な避難誘導を行えた。避難誘導後の点呼で、人数が合わなかったことや訓練中に職員が頭部をぶつけてしまうことがあった。安全にできての訓練なので次回以降、気を付けていきたい。	107名
8月19日	◎総合訓練(日中:梅雨前線停滞に伴う河川の増水) ・日中の豪雨により、施設前の河川が氾濫した、と想定し訓練を行う。 ・施設入居者を上階へ避難誘導行う。	事前の訓練要綱をユニットに配布し、実施した。各階のリーダーと指揮班長の指示により迅速な避難誘導が行えた。避難誘導後の点呼で、人数が合わなかったことや訓練中に職員が頭部をぶつけてしまうことがあった。安全に出来ての訓練なので、次回以降気を付けたい。	140名
9月26日	◎総合訓練(夜間:梅雨前線停滞に伴う河川の増水) ・夜間の豪雨により、施設前の河川が氾濫した、と想定し訓練を行う。 ・施設入居者を上階へ避難誘導行う。	事前の訓練要綱をユニットに配布し、実施した。各階のリーダーと指揮班長の指示により迅速な避難誘導が行えた。避難誘導後の点呼で、人数が合わなかったことがあり、声掛けの連携不足の感が否めなかった。次回以降気を付けたい。	108名
10月19日	◎総合訓練(日中:1階洗濯乾燥室より火災) ・日中震度6強の地震発生後、百年の里1階選択乾燥室より火災発生を想定。・入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。今回の訓練では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら令和4年度新人職員の指導も合わせて行う。※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、折り返し掛かっていた電話にて伝達行う。	・出火後、応援職員を火元に向かうように指示を出すのが遅れた。事務職を含めた当日の出勤職員の人数把握ができていなかった また、火災本番での第一避難場所の再確認が必要なが分かった。防寒対策を徹底し、実際の避難に近い訓練を今後再検討していく。	107名

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
11月24日	◎内部研修 施設に在籍している職員を対象に、災害発生時の職員の参集基準を職員に周知する形で訓練を行う。 災害発生時の職員の対応を理解し、人命第一の考えを改めて、徹底して周知する事とする。	・今月の訓練内容を、十分に理解して頂く事で、人命第一の考えを基より、職員一人ひとりが災害発生時にどのように考え、動く事が大切かを、改めて学ぶ機会となった。 ・新人職員に配布する事で、災害発生時の考えや、行動を理解して頂くきっかけになった。また、既存の職員に配布した際に、参集基準を忘れていたとの声が開かれたので、普段の訓練の中でも、職員に改めて理解して頂きたい内容を配布することで、防災に関する理解の増進に繋がると感じた。	全職員
12月26日	◎内部研修 施設に在籍している職員を対象に以下の項目について研修及び機器の操作方法の説明と実施訓練を行い、防災への知識と意識の高揚を目的とする。 ・スモークマシーンを使用し、スモークが充満した暗室を歩く。(内部研修)	・スモーク訓練では、煙が充満した暗室を移動する訓練を行い、移動の方法を学んだ。 ・今後も訓練や内部研修でスモーク体験を継続したいと感じた。	全職員
1月26日	◎非常伝達訓練 ・岩手県沿岸地域にて最大震度6強の地震が発生したことを想定。 ・Biz安否確認アプリでの安否確認訓練。 ・法人非常連絡網を活用した伝達訓練。	・Biz安否確認アプリを使用し、訓練内容を送信した翌日になっても回答がない職員がいたので、防災委員が対象職員を指導し、今後は速やかな対応が出来るようにする。 ・実際の災害時、仕事中で携帯電話をチェックし、アプリに送信するのが困難な時間帯であった場合は、誰が出動しているのかを早急に判断する為のチェック表が必要であると考えた。 ・アプリに出動できませんと回答した職員が今現在どこにいるのかをコメントで記入しておけば、職員の所在を確認できるので、今後の訓練ではコメント欄を使用するようにする。	全職員
2月18日	◎総合訓練(日中:2階祥ユニットより火災) ・日中、震度6強の地震発生後、百年の里2階祥ユニットより、漏電火災発生を想定。 ・入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。 ・今回の訓練では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら令和4年度新人職員の指導も合わせて行う。※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、電話対応を行う。	・応援の所在が分からなくなることが多々見られた。入居者様の点呼の順番を間違える場面があった為、再度、確認の大切さに気が付くことができた。今後、いつどのような形で災害があるかわからない為、しっかりと本番に見立てて訓練に取り組む。	140名
3月16日	◎総合訓練(日中:津波による河川の氾濫) ・日中、震度6強の地震発生後、大津波警報発令、津波による河川の氾濫を想定。 ・施設入居者を上階へ避難誘導行う。 ・今回の訓練では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行う。	・コロナウイルス対策の為、急遽、災害緊急時対応の資料を配布し、講習会を行う。内容をしっかりと理解して頂く良い機会となり1人1人が訓練の大切さを知ることができた。また、参加できていない職員には資料を配布し熟知して頂いた。	全職員

【富美岡荘・祥風苑・デイサービス合同】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
4月24日	◎法人及び各施設防災訓練 (令和4年度中途採用者及び令和5年度新規採用者の訓練)	・消火器及び消火栓の基本的な使用方法や消火に必要な知識を学んだ。 ・各施設内の消防災害用設備及び館内非常放送器材の取り扱い説明をした。	6名
4月25日	◎座学(富美岡荘) 「限られた人員による入居者の円滑な避難のために」	・避難が困難な方が利用する施設における一時待機場所への水平避難訓練マニュアルを活用した訓練の取り組み方を学ぶ。	13名
5月17日	◎部分訓練(日中:富美岡荘) 消火器及び消火栓を使用した消火訓練を実施。 (消防署よりクレンダー借用)	・各職員が消火器や消火栓を使用する事で使用方法や消火栓の有効範囲や消火器の使用可能時間について学ぶ。 ・消火器の種類が三種類ありそれぞれの適正について学ぶ。	12名
6月15日	◎部分訓練(日中:祥風苑) 豪雨災害と土砂災害の危険性ありの想定で訓練を実施。	・放送で周囲の状況を把握してから行動した。 ・状況が変わる場合もあるので車椅子の使用も考え誘導してほしい。 ・忘れがちな場所も確実に確認した。	64名
6月27日	◎座学(富美岡荘) 「心肺蘇生法について」	・心肺蘇生、AEDについて基本的な手順を学んだ。 ・実際にAEDを使用し、もしもの時の良い体験が出来た。	12名

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
7月27日	◎座学(富美岡荘) 「東日本大震災から学ぶ防災意識」	・資料映像(他施設の特集)を閲覧し、防災意識を高めた。	11名
8月22日	◎座学(富美岡荘) 「富美岡荘日中想定動作確」	・過去の訓練で日中を想定した資料を引用し動作確認を行なう。	11名
9月1日	◎利用者座学(デイサービス) 防災クイズ	・防災に関する事をクイズ問題にして利用者様に回答してもらった。	37名
9月11日	◎座学(祥風苑) 内部研修「非常災害について」 (災害が起きた直後に冷静に行動できる体制づくり)	・災害直後に求められる行動は、災害の種類によって違うが、決めているルールでシミュレーションを行なっておく事が必要だと思った。	13名
9月26日	◎総合訓練(日中:祥風苑) 震度6弱の地震発生後、調理室より出火想定で訓練を実施。	・上司の指示を受けないまま行動している職員がおり注意した。 ・火災時は初期消火(消火器)から消火栓への切り替えを見極めてほしい。	65名
9月26日	◎座学(富美岡荘) 「消防設備の場所確認について」	・参考資料の富美岡荘平面図にて消防設備の場所確認を行なう。	11名
10月17日	◎総合訓練(日中:富美岡荘) 震度6弱の地震発生後、ボイラー室より出火想定で訓練を実施。	・注意喚起の声も大きく、入居者への安心させる声掛けが出来た。 ・普段と違う火元想定のため、冷静に対応出来ない場面があった。 ・火災受信機の設定を間違い、消防署に通	12名
10月30日	◎部分訓練(デイサービス) 厨房にて調理中に油火災発生想定で訓練を実施。	・火傷した人を救護する際に火元に近い所で救護してしまった。 ・避難誘導の際、他施設から車椅子を持参し来るが職員と詰まってしまう状態があり出入口を考えて行動すべき。	43名
11月20日	◎内部研修(富美岡荘) 東日本大震災のような震災が起きた際、自宅等では何に気を配るかや避難の際の注意点。	・改めて地震や津波に対する怖さを感じ、避難時の注意点や自宅では何を優先にすべきか等の再確認ができた。これからの訓練は様々な事象を想定し訓練する事により職員の対応能力の向上が出来ると思っ	8名
12月14日	◎総合訓練(夜間:祥風苑) 震度6弱の地震発生後、ボイラー室より出火想定で訓練を実施。	・注意喚起、安全確保はスムーズだったが、誘導の際は少し落ち着いて行動すべき。 ・119番通報の問い掛けにきちんと対応していた。	64名
12月26日	◎座学(富美岡荘) 「視覚障害者の対応について」	・視覚障害者の対応の仕方やコミュニケーションの取り方等、資料を元に学んだ。	11名
1月25日	◎法人全体の防災訓練 (Biz安否確認アプリを使用した訓練) 岩手県沿岸地区にて最大震度6強の地震が発生し、大津波警報が発令された想定。	・Biz安否確認アプリを使用し、訓練内容を送信したが翌日になっても回答が無かった職員がいたので、各施設の防災委員が対象職員を指導し、今後は速やかな対応が出来るようにする。	全職員

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
1月25日	◎総合訓練(夜間:富美岡荘) 震度6弱の地震発生後、ボイラー室より出火想定で訓練を実施。	・シュミレーションが足りず、パタパタと急いでしまい確実に動作が出来なかった。 ・全体的に声が小さく、実際の火災の時は非常ベルが鳴るので大きな声を出さなければ聞こえない。	52名
2月27日	◎座学(富美岡荘) 「搬送法について」	・様々な搬送方法を資料より学んだ。	10名
3月21日	◎総合訓練(夜間:祥風苑) 震度6弱の地震発生後、ボイラー室より出火想定で訓練を実施。	・連絡体制はスムーズに行なっていたが、応援職員に指示を出す際に焦りもあり確実な指示が出せなかった。 ・119番通報の問い掛けにきちんと対応していた。	63名
3月26日	◎座学(富美岡荘) 「介護施設での防災への心構えと災害発生時前、直後の対応」	・災害の発生が予期できる場合は事前にチェックが必要だと思った。 ・災害直後に求められる行動は、シュミレーションを行なっておく事が大事だと思った。	9名

【蔵ハウス大船渡・まちぐるみ】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
5月10日	◎部分訓練(消火) ・消火器及び消火栓を使用した消火訓練(クレンダー借用)	・各職員が消火器や消火栓を使用する事で使用方法を確認する事が出来た ・消火栓の使用可能時間について学ぶことが出来た ・スプリンクラーなどの消防設備の消火範囲や、消火期的位置を再確認することが出来た	9名
6月14日	◎総合訓練(日中) ・施設内1階キッチンより火災発生。施設内延焼の恐れあり初期消火、119番通報、避難誘導実施。	・職員全体で声を掛け合いながら行ったほうがよかった ・出火後、防火戸の閉鎖なく避難に移行していた ・各居室の避難者を確認する際、入口にある避難済み看板を表示させるようにする	13名
7月12日	◎内部研修 ・救命の連鎖「チェーン・オブ・サバイバル」の重要性を知るため心肺蘇生とAEDの演習を行う。	・演習前に動画視聴を行い、感染対策を含めた心肺蘇生を学ぶことができた ・119番通報時は、急がず、聞かれたことにしっかり答えることが重要であることも共有できた ・いつ何時でも起こりえることなので、職員間様々な想定をし、真剣に取り組むことができた	12名
9月13日	◎部分訓練(日中:洪水避難) ・台風の接近に伴う避難情報発令に対し、水害避難対応手順の確認をする	・移動時、エレベーターを使用することで避難がスムーズに行えた ・避難誘導指示は的確であり、連携は図れていた ・事前にシュミレーションを行ったためか、緊迫感が足りず、一つ一つの確認がやや不足していた ・洪水時、防火戸の閉鎖についてよう検討していく	13名
9月27日	◎部分訓練(夜間:洪水避難) ・台風の接近に伴う避難情報発令に対し、水害避難対応手順の確認をする	・移動時エレベーターを使用して避難をスムーズに行えた。 ・夜間想定であり、少人数での誘導であったが、避難誘導指示は的確であり、連携も図れた	14名
10月12日	◎総合訓練(日中:火災) ・日中施設内3階洗濯室より火災発生。施設内延焼の恐れあり避難誘導	・避難誘導指示は的確であり、迅速に避難誘導行っていた ・防火戸の閉鎖のタイミングは完璧であった ・通報時の対応は課題すべき点があり、早急なマニュアルの作成を定期的な訓練が必要 ・初期消火困難という想定ではあったが、実際は初期消火する可能性があり、消火器及び消火栓の使用方の説明をその都度行っていく	12名

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
11月8日	◎部分訓練(夜間:津波) ・夜間三陸沿岸を中心とした強い地震の発生後、津波警報発令され津波到達の恐れあり、1回入居者を非常階段にて2階へ避難誘導	・避難誘導指示は的確ではあったが、入居者に関する情報が不足していたため、時間を要した ・防火シャッターのタイミングは完璧であった ・訓練の流れでの報告に時間を要した ・地域住民の受け入れ体制を整えておく必要がある	13名
12月13日	◎総合訓練(夜間想定) ・夜間地震発生後施設内3階洗濯室より火災発生	・避難誘導指示が不十分であったため、避難完了までに時間がかかったが、防火戸の閉鎖のタイミングは完璧であった ・通報時の応答は的確であった ・初期消火に向かう際に消火器を所持していなかった ・消火栓使用時の流れはスムーズであった	11名
12月15日	◎部分訓練(夜間:津波避難) ・夜間、三陸沿岸を中心とした強い地震(震度5弱)の発生後、津波警報発令され津波到達の恐れ有り、1階入居者を非常階段にて2階へ避難誘導する。	・全体的に声掛けと入居者の特徴を報告しながら誘導出来ていたので迷いなくスムーズに誘導できた。 ・地域住民受け入れの案内図を初めて使用したが要領よく行えた。	21名
1月25日	◎Bizアプリ伝達訓練 ・管理者権限職員による、Bizアプリ送信の訓練。 ・Bizアプリによる災害想定時の安否確認返信訓練。 ・非常用連絡網を用いた伝達訓練。	・職員の受信から返信までの流れは大体の職員が理解しておりスムーズに出来たと感じた。 ・事前に周知されていたルールを各職員が把握できていたので正確かつ早く伝達を行えた。	全職員
2月28日	◎総合訓練(夜間想定) ・夜間施設内1階事務室より火災発生。施設内延焼の恐れあり避難誘導	・各職員、迅速に対応し行動できていた ・3階夜勤者の119番通報の質疑応答は的確に答えられていた ・火災発生時の連携の取り方を今一度確認する	10名
3月27日	◎内部研修 ・消火設備その他の非常災害に際して必要な設備の設置など ・非常災害対策計画の策定 ・消防機関などの関係機関への通報、連絡体制の整備 ・定期的に避難、救出その他の必要な訓練の実施	・防災計画にのっとり各組織図の役割や災害発生時の職員の行動指針を周知徹底することにより職員の対応能力の向上を図ることができた ・常日頃から非常災害時の対応を理解するとともに、避難訓練の役割分担、備蓄品の確保等、日常定期にできる防災外柵をしっかりと行っていくことの大切さを学んだ。又、入居者だけではなく、職員自身の身の安全を図るためにも、防災意識を持つことが大切だと感じた	10名

【ひころいちの郷】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
4月17日	◎部分訓練(消火・通報) ・訓練用消火器を使用して消火器の使用手順の確認 ・訓練用消火器を使用しての消火訓練 ・119番通報ボタンを押しての通報訓練 ・発電機の稼働手順確認・実働	・通報装置を実際に使用し、非常ベル鳴動へ消防署からの電話を受ける一連の流れを行う事が出来た。 ・訓練用消火器を使用し、使い方から消火までの手順を体験する事が出来た。 ・発電機のエンジン始動時、かかりにくい際にチョークを使用するとスムーズに稼働する事を伝え、実際に行う事が出来た。	6名
5月15日	◎部分訓練(日中:地震避難) 午前中の体操及び入浴対応中に宮城県沖を震源とする強い地震が発生。市内でも震度5弱の地震が観測された想定で訓練開始。	・利用者様へ対する声掛けやヘルメットの着用、非常口の開放等の行動をスムーズに行う事が出来た。 ・状況に応じ、ホール・浴室間の連携や指揮班長への状況報告をしっかりと行う事が出来た。	17名
6月16日	◎部分訓練(日中:水害避難) 線状降水帯が発生し市内に警戒レベル3が発生。時間経過で警戒レベル4に引き上げ。盛川が氾濫危険水位を超えたとの情報や日頃市町内で土砂崩れの危険があり送迎業務が出来ない想定で訓練開始。	・指揮班長からの指示に従い万が一に対する備えや安全確保の為避難誘導をスムーズに行う事が出来た。 ・急遽泊り対応になる利用者様への対応や、施設外へ避難する際の持ち出し品の準備について話し合う事が出来た。	16名

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
7月31日	◎総合訓練(夜間:地震火災) 宮城県沖を震源とする震度5強の地震が発生し、洗濯乾燥機より火災が発生した想定で訓練開始。	・夜勤者から宿直員への指示が不十分な為見守りや避難誘導の際に改善する点が多く見られた。 ・避難誘導時、部屋やトイレの確認不足や避難の際火元から近い利用者様の誘導が後になった為、次月再訓練実施となった。	16名
8月14日	◎総合訓練(夜間:地震火災) 宮城県沖を震源とする震度5強の地震が発生し、洗濯乾燥機より火災が発生した想定で訓練開始。 ※訓練実施職員を変え2回実施。	・1回目の訓練は遅番職員と宿直員との間で連携しながらスムーズに行う事が出来た。 ・2回目の訓練は火元からの誘導順や上司への状況報告について改善が見られたが、利用者様への声掛けや遅番職員と宿直員との間での指示や連携については再度改善する必要な点が見られた。	11名
9月25日	◎部分訓練(日中:地震避難) 午前中の体操及び入浴対応中に宮城県沖を震源とする強い地震が発生。市内でも震度5弱の地震が観測された想定で訓練開始。	・お部屋で転倒していた想定の利用者様について、職員間で連携し車椅子への移乗や避難誘導を行う事が出来た。 ・緊急地震速報鳴動から指揮班長の指示に対して報告しながら最後まで行動する事が出来た。	18名
10月24日	◎部分訓練(夜間:地震避難) 夜間岩手県内陸南部を中心とする震度6弱の地震が発生し市内でも停電が発生した想定で訓練開始。時間経過で停電復旧する想定で訓練を行う。	・夜勤者と宿直役の連携をスムーズに行う事が出来た。 ・応援職員到着後、連携良く避難誘導を行う事が出来た。 ・施設内外の見回り・ボイラー等の復旧手順を確認した。	17名
11月28日	◎部分訓練(日中:地震避難) 午睡後の時間、宮城県沖を震源とする強い地震が発生し、市内でも震度6弱の揺れを観測。その後施設でガス漏れが発生した想定で訓練を行う。	・緊急地震速報鳴動での行動開始から、状況確認、報告してスムーズに避難行動する事が出来た。 ・地震時の避難及びガス漏れ発生後の再避難の行動を連携しながら行う事が出来た。 ・ガス漏れ発生時の119番通報の受け答えを確認しながら訓練する事が出来た。	17名
12月22日	◎総合訓練(日中:地震火災) 三陸沖を震源とする震度6強の地震発生。地震により崩れたタオル類が石油ヒーターに乗り、乗った箇所より火災発生した想定で訓練開始。	・消火対応職員、避難誘導対応職員がそれぞれ連携し速やかに行い、その都度連携しながら状況を指揮班長へ報告し行動する事が出来た。 ・119番通報の際の質疑に対し、しっかり状況や発火場所等返答を行う事が出来た。	21名
1月25日	◎伝達訓練(職員非常連絡網) ・ひころいちの郷非常連絡網を使用しての伝達訓練。	・伝達内容について正確に伝達出来た。 ・折り返しの電話を含め、開始から終了まで10分でスムーズに伝わった。 ・スムーズに伝達できたが、ひころいちの郷の電話回線が1回線の為電話が重なった際待ち時間が発生した。	全職員
2月24日	◎総合訓練(日中:地震火災) 三陸沖を震源とする震度6弱の地震発生。揺れが収まり始め中に倒れたヒーターより火災が発生した想定で訓練を行う。	・緊急地震速報からスムーズに安全確保・避難行動を実施し、声掛けも行う事が出来た。 ・介護員が連携し避難誘導・初期消火を行う事が出来た。 ・ハザードマップを使用し、送迎時等の危険個所の情報共有を行った。	18名
3月20日	◎部分訓練(日中:地震火災) 三陸沖を震源とする震度6強の地震発生。揺れが収まり崩れたタオル類が石油ヒーターに乗り、火災が発生した想定で訓練開始。 運営推進委員の方々に訓練を見て頂く。	・利用者様1人1人の状況を把握し、その方に合った避難を行う事や天候・時間帯など色んな想定で訓練を実施するよう指摘を受けた。 ・連携良く初期消火する事が出来た。 ・ホール・各部屋の利用者様の人数把握をしっかりと行う事が重要だと感じた。	15名

【福祉の里居宅・ヘルプ事業所】

月日	実施内容	実施結果及び反省	
4月24日	◎令和5年度新規採用者職員並びに中途採用職員の消火器及び消火栓を使用した訓練。(百年の里に集合し、法人全体の訓練)消火器使用のマニュアルを熟読し訓練に参加。	消火器の操作は問題なくでき、短時間での消火作業が安全に行われた。介護センターは新人の職員無し。中途採用職員1名(ヘルプ事業所)と消防委員1名での参加。終了後、介護センター内で職員に周知を行う。	10名
7月28日	富岡荘介護センターの訓練:震度6弱の地震後、給湯室より出火を想定。・地震時の初動体制の確認。・施設間の連絡体制の確認と119番通報の通報訓練。・屋内消火栓を使用するの消火訓練。	・初動体制(カーテン閉め、ドア・非常口の開放、ヘルメット着用)はスムーズに行われた。・指揮班長の的確な指示が行われた。・職員の安否確認と119番通報がスムーズにできていた。	9名
9月13日	蔵ハウスの消防訓練との合同訓練:暴風雨からの大雨特別警報発令を想定。介護センターの重要書類の搬出と、蔵ハウスの重要書類搬出の応援。	・初動体制はスムーズに行われた。・備蓄品やパソコンなど急ぎの際には階段が急なために転倒に注意して慎重に行われた。・蔵ハウスへの応援は、日勤リーダーの指示で、重要書類の搬出を確実に行えた。	3名
1月25日	◎法人全体訓練 Biz安否確認アプリのログイン状況確認、アプリ使用訓練。岩手県沿岸にて最大震度6強の地震が発生し、大津波警報が発令。職員の安否確認と出勤状況を確認。	アプリを確認して全職員の回答あり。実際の地震や警報発令時にも確実にアプリを確認することをセンター内で周知する。	全職員

【百年の里 防災訓練実施状況】

総合訓練（日中想定）



総合訓練（夜間想定）



内部研修（担架使用手順・放水訓練・スモークマシン訓練）



【富美岡荘 防災訓練実施状況】

防災訓練（通報訓練）



防災訓練（消火器訓練）



防災訓練（消火器訓練）



新人研修（消火栓訓練）



【祥風苑 防災訓練実施状況】

防災訓練（日中想定）



防災訓練（夜間想定）



新人研修（消火訓練・非常用設備操作）



座学（非常災害について）



【蔵ハウス大船渡・まちぐるみ 防災訓練】

総合訓練（日中想定）



総合訓練（夜間想定）



内部研修（スモーク体験・心肺蘇生体験）



【デイサービス 防災訓練実施状況】

防災訓練（日中想定）



防災訓練（日中想定）



利用者座学（防災クイズ）



利用者座学（防災クイズ）



【ひころいちの郷 防災訓練】

部分訓練（日中想定）



部分訓練（夜間想定）



内部研修(消火訓練・避難シュミレーション)



【介護センター 防災訓練実施状況】

内部研修（放水訓練）



震度6弱の地震後に給湯室から火災発生想定訓練（重要機器の搬出）



暴風雨からの大雨特別警報発令を想定しての訓練（重要書類搬出と施設応援）



令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里

令和5年度の事業を振り返って
～「私たちは、岩手のそして大船渡の高齢社会に貢献する～」
相手の身になって
山崎シゲ会長の哲学を実践しパーソナルケアを発展させよう

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となったことから、感染対策を行うにあたって施設の判断が大きく求められる状況に変わりました。高齢者施設においては重症化リスクが高い入居者様が生活されていることから、位置づけが変わったとしても感染症の伝播を予防するための基本的な対策は危機感を持って継続してまいりました。令和5年11月～令和6年2月にかけて、当施設でも新型コロナウイルスのクラスターが発生する事態となりましたが、各課連携のもと職員一丸となって対応にあたり、感染を最小限に抑えることができたと考えております。

そのようなコロナ禍においても入居者様お一人お一人の尊厳を守り、安心して穏やかに暮らしていただくことを第一に考え、実践してまいりました。思うように面会ができない中でも各課で入居者様とご家族様とのつながりを保てるよう工夫を凝らし、ご家族様への連絡を細やかに行ない、栄養面では入居者個々の嗜好に合わせたきめ細やかな食事の提供を行ってまいりました。入居者様を全人的に見つめ、その方らしい生活を送ることができますよう、支援してまいりました。

入居者様の状況ですが、令和5年度の新規長期入居者様は要介護3～5の方で32名となりました。長期入居者の平均介護度は4.30となっており、昨年の4.28より重度化が進んでいることがわかります。

全国的に少子高齢化、人口減少が進行しており、大船渡市の高齢化は全国平均よりもさらに早いペースで進行しております。令和7年（2025年）にはいわゆる団塊の世代（昭和22年～24年生まれ）がすべて75歳以上の後期高齢者になるなどの高齢者人口のピークを迎えます。これからはさらに要介護者、認知症高齢者、一人暮らしの方が増加することが見込まれますが、高齢者施設の役割はさらに質の高いケアを提供することにあると考えます。故山崎シゲ会長が身をもって私たちに教え導いてくださった「山崎シゲ会長の10項目の哲学」。会長は常に前を向き、入居者様を大事に大事に思い、もともととできることはないのかと常に模索されておりました。「心を手にして、心を声にして、心を行動にして、とことんとことん相手の身になってお世話する」職員ひとりひとりが会長の教えを胸に刻み、これからの成仁ハウス百年の里のケアに根付かせそして継承していき、地域に根差した選ばれる施設を目指し職員一丸となって取り組んでまいります。

特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里
施設長 山崎 和彦

1 各課の事業実施状況

(1) 総務部 総務課

総務課は成仁会が運営する施設間の連絡調整や、各部署との連携を図り、円滑な施設運営が出来るよう職務にあたり、また入居者様の尊厳を支えるケアの徹底を図るため、細部にわたり入居者様や、そのご家族様のニーズに沿った質の高いサービスを提供できるよう尽力した一年となった。

窓口業務を遂行するに当たっては、施設の顔であることを念頭に置き、「笑顔で挨拶」「感謝の言葉、ありがとうございます」を笑顔で！を忘れず、明るく、心のこもった話しやすい対応を心掛け、日々の業務に努めた。

また、昨今の感染症流行の予防対策に際しては、面会にいらしたご家族様や、来客等への声掛けには細心の注意を払い、検温、手洗いうがいを実施し施設内の感染予防に努めた。

事務業務においては、透明性・公平性が求められる中で、毎月適正な業務を進め、積極的に研修会に参加し、知識の向上を図った。また、財務会議を行い各施設の財務状況の把握、安全な施設運営に努めた。

職員の資質向上に関しては、介護の知識や技術の習得、資格取得に向けて予算措置を行い資格取得のための支援、勉強会を実施し人材育成に努め、本年も資格取得者を多く輩出した。

長年の経験から生まれた「成仁ハウス百年の里」のハードを大切に、「救う」という創業者精神の下、入居者様やご家族、職員やその家族を思い合い「相手の身になって」を念頭に置きながら何事にも感謝する気持ちを持ち、邁進する一年だった。今後ますます高齢化が進み、地域からの期待も大きくなることが予想される現在、選ばれる施設を目指し、事業所内にととまらず、地域共生社会の実現に向け、地域との連携に務めていく必要があると考える。

(2) 事業部 生活相談課

生活相談課はご入居者がその人らしい生活を送ることができるよう、各部署との連携を図る役割を担い活動してきた。実態調査においては、詳しく聞き取りを行い、ご家族の協力の下、人生写真を提供していただくことで、その方のこれまでの人生を念頭に置きながらお世話させていただくことが実践できた。また長期入居となった際には、改めてご本人やご家族に詳しく聞き取りを行い、各部署と情報共有を行ったことでより深く理解することにつながることができた。その情報を基にケースカンファレンスではご本人、ご家族の要望を踏まえ、尊厳を支えるパーソナルケアプランを立案し、日々のケアに活かすことができた。今年度の新規長期入居者は32名であり、要介護度3～5の方で緊急度の高い方から円滑に入居していただいている。長期入居者の平均介護度は、昨年度4.28から今年度4.30となっており、重度化が進んでいる状況である。長期入居者の入院合計日数は420日と、昨年度より126日と多く、一昨年度と比較しても276日も増えていることから、医療との連携がますます必要となっていることが浮き彫りとなった。

12月後半には、3階の2ユニットで新型コロナウイルスのクラスターが発生、翌1月には2階の2ユニットでも新型コロナが発生し、ご入居者21名、職員9名が陽性となった。終息までに1か月半を要したが、施設一丸となって対応に当たった結果、協力ユニット以外への感染拡大を防止することができ、重大な結果とはならず収束することができた。感染症が落ち着いている期間は、予約制での面会を実施し、面会制限を余儀なくされた時期でも、電話やSNSを使っただご家族との交流や、昨年からは始まったミニアルバムの発送などを通して、ご家族との絆を維持することができたと考えている。

国保連請求及び利用料請求については法的根拠に基づき毎月算定要件を確認し、確実な請求業務を遂行することができた。骨折事故は2件発生しているが、いずれも早期に受診対応を行い、保険者にも報告している。苦情についてはなく、感謝のお手紙などが寄せられている。

社会情勢に則してコロナ対策を行いながら、ご入居者がその人らしく生活できるよう各課と連携を図り、尊厳を保持する介護の実践に努めていき、令和6年度介護報酬改定についても法令遵守するよう適宜整備していく。

利用者実績

今年度の稼働率は、長期入居98.6%（前年度99.0%）、短期入居112.6%（前年度112.2%）、合算稼働率は101.4%（前年度101.6%）であった。新型コロナまん延に伴うショートステイ事業の一時受け入れの中止、長期入居者の入院実績が420ベッド（前年度294ベッド）と126ベッド多かった中でも、各居宅事業所やご家族様への声掛けを密に行い、前年度と同水準の稼働率を維持できた。また、緊急的に利用せざるを得ない様々な事情による短期入所の受入れ相談も多くみられ、その都度、各関係機関と迅速に連携を図りながら対応することができた。

【長期入所】 ※各月実績は利用延べ人数

（単位：人）

提供月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	利用ベッド数	ベッド定数	稼働率	入院外泊
令和5年4月	0	0	120	1509	874	4.3	2503	2520	99.3%	17
令和5年5月	0	0	95	1610	852	4.3	2557	2604	98.2%	47
令和5年6月	0	0	81	1574	837	4.3	2492	2520	98.9%	28
令和5年7月	0	0	81	1678	798	4.3	2557	2604	98.20%	47
令和5年8月	0	0	62	1657	830	4.3	2549	2604	97.9%	55
令和5年9月	0	0	50	1638	821	4.3	2509	2520	99.6%	11
令和5年10月	0	0	62	1626	894	4.3	2582	2604	99.2%	22
令和5年11月	0	0	60	1558	883	4.3	2501	2520	99.2%	19
令和5年12月	0	0	69	1529	950	4.3	2548	2604	97.8%	56
令和6年1月	0	0	66	1482	991	4.3	2539	2604	97.5%	65
令和6年2月	0	0	87	1476	863	4.3	2426	2436	99.6%	10
令和6年3月	0	0	98	1523	940	4.3	2561	2604	98.3%	43
合計	0	0	931	18860	10533	4.30	30324	30744	98.6%	420
介護度別比率	0.0%	0.0%	3.1%	62.2%	34.7%					

【短期入所】 ※各月実績は利用延べ人数

（単位：人）

提供月	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	平均介護度	利用ベッド数	ベッド定数	稼働率
令和5年4月	0	40	115	284	151	112		3.3	702	630	111%
令和5年5月	4	58	115	332	163	66		3.1	738	651	113%
令和5年6月	0	46	124	299	169	55		3.1	693	630	110%
令和5年7月	0	61	127	290	154	89		3.1	721	651	111%
令和5年8月	0	54	148	283	144	130		3.2	759	651	117%
令和5年9月	0	42	135	243	115	150		3.3	685	630	109%
令和5年10月	0	47	157	274	165	80		3.1	723	651	111%
令和5年11月	0	48	163	242	184	67		3.1	704	630	112%
令和5年12月	0	59	161	230	186	125		3.2	761	651	117%
令和6年1月	0	65	166	292	169	42		2.9	734	651	113%
令和6年2月	0	47	143	222	203	62		3.1	677	609	111%
令和6年3月	0	39	140	262	252	62		3.2	755	651	116%
合計	4	606	1694	3253	2055	1040		3.14	8652	7686	112.6%
介護度別比率	0.0%	7.0%	19.6%	37.6%	23.8%	12.0%					

【算定加算・長期入所】

日常生活継続支援加算（Ⅱ）※46単位	看護体制加算（Ⅰ）ロ※4単位	看護体制加算（Ⅱ）ロ※8単位
夜勤職員配置加算（Ⅱ）ロ※18単位	処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）
ベースアップ等支援加算		

【算定加算・短期入所】

看護体制加算（Ⅲ）イ※12単位	看護体制加算（Ⅳ）イ※23単位	夜勤職員配置加算（Ⅱ）※18単位
サービス提供体制強化加算（Ⅲ）※6単位	緊急短期入所受入加算※90単位	処遇改善加算（Ⅰ）
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）	ベースアップ等支援加算	

【実費負担について】 ※年間平均

長期	延べ利用者数における利用者負担額4段階以上の割合	35.3% (前年44.1%)
短期	延べ利用者数における利用者負担額4段階以上の割合	61.5% (前年61.4%)

食費（1日）	食費（1日）	1,445円	居住費（1日）	2,006円
--------	--------	--------	---------	--------

※1日利用の場合、長期・短期共に上記金額。

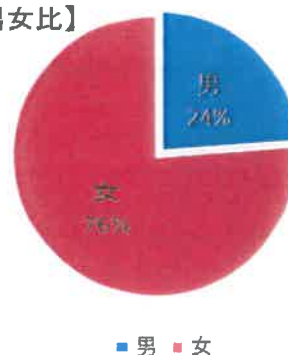
入居者の状況

令和5年度末現在で、気仙地区から83名、管外は釜石市1名の入居となっている。また、入居者の男女比及び平均年齢は前年度と概ね変わらず、男性入居者の最高年齢は97歳、最低年齢は81歳、女性入居者においては、最高年齢が102歳、最低年齢は69歳、全体の平均年齢は90.7歳（前年度90.2歳）となっている。

(1) 市町村別入居者の状況（令和6年3月31日現在）

保険者名	男	女	計
合計	20	64	84
大船渡市	20	62	82
陸前高田市	0	1	1
釜石市	0	1	1

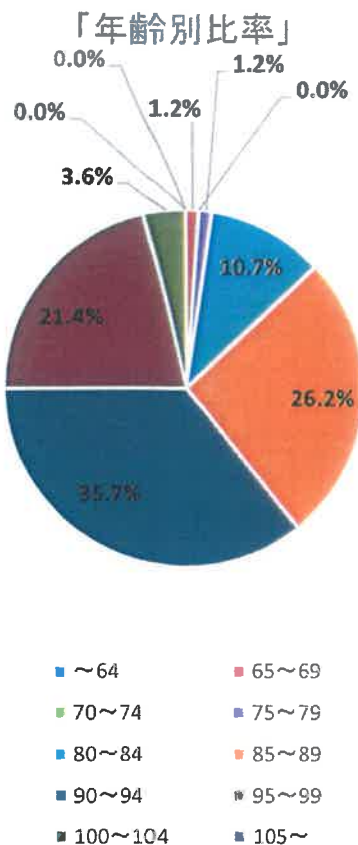
【男女比】



(単位：人)

(2) 年齢別状況（令和6年3月31日現在）

年齢区分	男	女	計
～64	0	0	0
65～69	0	1	1
70～74	0	0	0
75～79	0	1	1
80～84	3	6	9
85～89	9	13	22
90～94	4	26	30
95～99	4	14	18
100以上	0	3	3
計	20	64	84
最高	97歳	102歳	
最低	81歳	69歳	
平均	89.4歳	91.1歳	90.7歳



(単位：人)

入退居の状況

今年度は新規入居者32名（前年度13名）、退居者が32名（前年度14名）であり、前年度と比較し倍増であった。今年度の新規入居者32名のうち要介護度4及び5の入居者が27名であり、日常生活継続支援加算の算定にもつながっている。また、退居の内訳は、26名が施設にてお亡くなりになられた方、4名が病院で永眠された方、2名が長期入院のため退居となっている。

【入居者】

No	入居年月日	氏名	介護度	保険者
1	令和5年4月5日	S/M様	4	大船渡市
2	令和5年4月16日	C/K様	4	大船渡市
3	令和5年5月3日	H/T様	5	大船渡市
4	令和5年5月15日	M/N様	4	大船渡市
5	令和5年5月30日	S/M様	3	大船渡市
6	令和5年6月1日	O/T様	5	大船渡市
7	令和5年6月20日	S/H様	4	大船渡市
8	令和5年6月22日	K/E様	4	大船渡市
9	令和5年6月28日	N/K様	4	大船渡市
10	令和5年7月1日	M/M様	5	大船渡市
11	令和5年7月16日	S/S様	4	大船渡市
12	令和5年8月15日	U/T様	4	大船渡市
13	令和5年9月3日	O/K様	3	大船渡市
14	令和5年9月20日	C/K様	5	大船渡市
15	令和5年9月27日	N/T様	5	大船渡市
16	令和5年10月6日	K/T様	5	大船渡市
17	令和5年11月10日	E/S様	4	大船渡市
18	令和5年11月20日	O/K様	5	大船渡市
19	令和5年12月6日	M/F様	4	大船渡市
20	令和5年12月10日	K/K様	4	大船渡市
21	令和5年12月25日	S/Y様	5	大船渡市
22	令和5年12月25日	S/F様	3	大船渡市
23	令和5年12月28日	K/K様	5	大船渡市
24	令和6年1月5日	N/Y様	5	大船渡市
25	令和6年1月15日	T/M様	5	大船渡市
26	令和6年1月20日	S/Y様	4	大船渡市
27	令和6年1月22日	T/K様	4	大船渡市
28	令和6年1月28日	T/S様	3	大船渡市
29	令和6年1月31日	M/K様	4	大船渡市
30	令和6年2月23日	N/H様	4	大船渡市
31	令和6年3月17日	K/O様	5	大船渡市
32	令和6年3月27日	N/Y様	3	大船渡市

【退去者】

No	退居年月日	氏名	介護度	保険者
1	令和5年4月4日	K/N様	5	大船渡市
2	令和5年4月15日	T/T様	4	大船渡市
3	令和5年5月2日	F/I様	4	大船渡市
4	令和5年5月14日	S/Y様	4	大船渡市
5	令和5年5月29日	K/K様	4	大船渡市
6	令和5年5月31日	S/H様	5	大船渡市
7	令和5年6月19日	S/M様	3	大船渡市
8	令和5年6月21日	Y/M様	4	大船渡市
9	令和5年6月27日	Y/R様	5	大船渡市
10	令和5年7月1日	N/T様	5	大船渡市
11	令和5年7月15日	Y/T様	4	大船渡市
12	令和5年8月14日	I/Y様	5	大船渡市
13	令和5年9月2日	S/N様	4	大船渡市
14	令和5年9月19日	H/S様	4	大船渡市
15	令和5年9月26日	H/T様	5	大船渡市
16	令和5年10月5日	S/S様	4	大船渡市
17	令和5年11月9日	T/K様	5	大船渡市
18	令和5年11月19日	S/S様	4	大船渡市
19	令和5年12月5日	T/N様	4	大船渡市
20	令和5年12月9日	S/T様	4	大船渡市
21	令和5年12月24日	I/N様	4	大船渡市
22	令和5年12月24日	T/S様	4	大船渡市
23	令和5年12月27日	S/F様	5	大船渡市
24	令和6年1月4日	S/S様	4	大船渡市
25	令和6年1月14日	M/F様	4	大船渡市
26	令和6年1月19日	O/T様	5	大船渡市
27	令和6年1月21日	M/M様	5	大船渡市
28	令和6年1月27日	T/H様	4	大船渡市
29	令和6年1月30日	T/Y様	5	大船渡市
30	令和6年2月22日	K/R様	4	大船渡市
31	令和6年3月16日	T/T様	4	大船渡市
32	令和6年3月26日	K/K様	5	大船渡市

入退院の状況（令和5年度）

各課連携のもと、日々の入居者の状態観察、健康管理を行い、嘱託医である山崎内科医院の山崎医師には週2回の回診も行っていただいている。また、入院治療が必要と判断される場合には、本人・家族の意向を重視しながら、協力病院である岩手県立病院と連携を取り、円滑な対応ができています。

	氏名イニシャル	入院先名（診療科名）	病名	入院日	退院日
1	T・T様	大船渡病院 外科	盲腸軸捻転 (腸閉塞)	令和5年4月4日	令和5年4月15日 ※病院にて死去
2	N・N様	大船渡病院 泌尿器科	急性腎盂腎炎	令和5年4月7日	令和5年4月14日
3	S・H様	大船渡病院 泌尿器科	気腫性膀胱炎 誤嚥性肺炎	令和5年5月1日	令和5年5月31日 ※転院予定のため退所
4	M・K様	大船渡病院 泌尿器科	腎性貧血	令和5年5月11日	令和5年5月18日
5	K・K様	大船渡病院 内科	誤嚥性肺炎	令和5年5月18日	令和5年5月29日 ※転院予定のため退所
6	W・R様	大船渡病院 内科	胆管炎	令和5年6月7日	令和5年7月13日
7	S・M様	大船渡病院 救急科	高浸透圧性高血糖	令和5年6月14日	令和5年6月19日 ※病院にて死去
8	N・K様	大船渡病院 内科	胆管炎	令和5年7月14日	令和5年8月3日
9	K・S様	大船渡病院 外科	腸閉塞	令和5年7月23日	令和5年8月10日
10	M・M様	大船渡病院 救急科	尿路感染 敗血症性ショック	令和5年7月23日	令和5年8月22日
11	T・H様	大船渡病院 内科	急性胆管炎	令和5年7月29日	令和5年8月10日
12	K・S様	大船渡病院 外科	腸閉塞	令和5年8月17日	令和5年9月4日
13	O・K様	大船渡病院 内科	虚血性腸炎	令和5年9月4日	令和5年9月14日
14	I・S様	大船渡病院 救急科	直腸がん 誤嚥性肺炎	令和5年10月10日	令和5年10月31日
15	K・S様	大船渡病院 外科	腸閉塞	令和5年10月17日	令和5年10月20日
16	T・K様	大船渡病院 内科	肺炎、心不全、脱水	令和5年11月2日	令和5年11月9日 ※病院にて死去
17	T・N様	大船渡病院 外科	右肺がん 腸閉塞	令和5年11月18日	令和5年12月5日 ※病院にて死去
18	T・M様	大船渡病院 外科	右慢性硬膜下血腫	令和5年12月6日	令和5年12月14日
19	S・M様	大船渡病院 救急科	うっ血性心不全	令和5年12月9日	令和5年12月27日
20	K・K様	大船渡病院 内科	急性肺炎、橋本病	令和5年12月13日	令和6年1月11日
21	T・F様	大船渡病院 循環器内科	発作性上室性頻拍	令和5年12月22日	令和5年12月28日
22	E・S様	大船渡病院 循環器内科	慢性心不全、肺炎	令和5年12月27日	令和6年1月10日
23	S・M様	大船渡病院 循環器内科	慢性心不全、慢性腎不全	令和6年1月4日	令和6年1月29日
24	O・K様	大船渡病院 脳神経外科	てんかん	令和6年1月12日	令和6年1月19日
25	M・N様	大船渡病院 泌尿器科	尿路感染症	令和6年1月22日	令和6年1月30日
26	O・S様	大船渡病院 内科	誤嚥性肺炎	令和6年1月23日	令和6年2月8日
27	O・T様	大船渡病院 内科	黄疸、肝硬変	令和6年2月26日	入院中 (3/31時点)
28	K・S様	大船渡病院 外科	癒着性腸閉塞	令和6年3月12日	令和6年3月25日

令和6年3月31日時点

入退所検討委員会

各施設代表が集まり、法人合同での検討委員会を開催することで、入居希望者についての情報共有や、各施設の現状を確認することができ、入居待機者のより円滑な施設入居に向けた検討を行うことができた。

1. 入退所検討委員会会議

回数	年月日	参加事業所
第1回	令和5年5月10日	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいちの郷
第2回	令和5年7月20日	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいちの郷
第3回	令和5年9月29日	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいちの郷
第4回	令和5年12月21日	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいちの郷
第5回	令和6年2月8日	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいちの郷

令和5年度の入退所検討委員会の開催は5回であった。また、在宅復帰のための退去となりうる対象者は

2. 令和4年度新規長期入所者

令和4年度の新規入所者は26名のうち、要介護4・5の重度者の入所が23名であった。これにより、年間を通して、日常生活継続支援加算（1日46単位）の算定ができた。

年月	新規入所人数 (①)	①のうち要介護4・5の人数	①のうち要介護4・5の占める割合
令和5年4月	2	2	100.0%
令和5年5月	3	2	66.7%
令和5年6月	4	4	100.0%
令和5年7月	2	2	100.0%
令和5年8月	1	1	100.0%
令和5年9月	3	2	66.7%
令和5年10月	1	1	100.0%
令和5年11月	2	2	100.0%
令和5年12月	5	4	80.0%
令和6年1月	6	5	83.3%
令和6年2月	1	1	100.0%
令和6年3月	2	1	50.0%
合計	32	27	84.4%

令和5年度末における待機登録者数	145人
------------------	------

(3) 事業部 介護課

令和5年度も、地域の感染症の状況に注視しながらの生活だったが、入居者様が日々の生活に楽しみを感じ、その方らしい生活の継続をするためにはどのようにしたら良いのか、試行錯誤しながらケアを実践し、行事や活動も実行できた。

感染対策の徹底を心がけ、業務にあたっている中でも、入居者様や職員に感染症の陽性者が出てしまったが、皆の協力のもとでの勤務調整とPPE対応を即座に行い、感染の拡大を防ぐための対応・対策を取る事ができ、感染エリアを協力ユニット内で最小限に抑えこむことができた。職員の感染防止に対する対応力が上がっていることが実感できた。

感染症流行下であったため、面会については、テレビ電話での面会や、定期的に職員から電話にて入居者様の近況を報告し、入居者様の生活の様子を収めた写真をミニアルバムの台紙に貼って郵送することを継続し、ご家族との繋がりが途切れない様にできた。

施設行事・活動では、例年行っていることにこだわることなく、その時の状況に適した環境、方法で企画し、入居者様に楽しんでいただくことができた。行事、活動の反省点などを出勤職員で集まり話し合う時間をその日のうちに設けたことが、その後の行事、活動を円滑に行う事に繋がったと考える。

食事、排泄などの入居者様の日々の暮らしの様子を記録に残すこと、常に各職種が入居者様の情報を共有することができるようにすることを必須事項とし、カンファレンスやミーティングの場で、その方が望まれる生活をより豊かなものにするためにはどのようなケアが必要であるかを話し合い、その内容を日々のケアに反映することができた。

前年度に続き、入居者様の身体機能等の状態を把握するための手法として、通常用いられているBI評価表を埼玉医科大学と共同で改良した「YESNOシート」を使用し、定期的に入居者様の状態を把握し、記録の上でもその情報を更新することで、入居者様にあったケアを考える事ができた。

今後も、創業者精神である「救う」の言葉をもって、先輩職員が後輩職員に創業者の思いを伝えていきながら、職員一丸となって入居者様のケアに取り組み、より良い生活をおくれるよう努力していきたいと考えます。

入居者の介護状況

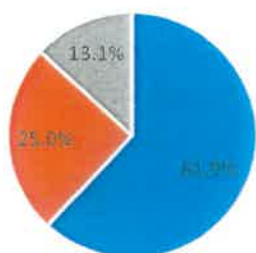
今年度、長期入所の平均介護度は4.30（※前年度4.28）となっており、要介護4、5の方が96.9%（※前年度95.2%）以上となっている。1日の暮らしの中で、入居者が何かしらの介助を必要とする場面は、高い割合を占めている。一方、短期入所は、介護度、利用期間等も様々であり、「実調シート」を元に状態の把握に努め、多様なニーズに沿った援助を心掛けている。

「バーセルインデックス」の評価様式により、入居者おひとりおひとりのADL評価を行っている。評価時のズレは介護課内では無くなってきており、他部署とのカンファレンスを通じてバーセルインデックスを一致させていくことが、科学的根拠を持ったケアの統一へも繋がると考え、介護課に限らず他部署でも積極的に取り組むことができている。

令和6年3月31日現在

【食事】 「単位：人」

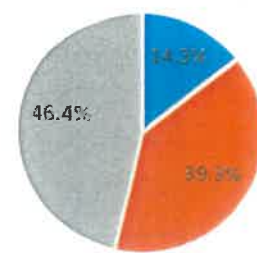
自立	一部介助	全介助
52	21	11



■ 自立 ■ 一部介助 ■ 全介助

【排泄】 「単位：人」

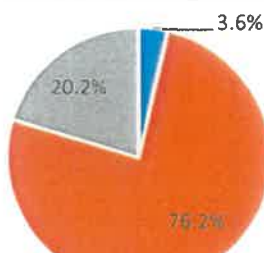
自立	一部介助	全介助
12	33	39



■ 自立 ■ 一部介助 ■ 全介助

【入浴】 「単位：人」

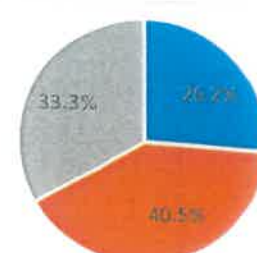
自立	一部介助	全介助
3	64	17



■ 個浴 ■ リフト浴 ■ 特殊浴

【起座】 「単位：人」

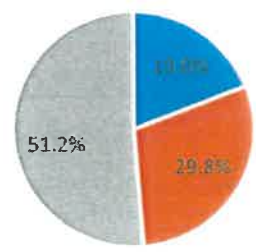
自立	一部介助	全介助
22	34	28



■ 自立 ■ 一部介助 ■ 全介助

【移動】 「単位：人」

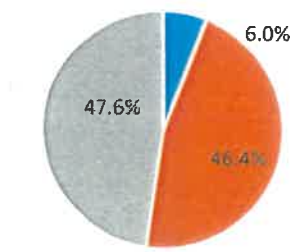
自立	一部介助	全介助
16	25	43



■ 自立 ■ 一部介助 ■ 全介助

【着脱】 「単位：人」

自立	一部介助	全介助
5	39	40



■ 自立 ■ 一部介助 ■ 全介助

行事实施状況

感染予防継続しており、主に施設内での各種行事の開催となった。

ユニット単位での開催が主としながらも、創意工夫をしながら、季節を感じられるような行事を企画・開催し、外部からの慰問受入れもすることができた。

	行事概要		行事概要
4月	花まつり	9月	敬老会
	観桜会		十五夜お月見
5月	赤沢剣舞来訪	10月	百年畑かぼちゃ収穫祭
	大畑トモへ様100歳セレモニー		札幌権現様見学
	百年畑種まき		元気ハツラツミニゲーム大会
	藤棚見学		静月書院・楽書展見学
	さつき展示会		大沢桃子ミニコンサート
	母の日イベント (メッセージカード)		相撲甚句ご披露
6月	蔵ハウス運動会参加	11月	紅葉バスハイク
	父の日メッセージカード		百年の里文化祭
7月	百年の里大運動会	12月	クリスマス忘年会
	七夕飾り		IBCラジソン来訪
8月	石川県輪島キリコ太鼓		
	納涼祭	1月	水木団子作り
	百年畑枝豆収穫祭	2月	節分豆まき
	迎え火・送り火		バレンタインフェア
	前田鹿踊り来訪	3月	ひな祭り
	県知事・県議不在者投票		土田英順様チェロ演奏会

(4) 事業部 看護課

令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが2類相当から5類に移行となり、法的な感染対策の制限が解かれた中、高齢者介護施設として入居者様が安心して暮らせるよう、ワクチンの6回・7回追加接種を実施し、市内の感染情報の収集に努め、常に危機感を持って協議対応した。11月から2月にかけて施設内で新型コロナクラスターが発生したが、各課連携のもと、PPE対応と空間を防火シャッターで遮断するなどし、協力ユニット以外に波及することなく感染を最小限に抑え込むことができたと考える。

職員の新型コロナ抗原検査を週2回実施し、未然防止に努めることができた。なお、今年度は冬季に入りインフルエンザA型の流行、春先までインフルエンザB型も流行したが、入居者様への罹患はなく経過した。

入居者の平均年齢は90.7歳と微増だが高齢化しており、平均介護度は4.3と重度化で推移していることもあるが、他科受診及び入院が多くあった。嘱託医の山崎内科医院とは密な状態連携を図り、24時間365日対応でスムーズな受診を行うことができた。

1年を通して計32名の入居者様の退所があり、うち26名が施設での看取りとなった。看取り期に入られた皆様について、ご家族様への細やかな状態報告や嘱託医との意向確認を行い、終末期においてできる限りの面会を行うことができた。なお、入院後に病院で永眠された方が4名、長期入院が見込まれる方の2名の退所があった。

ラジオ体操を毎日実施し、インターネットでのオンラインレク活動を毎週行った。介護課、生活相談課と連携して定期的なBI評価を行い、理学療法士の指導の下での歩行訓練等の実施、ベッド上でのポジショニング指導等を随時実施し、機能低下予防と褥瘡予防にも努めた。

万全な準備のもとでお餅の提供も実施し、事故なく皆様に召し上がっていただけた。

嘱託医による職員健診も円滑に実施でき、外部機関の予防医学協会による健診も準備段階から健診当日まで密な情報共有を行うことができた。健診結果をもとに健康指導も行った。

①健康管理状況

(1) 入居者疾患状況 (延べ人数)

男女の別	脳血管障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	糖尿病	認知症	精神疾患	心疾患	消化器疾患(便秘含)	眼疾患	皮膚疾患	泌尿器系	呼吸器系	骨粗鬆症等整形外科等	悪性新生物	新型コロナ(既往)	その他	計
男	13	8	0	5	5	1	7	5	7	1	10	4	8	7	9	8	98
女	22	29	2	9	25	9	17	28	22	6	8	9	42	11	17	21	277
計	35	37	2	14	30	10	24	33	29	7	18	13	50	18	26	29	375

(2) 医療的処置

男女の別	経管栄養		インシュリン注射	糖尿・日内変動	眠剤管理	VPシヤント	ベイスメーカ	人工肛門	膀胱瘻	バルンカテーテル
	経鼻	胃瘻								
男	0	0	0	6	2	0	1	0	0	4
女	2	1	2	12	16	0	3	1	1	3
計	2	1	2	18	18	0	4	1	1	7

(3) 予防接種状況

入居者	・10/17~11/7 インフルエンザ予防接種	80
	・随時 肺炎球菌ワクチン (ニューモバックス)	0
	・6/13~7/4 オミクロン対応コロナワクチン (追加接種) 6回目	78
	・10/2~1/17 コロナワクチン(秋接種) 7回目	83
職員	・10/2~11/18 インフルエンザ予防接種	72
	・6/13~7/4 オミクロン対応コロナワクチン (追加接種) 6回目	84
	・10/2~1/17 コロナワクチン(秋接種) 7回目	88

(4) 嘱託委回診状況

- ・回診日 週2回(火曜日、木曜日) ・時間 17:00~18:00 急変時は随時往診
- ・回診日以外は14:30電話報告(土曜日は10:30)

(5) 健康診断実施状況

対象者	実施年月日	内容	人数
入居者	4月1日~30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	84
	10月1日~30日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	84
	4月1日~7月31日	山崎内科医院による胸部写真撮影	84
職員	5月1日~5月31日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、視力、聴力	67
		採血、胸部写真(妊娠中の者除く)	67
	11月24日・25日	一般健診、便潜血※胃透視、子宮がん、乳がん (対象年齢あり) 予防医学協会	68

(5) 栄養管理室

百年の里はユニット型の施設であることから、ユニットケアの目指すところである「暮らしの継続」を食事の面から実践するべく、開所時から継続してユニットでの炊飯やみそ汁づくりを介護職員が実施している。

今年度も美味しく・楽しく食事をして頂けるよう、季節に応じた行事食やイベントの他、選択食を積極的に取り入れた。選択食は「その場で選ぶ」ということを念頭におきながら、年間を通して実施することができた。その他に、委託業者と連携しながら、昼食のメニューをバリエーションに富んだ内容で提供したり、日本全国のご当地グルメを提供したり、入居者と一緒に調理を行うなどの食事レクも実施したり、普段とは違った雰囲気の中で味だけでなく目で、香りで食事を楽しんで頂けるようサービスを行った。来年度以降も継続し、実施回数を増やしていけるよう取り組んでいきたい。

また、一人ひとりがその人らしく穏やかに生活できるよう栄養の面からのサポートを行ってきた。個別の栄養ケアマネジメントの遂行にあたり、毎月の体重・食事量のモニタリングを行いながら、日々の食事状況や状態の変化を観察し、個人の栄養状態の把握に努めた。状態の低下がみられる場合には、他職種と連携して提供内容(食形態や提供量など)の見直しを臨機応変に行い、食事量・栄養状態の安定を図った。その他、嗜好調査などをもとに個々の嗜好・要望の把握を行い、可能な限りの個別ケアに取り組むことができた。

調理業務においては、安全で美味しい食事の提供を第一に、大量調理施設衛生マニュアルを遵守し、厨房内の衛生管理を徹底して行った。自己の健康管理にも十分留意し、厨房からの感染症の発生を防いだ。

委託業者を交えた給食委員会を毎月開催し各職種・委託業者から意見を出し合い、より良い食事提供・円滑な給食運営に努めてきた。残食調査を実施し日々の献立作成・食事提供内容へのフィードバックを行い、食事に対する満足度を向上させることに努めた。

行事食等提供状況

実施日	内 容	
4月 6日 7日 11日 25日 29日	日本全国グルメの旅(宮城・おくずがけ) 花まつり 日本全国グルメの旅(鳥取・大山おこわ) 観桜会・井物の選択食(海鮮丼・春野菜のかき揚げ丼) 日本全国グルメの旅(鹿児島・さつますもじ)	 海鮮丼・春野菜のかき揚げ丼
5月 1日 5日 9日 14日 18日 25日	開所記念・お祝い膳 端午の節句(かしわ餅) 日本全国グルメの旅(東京・深川めし) 母の日メニュー おにぎりの選択食(みそ・枝豆と塩昆布・梅) 日本全国グルメの旅(長崎・長崎ちゃんぽん)	 開所記念・お祝い膳
6月 7日 16日 18日 21日 27日	日本全国グルメの旅(石川・ハントンライス) 日本全国グルメの旅(宮城・ずんだ白玉) 父の日メニュー 高級フルーツの日(佐藤錦とメロンの盛り合わせ) 日本全国グルメの旅(福井・越前おろしそば)	 高級フルーツの日

実施日	内 容	
7月 7日	七夕(七夕そうめん)	土用の丑の日
12日	運動会・お弁当	 運動会お弁当
20日	日本全国グルメの旅(宮崎・レタス巻き)	
25日	日本全国グルメの旅(岡山・えびめし)	
30日	土用の丑の日(うなぎの蒲焼)	
8月 7日	ななか日(あずきぼっと)	 納涼祭
8日	百年の里・納涼祭	
13~15日	お盆メニュー	
17日	日本全国グルメの旅(沖縄・タコライス)	
22日	日本全国グルメの旅(愛知・天むす)	
9月 9日	重陽の節句	 敬老会・お祝い膳
15日	敬老会・お祝い膳	
18日	おちつきランチ(くるみもち・うどん汁)	
23日	秋分の日(おはぎ)	
25日	日本全国グルメの旅(熊本・だご汁)	
29日	十五夜(栗ご飯・さんまの塩焼き)	
10月 9日	スポーツの日メニュー	 秋田きりたんぼ
13日	さつまいもの日(さつまいものかき揚げ丼)	
15日	きのこの日メニュー	
17日	日本全国グルメの旅(栃木・五目飯)	
19日	おにぎり選択食(梅・高菜・鮭)	
26日	日本全国グルメの旅(秋田・きりたんぼ)	
27日	ミニゲーム大会(おやつ:栗パバロア)	
31日	ハロウィンメニュー	 お寿司
11月 3日	文化の日メニュー	 はらこ飯
11日	日本全国グルメの旅(宮城・はらこ飯)	
15・16日	寿司の日	
19日	ピザの日	
23日	勤労感謝の日	
28日	日本全国グルメの旅(愛知・味噌煮込みうどん)	

実施日	内 容
12月 7日 12日 19日 24・25日 28日 31日	日本全国グルメの旅(岩手・がんづき) 日本全国グルメの旅(福岡・明太子おにぎり) クリスマス忘年会 クリスマスメニュー もちつき会 年越メニュー  クリスマスメニュー
1月 1～3日 4日 5日 7日 11日 15日 17日 22日 25日	お正月(お節・餅 他) 年頭のあいさつの日 もちの日 七草粥 おしるこ団子 小正月・水木団子作り おむすびの日・おにぎり選択食 高級スイーツの日(レアチーズケーキ) 日本全国グルメの旅(青森)せんべい汁  お正月 お節料理
2月 3日 9日 11日 14日 20日 23日 28日	節分(恵方巻) 日本全国グルメの旅(沖縄・ちんびん) 建国記念日 バレンタインデー 日本全国グルメの旅(岩手・海鮮丼・ぬっぺい汁) 天皇誕生日 日本全国グルメの旅(石川・とり野菜みそ鍋風)  日本全国グルメの旅(岩手)
3月 3日 7日 12日 14日 20日 28日	ひな祭り さかなの日・日本全国グルメの旅(和歌山・しらす丼) 日本全国グルメの旅(大阪・鮭の粕汁) ホワイトデー 春分の日(ぼたもち) 日本全国グルメの旅(愛媛・八幡風ちゃんぽん)  和歌山・しらす丼
<定期的に提供する行事食> ○各種選択食:月2～3回 ○ユニット食事レク:月1回	

広報委員会

令和5年度は、大きな行事も感染対策を行った上で実施することができ、ユニット内でのイベントもさまざまに行い広報誌の内容も充実したように思う。

広報誌も毎月発行となったが委員も作成するペースを掴み順調に取り組むことができた、また、ユニット毎で個人と行事毎のファイルを作成しデスクトップに貼り付け写真管理を行った、それを基にミニアルバム作成もスムーズに行えているので今後も継続していく。

来年度は、並行して写真展示コーナーも更新していけるよう作成していく。今後もホームページを活用し行事や日常等の写真を定期的に掲載していきたい。

	年月日	開催内容	活動内容
第1回	4月17日	令和5年活動内容	広報誌発行に伴う、ページの割り振り、活動内容の目的について 写真掲示コーナー、ホームページについて
第2回	7月25日	ホームページについて	ホームページ専用のUSBにて随時各ユニットのイベント内容（報告書を基に）を入れ込み事務所に提出
広報誌	5月29日	広報誌4月号発行	・辞令交付式、新規採用職員研修、ご寄贈（アルコールとマスク）、成仁（花祭り）富祥（花祭り、観桜会）老福（観桜会、バスハイク）心和（花祭り）愛幸（観桜会）、今月のワンショット（リーダー会議、防災訓練、第24代つばき娘）
	6月26日	広報誌5月号発行	・満100歳（大畑トモエ様）、東北医科薬科大学生実習、監事監査、さつき展、成仁（藤棚バスハイク、母の日）富祥（藤棚バスハイク）老福（母の日）心和（母の日）愛幸（藤棚バスハイク）今月のワンショット（百年の畑作り）
	7月28日	広報誌6月号発行	・法人理事、監事、評議員3名退任、夏季賞与支給、理事会、成仁（父の日、居酒屋）富祥（父の日）老福（おやつレク）心和（父の日）愛幸（おやつレク）、今月のワンショット（蔵運動会参加、コロナワクチン接種、風船パレー）
	8月28日	広報誌7月号発行	・大運動会、案くれつと研究会開催、退職者辞令交付、理事会、成仁（運動会）富祥（運動会）老福（七夕飾り）心和（運動会）愛幸（七夕飾り）、今月のワンショット（内部研修、消防訓練、七夕飾り）
	9月25日	広報誌8月号発行	・枝豆収穫、特定技能職員3名入社、成仁（納涼祭）富祥（あんみつ作り）老福（納涼祭）心和（納涼祭）愛幸（納涼祭）、今月のワンショット（迎え火送り火、消防訓練、不在者投票）
	10月30日	広報誌9月号発行	・敬老会、全ユニット（敬老会）、グループホームさくら亭安全祈願祭、特定技能職員2名入社、今月のワンショット（オンラインレク、習字クラブ、十五夜団子作り、お祝い膳試作会、理事会）
	11月27日	広報誌10月号発行	・楽書展、YouTubeクリエイターウォーカー様、ご寄贈（タオル、バスタオル）特定技能職3名入社、成仁（大沢桃子さんミニコンサート、ミニゲーム大会）富祥（ミニゲーム大会）老福（文化祭作品作り）心和（おやつレク）愛幸（お月見）今月のワンショット（かぼちゃ収穫、ミニコンサート、ミニゲーム大会）
	12月27日	広報誌11月号発行	・相撲甚句、優良従業員表彰授賞、成仁（日常生活）富祥（お寿司の日）老福（お寿司の日、おやつレク）心和（文化祭、紅葉狩りバスハイク）愛幸（食事レク）、今月のワンショット（オンラインコンサート、寿司の日、文化祭）
	1月29日	広報誌12月号発行	・クリスマス忘年会、冬季賞与支給、IBCラジソン、理事会、全ユニット（クリスマス忘年会）、今月のワンショット（クリスマス忘年会、もちつき大会、チューリップ球根、タオル寄贈）
	2月26日	広報誌1月号発行	・令和6年年頭挨拶、退職辞令交付、成仁（みずき団子作り、食事レク）富祥老福（正月挨拶）心和愛幸（みずき団子作り）、今月のワンショット（正月おせち料理、看護課会議）
施設内掲示写真		・新しい行事の写真はエレベーター内に掲示して更新されたら2階セミパブリックスペースの写真掲示コーナーに移動し入居者様に鑑賞していただく	

事故防止対策委員会

令和5年度の主な活動内容としては、毎月の事故・ヒヤリハット報告書の情報報告と、今後の対策についての検討、分析を行い、事故の再発防止につなげられるよう、委員会として取り組んだ。今年度発生した事故・ヒヤリハット報告件数は合計133件（前年度155件）となっている。そのうち、レベル4以上の事故は1件（前年度2件）発生し、転倒による骨折であった。

次年度も引き続き毎月テーマを決めて、各委員が担当ユニットの実情を踏まえた事故防止策を展開できるように取り組んでまいりたい。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	4/18(火)	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の委員会について（活動目標・構成員・活動内容・開催日程・具体的な活動について） 令和5年3月ヒヤリハット・事故報告書の分析について 令和4年度の事故・ヒヤリハット報告書の集計について 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の活動についてどのように進めていくかについて検討した。 前月のヒヤリハット・事故報告書の分析を行った。 令和4年度の事故報告書の集計について確認した。
第2回	5/15(月)	<ul style="list-style-type: none"> 4月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 4月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認
第3回	6/19(月)	<ul style="list-style-type: none"> 5月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 5月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認
第4回	7/18(火)	<ul style="list-style-type: none"> 6月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 6月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認
第5回	8/21(月)	<ul style="list-style-type: none"> 7月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 7月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認
第6回	9/19(月)	<ul style="list-style-type: none"> 8月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 8月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 ◎内部研修担当「事故発生時の対応について」
第7回	10/16(月)	<ul style="list-style-type: none"> 9月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 9月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認
第8回	11/23(月)	<ul style="list-style-type: none"> 10月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 10月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ◎内部研修担当「リスクマネジメントについて」 ※感染予防対策のため、書面提出、回覧にて報告
第9回	12/18(月)	<ul style="list-style-type: none"> 11月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 11月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認
第10回	1/15(月)	<ul style="list-style-type: none"> 12月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 12月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認
第11回	2/19(月)	<ul style="list-style-type: none"> 1月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 1月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認
第12回	3/18(月)	<ul style="list-style-type: none"> 2月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 今年度の反省、次年度への課題 	<ul style="list-style-type: none"> 2月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 入居者様個別の対応策について検討した。 車椅子・歩行器の安全点検 センサー使用状況の確認 今年度の反省、次年度への課題について話し合った。

感染予防対策委員会

感染症マニュアルに沿って予防に努めたが、利用者、職員が新型コロナウイルスに感染してしまった。再度対応の確認をし、周知、徹底をすると共に感染拡大に努めた。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和5年4月10日	・今年度の活動計画	・今年度の活動計画について
第2回	令和5年5月8日	・4月の感染症の発生状況 ・感染症マニュアルについて	・感染症の発生状況 ・コロナについて ・感染マニュアルの周知、徹底
第3回	令和5年6月12日	・5月の感染症の発生状況 ・食品管理について	・感染症の発生状況について ・食中毒予防の為食品管理について
第4回	令和5年7月12日	・6月の感染症の発生状況 ・6月の反省 ・内部研修	・感染症発生状況について ・コロナの対応について ・感染発症時の対応、予防及び蔓延防止、食中毒予防について内部研修
第5回	令和5年8月22日	・7月の感染症の発生状況 ・7月の反省	・感染症発生状況について ・食中毒予防について、冷蔵庫点検表の活用確認、冷蔵庫清掃 ・コロナの対応について
第6回	令和5年9月20日	・8月の感染症の発生状況 ・8月の反省	・感染症発生状況について ・コロナ対応について ・感染症マニュアルの実践、徹底
第7回	令和5年10月9日	・9月の感染症の発生状況 ・9月の反省	・感染症の発生状況について ・ノロウイルス、疥癬について ・コロナの対応について
第8回	令和5年11月13日	・10月の感染症発生状況 ・10月の反省・内部研修	・感染症発生状況について ・ノロウイルス、疥癬について内部研修
第9回	令和5年12月26日	・11月の感染症発生状況 ・11月の反省	・コロナ感染拡大した為、開催することができなかったが、対応について確認し連携した
第10回	令和6年1月24日	・12月の感染症発生状況 ・12月の反省	・感染症発生状況について ・インフルエンザ、コロナの対応について
第11回	令和6年2月12日	・1月の感染症発生状況 ・1月の反省	・感染症発生状況について ・コロナの対応、ESBL菌について
第12回	令和6年3月11日	・2月の感染状況 ・今年度のまとめ	・感染症発生状況について ・MRSAについて・今年度の反省とまとめ

褥瘡予防対策委員会

今年度は居室にて個別訪問を実施し、体位交換や正しいポジショニング等を確認、周知に努めたが全身状態悪化にともない、褥瘡が発生し処置を要した。現在は2名の褥瘡発生者はいるが、皮膚科や形成外科受診継続し今後も皮膚トラブルの予防に努める。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和5年4月14日	・今年度の活動計画	・今年度の活動計画について
第2回	令和5年5月19日	・入居者の全身状態、皮膚状態について（ユニット訪問）	・入居者様へ個別訪問し、皮膚状態の観察・栄養状態の観察・ポジショニングや清潔などの指導。
第3回	令和5年6月16日	・入居者の全身状態、皮膚状態について	・褥瘡処置継続されている方の全身状態・皮膚状態の把握。
第4回	令和5年7月21日	・入居者の全身状態、皮膚状態について ・7月26日内部研修	・入居者様個別訪問し、皮膚状態観察・体位交換・ポジショニング・清潔等の指導(1名) ・リハビリテーションとは、エアマットについて
第5回	令和5年8月29日	・入居者の全身状態、皮膚状態について(ユニット訪問)	・入居者様個別訪問し、皮膚状態観察・体位交換・ポジショニング・清潔等の指導)
第6回	令和5年9月29日	・入居者の全身状態、皮膚状態について	・褥瘡処置されている方の全身状態・皮膚状態の把握。
第7回	令和5年10月27日	・入居者の全身状態、皮膚状態について(ユニット訪問) ・内部研修会開催	・入居者様個別訪問、皮膚状態観察・栄養状態確認・ポジショニング・清潔等の指導(2名) ・褥瘡防止に関する指針
第8回	令和5年11月13日	・入居者の全身状態・皮膚状態について(ユニット訪問)	・入居者様個別訪問し、皮膚状態観察・ポジショニングを確認し指導(2名)
第9回	令和元5年12月5日	・入居者の全身状態・皮膚状態について(ユニット訪問)	・入居者様個別訪問、皮膚状態観察・栄養状態確認・ポジショニング・清潔等の指導(2名)
第10回	令和6年1月19日	・入居者の全身状態・皮膚状態について	・褥瘡処置されている方の全身状態・皮膚状態の把握。
第11回	令和6年2月20日	・入居者の全身状態・皮膚状態について	・褥瘡処置されている方の全身状態・皮膚状態の把握。
第12回	令和6年3月22日	・入居者の全身状態・皮膚状態について（ユニット訪問） ・今年度のまとめ	・個別訪問しポジショニングや清潔指導。 ・現在処置している方の周知・エアマット使用状況確認・今年度の反省とまとめ

虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会

年度末時点での身体拘束実施者は2名となっており、いずれも経管栄養のカテーテルが入っている方の安全確保のためのミトン使用について、身体拘束実施経過検討を行うも、自己抜去のリスクが高く、廃止まで至らなかったが、1名については廃止となった。

身体拘束は高齢者虐待に繋がることでもあり、委員会として、研修会の開催や啓発活動を通じて、職員の身体拘束廃止に向けた意識向上や、虐待のない安心した生活を送れる施設作りに繋げるような活動を中心に行うことができた。

回数	年月日	検討議題	内容
第1回	令和5年4月3日	身体拘束に関する経過検討	・3名のミトン着用となっている。 いずれも手の動きが活発にみられるため、廃止には至らなかった。 ・身体拘束適正化について内部研修を実施した。
第2回	令和5年5月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第3回	令和5年6月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第4回	令和5年7月3日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第5回	令和5年8月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第6回	令和5年9月1日	身体拘束に関する経過検討	・1名について、8月10日に退院されてから状態観察を続けた結果、手の動きもほぼない状況であったため、拘束の解除となった。 ・ほか2名については、身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。 ・虐待防止に関する内部研修を実施しました。
第7回	令和5年10月2日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第8回	令和5年11月1日	身体拘束に関する経過検討	・身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。 ・身体拘束についての内部研修を実施しました。
第9回	令和5年12月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第10回	令和6年1月4日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第11回	令和6年2月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第12回	令和6年3月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。

給食委員会

委員を通じて、入居者様の食事に関する意見や要望を各職種・委託業者に伝え、より良い食事を提供するための意見交換を行った。また、食欲不振や体調不良の入居者様に対して、各種職員と連携し摂取状況や嗜好の把握を行い、その方に見合った食事を提供し、少しでも摂取量が増えるよう努めてきた。また、選択食やバイキングの実施やユニット調理に力を入れ、入居者様の食事がより美味しく楽しいものになるよう努めてきた。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	4月19日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・今年度の活動計画について ・食事提供（各課から）について
第2回	5月12日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・献立内容の検討について
第3回	6月9日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・食事提供（各課から）について ・嗜好調査について
第4回	7月14日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・冷蔵庫の温度管理について
第5回	8月10日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・残食調査について
第6回	9月8日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・敬老会のお祝い膳について ・衛生管理について
第7回	10月13日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・敬老会の反省について ・生ものの提供について
第8回	11月10日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・日常の給食提供について ・嗜好調査について
第9回	12月8日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・年末年始の行事確認
第10回	1月19日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・年末年始の行事の反省 ・日常の献立への要望
第11回	2月9日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・衛生点検について
第12回	3月8日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・日常の献立への要望

内部研修委員会

今年度の研修は、感染症予防の観点から、一堂に会した研修の開催をなるべく避け、日程を分散させる等、密にならないような工夫を行いながら実施した。また、新型コロナウイルス流行により未開催の内容等については、資料配布という形で、全職員に周知徹底を図り、個々の学習を進め、職員の資質向上に努ることができた。

		内部研修
4月	3日	<ul style="list-style-type: none"> ・成仁会職員としての心構え <small>※就業規則、ハラスメント、身体拘束等適正化について</small> : 山口副施設長 ・倫理及び法令遵守について : 遠藤相談課長
5月	22日	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法について : 佐々木相談課長 ・接遇について : 遠藤相談課長
6月	19日	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションについて : 千葉理学療法士 ・褥瘡予防について : 千葉理学療法士
7月	20日	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症及び食中毒予防まん延防止について : 山田看護係長 ・プライバシー保護について : 遠藤相談課長 (→ともに6月予定分)
9月	25日	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時の対応について (→7月予定分) ・緊急時の対応と施設の医療について ・虐待防止、身体拘束廃止活動について : 遠藤相談課長 (→8月予定分)
10月	17日	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症及び認知症ケアについて : 遠藤相談課長 ・権利擁護について : 遠藤相談課長 (→上2つは10月予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアについて : 遠藤相談課長
11月	22日	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について : 遠藤相談課長 (→10月予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントについて : 佐々木相談課長 ・ノロウイルス予防対策について : 東副施設長
12月	/	※新型コロナウイルス流行の為、未開催 (未開催内容①交通安全について②職員のメンタルヘルスについて) →資料配布にて周知。
1月	/	※新型コロナウイルス流行の為、未開催 (未開催内容①介護保険制度について②腰痛予防について) →資料配布にて周知
2月	14日	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防について※ブレーデンスケール : 東副施設長 ・感染症対策※厚労省動画研修 : 遠藤相談課長 (→ともに12月予定分)
3月	18日	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害について : 島貫介護主任
	29日 ～ 31日	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度事業計画について : 東副施設長 ・バーセルインデックス及び褥瘡予測スケールについて : 東副施設長、佐々木・遠藤課長

医療的ケア対策推進委員会

令和5年度も、認定介護員を対象としたフォローアップ研修を実施した。また今年度も内部研修委員会とも連携し認定介護員以外でも研修に参加できるようにしたほか、緊急時の対応、施設の医療などの研修に取り組んだ。新型コロナウイルスの発生状況に応じて資料配布とする対応も行った。

今後も法令に則りながら、入居者様の安全を確保し、質の高いケアを提供できるよう委員会活動を継続していく。特定行為の実地研修についても他施設と協議していきたい。

第1回	令和5年4月20日(木)	今年度の活動計画について DVDによるフォローアップ 研修	活動計画立案 たん吸引・経管 栄養手技確認
第2回	令和5年8月24日(木)	緊急時対応と施設の医療につ いて DVDによる認定介護員フォ ローアップ研修(第2回)	痰の吸引手技の 確認(DVD研 修)
第3回	令和5年9月28日(木)	ターミナルケアについて	資料配布
第4回	令和5年12月21日(木)	DVDによる認定介護員フォ ローアップ研修(第3回)	経管栄養の手順 手技の確認(D VD研修)
第5回	令和6年3月21日(木)	DVDによる認定介護員フォ ローアップ研修(第4回) 今年度の振り返り	痰吸引の手技確 認(DVD研修) 来年度への課題 確認

労働安全衛生委員会

労働安全衛生法に基づき、労働安全衛生委員会を毎月開催した。
1年を通して労働災害の発生はなかった。委員会では、産業医、本部員、各課職員参加のもと、労働者の健康障害を防止するための基本対策、労働者の健康の保持増進を図るための基本対策、労働災害の原因及び再発防止策で衛生に関する事項について検討を行った。

No.	開催日	検討内容
第1回	令和5年4月25日	委員会年間実施予定等について
第2回	令和5年5月23日	職員の健康診断について
第3回	令和5年6月27日	食中毒予防について
第4回	令和5年7月25日	熱中症予防について
第5回	令和5年8月22日	生活習慣病予防について
第6回	令和5年9月26日	過重労働と健康障害について
第7回	令和5年10月25日	交通事故防止について
第8回	令和5年11月28日	ストレスチェックの実施について
第9回	令和5年12月26日	感染症予防について
第10回	令和6年1月23日	メンタルヘルスについて
第11回	令和6年2月13日	職員の健康診断について
第12回	令和6年3月26日	ストレスチェックの実施報告について

職員研修実施状況(外部研修)

日付	内容	出席者		研修内容
5月29日	社会福祉法人杜の里福祉会見学	課長補佐 事務長 介護員 介護員 介護員 介護員	鈴木順 菊池郁子 リタサニアー トリシェセティアグステイアニ ブトリブアナルダニ アユイステイアニ ヌルアニシヤファウザン	姉妹法人への訪問と見学
6/22～6/23	①個室ユニット型施設のこれからを考える車庫対話 ②杜の里福祉会第2回理事会オブザーバー出席	事務長	菊池郁子	ユニットケア
7/13～7/14	日本福祉医療機構との打ち合わせ(新規事業融資の件)	事務長	菊池郁子	新規事業に対するの借入についての相談
7月29日	感染管理に係るリンクナース育成事業研修	副施設長	東美也子	看護師研修
9月28日	令和5年度安全運転管理者講習	課長補佐	遠藤宏	副安全運転管理者として受講
10月6日	令和5年度気仙地域感染症予防研修会	副施設長 係長 副主任 看護師 看護師 看護師 看護師	東美也子 山田美紀子 互野咲 金野由佳 近江幸子 笹野樹里 佐藤千絵	感染症対策の勉強会
10月10日	小規模介護事業所合同研修会:介護職員に求められる接遇マナー講座	理学療法士 事務員	千葉茜 古川くるみ	接遇・マナーについての学習
10/11～12	障害者職業生活相談員資格認定講習受講	事務長	菊池郁子	障害者雇用に必要な資格として受講
11月7日	荒井総合法律事務所との打ち合わせ(理事長随伴)	事務長	菊池郁子	顧問税理士への挨拶並びに打合せ
11月8日	令和5年度健康的な食事推進マスターズスキルアップ研修会	栄養士	松田佳奈	前年度に引き続きの研修
11月10日	安全運転管理者等の法令講習の受講	副施設長	和田工	正安全運転管理者として受講
1月28日	介護福祉士国家試験	介護員 介護員 介護員	及川叶恵 千田昌子 白木澤彩里	国家資格介護福祉士受験のため
2月5日	令和5年度岩手県外国人介護人材受入支援研修「受入れ事例発表」	事務長	菊池郁子	特定技能職員受け入れの事例発表を行う

成仁ハウス百年の里 1年の様子
〈4月：辞令交付式 花まつり 観桜会〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈4月：花まつり 観桜会 大船渡五年祭見物 藤棚見物
百年畑種まき ショートステイ居酒屋〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
(5月 開所記念日)



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈5月17日：大畑トモへ様百歳セレモニー〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
(5月)



特定技能外国人へ辞令



成仁会OBさんとのひととき



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈5月～6月〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
(7月：達増知事来荘)



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈7月：大運動会〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈7月：第16回案くれっと 枝豆収穫 納涼祭〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈8月：キリコ太鼓 特定技能外国人辞令 迎え火送り火〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈8月：前田鹿踊り 特定技能外国人研修〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈8月～9月 第4回理事会 不在者投票 敬老会お膳試食会〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈敬老会〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈敬老会〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈敬老会〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈9月 敬老会お膳試食会 安全祈願祭〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈9月：特定技能外国人辞令交付・大船渡東高校より折り鶴寄贈〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈9～10月：習字クラブ お月見団子 先代を偲ぶ会〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
 〈10月：楽書展見学 かぼちゃの収穫 北海道の権現様〉



クレイジーウォーカー様



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
 〈10月：ミニゲーム大会 作品展示会 寿司の日〉



千葉良子様のご家族から百年太鼓の寄贈



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
 (11月：大沢桃子さんミニコンサート)



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
 〈相撲甚句〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
(12月 特定技能外国人辞令 クリスマス忘年会)



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈12月：賞与支給式 ラジソン 餅つき〉



成仁ハウス百年の里 1年間の様子
〈元旦 おせち料理 元旦行事 節分〉



令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

特別養護老人ホーム 富美岡荘

令和5年度の事業を振り返って

～「私たちは、岩手のそして大船渡の高齢社会に貢献する～」

入居者様の“今”を大切に「あなたの不安を安心に」

昨年10月にコロナのクラスターを発生、終息には約1カ月を要した。このようなクラスターに発展させてしまった事を反省、初動の遅れ、清潔区域・不衛生区域等の区別の徹底が甘かった、などの要因で終息するのが遅れた。

骨折、ベット・車椅子からの転落事故もなく過ごした年だった。

稼働率は、長期入所99%（前年100%）入院等によってベット数は満たしていない月あり。満たない分空きベット利用として短期入所にカウントされる。短期入所106%（前年111%）

介護度は、長期入所4.39（前年4.37）短期入所3.38（前年3.86）平均年齢87.9歳（前年87.2歳）入所期間2.8年（昨年2.8年）退所人数12名（前年13名）

コロナ過の中で誕生会等、毎月様々な行事を施設内で実施した。富美岡荘最大のイベントである敬老会では昨年同様ご家族様をご招待する事が出来なかったため、DVDを作成して全ご家族様に送付し、大変好評だった。苦情解決でも、コロナ過の中で面会がなかなかできない状況が続き中、よろしくお願ひします、の意味での感謝のお手紙を頂戴することが多くなった。また、退所してから1～3年後に富美岡荘に入所していて大変よかった、ありがたかった等のお手紙も頂戴した。

1年を通して、職員会議の議題にもあげ、経費の削減(電気料金・水道料金)等、使用する際の無駄を省くよう協力をお願いした。

今年度採用した外国人職員3名は、順調に育ち、夜勤業務にも入れるようになり一生懸命がんばっている。

開所以来48年、創業者精神を継承し、入居者様が穏やかに安心して生活が出来るよう、また、ご家族様も安心して富美岡荘にお預け頂くよう毎日を精一杯ご支援させていただきます。今日出来る事はその日に行い、明日に残さない、悔いを残さない介護。理事長が常に話しているように「明るく元気に前向きに、相手の身になって」を職員一同一丸となって精進します。

特別養護老人ホーム富美岡荘

施設長 村上 博

1. 各課の事業実施状況

(1) 総務部 総務課（庶務課・経理課・業務係）

総務部・総務課としては、消毒等の備品、予防衣等を準備し万全の体制で予防に徹した。在庫チェックしながら各課との連携を密に行い、的確に職員に伝達、全員で予防に徹した。

面会の制限は一部緩和となったが、遠方からのご面会者様、業者の方々に関しては、抗原検査、健康チェック等にご協力いただき、安全にご面会をしていただくことができた。電話での対応は、常に明るい雰囲気感謝の気持ちを忘れず対応をした。相談課と連携し、運動会、敬老会のDVDを作成し、ご家族様に送付し大変喜んでいただけた。

経費の節約は、職員会議の議題に出し、職員も理解し、細部に渡りチェック、ムダを極力省き今後も事務所主導で、本部の会計とも詳細に協議を重ね、経費の削減について徹底的に分析し収益を上げるようチェック体制の強化を図った。

(2) 事業部 生活相談課

令和5年度になり、新型コロナウイルスも5型に移行されたが未だに猛威を振るう可能性があることから前年度同様にショートステイを受け入れる際には健康チェックには細心の注意を払って対応した。

一方で面会も緩和することで、ご入居者様とご家族様の対面する時間が昨年度に比べると著しく増大し心理的安定に繋がったと考えられる。

介護の砦として社会資源の一端を担う、特養と短期入所生活介護の稼働率は100%を超えており、最大限に活用することが出来たと考える。

申込者数も一定数を維持していることから特養のニーズは重要であり、ご入居された皆様が満足できる施設運営に繋がるよう多職種協働でアセスメントからのケアに繋がられた。

成仁会が目指すパーソナルケアの実践にはご入居される方の生き立ちやどのような人生を送られてきたかが非常に重要であり、その窓口として生活相談課の役割があること、そして、いかに富美岡荘で人生のラストステージを充実したものにするかをご家族様と密に連携し安心した看取り期を過ごして頂けたと思う。

また、山崎シゲ会長・山崎理事長の理念や想いを積極的に発信し、継承できるよう来年度も先頭に立って邁進していく。

(3) 事業部 介護課

今年度、当施設では10月にコロナのクラスターが発生し、終息までに約1か月間を要した。今回のクラスターになった経過を踏まえ、感染発生時、拡大を最小限に抑えるには、初期段階の始動が重要視され職員一人ひとりが意識を高め、各課と連携を密にし、反省を生かし今後につなげたい。計画した行事は10、11月は中止になった。今年度も敬老会等のご家族参加なしの行事だったため、やや寂しさの残る1年だったが、全家族様にDVDを作成、発送し大変喜ばれた。

面会の方は規制緩和され、年明けから直接面会ができるようになり、入居者様はいつもの笑顔が戻ってきた。

8月から外国人(労働者)職員が新たに3名加わり、専属の担当職員が介護のノウハウを指導しながら勤務をともに実施した。2月には介護技術もレベルアップし、3名全員が夜勤に入れるまでに成長した。

(4) 事業部 看護課

10月半ばより、コロナのクラスターとなり、終息までのおよそ1か月間、施設内をゾーニングし、各課連携し対応した。

入居者様・職員共に年2回の健康診断と年1回の胸部レントゲン撮影やインフルエンザの予防接種を実施した。

施設でのターミナルケアを希望された場合、面会は、感染症対策を万全に行い、嘱託医の指示やご家族様の意向を確認し、相談課、介護課、看護課と十分な連携を図り、オンコール体制にて入居者様の尊厳を大切にしながら看取りケアの対応を実施した。

各課連携して全職員で入居者様一人ひとりを見つめ直し、入居者様の尊厳を守り、安心して笑顔あふれる暮らしを送っていただけるよう、職員更なる資質の向上を目指す。

(5) 栄養管理室

今年度もおいしく・楽しく安全に食事をいただけるよう、委託業者や他職種との協力で業務を行った。また、一人ひとりがその人らしく穏やかに生活できるよう栄養面からのサポートを実施した。個別の栄養ケアマネジメントの遂行にあたり、毎月の体重・食事量等のモニタリングを行いながら、日々の食事摂取観察等行う中で、嗜好や要望の把握を行い、可能な限り個別ケアに取り組むことができた。

今年度も、入居者様に食事を楽しんで頂けるよう、献立の工夫や食のイベントを実施した。寿司バイキングでは、委託業者より寿司を握る職人さんと呼び、目の前で握っているところを見ながら食べた。一貫をネタも米の量も1/2の大きさに握って食べやすく見た目もとてもきれいだった。イベント食の提供時には、食事摂取量が低下している方も笑顔で召し上がる姿が見られ、食の満足度向上、摂取量の向上にも結びつけることができた。また、入居者様の生活リハビリの一環で行っている、かしぎクラブも定期的を開催することができた。

プリンターで野菜作りをして、お昼に提供したり、誕生会でケーキにデコレーションをしたり、ご家族様よりいただいた梅を洗い塩漬けして梅干しにしたり、梅酒造りをしたり、クレープや手巻き寿司を作って頂いた。

一昨年から風邪予防とコロナウイルス等の感染予防の為、午前のおやつにアーモンドミルクを提供し、入居者様の免疫力を強化するよう取り組んだ。(アーモンドミルクには、免疫力アップが期待されるビタミンEが牛乳の30倍以上含まれることから、感染防止策として最適と考え乳製品の変更に至った。)入居者様が、安全に美味しく食事をいただけるよう、今後も各職種と委託業者と一体となって取り組んでいきたい。

調理業務においては、安全で温かく美味しい食事の提供を第一に、大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、厨房内の衛生管理を徹底して行った。自己の健康管理にも十分留意し、厨房からの感染症の発生を防いだ。また、毎月の給食委員会を開催し、各職種・委託業者から意見を出し合い、より良い食事提供・円滑な給食運営に努めた。

次年度は、栄養面で過不足のある栄養価の見直しを行い、栄養バランスのとれた食事の提供に力を入れ、入居者様の健康保持に尽力したい。

行事食等提供状況

実施日		内 容		
4月	3日	春の天ぷらバイキング		
	8日	花まつり		
	12日	誕生会お祝い膳		
	14日	お花見団子		
	28日	寿司の日		
		春の天ぷらバイキング	寿司の日	
5月	1日	開荘記念日		
	5日	こどもの日		
	10日	ご当地井ぶり(沖縄)		
	14日	母の日		
	24日	誕生会お祝い膳		
		開荘記念日	こどもの日	
6月	7日	運動会		
	14日	お茶会		
	18日	父の日		
	21日	ご当地井ぶり(北海道)		
	28日	誕生会お祝い膳		
		お茶会	父の日	
7月	7日	七夕(七夕素麺)		
	26日	誕生会お祝い膳		
	28日	ご当地井ぶり(盛岡)		
	30日	土用の丑の日		
	31日	流しそうめん・すいか割		
		七夕献立	土用の丑の日	
8月	3日	ご当地井ぶり(住田町)		
	8日	チャーハンの日		
	14~16日	お盆メニュー		
	24日	誕生会お祝い膳		
		チャーハンの日	誕生会お祝い膳	
9月	5日	誕生会・デコレーションケーキ作り		
	9日	重陽の節句		
	15日	敬老会		
	18日	敬老の日		
	19日	ご当地井ぶり(秋田県)		
	29日	十五夜献立・団子作り		
		敬老会	十五夜献立	

実施日		内 容		
10月	4日	バイキング		
	11日	野外食(秋刀魚)		
	18日	ご当地丼ぶり(山形県)		
	25日	誕生会		
	31日	ハロウィン献立		
			バイキング	野外食
11月	11日	ご当地丼ぶり(宮城県)		
	22日	誕生会お祝い膳		
			ご当地丼ぶり(宮城県・はらこ飯)	誕生会お祝い膳
12月	14日	ご当地丼ぶり(新潟県)		
	18日	忘年会(寿司・天ぷら)		
	20日	誕生会		
	25日	クリスマス献立		
	28日	餅つき大会		
	31日	大晦日		
1月	1日	元旦・お祝い膳		
	4日	もち御膳		
	7日	七草粥(朝食)		
	11日	鏡開き・餅バイキング		
	17日	ご当地おにぎり		
	24日	誕生会お祝い膳		
			もち御膳	ご当地おにぎり(愛知・福岡・神奈川)
2月	2日	手巻き寿司・クレープ作り		
	3日	節分献立		
	14日	バレンタインデー		
	16日	パン選択		
	19・21日	鍋を楽しむ会		
	28日	誕生会お祝い膳		
3月	3日	ひな祭り献立		
	14日	ホワイトデー・駄菓子屋さん		
	22日	ご当地パン(岩手)		
	20日	春分の日		
	27日	誕生会お祝い膳		
			ひな祭り	駄菓子屋さん

<定期的に提供する食事>

○希望昼食会・選択食：月1回程度



利用者実績

長期入居及び短期入所者の稼働率は平均で100%を超えており、地域の介護の砦の社会資源として役割を十分に果たせたと考える。

平均介護度は長期が4, 4で推移している。また、短期入所者は年度末になるに連れ平均介護度は低くなっているがこれは月間の利用者数を5割増しで新規獲得をすることで将来的な顧客確保の為となった。

【長期入所】定員42名

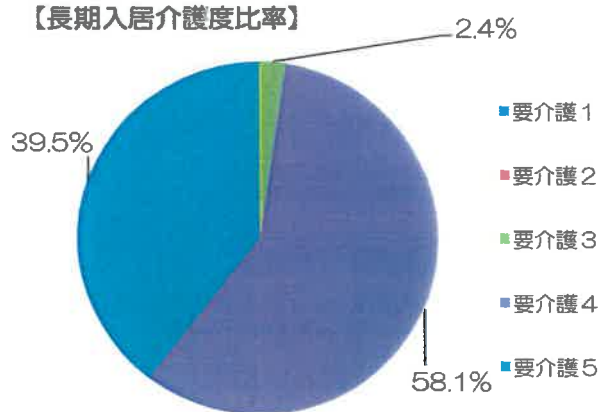
提供月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	被褥者及び措置入所	利用ベッド数	ベッド定数	稼働率
令和5年4月	0	0	1	24	17	4.40	0	1,260	1,260	100.0%
5月	0	0	1	24	17	4.40	0	1,302	1,302	100.0%
6月	0	0	1	23	18	4.40	0	1,260	1,260	100.0%
7月	0	0	1	24	17	4.40	0	1,302	1,302	100.0%
8月	0	0	1	24	17	4.40	0	1,302	1,302	100.0%
9月	0	0	1	25	16	4.40	0	1,260	1,260	100.0%
10月	0	0	1	25	16	4.40	0	1,299	1,302	99.8%
11月	0	0	1	24	17	4.40	0	1,215	1,260	96.4%
12月	0	0	1	24	17	4.40	0	1,302	1,302	100.0%
令和6年1月	0	0	1	26	15	4.40	0	1,278	1,302	98.2%
2月	0	0	1	25	16	4.30	0	1,211	1,218	99.4%
3月	0	0	1	25	16	4.40	0	1,289	1,302	99.0%
合計 (下段:比率)	0	0	12	293	199	年平均 4.39	0.00	15,280	15,372	年平均 99%

※長期入居者の入院等によるベッド数が定数を満たしていない場合は短期入所生活介護の空床利用をさせて頂いております。

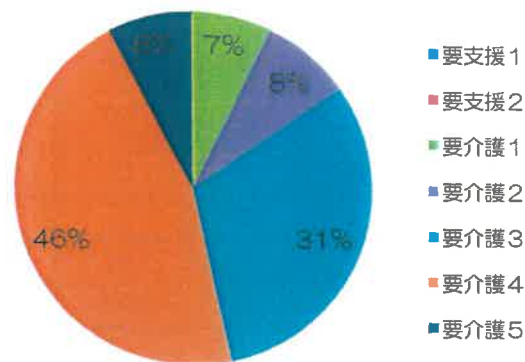
【短期入所】定員10名（※ベッド数での換算）（11月は、コロナのため入所受け入れ出来ず）

提供月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	ベッド定数	利用ベッド数	稼働率
令和5年4月	0	0	25	19	59	161	60	3.70	300	324	108%
5月	0	0	18	19	60	197	35	3.60	310	329	106%
6月	0	0	30	24	76	174	9	3.30	300	313	104%
7月	0	0	38	22	97	153	31	3.30	310	341	110%
8月	0	0	29	28	103	152	31	3.40	310	343	111%
9月	0	0	10	14	120	156	30	3.60	300	330	110%
10月	0	0	6	10	128	149	31	3.60	310	324	105%
11月	0	0	16	13	84	152	2	3.40	300	267	89%
12月	0	0	38	36	116	121	7	3.10	310	318	103%
令和6年1月	0	0	30	46	115	128	28	3.20	310	347	112%
2月	0	0	16	52	131	96	25	3.10	290	320	110%
3月	0	0	20	31	122	133	3	3.20	310	309	100%
合計 (下段:比率)	0	0	276	314	1211	1772	292	年平均 3.38	3,660	3,865	年平均 106%

【長期入居介護度比率】



【ショートステイ介護度比率】

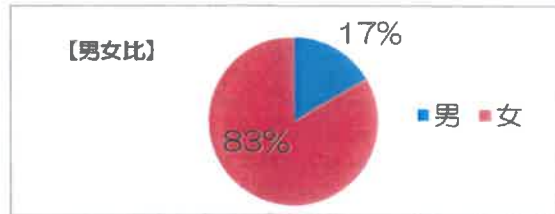


入居者の状況

長期入居定員42名、男女比や平均年齢は例年と同等の数値となっている。
 平均入所期間は3年未満となっている。成仁会の介護の基本であるパーソナルケアを
 実践するには事前の情報収集が不可欠で利用開始日から満足のいくケアを提供でき
 るよう今後も努めていく。

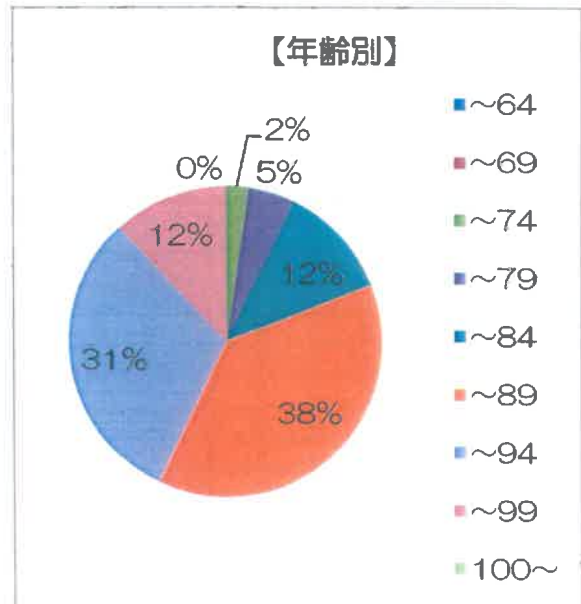
(1) 市町村別入居者の状況 (令和6年3月31日現在 単位：人)

保険者名	男	女	計
大船渡市	7	34	41
陸前高田市	0	0	0
釜石市	0	1	1
合計	7	35	42



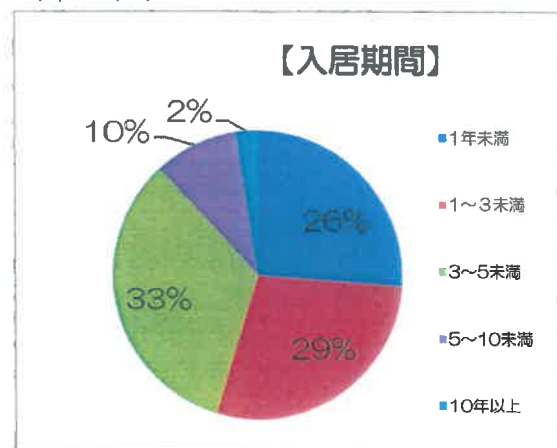
(2) 年齢別状況 (令和6年3月31日現在 単位：人)

	男	女	計
～64	0	0	0
～69	0	0	0
～74	0	1	1
～79	1	1	2
～84	1	4	5
～89	3	13	16
～94	2	11	13
～99	1	4	5
100～	0	0	0
計	8	34	42
最高	96	99	
最低	75	70	
平均	87.9	87.9	87.9



(3) 入居期間の状況 (令和6年3月31日現在 単位：人)

	男	女	計
1年未満	1	10	11
1～3未満	3	9	12
3～5未満	2	12	14
5～10未満	1	3	4
10年以上	0	1	1
計	7	35	42
平均(ヶ月)	33.1	34.5	34.4



入 退 所 者 の 状 況

新規申込者数は取下げの人数を含めると100名前後で推移している。
緊急性、必要性を包括的且つ総合的に判断し、検討会において入居者の選定を行っている。

【入所者】

No	入居年月日	氏名	介護度	保険者
1	令和5年5月14日	N. Y	4	大船渡市
2	令和5年5月23日	K. M	4	大船渡市
3	令和5年6月22日	T. K	4	大船渡市
4	令和5年11月3日	H. M	5	大船渡市
5	令和5年11月21日	S. S	5	大船渡市
6	令和5年12月1日	M. S	4	大船渡市
7	令和6年1月10日	N. Y	4	大船渡市
8	令和6年1月23日	S. R	4	大船渡市
9	令和6年2月3日	S. M	5	大船渡市
10	令和6年2月17日	W. M	5	大船渡市
11	令和6年2月25日	K. S	4	大船渡市
12	令和6年3月24日	K. Y	4	大船渡市

【退所者】

No	退居年月日	氏名	介護度	退所理由
1	令和5年5月13日	K. M	4	施設にて死亡
2	令和5年5月22日	F. M	5	施設にて死亡
3	令和5年6月21日	M. M	5	施設にて死亡
4	令和5年11月2日	N. H	5	病院にて死亡
5	令和5年11月20日	S. K	4	施設にて死亡
6	令和5年11月30日	T. T	4	病院にて死亡
7	令和6年1月9日	S. T	4	施設にて死亡
8	令和6年1月22日	K. M	4	長期入院の為
9	令和6年2月2日	F. K	4	施設にて死亡
10	令和6年2月16日	K. S	4	施設にて死亡
11	令和6年2月24日	S. K	4	施設にて死亡
12	令和6年3月23日	O. Y	4	施設にて死亡

入 所 検 討 委 員 会

令和5年度末時点での長期入所の申込者は、合計で78名である。今年度の新規入居申込者は48名だった。

入所検討委員会は、法人内合同で委員会を随時で設置し開催した。岩手県の指針に基づき、入居決定過程の透明性・公平性を確保し、お客様や地域のニーズに応えられるように努めた。

1. 入所検討委員会会議

回数	日時	会議参加者	入所検討者数
第1回	令和5年5月10日	2名	15名
第2回	令和5年7月20日	2名	10名
第3回	令和5年9月29日	2名	10名
第4回	令和5年12月21日	2名	9名
第5回	令和6年2月8日	2名	10名

2. 入居申込者数一覧（令和6年3月31日時点）

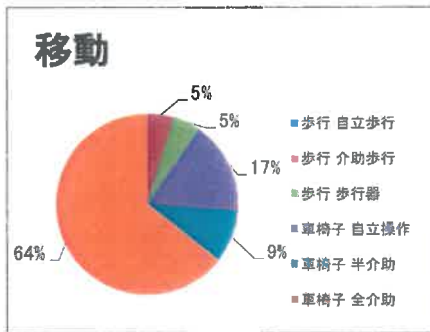
要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
合計	2	9	36	38	20	10	115

入所者の介護状況

長期入居者42名 約82%の方々が何らかの介助を必要としている。
今後も自立支援を目標とする。

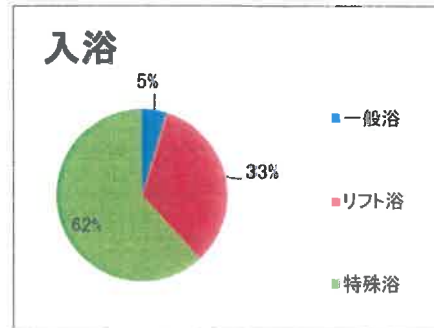
【移動】

歩行			車椅子		
自立歩行	介助歩行	歩行器	自立操作	半介助	全介助
	2	2	7	4	27



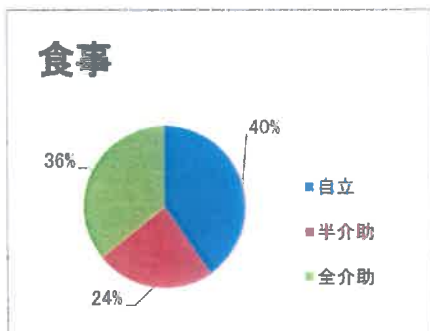
【入浴】

一般浴	リフト浴	特殊浴
2	14	26



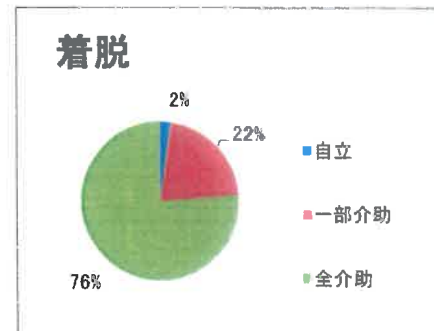
【食事】

自立	半介助	全介助
17	10	15



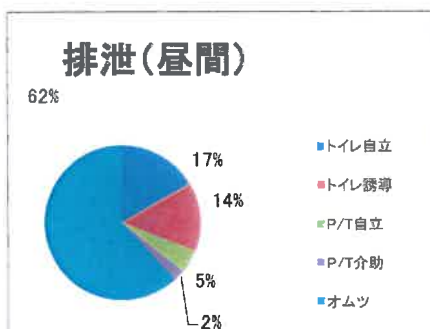
【着脱】

自立	一部介助	全介助
1	9	32



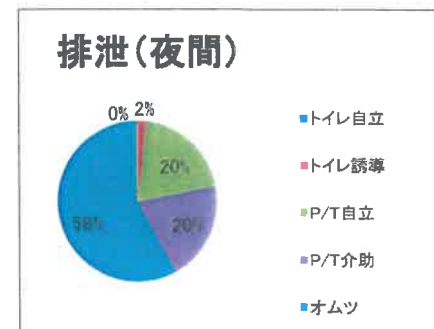
【排泄】（昼間）

トイレ自立	トイレ誘導	P/T自立	P/T介助	オムツ
7	6	2	1	26



【排泄】（夜間）

トイレ自立	トイレ誘導	P/T自立	P/T介助	オムツ
0	1	10	10	29



地域交流・行事実施状況

施設生活ならではの楽しみ方も提供する事で日々の生活にメリハリがついたと思われる。毎月、いきいきクラブ習字を実施しその月に関連した題材を提供し季節を感じながら楽しまれた。

月	日	行事等	内容	参加人員
R 5 4月	6日	習字クラブ	4月に関連したお手本を自由に選び真剣に取り組んでいた。	10名
	8日	花まつり	食堂にてお釈迦様のお誕生日をお祝いした。	40名
	8日	いきいきクラブ 音楽	楽器を手に指導職員の指揮で歌に合わせリズムをとった。	
	14日	観桜会 誕生会	誕生者をお祝いしさくら音頭を披露、その後、花見お膳を頂いた。	42名
	17日	いきいきクラブ 手芸	事務所にて裁縫の希望の入居者様と職員で雑巾を作成	7名
5月	1日	富美岡荘開所記念日	富美岡荘の開荘を祝い、お祝い膳を提供し、成仁会の歴史を振り返った。	30名
	12、17日	バスハイク	大船渡市内をバスハイクする。	6名、5名
	22、29日	バスハイク	日頃市、世田米方面へバスハイクする。	6名、6名
	18日	母の日イベント	日頃の感謝の気持ちを伝え写真撮影をしケーキでお祝いした。	40名
	20日	いきいきクラブ 手芸	裁縫が得意な入居者様と一緒に雑巾を縫った。	6名
6月	7日	富美岡荘運動会	里センターの体育館にて体を動かかし入居者様と交流を図った。	53名
	8日	いきいきクラブ 習字	6月に関連したお手本を自由に選び真剣に取り組んでいた。	10名
	18日	父の日イベント	日頃の感謝の気持ちを伝え写真撮影した。	33名
	28日	誕生会	お祝い膳を囲んで誕生者のお祝いをした。	46名
7月	6日	いきいきクラブ 習字	7月に関連したお手本を自由に選び真剣に取り組んでいた。	11名
	8日	いきいきクラブ 音楽	カラオケでゆっくり過ごす。	23名
	20日	夏のバスハイク	赤崎、綾里方面へバスハイクする。	3名
	21日	夏のバスハイク	日頃市方面へバスハイクする。	2名
	25日	夏のバスハイク	大船渡市内へバスハイクする。	2名
	28日	誕生会	お祝い膳を囲んで誕生者のお祝いをした。	46名
8月	5日	流しそうめん 野外食	夏の雰囲気を楽しむ	44名
	9日	夏祭り	職員が出店を開き入居者様と一緒に夏の雰囲気を楽しんだ。	48名
	13日	迎え火	先祖の霊をお迎えした。	15名
	16日	送り火	先祖の霊をお送りした。	22名
	26日	いきいきクラブ 習字	8月に関連したお手本を自由に選び真剣に取り組んでいた。	13名
9月	5日	誕生会	8、9月合同誕生会お祝い膳を囲んで誕生者のお祝いをした。	40名
	14日	敬老会	富美岡荘を会場に敬老会を実施した。	53名
	21日	彼岸供養	祥風苑集会室にて安養寺住職を招き供養を行った。	10名

月	日	行事等	内 容	参加人員
10、11月		コロナウイルス蔓延行事中止		
12月	7日	いきいきクラブ 習字	12月に関連したお手本を自由に選び真剣に取り組んでいた。	10名
	18日	忘年会	食堂を会場に昼食お寿司を頂きながら一年を労う	40名
	25日	クリスマス会	ケーキを食べながら施設長サンタよりプレゼントを貰った。	43名
	28日	餅つき	食堂にて杵とうすでお正月の餅つきを行う	48名
R 6	2日	書初め	新年を迎え書初めをして抱負を書いて頂いた。	12名
1月	11日	鏡開き	玄関前に飾った鏡餅を入居者様にたたいて頂いた。	18名
	15日	水木団子作り	こねる、丸める、飾りを行い、荘内各所に水木を飾った。	21名
	24日	誕生会	お祝い膳を囲んで誕生者のお祝いをした。	42名
	29日	いきいきクラブ スポーツ	ホールにて輪投げ大会を楽しむ	18名
2月	2日	節分 手巻き寿司	昼食に手巻き寿司を楽しむ	26名
		豆まき	鬼に扮した職員と入所者様で健康と長寿を願い豆まきをした。	45名
		クレープづくり	午後のおやつ職員・入居者様と一緒に好みの具をのせてクレープづくりを楽しむ	45名
	8日	いきいきクラブ 習字	2月に関連したお手本を自由に選び真剣に取り組んでいた。	12名
	17日	いきいきクラブ 音楽	カラオケ希望者、鑑賞者を募りゆっくり過ごした。	18名
	25日	いきいきクラブ スポーツ	風船バレーをして皆で体を動かしました。	21名
	28日	誕生会	お祝い膳を囲んで誕生者のお祝いをした。	34名
3月	3日	ひなまつりお茶会	ひな壇の前で桜餅とお茶を頂きお祝いした。	24名
	21日	春の彼岸供養	祥風苑集会室にて安養寺住職を招き供養を行った。	8名
	27日	誕生会	お祝い膳を囲んで誕生者のお祝いをした。	43名
	28日	いきいきクラブ スポーツ	ホールにて輪投げ大会を楽しむ	19名

カンファレンス開催状況

成仁会の基本方針である、パーソナルケアの根拠となるカンファレンスは非常に重要と考えている。

新規入居者に関わらず、常に本人はもちろんのこと、ご家族とも情報共有を密に行い、今どう
いうケアをすることがベストなのかを模索しながらカンファレンスの場において統一を図ることを目
的としている。

次年度もパーソナルケアの意義を全職員で確認しながら進めてまいりたい。

実施月	カンファレンス			モニタリング	合計件数
	通常	新規	その他		
令和5年4月	11	0	0	3	14
5月	8	2	0	6	16
6月	5	1	0	8	14
7月	2	0	0	11	13
8月	7	0	0	7	14
9月	8	0	0	6	14
10月	11	0	0	2	13
11月	8	2	0	7	17
12月	5	1	0	7	13
令和6年1月	2	2	0	11	15
2月	7	3	0	6	16
3月	6	1	0	7	14
合計件数	80	12	0	81	173

※通常カンファレンス……………計画期間の満了に伴い、更新する時期に実施されるもの。

※新規カンファレンス……………富美岡荘に新規契約され入居することで実施されるもの。

※その他のカンファレンス…ムンテラを行い看取り期に入った方や、特に状態が変化した方に
随時開催されるもの。

※モニタリング……………計画期間の概ね半ばの期間で一度計画とおり、評価することで
継続か、変更等を検討されるもの。

①健康管理状況

(1) 入居者疾患状況 (延べ人数)

	脳血管障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	糖尿病	認知症	不眠	心疾患	消化器疾患(便秘含み)	眼疾患	皮膚疾患	呼吸器疾患	貧血	感染症	悪性新生物	骨粗鬆症	その他			合計
男	6	4	2	2	4	1	2	5	1	3	0	1	2	3	1	5			42
女	12	29	1	16	21	7	13	16	3	13	6	1	3	9	12	18			180
計	18	33	3	18	25	8	15	21	4	16	6	2	5	12	13	23			222

(2) 医療的処置

	経管栄養		インシュリン	人工肛門
	経鼻	胃瘻		
男	1	0	0	0
女	4	0	1	0
計	5	0	1	0

(3) 嘱託医回診状況

- ・回診日 週2回(火曜日、木曜日)
- ・時間 14時～16時
- ・回診日以外は、14時30分電話報告(土曜日は10時30分)
- ・急変時は随時往診

(4) 健康診断実施状況 (令和5年3月末長期入所42名)

	実施年月日	内 容	人数
利用者	4月1日～30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	42
	9月1日～30日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	42
	4月1日～7月16日	山崎内科医院による胸部写真撮影	42
職員	6月1日～6月30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診、採血	30
		聴力、視力、胸部写真(妊娠中の者除く)	29
	11月24日～11月25日	予防医学協会による健診	29
定期A1、34歳以下検便、身長、体重、検尿、心電図、聴打診、採血、視力、血圧、腹囲、聴力			
けんぽ一般+乳がん+子宮がん同項目女性・けんぽ一般35歳～74歳けんぽ同項目+胃透視			
定期A1+若年子宮頸がん34歳以下同項目・50歳以上男性PSA、HbA1C40歳以上			

(5) 予防接種状況

1) インフルエンザ予防接種

11月27日 11月30日		10月10日 10月11日	
利用者		職員	
人数	42名 (ショート3名)	人数	30名

2) 肺炎球菌ワクチン (プレベナ-13)

対象者なし

3) コロナウイルスワクチン

6月15日		10月19日	
利用者		利用者	
人数	39名	人数	43名

	実施年月日	人数				
職員	6月13日～6月27日	28名	5.6回目	職員6名	1月17日	7回目
	12月13日～12月20日	20名	7回目	職員2名	3月27日	3回目

②レク活動等の参加状況

(延べ人数)

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
レク活動	562	631	536	498	394	249	0	0	0	0	0	0	2,870
ラジオ体操	946	1,006	790	678	552	337	0	0	0	0	0	0	4,309
軽作業	4	4	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	14
行事参加	124	41	97	82	51	93	0	0	0	0	0	0	488
合計	1,636	1,682	1,423	1,258	997	683	0	0	0	0	0	0	7,679

③通院・薬受け状況

診 療 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
県立大船渡病院													
血液内科	1					1						1	3
脳神経外科		1			1		1	1		2			6
外科										1			1
整形外科	1										1		2
消化器内科	2								1				3
婦人科	1												1
泌尿器科	1	1		2			2	1	1	2	4	2	16
精神科	3	3	3	3	3	2	4	3	2	3	2	2	33
救急センター	1					1	2	2	1	1			8
循環器科	1	1		1		2		1		1			7
緩和ケア									1	2			3
呼吸器科	2	2	1	2	2	2	1	1	2	2	1	1	19
眼科									1				1
皮膚科													
神経内科		1		1		1	1						4
県立大船渡病院合計	13	9	4	9	6	9	11	9	9	15	8	6	108
山崎内科医院	46	8	10	5	4	11	3	2	12	8	7	14	91
及川皮膚科			10	5	2	5	1	11	10	7	6		57
歯科	6	4	9	5	3							1	28
その他医院								1	3	4	5		13
受診科数	11	8	5	8	6	8	8	9	12	14	11	6	
実人数	65	21	19	22	15	25	15	18	28	23	17	21	
延人数	65	21	33	24	15	25	15	23	34	34	26	21	

2 委員会の開催状況

医療的ケア対策推進委員会

3ヶ月に1度以上口腔内吸引等に関する研修及びフォローアップ勉強会を開催する。

岩手県介護職員等医療的ケア研修の基本研修（演習）をベースとして看護職員が実演をすることでより安全面に配慮した知識向上に繋げることができた。

現在は終日通して吸引等が必要な入居者はいないため指示書等はないが、成仁会の看取りケアは地域においてもニーズが高いことから定期的な研修会やフォローアップ研修には職員一丸となって取り組んで知識の成熟をめざしていきたい。

開催日		内容	
第1回	4月20日	年間活動計画	年間の活動計画を作成し、定期的且つ継続的に学べる計画を作成する
第2回	7月13日	フォローアップ及び勉強会	医療的ケア研修より、研修動画を見て口腔内喀痰吸引について勉強会を行う。
第3回	10月10日	フォローアップ及び勉強会	医療的ケア研修より、研修動画を見て口腔内喀痰吸引について勉強会を行う。
第4回	令和6年 2月8日	フォローアップ及び勉強会	医療的ケア研修より、研修動画を見て口腔内喀痰吸引について勉強会を行う。

広報委員会

1、富美岡荘の広報について

富美岡荘の広報誌を、滞りなく様々な内容を掲載し発行することができた。今年度も1ヶ月毎に発行し、ご家族様に届け様子をお伝えすることができた。また、入居者様の日々の活動や行事の写真撮影を、率先して行うことができた。

月		活動内容
令和5年3月	富美岡荘物語	ひな祭り ホワイトデー 地域交流 居酒屋イベント 誕生会 元気です！富美岡荘
令和5年4月	富美岡荘物語	お花見 花祭り 誕生会 いきいきクラブ 天ぷら・寿司バイキング 職員紹介 元気です！富美岡荘
令和5年5月	富美岡荘物語	富美岡荘開荘記念行事 母の日 バスハイク 誕生会 いきいきクラブ 希望昼食会 元気です！富美岡荘
令和5年6月	富美岡荘物語	富美岡荘大運動会 父の日 誕生会 お茶会 元気です！富美岡荘
令和5年7月	富美岡荘物語	七夕 流しそうめん 誕生会 バスハイク いきいきクラブ 希望昼食会 元気です！富美岡荘
令和5年8月	富美岡荘物語	夏を味わう会 誕生会 迎え火 送り火 元気です！富美岡荘
令和5年9月	富美岡荘物語	富美岡荘敬老会 誕生会 十五夜 職員紹介 不在者投票 元気です！富美岡荘
令和5年10月	富美岡荘物語	バスハイク 野外食 バイキング ハロウィン 誕生会 いきいきクラブ 元気です！富美岡荘
令和5年11月		※施設内新型コロナウイルス蔓延の為、発行できず 翌月11、12月合併号として発行している
令和5年12月	富美岡荘物語	<11.12月合併号> 誕生会 クリスマス会 忘年会 餅つき 100歳セレモニー 元気です！富美岡荘
令和6年1月	富美岡荘物語	年頭挨拶 施設長挨拶 鏡開き 餅バイキング 誕生会 書初め 元気です！富美岡荘
令和6年2月	富美岡荘物語	節分 恵方巻 バレンタイン 誕生会 鍋を楽しむ会 為になるコラム 元気です！富美岡荘

2、ホームページについて

広報誌同様、様々な行事や広報誌に載せきれない行事を事細かに掲載、発信し、地域福祉に貢献することができた。ホームページ掲載にあたり、施設のPRもすることができた。

月	活動内容
令和5年4月	珠玉飯「天ぷら」花祭り 居酒屋「富」
5月	富美岡荘開荘記念行事 珠玉飯「寿司」
6月	ドライブ 運動会練習 富美岡荘大運動会
7月	富美岡荘ファーム
8月	梅仕事
9月	富美岡荘敬老会
10月	十五夜 珠玉飯「ランチバイキング」
令和6年2月	富美岡荘大忘年会 クリスマス会 餅つき 水木団子

リスクマネジメント委員会

昨年度末から検討していた報告書の電子化が概ね周知把握され、スムーズな報告スタイルが確率されてきた。しかし、埋もれてしまう危険性もあることから次年度は明確化に取り組んで行きたい。

また、骨折等の大きな事故もなく過ごすことが出来たのは非常に大きいと考える。

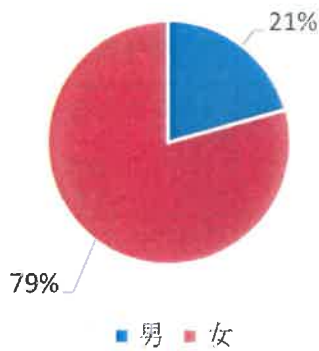
	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和5年4月6日	・令和5年3月ヒヤリハット及び事故報告の分析について ・今年度の委員会活動について	・3月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。 ・令和5年度の年間計画を立案
第2回	令和5年5月4日	・令和5年4月ヒヤリハット及び事故報告の分析について ・ヒヤリハット及び事故報告書に関する電子決裁までの流れについて	・4月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。 ・ヒヤリハットと事故の境界が不明瞭な点が多いことから検討と電子化の周知
第3回	令和5年6月8日	・令和5年5月ヒヤリハット及び事故報告の分析について ・ヒヤリハット及び事故報告書に関する電子決裁までの流れについて	・5月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。 ・ヒヤリハットと事故の境界が不明瞭な点が多いことから検討と電子化の周知
第4回	令和5年7月6日	・令和5年6月ヒヤリハット及び事故報告の分析について ・ヒヤリハット及び事故報告書に関する電子決裁までの流れについて	・6月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。 ・ヒヤリハットと事故の境界が不明瞭な点が多いことから検討と電子化の周知
第5回	令和5年8月3日	・令和5年7月ヒヤリハット及び事故報告の分析について ・ヒヤリハット及び事故報告書に関する電子決裁までの流れについて	・7月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。 ・ヒヤリハットと事故の境界が不明瞭な点が多いことから検討と電子化の周知
第6回	令和5年9月7日	・令和5年8月ヒヤリハット及び事故報告の分析について ・事故報告書の意義を考える	・8月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。 ・事故報告書の意義を考える
第7回	令和5年10月5日	・令和5年9月ヒヤリハット及び事故報告の分析について	・9月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。 ・電子版の報告書に関する現状と課題を抽出
第8回	令和5年11月2日	・令和5年10月ヒヤリハット及び事故報告の分析について	・10月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。
第9回	令和5年12月7日	・令和5年11月ヒヤリハット及び事故報告の分析について	・11月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。
第10回	令和6年1月11日	・令和6年1月ヒヤリハット及び事故報告の分析について	・12月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。
第11回	令和6年2月8日	・令和6年2月ヒヤリハット及び事故報告の分析について	・1月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。
第12回	令和6年3月14日	・令和6年3月ヒヤリハット及び事故報告の分析について	・2月のヒヤリハット及び事故報告の分析を行う。

事故・ヒヤリハット発生状況グラフ

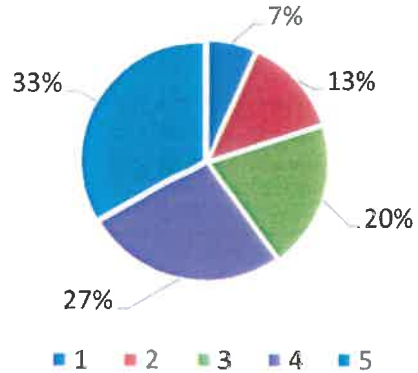
ヒヤリハットと事故報告の境界を明確にしたことで報告者から報告しやすいとの意見が聞かれている。

報告件数が昨年度に比べると減っているのは未然に防げている事案があるものと前向きに検討する一方でリスクは潜在化していることを周知していきたい。

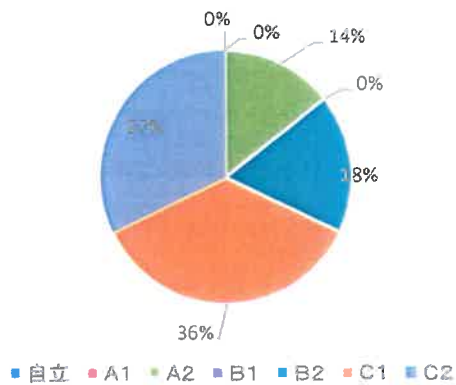
性別



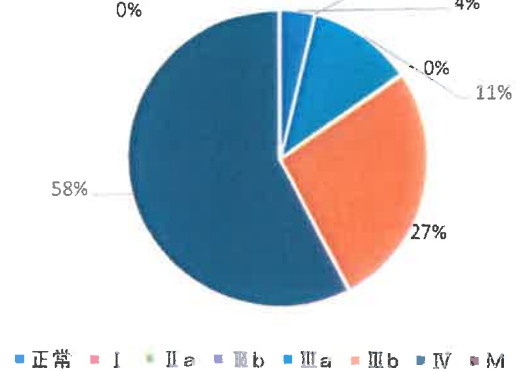
要介護度



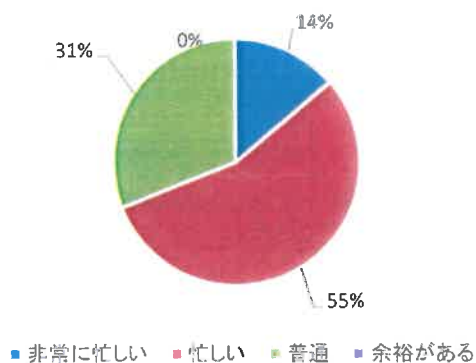
日常生活自立度(障害)



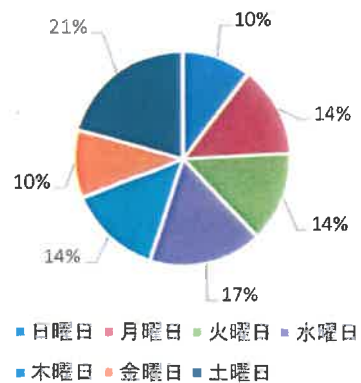
日常生活自立度(痴呆)



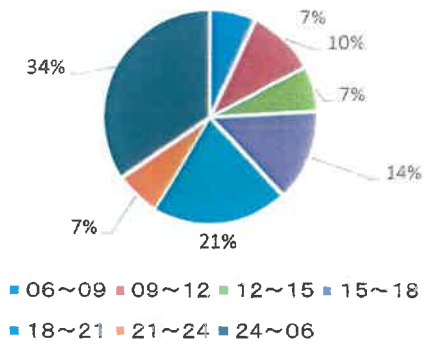
業務の多忙度



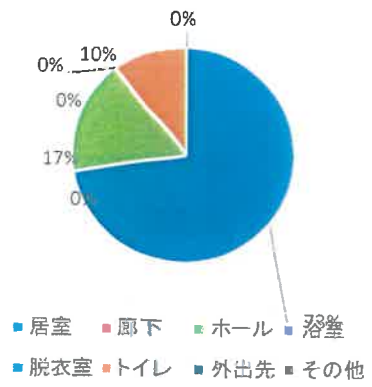
曜日別



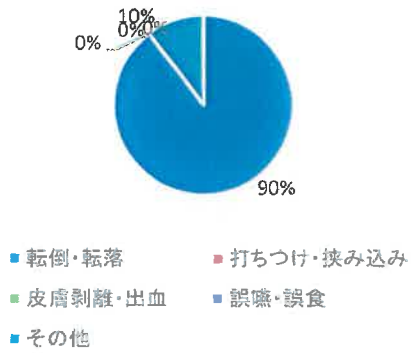
時間別



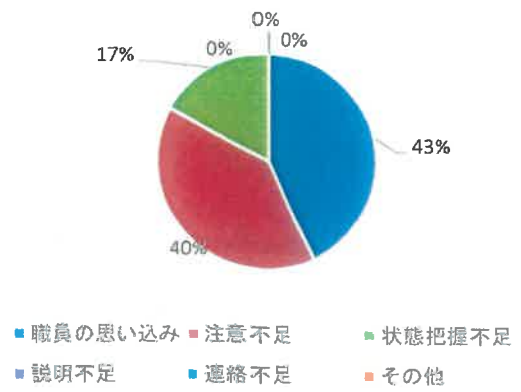
発生場所



種類



原因



感染症予防対策委員会

今年度も新型コロナが猛威を振るい、富美岡荘においてもクラスターが発生した。今年度は利用者だけではなく、職員も10名が感染するという事態となった。それによりゾーニングに対する意識も高まるなど、今後の更なる予防意識にもつながった。

また、今年度は疥癬の発生があり、秋には角化型疥癬というより感染力の強いものも発生した。それにより職員の観察力、予防意識も高まった。

施設内では、新型コロナウイルスを主に感染症及び食中毒発生の予防、発生時の蔓延予防の内部研修を実施した。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和5年 4月13日	今年度の活動計画、 MRSA についての 内部研修打合せ	今年度の年間計画を作成 MRSA について内部研修を行う。
第2回	6月8日	新型コロナウイルス 等、感染症の動向 について	岩手県、気仙管内における新型コロナや インフルエンザの発生状況を把握し、予 防について注意喚起する。
第3回	8月10日	新型コロナウイルス 等、感染症の動向 について	岩手県、気仙管内における新型コロナ発 生状況を把握し、予防について注意喚起 する。
第4回	10月12日	新型コロナウイルス 等、感染症の動向 について 11月内部研修打合 せ(ノロウイルス予 防対策について)	岩手県、気仙管内における新型コロナ発 生状況を把握し、予防について注意喚起 する。 11月内部研修についての打合せを行う。
第5回	12月14日	新型コロナウイルス 等、感染症の動向 と対策について	岩手県、気仙管内における新型コロナ発 生状況を把握し、予防について注意喚起 する。
第6回	2月15日	新型コロナウイルス 感染症の動向と 対策について	岩手県、気仙管内における新型コロナ、 インフルエンザの発生状況を把握し、予 防について注意喚起する。

褥瘡予防対策委員会

今年度の活動目標である「ブレードンスケール調査」は実行出来た。エアーマット稼働率調査を報告、ケアテックによるエアーマット体験実習を開催 新たにエアーマット購入検討して頂く事が出来た。年2回の内部研修会開催できた。ブレードンスケール調査を行った事により統一ケアに繋がった。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和5年4月7日	今年度の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動目標 ・ブレードンスケール調査 ・皮膚トラブルについて
第2回	令和5年5月18日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員研修 ・エアーマット使用状況の確認 ・ブレードンスケール調査
第3回	令和5年6月29日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況の確認 ・ブレードンスケール調査
第4回	令和5年7月26日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況 ・ブレードンスケール調査
第5回	令和4年8月17日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・エアーマット使用状況の確認 ・ブレードンスケール調査について
第6回	令和5年9月27日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレードンスケール調査 ・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況の確認
第7回	令和5年10月29日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況の確認 ・ブレードンスケール調査
第8回	令和5年12月16日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・エアーマット使用状況の確認 ・ブレードンスケール調査について
第9回	令和5年12月28日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・エアーマット使用状況 ・皮膚トラブルについて ・ブレードンスケール調査
第10回	令和6年1月17日	内部研修	<ul style="list-style-type: none"> ・現在エアーマット稼働率 ・ケアテックによるエアーマットの説明 ・マット使用体験
第11回	令和6年3月19日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレードンスケール調査 ・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況の確認 ・来年度活動目標について

虐待防止委員会(身体拘束廃止活動含む)

主な活動として、昨年度から引き続き2名について、毎月身体拘束実施経過検討を行った。内部研修では、どのような状態・状況が身体拘束に当たる行為に該当するかについて、実際の事例や写真を用いて理解を深め予防に務めた。ミトン使用による不快感の軽減のための取り組みとして、経鼻交換日の受診前にはミトンを外す時間を設けた。また、虐待早期発見チェックリストを使用し、客観的な視点で自己チェックを行った。虐待のない安心した生活を送れる施設作りにつなげるような活動を行うことができた。

	年月日	開催内容	活動内容	実施人数
第1回	4月7日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	2名
第2回	5月13日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	2名
第3回	6月9日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	3名
第4回	7月2日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	2名
第5回	8月3日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	2名
第6回	9月7日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	2名
第7回	10月5日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	2名
第8回	11月2日	身体拘束実施経過検討 1名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	1名
第9回	12月7日	身体拘束実施経過検討 1名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	1名
第10回	令和6年 1月11日	身体拘束実施経過検討 1名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	1名
第11回	2月9日	身体拘束実施経過検討 1名	身体拘束実施経過検討するも継続する。虐待早期発見チェックリストによる自己評価を実施。	1名

給食委員会

入居者の食事の観察を日々行い、入居者の声として給食連絡会に参加し、食事に関する意見・要望を委託業者へ伝えた。また、楽しく食事をしていただけるよう毎月さまざまなイベントを企画・実施した。食欲不振や体調不良の入居者へは、各課職員と共に摂取状況や嗜好の把握に努め、個別対応や献立内容の見直しを行うなど摂取量が増えるよう努めた。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和5年4月6日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 4月の行事の確認について
第2回	令和5年5月11日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 5月の行事の確認について
第3回	令和5年6月8日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 6月の行事の確認について
第4回	令和5年7月6日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 7月の行事の確認について
第5回	令和5年8月3日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 8月の行事の確認について
第6回	令和5年9月7日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 9月の行事の確認について
第7回	令和5年10月5日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 10月の行事の確認について
第8回	令和5年11月9日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 11月の行事の確認について
第9回	令和5年12月7日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 12月の行事の確認について
第10回	令和6年1月11日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 1月の行事の確認について
第11回	令和6年2月8日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 2月の行事の確認について
第12回	令和6年3月7日	前月の反省と 今月の行事予定について	・ 献立の反省について ・ 3月の行事の確認について

令和5年度 職員研修実施状況（施設内研修）

No.	実施日	内 容	報告者／発表者
1	4月19日(水)	成仁会職員の心構え	施設長 村上博
2	4月19日(水)	倫理及び法令遵守・ハラスメント	施設長 村上博
3	5月11日(木)	MRSA	看護副部長 石倉久美子
4	5月23日(火)	接遇	介護主任 平田義憲
5	5月30日(火)	守秘義務及び個人情報保護	相談副部長 村上丈
6	6月16日(金)	食中毒及び疥癬予防対策	看護副部長 石倉久美子 栄養士 吉田麻美
7	6月26日(月)	プライバシー	相談副部長 村上丈
8	7月4日(火)	高齢者の脱水症	株式会社クリニック 管理栄養士 成田咲恵
9	7月5日(水)	事故発生時の対応	相談副部長 村上丈
10	7月20日(木)	褥瘡予防	看護副部長 村上利子
11	8月8日(火)	介護職による緊急時対応	看護副部長 石倉久美子
12	8月24日(水)	虐待防止・身体拘束廃止	相談副部長 村上丈
13	9月3日(日)	権利擁護・認知症と認知症ケア	相談副部長 山崎絹花
14	10月4日(水)	高齢者虐待	相談副部長 村上丈
15	10月18日(水)	看取りケア	看護副部長 村上利子
16	11月6日(月)	ノロウイルス	栄養士 吉田麻美
17	11月20日(月)	施設におけるリスクマネジメント	相談副部長 村上丈
18	12月5日(金)	感染症及びインフルエンザ予防対策	看護副部長 村上利子
19	1月9日(火)	褥瘡予防・対策	株式会社ケアテック 菅野拓美
20	1月17日(水)	交通安全・職員のメンタルヘルス	施設長 村上博
21	2月6日(火)	嚥下～接食・嚥下の基本	株式会社クリニック 管理栄養士 成田咲恵
22	2月7日(水)	介護保険制度	相談副部長 村上丈
23	2月26日(月)	腰痛	看護副部長 村上利子
24	3月11日(月)	非常災害	相談副部長 村上丈
25	3月27日(水)	事業計画	施設長 村上博

【施設外研修】

No.	実施日	内 容	出席者
	7月13～14日	令和5年度認知症介護実践者研修	相談副部長 山崎絹花
	8月23～24日	令和5年度認知症介護実践者研修	相談副部長 山崎絹花
	11月8日	令和5年度健康的な食事推進マスター スキルアップ研修会 参加型	栄養士 吉田麻美

富美岡荘 1年間の様子



【天ぷらバイキング】
令和5年4月3日



【お花見散歩】
令和5年4月6日



【花まつり】
令和5年4月8日



【寿司の日】
令和5年4月28日



【お花見】
令和5年4月10日

富美岡荘 1年間の様子



富美岡荘 1年間の様子



【第48回開荘記念日】
令和5年5月1日



【第48回開荘記念日】
令和5年5月1日

富美岡荘 1年間の様子



【第48回開荘記念日】
令和5年5月1日



【第48回開荘記念日】
令和5年5月1日

富美岡荘 1年間の様子



【第48回開荘記念日】
令和5年5月1日



【第48回開荘記念日】
令和5年5月1日

富美岡荘 1年間の様子



【第48回開荘記念日】
令和5年5月1日



【第48回開荘記念日】
令和5年5月1日

富美岡荘 1年間の様子



【いきいきクラブ習字】
令和5年6月1日



【富美岡荘運動会】
令和5年6月7日



【お茶会】
令和5年6月14日



【コロナワクチン接種】
令和5年6月15日



【父の日】
令和5年6月18日



【いきいきクラブ園芸】
令和5年6月19日



【ご当地メニュー・ラーメン】
令和5年6月23日



【6月誕生会】
令和5年6月28日

富美岡荘 1年間の様子



【施設内研修・水分補給について】
令和5年7月4日



【いきいきクラブ園芸】
令和5年7月5日



【梅仕事】
令和5年7月7日



【いきいきクラブ園芸】
令和5年7月9日



【パンの日】
令和5年7月12日



【7月誕生会】
令和5年7月26日



【スイカ割り大会】
令和5年7月31日



富美岡荘 1年間の様子



【夏祭り】
令和5年8月9日



【迎え火】
令和5年8月13日



【送り火】
令和5年8月16日



【不在者投票】
令和5年8月29日



【敬老会お膳試食会】
令和5年9月5日

富美岡荘 1年間の様子



【敬老会お膳試食会】
令和5年9月5日



【いきいきクラブ習字】
令和5年9月10日



【敬老会】
令和5年9月15日



【敬老会】
令和5年9月15日



【敬老会】
令和5年9月15日

富美岡荘 1年間の様子



【敬老会】
令和5年9月15日



【敬老会】
令和5年9月15日

富美岡荘 1 年間の様子



【敬老会】
令和5年9月15日



【敬老会】
令和5年9月15日

富美岡荘 1年間の様子



【敬老会】
令和5年9月15日



【敬老会】
令和5年9月15日



【ランチバイキング】
令和5年10月4日



【ふるさと巡りバスハイク】
令和5年10月5日



【いきいきクラブ習字】
令和5年10月5日



【野外食・さんま焼き】
令和5年10月11日

富美岡荘 1年間の様子



【いきいきクラブ音楽】
令和5年10月14日



【いきいきクラブ裁縫】
令和5年10月16日



【防災訓練】
令和5年10月16日



【コロナワクチン接種】
令和5年10月19日



【職員会議】
令和5年10月17日



【新沼アキ子様誕生日】
令和5年10月28日



【クリスマスツリー準備】
令和5年11月25日

富美岡荘 1年間の様子



【忘年会・お寿司の日】
令和5年12月18日



【12月誕生会】
令和5年12月20日



【クリスマスホーム喫茶】
令和5年12月24日



【コロナワクチン接種】
令和5年10月19日



【餅つき大会】
令和5年12月28日



【お餅バイキング】
令和5年12月28日



【満百歳セレモニー】
令和5年12月30日



【大晦日】
令和5年12月31日

富美岡荘 1年間の様子



【元旦・書初め】
令和6年1月1日



【新年の挨拶】
令和6年1月4日



【新年の挨拶】
令和6年1月4日



【鏡開き】
令和6年1月11日



【福笑い】
令和6年1月4日



【水木団子づくり】
令和6年1月15日



【平山サタヨ様お誕生日】
令和6年1月21日



【希望屋食会】
令和6年1月31日

富美岡荘 1年間の様子



【恵方巻き作り】
令和6年2月2日



【豆まき大会】
令和6年2月2日



【豆まき大会】
令和6年2月2日



【おやつ作り】
令和6年2月2日



【施設内研修・嚙下について】
令和6年2月6日



【バレンタイン喫茶】
令和6年2月14日



【パンの選択食】
令和6年2月16日



【鍋週間】
令和6年2月19日

富美岡荘 1年間の様子



【余暇活動・生け花】
令和6年3月4日



【いきいきクラブ習字】
令和6年3月8日



【チェロ演奏会】
令和6年3月12日



【おやつ作り】
令和6年2月2日



【駄菓子屋さん】
令和6年3月14日



【余暇活動・習字】
令和6年3月15日



【彼岸供養】
令和6年3月21日



【ご当地メニュー・福田パン風】
令和6年3月22日

令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

養護（盲）老人ホーム 祥風苑

令和5年度の事業を振り返って
「私たちは岩手のそして大船渡の高齢社会に貢献する」
『盲老人と 共に歩み 共に前進』
～ とことん専門性の 追及で
31年目の 新たな一歩 ～

祥風苑は平成5年に岩手県で唯一の養護盲老人ホームとして開設し、31周年を迎えました。当時、在宅で大変な生活をされている視覚障がいの高齢者に、尊厳のあるより良い生活を提供したい一心で、故山崎シゲ会長と和彦理事長が、全国盲老人福祉施設協議会や岩手県視覚障がい者協会、関係各位にご支援をいただき、苦労の末やっと開所にこぎつけました。開設当初からのご入居者様は現在3名となり、高齢ではありますが皆様お元気に生活をされております。

令和5年度は定員50名の内、要介護認定者は30名、その平均介護度は3.2となっております。視覚障がいに加え、聴覚障がいや嚥下、精神障がいなどを重複し、更には重度の認知症の入居者様が増えており、当初の養護盲老人ホームとは違った困難さが更に顕著になっております。年間の退所者は8名。嘱託医の山崎先生と連携し、施設でほとんどの方を最後まで看取らせて頂きました。

また、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、7月中旬より施設クラスターが発生し、およそ一月の間、施設を閉鎖し、皆様には大変なご苦勞とご心配をおかけしてしまいました。その後は感染対策に徹底した一年でしたが、お陰様にて新年度を変わらず迎えることができました。

この一年間は地域交流もできず、施設内での暮らしが多くなりましたが、工夫を凝らし様々な取り組みをすることができました。

四季折々の行事やクラブ活動、佐藤不二雄先生の「短歌教室」、職員の指導による「コーラスクラブ」、食を楽しむ企画、趣味や生きがいづくりの場を提供し、「元気で長生き」を推進する故山崎シゲ会長の思いにより、職員一同が一丸となり継続して取り組んでおります。

まだまだ感染症対策が続く中で令和5年度も大過なく一年を終えることができました事に安堵するとともに、令和6年度も更に県内措置機関・各関係機関との連携、連絡を密に図るようにし、定員を確保し安定した運営に努めてまいりたいと思います。

亡き山崎シゲ会長が懇願して設置した盲老人ホームでございます。永年築き上げた歴史に、職員一丸となって更なる専門性を磨き、より質の高いケアをもって継続するよう努力いたします。

養護(盲)老人ホーム 祥風苑
施設長 崎山 美知枝

1 各課の事業実施状況

(1) 総務課

今年度も引き続き、業務の効率化と迅速化に努めた。

業務については、点検、見直し、工夫を図りながら、法令や法人諸規程、県の指導に基づき、適性かつ正確な事務処理に努めた。

また、常にコスト意識を保ち、収入の確保、不要な支出の削減を心掛けながら、安定した施設運営に努めた。

祥風苑は今年で31年が経過し、施設設備のいたるところに老朽化による不具合が生じている。優先度を考慮しながら、設備と住環境の改善に取り組んだ。

入居の皆様が安心・安全、快適に過ごして頂けることを念頭に、今後とも整備改善を進めたい。

また、広報紙やホームページの充実を図り、県内唯一の盲老人施設であることの情報発信と入居者確保につなげた。

その他、職員のスキルアップにも施設内で積極的に取り組んだが、更なる専門性の向上を図るとともに、法人本部、各施設間との連携を緊密にし、円滑な施設運営、業務に努めた。

7月中旬に新型コロナウイルスが施設で流行したが、大事に至らなかった。感染症や自然災害等に備えて備蓄品の必要性を重く受け止め、備蓄にも努めた。

(2) 生活相談課

令和5年度は満床でスタートし、年度末までに8名退所した。年間を通じて措置機関への訪問の他、電話での情報収集を行い措置市町村との連携も密に図り、7名の入所者を受け入れた。

新型コロナウイルスの流行が収束せず入居者様は外出や面会が制限され、施設内での生活が中心となった。ご家族にも感染症対策にご理解いただき、入居者様との関係が疎遠にならないよう、電話連絡や広報誌とともに写真を同封して様子を伝えるなどの工夫をした。また、視力障がい者である相談員によるマッサージや、その他の相談員が居室を訪問し、入居者様とのコミュニケーションを図ったり、所用を個別に対応したりなどして日々のストレスの軽減にあたった。

前年度に引き続き、高齢者虐待の防止や権利擁護の勉強会及び内部研修の実施、外部研修(リモート含む)等に参加をした。

また、埼玉医科大学の実証実験と科学的根拠に基づいたケアを実施するため科学的ケア推進委員会を開催し、計画的にBI(バーサルインデックス)データをとりADL(日常生活動作)評価を継続し行った。

また、入居者様も60歳代の方が増えて、自己主張が強かったり、暴言や反発的な態度をとる方、精神障害の方など多様なニーズに応じて接しているが、より自分らしく生活できるように、その環境や支援を考えていく事が難しい課題となった。

入退所の状況

今年度は90代の退所者が多く、入所者については比較的若い層が多かった。糖尿病の他、がんを患う方が年々増えており、何らかの病気が引き金で死亡するケースも多くなってきている。9月には3名の退所があり、市町村に働きかけたが措置控えもあり各市町村待機はいない状況。1床空床のまま年度末となった。

【入所者】

No.	入所年月日	氏名	措置権者	摘要
1	R5.8.30	T・K様	大船渡市	自宅より入所
2	R5.9.21	T・S様	釜石市	自宅より入所
3	R5.10.1	S・Y様	東京都大田区	自宅より入所
4	R5.11.1	K・M様	大船渡市	病院より入所
5	R5.11.30	T・Y様	大船渡市	病院より入所
6	R5.12.28	K・T様	遠野市	病院より入所
7	R6.3.1	S・T様	大船渡市	自宅より入所

【退所者】

No.	退所年月日	氏名	措置権者	摘要
1	R5.8.24	M・T様	宮古市	措置替え
2	R5.9.6	M・S様	宮古市	祥風苑にて死亡
3	R5.9.10	K・S様	陸前高田市	祥風苑にて死亡
4	R5.9.13	E・H様	陸前高田市	病院にて死亡
5	R5.10.16	H・S様	宮古市	病院にて死亡
6	R5.12.6	M・C様	遠野市	祥風苑にて死亡
7	R6.2.9	K・Y様	大船渡市	祥風苑にて死亡
8	R6.2.24	M・M様	一関市	病院にて死亡

入退院の状況

今年度は転倒による骨折での入院者が3件と骨折による入院が多い年となった。遠方の家族の方が多く、入院時すぐに家族が対応することが難しい状況にあり、入院の手続き、準備、必要な連絡など家族に代わって行う場面も多くあった。病状説明に同席させていただき、本人の病状説明を把握することで囑託医とも連携ができ、受け入れをスムーズに行うことができた。

	氏名	入院先(病院名)	病名	入院日	退院日	備考
1	E・K様	岩手県立 大船渡病院	右大腿骨頸部骨折 (OP)	→	R5.4.17(月)	
2	C・F様	岩手県立 大船渡病院	左大転子骨折 (OP)	R5.6.26(月)	R5.8.10(木)	
3	H・S様	岩手県立 大船渡病院	誤嚥性肺炎、重度呼 吸器不全	R5.8.4(金)	→	10/16 入院先にて死亡
4	Y・S様	岩手県立 大船渡病院	左大腿部頸部骨折 (OP)	R5.10.28(土)	R5.12.1(金)	
5	M・M様	岩手県立 大船渡病院	心不全、肺炎	R6.2.13(火)	→	2/24 入院先にて死亡
6	R・F様	岩手県立 大船渡病院	左脳梗塞、失語症	R6.3.23(土)	→	入院中

地域交流、施設間交流、余暇、クラブ活動等集計表

祥風苑では心身の健康状態を維持していくために、日々の生活の中において個人が持っている機能の衰えを出来るだけ防いで自立支援を図りました。各クラブ活動は趣味を中心に自発的参加者が中心になり毎月定期的実施していますが、昨年引き続き感染症予防対策にて各活動や外出を自粛せざるを得ない時期がありました。わいわいクラブにおいては多種多様な症状の方に合わせ苑内で職員の援助にて機能低下防止を図り可能な限り参加して頂いた。また、自立した方々は各居室にてテレビ、ラジオ、点字図書の利用にて過ごされました。

活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
せきれいの会交流会	0	0	0	33	0	0	0	29	26	0	0	0	88	
コーラスクラブ	15	12	19	14	0	23	22	29	0	15	13	14	176	
カラオケクラブ	36	26	32	21	13	31	21	41	8	22	23	41	315	
短歌教室	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	78	
外出	1	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	
外出食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ラジオ体操	490	550	531	440	380	408	491	481	442	446	435	472	3797	
散歩	46	29	18	30	0	0	23	0	0	0	0	18	164	
商店出張販売	72	69	30	63	0	51	41	40	41	46	40	32	525	
地域交流	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	29	
わいわいクラブ	口腔機能向上体操	120	77	81	48	10	133	66	76	93	100	79	120	1003
	運動機能向上体操	74	138	71	41	20	82	86	83	58	32	36	98	819
	読み聞かせ	105	65	107	31	14	34	77	60	107	34	19	69	722
	手芸	47	51	40	35	24	45	145	78	38	38	29	40	610
	調理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1013	1025	947	763	468	843	978	923	819	739	680	911		

(3) 介護課

ケアプランにもとづき入居者の個々の生活に合わせて自分らしく生活が送れるよう援助を行った。その中で、介護課として最も重点を置いたことは、個々の入居者のニーズに対応することである。

視覚障がい以外にも聴覚、精神、聾啞等の障がい、認知症や要介護度の違い、入所に至る背景、価値観の違う入居者個々に対応するため、日誌や連絡ノートを活用し、職員間で情報共有を行うとともに日々のミーティングで話し合い、個々のニーズに素早く対応することを心掛けた。その結果、褥瘡発生者はゼロに抑えることが出来たが、年齢を重ねるごとに徐々に身体機能が衰え事故発生数はゼロではなかったが、その都度解決策を話し合い再発防止に努めた。

短歌は個々に聞き取りに伺い、コーラスクラブは敬老会にて披露しクラブ活動の充実を図る事ができた。また、入居者全員で体を動かして楽しめるイベントの他に少人数や個別の買い物対応などきめ細やかにニーズに対応していく事で入居者の満足度を上げることができた。日常では生活リハビリを兼ねて野外散歩を天候を見ながら実施した。

日々の変化していく心身の状態と向き合い、入居者自らが「自分らしく生活する」ことをどのように支えていくか、その大切さと難しさをあらためて考えさせられた1年だった。

日常生活状況

※ 視覚障害のため、自立であっても誘導介助を要する。

①食事

R.6年3月31日付

	自立	見守り	一部介助	全面介助	合計
男	14	3	0	1	18
女	14	11	6	0	31
計	28	14	6	1	49

②移動

R.6年3月31日付

	自立	一部介助	全面介助	合計
男	7	8	3	18
女	9	16	6	31
計	16	24	9	49

③排泄

R.6年3月31日付

	排泄状況			日中				夜間			
	自立	一部介助	全面介助	トイレ自立	トイレ介助	Pトイレ	オムツ交換	トイレ自立	トイレ介助	Pトイレ	オムツ交換
男	14	3	2	14	1	3	1	11	1	4	2
女	18	7	8	18	7	1	7	15	2	6	8
計	32	10	10	32	8	4	8	26	3	10	10

※入居者の希望や状態により重複箇所あり。

④入浴

R.6年3月31日付

	自立	一部介助	全面介助 (リフト込)	合計
男	10	6	2	18
女	12	14	5	31
計	22	20	7	49

⑤更衣

R.6年3月31日付

	自立	一部介助	全面介助	合計
男	10	6	2	18
女	14	13	4	31
計	24	18	6	49

行事实施状況

今年度は、コロナ感染状況をみながら、少しでも苑外へでる機会が増えるよう企画し実行されたが、7月・8月・2月は残念ながら行事中止になってしまった。苑内での行事は、全入居者様が楽しんで頂けるよう心掛け、リクエストを聞きながら実行に移すことができた。

月 日	行 事 概 要	月 日	行 事 概 要
4月1日	開苑記念日	9月15日	祥風苑・富美岡荘合同敬老会
7日	花祭り	20日	秋彼岸供養及び共同墓地碑お墓参り
11日	バスハイク	21日	誕生会
12日	観桜会・誕生会	10月5日	出前寿司
5月11日	藤棚見学ツアー	8日	獅子舞・神楽見物
19日	出前寿司	18日	バスハイク
24日	誕生会	25日	スポーツ大会&誕生会
25日	防波堤タイルアート見物	11月10日	ケーキ出前会
6月3日	蔵ハウス・まちぐるみ大運動会	22日	せきれいの会交流会&誕生会
7日	富美岡荘大運動会	12月6日	出前寿司
14日	バスハイク	25日	忘年会&誕生会
15日	洋食出前会	27日	餅つき大会
28日	誕生会	1月4日	新春福引大会
7月13日	ケーキ出前会	24日	誕生会
19日	せきれいの会交流会	2月2日	豆まき・節分
26日	誕生会(コロナのため中止)	7日	出前寿司
8月9日	夏祭り(コロナのため中止)	21日	レクリエーション大会(中止)
13日	迎え火	28日	誕生会(3月に合同開催へ)
16日	送り火	3月6日	出前寿司
23日	合同誕生会	21日	春彼岸供養及び共同墓地碑お墓参り
		27日	2月・3月 合同誕生会
(その他) ◎カラオケクラブ、コーラスクラブ、短歌教室については市内コロナ感染状況に応じて実施。			

(4) 看護課

今年度は施設で初めてのコロナウイルス感染症が発生し戸惑いもあるなか感染症対策を行ったが初動体制が遅く合計31名のクラスターになり感染力の速さ・強さを実感した。再度感染症対策を見直し各課連携し合い日々の施設内消毒・マスク着用の徹底を図った。感染症委員会時にはPPE着脱方法を毎回学習し全職員が対応できるよう行った。一度クラスターを経験し職員一同感染症対策に対しての意識が変わり、二度と施設で感染を広めないよう感染対策の確認や日々の体調管理が大切だと感じた。

ご面会や外出など少しずつ緩和されたが、面会時ご家族様のご協力を得ながら抗原検査を行い、また外出も感染症の動向を確認しながら行った。受診は入居者様に説明し、ご理解を得ながらできる限り代診で対応し、やむを得ない受診の時などはマスク着用し、帰苑時にうがい・手洗いの徹底を図った。

また今年度は7名の入居者様を看取った。嘱託医と連携し、ご家族様に容態の変化を細やかに連絡し、ご本人・ご家族の意向を確認しながら全職員でコミュニケーションをとり、お看取りした。その他3名は病院で亡くなった。

新規入居様は7名で、その抱えたる疾病は糖尿病や精神障害等多岐にわたるため、薬の管理やインシュリン注射も多く、対応の難しさで一層の専門性を問われた。また急に容態変化をきたす入居者様もおり、日々の身体状況の観察と、いち早く変化に気づくことで急を脱したり危篤にならず穏やかな生活ができると感じている。

新年度も引き続き嘱託医や各職種との連携を図り入居者様の健康維持に努める。

健康管理状況

(1) 入居者疾患状況

(単位:名)

疾患名	脳血管障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	糖尿病	認知症	リウマチ	心疾患	消化器疾患(便秘含)	精神疾患	皮膚疾患	呼吸器疾患	貧血	内分泌系	悪性新生物	骨粗鬆症	泌尿器系	その他
男	5	7	1	5	5	0	4	9	4	2	1	1	0	4	3	4	3
女	10	15	0	12	14	1	11	18	11	0	2	3	0	2	5	3	4
計	15	22	1	17	19	1	15	27	15	2	3	4	0	6	8	7	7

(2) 医療的処置

(単位:名)

内容	経管栄養		インシュリン	日血内変動糖	不眠	吸痰
	経鼻	胃瘻				
男	1	0	2	5	5	1
女	0	0	5	12	12	2
計	1	0	7	17	17	3

(3) 予防接種状況

(単位:名)

期間	種類	入居者	職員
6月	コロナワクチン	48	20
10~11月	コロナワクチン	46	22
2月	肺炎球菌ワクチン	4	—
11月	インフルエンザワクチン	46	23

(5) 栄養管理室

今年度も「安全」・「安心」・「楽しく」・「おいしい」食事提供を第一に、ご入居者様のいちばんの楽しみである「食」にバラエティー溢れる工夫をした。イベント食ではバイキング形式で要望に応じた料理やおやつを選択できる企画をした。

今年度は、朝食にパン食を希望する入居者様が多く見受けられた。次年度には昼食にもパン食を提供する。

ご入居者様一人ひとりの声に耳を傾け、会話をし、食事内容に満足感が得られるよう嗜好調査を実施することで、個々のニーズに応じた細やかな食事提供をした。身体的理由のある方やアレルギーを持っている方には、代替え食を提供した。また、今年度も便秘の方に排便を促進する補助食品を配茶時に取り入れた。使用してから1週間ほどで個人差はあるが効果が見られている。

ご入居者様のほとんどの方は視覚に障害があるため、クロックポジションによる献立説明や食事の内容、食材や調理方法、盛り付けなどを細やかに説明した。

ご入居者、職員、委託業者とのコミュニケーションを図り、大量調理施設衛生管理マニュアルに基づき、日々の衛生管理と、その記録に努めた。また、毎月の給食会議は各課や委託業者からの意見に基づき施設に合った食事提供や問題点の解決に努めた。

次年度もご入居者様の「笑顔」が見える食事サービスを提供、提案し、さらなる食事満足度の向上に取り組んでいく。各課との連携を深め、食事摂取量が下回ることはないよう栄養バランスの取れた献立作成や健康保持に努めたい。

行事食等提供状況

実施日	内 容
4月 4日 7日 12日 28日	開苑記念日 花まつり 観桜会&誕生会 寿司バイキング
	 
	開苑記念日 寿司バイキング
5月 5日 14日 24日 30日	端午の節句 母の日 誕生会お祝い膳 天ぷら選択食
	 
	天ぷら選択食 母の日
6月 13日 28日 30日	野外食(BBQ) 誕生会お祝い膳 夏越ごはんの日
	 
	野外食(BBQ)

実施日		内 容	
7月	7日 17日 26日 30日	七夕 海の日 誕生会お祝い膳 土用の丑の日(うなぎ)	 <p>七夕素麺 土用の丑の日</p>
8月	8日 11日 14日～16日 20日 23日	チャーハンの日 山の日 お盆メニュー (おはぎ・おふかし・ちらし他) 二十日盆 誕生会お祝い膳	 <p>チャーハンの日 二十日盆</p>
9月	9日 15日 18日 23日 29日	重陽の節句 敬老会&誕生会 敬老の日 秋分の日 十五夜	 <p>敬老会 十五夜</p>
10月	11日 25日 31日	野外食(さんま炭火焼き) 誕生会・スポーツ大会 ハロウィンお茶会	 <p>野外食(さんま炭火焼き)</p>
11月	3日 11日 15日 22日 24日	文化の日 鮭の日 寿司バイキング 誕生会お祝い膳 祥風苑文化祭 懐かしの給食	 <p>寿司バイキング 懐かしの給食 (きな粉揚げパン・シチュー他)</p>
12月	22日 24日 25日 27日 31日	冬至 クリスマスイヴ クリスマス誕生会 クリスマスミニ喫茶 餅つき大会 大晦日メニュー	 <p>クリスマス誕生会</p>

実施日	内 容		
1月 1～3日 7日 15日 24日 1・4・11日	お正月(お節・餅 他) 七草粥 小正月 誕生会お祝い膳 餅の日		
		お正月 お節料理	11日・餅の日
2月 3日 11日 14日 22日 23日 28日	節分(恵方巻) 建国記念日 バレンタインデー おでんの日 天皇誕生日 誕生会お祝い膳		
		節分恵方巻	バレンタインデー
3月 3日 7日 14日 20日 27日	桃の節句 魚の日 ホワイトデー&春のお茶会 春分の日(3色ぼたもち) 誕生会お祝い膳		
		桃の節句	春のお茶会

<定期的に提供する行事食>

○朝食選択食: 月1～2回(和・洋)



○希望昼食会: 月1回 5種類のメニューから選択



リスクマネジメント委員会（事故・ヒヤリハット）

今年度のヒヤリハット報告件数は43件、事故報告件数は2件でした。高齢化と体力低下、心身の変化に伴った転倒・注意不足が多く見られた。毎月の報告から分析し、今後の対応まで各課で話し合い連携する事で、同じ事を繰り返すことのないように委員会を開催した。

開催月日		会議内容	事故件数	ヒヤリハット件数
R.5年 4月	13日	1、3月ヒヤリハット・事故集計報告	1	1
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
		3、令和4年度年間集計報告		
		4、令和5年度委員会目標		
5月	30日	1、4月ヒヤリハット・事故集計報告	0	3
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
6月	12日	内部研修「事故発生の対応について・危険箇所チェック」	0	3
	26日	1、5月ヒヤリハット・事故集計報告		
			2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	
7月	21日	1、6月ヒヤリハット・事故集計報告	1	2
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
8月	21日	1、7月ヒヤリハット・事故集計報告	0	6
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
9月	21日	1、8月ヒヤリハット・事故集計報告	0	3
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
10月	17日	1、9月ヒヤリハット・事故集計報告	0	4
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
11月	14日	1、10月ヒヤリハット・事故集計報告	1	5
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
	14日	内部研修「リスクマネジメントについて」		
12月	11日	1、11月ヒヤリハット・事故集計報告	0	4
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
R.6年 1月	12日	1、12月ヒヤリハット・事故集計報告	0	5
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
2月	28日	1、1月ヒヤリハット・事故集計報告	0	3
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
3月	8日	1、2月ヒヤリハット・事故集計報告	0	4
		2、ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応		
合計			3	43

感染症予防対策委員会

今年度初めて新型コロナウイルスのクラスターが発生し、それ以降委員会時PPEの着脱方法や感染症対策の確認を密に行った。職員一人ひとり意識を持ち施設内に持ち込まないよう徹底した。

回数	月 日	内 容
1	4月28日	今年度の目標、活動方針について
2	6月23日	【内部研修】「感染症・食中毒まん延防止について」 栄養士 菅野郁美
3	10月26日	【内部研修】「新型コロナウイルス施設内発生時の対応について」(研修報告) 看護課 金野舞
4	11月29日	【内部研修】「ノロウイルス対策について」 看護課 今野美紀子
5	12月26日	施設内におけるインフルエンザワクチン・新型コロナワクチン7回目接種 状況確認と施設内でのコロナウイルス感染状況確認
6	2月27日	施設内におけるコロナウイルス・季節型インフルエンザの感染状況確認
7	3月26日	現在の感染症の状況について 今年度の反省

褥瘡予防対策委員会

皮膚の変化や異常があった際、素早く連携し対応できた。また委員会時に各課と検討、細かな意見交換がをし、個々に合ったケアを行うことができ、褥瘡を未然に防ぐことができた。

回数	月 日	内 容
1	5月25日	今年度の目標、活動方針について
2	6月16日	褥瘡発生リスクの高い5名の対応の検討 エアーマット使用状況と検討
3	8月30日	【内部研修】「褥瘡予防について」 介護課 村上明子
4	10月23日	褥瘡発生リスクの高い3名の対応の検討 エアーマット使用状況と検討(OHスケール測定8名)
5	12月18日	【内部研修】「褥瘡予防について」 介護課 金野サラ
6	2月21日	褥瘡発生リスクの高い4名の対応の検討
7	3月15日	エアーマット使用状況と検討(OHスケール測定6名) 今年度の取り組みと反省について

高齢者虐待防止委員会(身体拘束廃止活動を含む)

高齢者虐待防止と権利擁護及び身体拘束廃止について研修を行い高齢者自身の意志を尊重し安心して過ごせるように確認する。

回数	月 日	内 容
1	8月25日	身体拘束の現状:0人 【内部研修】虐待防止について
2	10月7日	身体拘束の現状:0人 【内部研修】虐待防止・身体拘束廃止活動について
3	1月29日	身体拘束の現状:0人【内部研修】虐待防止・身体拘束廃止活動について
4	3月8日	身体拘束の現状:1人 【内部研修】今年度の反省と来年度の取り組みについて

給食委員会

嗜好調査や日々挙げられるご入居者様個々のご要望、各職種からの情報を反映し給食に関する問題の改善に努め、献立やイベント食の提供を行なった。

また毎月、富美岡荘・祥風苑・デイサービスセンター・委託業者で給食会議及び給食委員会を開催した。各職種との情報交換を図り、より一層満足していただける食事提供につなげることができた。

年月日	会議内容	活動内容
令和5年 4月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の反省と、4月の活動計画について ・開苑記念の食事内容の反省について ・感染症予防(コロナウイルス)について 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・その他行事食の準備と聞取り
5月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の反省と、5月の活動計画について ・懇談会に挙げられた食事内容について 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・行事食の準備
6月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・5月の反省と、6月の活動計画について ・嗜好調査の実施について ・夏季に向けて衛生管理について 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回目 嗜好調査実施 ・野外食の提案及び準備 ・行事食参加者の聞取りと準備、集計
7月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の反省と、7月の活動計画について ・献立内容見直しについて ・野外食の食事内容の反省について 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・その他行事食の準備と聞取り
8月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・7月の反省と、8月の活動計画について ・害虫予防について ・夏季の衛生管理について <p>※コロナウイルス感染拡大傾向により、リモートで実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・その他行事食の準備と聞取り
9月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の反省と、9月の活動計画について ・敬老会の食事内容について ・衛生管理について 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会メニューの提案及び準備 ・食堂の環境整備 ・その他行事食の準備と聞取り
10月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の反省と、10月の活動計画について ・敬老会の食事内容の反省について ・感染症予防について 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外食の提案と準備 ・スポーツ大会メニューの提案と準備 ・その他行事食の準備と聞取り
11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の反省と、11月の活動計画について ・食事変更提出時間の確認について ・災害時の施設と厨房の連携について 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回目 嗜好調査実施 ・その他行事食の準備と聞取り
12月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の反省と、12月の活動計画について ・年末年始の食事提供について ・感染症予防(コロナウイルス)について 	<ul style="list-style-type: none"> ・もち提供者の集計 ・その他行事食の準備と聞取り
令和6年 1月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の反省と、1月の活動計画について ・感染症(ノロウイルス)対策と予防について ・イベント食の反省について 	<ul style="list-style-type: none"> ・お正月メニューの提案と準備 ・行事食参加者の聞取りと準備、集計
2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・1月の反省と、2月の活動計画について ・感染症予防(コロナウイルス)について 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事満足度調査の実施 ・その他行事食の準備と聞取り
3月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の反省と、3月の活動計画について ・食事状況の観察と情報の収集 ・今年度の反省と来年度に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・その他行事食の準備と聞取り

研修委員会

職員の専門性の向上と自己研鑽を目的とし研修計画に基づいて内部研修を実施した。

内部研修会

No.	月日	開催内容	講師	参加職種
1	3月25日 ～4月8日	「新採用職員研修会」	施設長 崎山美知枝	新採用職員
2	4月18日	「成仁会の心構え、事業計画」について	施設長 崎山美知枝	全職種
3	4月27日	「接遇」について	介護員兼支援員 刈谷宏子	全職種
4	5月31日	「倫理及び法令順守、ハラスメント」について	生活相談課主任 松本美和子	全職種
5	6月12日	「事故発生の対応・危険箇所チェック」について	介護課主任 田中裕紀	全職種
6	6月23日	「感染症食中毒まん延防止」について	管理栄養士 菅野郁美	全職種
7	7月4日	「守秘義務及び個人情報保護」について	介護課副主任 神永里子	全職種
8	8月25日	「視覚障害者の生活支援」について	生活相談員兼マッサージ師 古水健吾	全職種
9	8月30日	「褥瘡予防」について	介護員兼支援員 村上明子	全職種
10	8月31日	「高齢虐待防止」について	介護課副主任 伊藤真琴	全職種
11	9月8日	「緊急時の対応と施設医療」について	看護課課長 次藤さち子	全職種
12	9月11日	「非常災害」について	介護員兼支援員 今野芳明	全職種
13	9月19日	「プライバシーの保護」について	生活相談課課長 村上信吾	全職種
14	10月16日	「認知症及び認知症ケア」について	介護課副主任 千葉一洋	全職種
15	10月26日	「感染症予防」について	看護師 金野舞	全職種
15	11月8日	「虐待防止・身体拘束禁止」について	介護員兼支援員 佐藤晴樹	全職種
16	11月14日	「リスクマネジメント」について	看護課係長 菅野くみ子	全職種
17	11月29日	「ノロウイルス対策」について	看護師 今野美紀子	全職種
17	12月18日	「褥瘡予防」について	介護員兼支援員 金野サラ	全職種
18	1月26日	「ターミナルケア」について	介護員兼支援員 高橋拓夢	全職種
19	1月29日	「権利擁護」について	相談課副主任 中村すみれ	全職種
20	2月28日	「職員のメンタルヘルス」について	介護員兼支援員 金野義人	全職種
21	2月29日	「腰痛予防」について	介護員兼支援員 村上好子	全職種
22	3月28日	「介護保険制度」について	生活相談課主任 松本美和子	全職種
23	3月29日	「交通安全」について	生活相談課副部長 村上信吾	全職種

広報活動状況報告

広報誌、ホームページの更新にも力を入れ、全国へとPRになるよう様々な施設内の様子を掲載した。広報誌の月1での発行の継続、ホームページの更新はコンスタントに行ない、苑内での出来事・様子を発信することができた。また今年度は広報誌のご家族様への手紙の内容の改善、写真の撮り方を工夫し、クオリティアップに努めた。広報誌を拡大印刷したものを苑内に貼り出し入居者の皆様に見ていただいた。

月	広報誌・HP	掲載内容
4月分	ホームページ	花祭り・誕生会&観桜会・開所30周年記念日・バスハイク
4月号	祥風苑通信	【P1】開苑記念日【P2】春の彼岸供養&希望昼食【P3】栄養・健康ワンポイント お知らせ・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
5月分	ホームページ	藤棚バスハイク・寿司バイキング・五年祭見学・野外散歩・誕生日
5月号	祥風苑通信	【P1】バスハイク観桜会&誕生会【P2】花祭り&寿司バイキング【P3】同上【別紙】短歌教室作品
6月分	ホームページ	野外食・誕生会・綾里バスツアー・祥風苑の日常×2・防災訓練・富美岡荘&蔵ハウス運動会
6月号	祥風苑通信	【P1】藤棚バスハイク&お寿司出前会【P2】誕生会&希望昼食会【P3】同上【別紙】短歌教室作品
7月分	ホームページ	祥風苑の日常・七夕飾り・ケーキ出前会
7月号	祥風苑通信	【P1】野外食&お弁当出前会【P2】富美岡荘・蔵ハウス運動会&6月誕生会【P3】同上
8月分	ホームページ	佐藤忠清様の演奏会・7月&8月誕生会
8月号	祥風苑通信	【P1】七夕飾り&せきれいの会【P2】誕生会&佐藤忠清様の演奏会【P3】【別紙】同上
9月分	ホームページ	十五夜団子作り・9月誕生会・秋の彼岸供養・敬老会〈式典〉〈祝宴〉
9月号	祥風苑通信	【P1】敬老会【P2】秋の彼岸供養&9月誕生会【P3】【別紙】同上
10月分	ホームページ	お寿司出前会・秋刀魚を振る舞う会・獅子舞神楽見学・スポーツ大会
10月号	祥風苑通信	【P1】スポーツ大会&文化祭作品作り【P2】秋刀魚を振る舞う会&お寿司出前会【P3】【別紙】同上
11月分	ホームページ	文化祭作品&お茶会・11月誕生会・相撲甚句・寿司バイキング・ケーキ出前会
11月号	祥風苑通信	【P1】相撲甚句&ケーキ出前会【P2】文化祭作品とお茶会&せきれいの会【P3】永年勤続表彰
12月分	ホームページ	お寿司出前会・誕生会&クリスマス忘年会・クリスマス喫茶・餅つき大会
12月号	祥風苑通信	【P1】お正月行事【P2】クリスマス忘年会・誕生会&お寿司出前会【P3】同上
1月分	ホームページ	新年の挨拶・水木団子作り・1月誕生会
1月号	祥風苑通信	【P1】水木団子作り【P2】1月誕生会&希望昼食会【P3】【別紙】同上
2月分	ホームページ	節分豆まき大会・お寿司出前会
2月号	祥風苑通信	【P1】節分&お寿司出前会【P2】防災訓練&コーラスクラブ【P3】【別紙】同上
3月分	ホームページ	チェロの演奏会・春のお茶会・2.3月合同誕生会・春の彼岸供養
3月号	祥風苑通信	【P1】春のお茶会&2.3月誕生会【P2】春のお茶会&チェロの演奏会【P3】【別紙】同上

3 職員研修実施状況(外部研修)

月 日	内 容	出 席
令和5年 10月26日	「気仙地区感染予防研修会」	看護師 金野舞
令和5年 11月7日	「エルダー・メンター制度導入研修会」	施設長 崎山美知枝
令和5年 11月14日 ～11月16日	「ケアマネ更新研修」	相談課主任 松本美和子
令和5年 11月28日	「令和5年度岩手県認知症介護基礎研修」	管理栄養士 村上好子
令和5年 11月30日	「高齢者福祉施設職員研修会」岩手県栄養士会	管理栄養士 菅野郁美
令和5年 12月1日	「令和5年度岩手県認知症介護基礎研修」	管理栄養士 今野芳明
令和5年 12月5日	「令和5年度岩手県認知症介護基礎研修」	管理栄養士 金野義人
令和6年 2月9日	令和5年度岩手県 介護人材マッチング支援事業 「福祉人材定着支援セミナー」	副施設長 介護課長 鈴木千賀子 菅野くみ子

～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【4月 開苑30周年記念】



～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【4～5月】



お花見バスハイク

花祭り



藤棚見学バスハイク



観桜会&誕生会



タイルアート

五年祭見学

～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【6～7月】



バスハイク



蔵ハウス運動会参加



フクセン出前会



富美岡荘運動会参加



野外食



七夕飾り作り



せきれいの会交流会(zoom)



ケーキ出前会



入居者職員懇談会



コーラスクラブ



余暇活動

～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【8～9月】



迎え火



送り火



不在者投票



7・8月合同誕生会



佐藤忠清ライブショー



墓参り



秋の彼岸供養



寺町一座慰問



十五夜団子作り



内部研修

～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【9月 敬老会】



【試食会】

～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【10月】



スポーツ大会



野外食 秋刀魚の炭火焼き



コーラスクラブ

ハロウィン



バスハイク

獅子舞・神楽見物

出前寿司

～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【10～11月】



相撲甚句



大沢桃子ミニコンサート

～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【11～12月】



入居者職員懇談会



ケーキ出前会



特定技能職員研修



三陸文化祭



猪川地区文化祭



誕生会・忘年会



IBCミュージックソン



寿司バイキング



～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【12月】



餅つき大会

～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 1年間の様子 ～

【1～3月】



新年の挨拶



新年福引大会



水木団子作り



水木団子飾り



会長誕生日会



節分(神前にて)



節分



春の彼岸供養



ひな祭り



チェロコンサート

令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

地域密着型介護老人福祉施設 蔵ハウス大船渡

令和5年度の事業を振り返って

相手の身になって BE WITH YOU

～ひとつひとつに心をこめて～

令和5年度テーマを「相手の身になって BE WITH YOU～ひとつひとつに心をこめて～」とし、運動会を始めとし、飲み屋街、紅白歌合戦など、施設に居ながらにして非日常を感じひとりひとりが楽しんでいただく機会を設けました。特に、敬老会では「ご家族へのビデオレター」を作成し、敬老会当日の様子を個別にDVDにしご家族様にお送りし、大変喜んでいただきました。当施設も開設から15年が過ぎました。常に初心に返り原点を意識し「すべては入居者様の幸せのために」と、職員一丸となりました。それも、48年と言う長い歴史のある本部成仁会がバックにありとても心強く感謝しております。

入居者様29名の状況は、平均介護度4.2・平均年齢88.6歳で昨年より若返りましたが、最高齢者104歳の方が入居されまだまだ楽しみでございます。退居者様は7名でした。退居者様のうち6名は施設でのお看取りで、昨年同様、感染予防対策を徹底し個室でゆっくりと看取り期の時間を過ごすことができ、ご家族様からも大変感謝いただきました。

また新型コロナウイルスが5類になり、感染症対策を更に強化しながら、面会の緩和もし、入居者様・ご家族様に大変喜んでいただき、記念撮影をしてメールで送るなどを共有し、面会に来れなかったご家族様にお見せしたりして喜んでいただけたようです。

「まちの蔵舞(飲み屋街)」「紅白歌合戦」は好評につき、SNSを通じてご覧になったご家族様・地域の方などから「来年は自分たちも参加したい」との声もありました。6年度の計画に反映致します。

また、埼玉医科大学緩和医療科認定施設として、法人全体で情報交換をしながら継続事業としております。

終わりに、誰もが尊敬すべき、シゲ会長が、2月にお亡くなりになりました。「常に相手の身になってそのためにはその方をよく知ること(パーソナルケア)が大事である」「困った人は助ける・救うの精神」こそがいかに大事かを、ここで再度全スタッフで共有し、今後も継承いたします。

地域への関りとしましては、今年度は何もできませんでした。今後、感染症の様子を見ながら、徐々に外へ出て、成仁会のPRをいたします。

GHまちぐるみにおいては、認知症の方の特性をよく理解し常に寄り添ったケアを心掛け、蔵ハウス大船渡同様、コロナ禍ゆえの、遠方のご家族様へのSNS発信などをしており、とても喜んでいただいております。

今後も、シゲ会長の「常に相手の身になって」この想いの大切さを、理事長を先頭に大船渡の高齢者のため、そして、地域のためにスタッフ一丸となって精進してまいります。

地域密着型介護老人福祉施設 蔵ハウス大船渡
認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ
施設長 小笠原 登志江

1 各課の事業実施状況

(1) 生活相談課

令和5年度は「相手の身になって BE WITH YOU～ひとつひとつに心を込めて～」というテーマを掲げ、感染対策をしながら運動会や地域行事などの交流の場も確保した。法人本部と連携を図りながら少しずつご家族様と一緒に過ごす機会も作り、入居者・家族共に安心して過ごしていただけるよう取り組んだ。

「運動会」「縁日風屋台」「ビアガーデン」「まちの蔵舞」「紅白歌合戦」を各課で共同して企画し、施設内に居ながらも非日常を感じ、職員と共に楽しんでいただくことができた。敬老会は当日の様子を収めたDVDに入居者様個々にメッセージを収録し家族に送付したところ、感謝のお手紙を沢山頂戴し、好評だった。

介護保険請求では国保連からの返戻等がなく確実に行うことができた。また未収金管理・回収を会計担当と連携しながら適切に行った。

今年度は7名の退所者のうち6名の方が施設での看取りとなった。嘱託医と連携を図りながら、看取り期に入った方には感染対策を万全にした上で、家族と最期の時をゆっくり過ごしていただくことができた。入院等による空床が生じた際には、他の事業所や市内居宅介護支援事業所と連携を図り、できる限り稼働率を維持しながら在宅介護を支援することができた。

入居の申し込みや問い合わせにも随時対応し、待機者の家族と連絡を取りながら状況の把握に努め、法人での入所検討委員会を通し連携・調整を図り公正な対応をした。

また、入居前の実態調査では在宅生活からの暮らしの継続を実現させるために、より多くの情報収集に努めた。入居後も家族に法人や施設の理念の説明を行い、昔の写真をお借りし、若いころのエピソードを伺いながらアセスメントし、パーソナルケアの実践に向け各課と協同して行った。

10月に施設内で新型コロナウイルスのクラスターが発生したが、速やかに関係機関と連携し対策を講じ、蔵ハウス大船渡では入居者様1名の感染にとどめ、蔓延することなく収束した。骨折などの大きな事故や苦情もなく、平穏な1年を過ごすことができた。今後も家族や地域の方の様々な意見に耳を傾けながら、外部との繋がりを大事にし、社会貢献にも積極的に取り組んでいきたい。

利用実績

長期入所の方は、コロナ禍での面会規制もあり、ご本人・家族とも施設での看取りを希望される方が多かったです。入院による空床は入院期間が定まらない中の調整が難しく、入院・外泊時加算を算定しながら、病院の退院調整との連絡・調整を行い、できる限り短期入所を活用していただけるよう担当ケアマネジャーや本人・家族との連携を図った。

【長期入所】 ※各月実績は利用延べ人数

提供月	要介護1 (人)	要介護2 (人)	要介護3 (人)	要介護4 (人)	要介護5 (人)	平均 介護度	利用 ベッド数 (床)	ベッド 定数 (床)	稼働率	入院 外泊 (日)
令和5年4月	0	0	120	420	330	4.2	870	870	100.0%	0
令和5年5月	0	0	124	434	341	4.2	899	899	100.0%	0
令和5年6月	0	0	120	420	330	4.2	870	870	100.0%	0
令和5年7月	0	0	124	434	341	4.2	899	899	100.0%	0
令和5年8月	0	0	124	434	341	4.2	899	899	100.0%	0
令和5年9月	0	0	120	420	330	4.2	870	870	100.0%	0
令和5年10月	0	0	124	403	366	4.3	893	899	99.3%	6
令和5年11月	0	0	120	376	360	4.3	856	870	98.4%	7
令和5年12月	0	0	137	359	403	4.3	899	899	100.0%	0
令和6年1月	0	0	155	341	403	4.3	899	899	100.0%	0
令和6年2月	0	0	145	348	348	4.2	841	841	100.0%	0
令和6年3月	0	0	155	346	372	4.2	873	899	97.1%	0
合計 (下段：比率)	0 0.0%	0 0.0%	1568 14.9%	4735 44.9%	4265 40.4%	4.2	10,568	10,614	99.6%	13

【短期入所】 ※各月実績は利用延べ人数

提供月	要支援 (人)	要介護1 (人)	要介護2 (人)	要介護3 (人)	要介護4 (人)	要介護5 (人)	平均 介護度	利用 ベッド数 (床)	利用可能 ベッド数 (床)	稼働率
令和5年11月	0	0	0	7	0	0	3.0	7	14	0.8%
令和6年3月	0	0	0	0	0	26	5.0	26	26	2.9%
合計 (下段：比率)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 7.4%	0 0.0%	26 27.7%	4.0	33	40	0.3%

【算定加算・長期入所】

日常生活継続支援加算(Ⅱ) ※46単位	看護体制加算(Ⅰ)イ ※12単位	看護体制加算(Ⅱ)イ ※23単位
処遇改善加算(Ⅰ)	介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)	ベースアップ等支援加算

【算定加算・短期入所】

サービス提供体制強化加算(Ⅰ) ※22単位	看護体制加算(Ⅰ) ※4単位	看護体制加算(Ⅱ) ※8単位
処遇改善加算(Ⅰ)	介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)	ベースアップ等支援加算

【実費負担について】

長期	延べ利用者数における利用者負担額4段階以上の割合	59.5%
短期	延べ利用者数における利用者負担額4段階以上の割合	78.8%

食費 (1日)	1,445円	居住費 (1日)	2,584円
------------	--------	-------------	--------

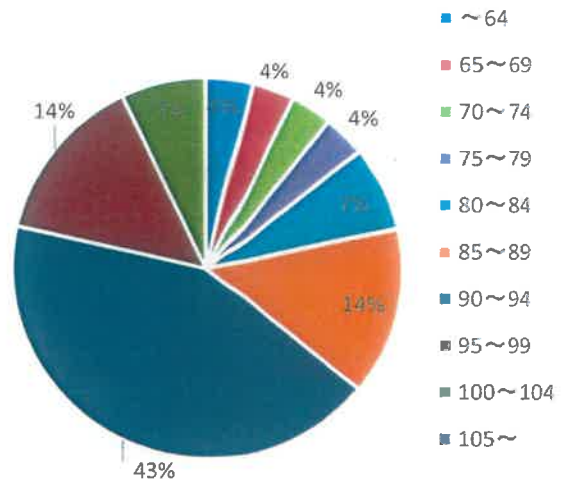
※1日利用の場合、長期・短期ともに上記金額

年齢別状況

(令和6年3月31日現在)

年齢区分	男(人)	女(人)	計(人)	比率(%)
～64	0	1	1	4%
65～69	0	1	1	4%
70～74	1	0	1	4%
75～79	0	1	1	4%
80～84	0	2	2	7%
85～89	1	3	4	14%
90～94	3	9	12	43%
95～99	1	3	4	14%
100～104	0	2	2	7%
105～	0	0	0	0%
計	6	22	28	
最高	97歳	104歳		
最低	71歳	56歳		
平均	88.7歳	88.6歳	88.6歳	

比率(%)



入退居の状況

今年度は入居6名、退居7名で、全員が看取りによる入院や死亡での退所となった。コロナ禍でも看取り期の方には、感染症対策をした上でご家族様に面会していただき、最期を迎えるまでの時間を共有することができた。転倒や転落等の事故によるケガでの入院はなく、体調変化時から家族や囑託医と速やかに連携を行い、入院治療に結びつけることができた。

(1) 入居

No.	年月	介護度	住所
1	令和5年5月	4	盛町
2	令和5年10月	5	盛町
3	令和5年11月	4	大船渡町
4	令和5年12月	3	赤崎町
5	令和6年1月	4	赤崎町
6	令和6年2月	4	猪川町

(2) 退居

No.	年月	介護度	摘要
1	令和5年5月	5	施設にて永眠
2	令和5年10月	5	施設にて永眠
3	令和5年11月	5	療養型病院入院
4	令和5年12月	4	施設にて永眠
5	令和6年1月	5	施設にて永眠
6	令和6年2月	4	施設にて永眠
7	令和6年3月	4	施設にて永眠

(3) 入・退院者の状況

No.	氏名	入院先(病院名)	病名	入院年月日	介護度	退院年月日
1	K. M様	大船渡病院	肺炎	令和5年10月25日	5	-

(2) 介護課

今年度もコロナウイルス感染症予防対策の為、面会・外出・行事等に制限がある中で、「相手の身になって BE WITH YOU～ひとつひとつに心をこめて～」をテーマに平均介護度が重度化している中で、その方に成り代わり声なき声に耳を傾け、心を手にしながらもう一歩先の介護を目指した。

内部研修の一環として疑似体験を行い、実際に入居者と同じ条件で介助を受け、安全に美味しく食事ができるための環境づくりや介助方法、入浴の際の温度管理や羞恥心・プライバシーへの配慮、恐怖感なくリラックスして入浴を楽しんでいただくための声掛け等について勉強会を行った。

職員の持っている知識・技術を生かしたカルチャークラブ（手芸・コーラス・詩吟・クッキング・陶芸・日舞・押し花）を継続して行い、入居者の趣味・余暇活動の幅を広げ、普段の生活では見られない表情や行動があり、懇談会等でも好評の声が多く寄せられた。

面会制限の緩和により、家族との面会が少しずつできているが、遠方の家族以外にもこまめに生活の様子を動画に収めて伝えた。

食事面では、普段の食事摂取動作や咀嚼・嚥下の観察を行い、変化が生じた際には、各課と連携し食事形態の見直しを行った。必要な栄養の摂取だけではなく、家族に相談しながら地物や季節の食材・嗜好に合ったものの持ち込みをして頂き、食への意欲を引き出すように取り組んだ。

排泄への取り組みとしては、随時入居者様の状態に合った排泄用品の種類を選定や交換のタイミングへの見直しを図った。

5年ぶりに外での運動会を開催し、家族にも参加していただいた。敬老会には個々にメッセージ付きのDVD作成し、家族に届けたことで家族との繋がりを再認識することができた。

また、紅白歌合戦やまちの蔵舞など行事には入居者だけではなく、職員も一緒になって楽しむことを意識して企画、実施した。

ケアカンファレンスでは、バーセルインデックス評価も取り入れながら24時間シートを活用した個別ケアの統一に向けて定期的に確認した。

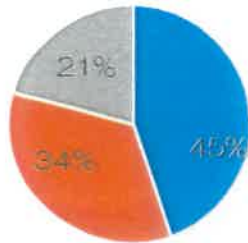
クラブ活動は外部講師を招くことができない状況でも習字クラブ・フラワーアレンジメントクラブ・短歌クラブは継続して行い、作品展示会出展や新聞掲載等で意欲も向上している。

入居者の介護状況

- 【食事】 前年度と大きな変化はないが、食事形態の変更でソフト食やハーフ食が多くなっている。行事食などは、各課で連携し個々の食事摂取状態に応じて柔軟に変更し、「食」への楽しみを感じていただくよう配慮した。
- 【排泄】 個別に排泄用品や排泄方法、支援の方法など定期的に見直しをしながら変更を行った。入退所による変化が大きいですが、前年度と比較すると全介助の方が大幅に減少した。
- 【入浴】 特殊浴割合に変化はない。随時状態の見直しを図り、身体状況に合った入浴方法に移行した。
- 【移動】 生活リハビリにより、施設内では自力で移動できる方が増えている。その分リスクも高まっているが、安全に移動できるよう適切に見守り・介助を行った。

【食事】

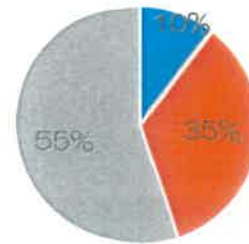
自立	一部介助	全介助
13	10	6



■自立 ■一部介助 ■全介助

【排泄】

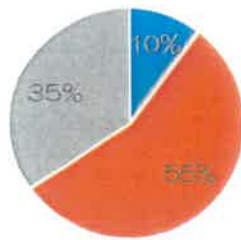
自立	一部介助	全介助
1	4	24



■自立 ■一部介助 ■全介助

【入浴】

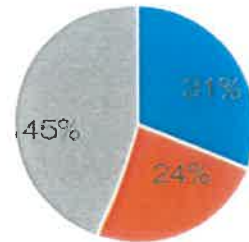
個浴	リフト浴	特殊浴
3	16	10



■個浴 ■リフト浴 ■特殊浴

【起座】

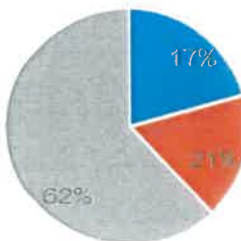
自立	一部介助	全介助
6	3	20



■自立 ■一部介助 ■全介助

【移動（歩行・車椅子）】

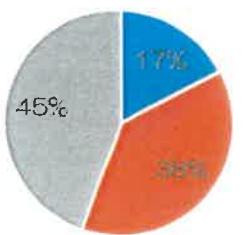
自立	一部介助	全介助
5	9	15



■自立 ■一部介助 ■全介助

【着脱】

自立	一部介助	全介助
5	8	16



■自立 ■一部介助 ■全介助

行事実施状況

市内の感染症の状況に応じて地域行事への参加を行い、少しずつではあるが交流の機会を持つことができました。施設全体の行事の企画、実施はまちぐるみと協力して行い、常に多くの方に参加していただいた。ユニット内での活動やクラブ活動、カルチャー倶楽部も継続して行い、入居者様の趣味、希望に沿って職員と一緒に楽しむことができました。

月日	行事概要	月日	行事概要
4月3日	入居者懇談会・バスハイク(ふるさと巡り)	5月1日	入居者懇談会
5日	バスハイク(ふるさと巡り)	3日	押し花の会
6日	バスハイク(ふるさと巡り)	9日	フラワーアレンジメントクラブ
8日	花祭り・クッキングクラブ	10日	消防訓練
11日	フラワーアレンジメントクラブ	12日	クッキングクラブ
12日	ウォールアート制作作業	13日	踊ろう会
14日	ウォールアート制作作業	22日	コーラスクラブ
19日	観桜会	23日	陶芸クラブ・さつき鑑賞(百年の里)
24日	バスハイク(高田方面)	24日	さつき鑑賞(百年の里)・ウォールアート見物
25日	ホーム喫茶・吟吟友の会	25日	ウォールアート見物
27日	蔵静寿会	26日	吟吟友の会
29日	バスハイク(大船渡町五年祭の揃え見物)	30日	ホーム喫茶
6月1日	入居者懇談会	7月3日	入居者懇談会
3日	大運動会-THE FINAL-	4日	シネマ同好会
8日	手芸クラブ	7日	シネマ同好会
13日	フラワーアレンジメントクラブ	13日	お天王様お参り
14日	消防訓練	14日	クッキングクラブ・手芸クラブ
16日	クッキングクラブ	22日	コーラスクラブ
22日	クッキングクラブ・蔵静寿会	25日	ホーム喫茶・蔵静寿会
24日	コーラスクラブ	31日	八代亜紀オンラインコンサート 吟吟友の会
26日	吟吟友の会		
28日	八代亜紀オンラインコンサート		
8月2日	入居者懇談会	9月4日	入居者懇談会
6日、7日	盛町七夕見物	7日	グループホーム「さくら亭」安全祈願祭
11日	開所記念日・シネマ同好会 フラワーアレンジメントクラブ	12日	フラワーアレンジメントクラブ
13日	迎え火	13日	消防訓練
16日	送り火・前田鹿踊り保存会様来訪	15日	合同敬老会
18日	蔵静寿会	29日	盛小マラソン大会見物
23日	緑日・納涼祭		
25日	期日前投票		
30日	吟吟友の会		
10月1日	入居者懇談会・さつまいも収穫・押し花クラブ	11月2日	入居者懇談会
8日	乱拍子、子供を守るうよの会様公演	23日	蔵静寿会・吟吟友の会
10日	フラワーアレンジメントクラブ	28日	ホーム喫茶・入居者様コロナワクチン接種
13日	盛こども園権現様お披露目会	30日	作品展示会
31日	ホーム喫茶		
12月1日	入居者懇談会	1月3日	入居者懇談会・初詣
4日	紅白歌合戦	4日	年頭あいさつ
13日	フラワーアレンジメントクラブ・消防訓練	12日	水木団子づくり
14日	手作り夕食(餃子)	17日	コロナワクチン接種
17日	踊ろう会	19日	まちの蔵舞
18日	新沼謙治オンラインコンサート	24日	フラワーアレンジメントクラブ
22日	クリスマス忘年会	30日	ホーム喫茶
24日	ホーム喫茶		
27日	餅つき会		
2月1日	入居者懇談会	3月1日	入居者懇談会
2日	節分(恵方巻作り、豆まき)、盛こども園来訪	12日	チェロ演奏会・フラワーアレンジメントクラブ
14日	ホーム喫茶(チョコレートフォンデュ)	18日	渡辺歯科訪問診療
20日	フラワーアレンジメントクラブ	19日	手作りおやつ(抹茶マラーカオ) ホーム喫茶
21日	もちバイキング	27日	消防訓練
22日	蔵静寿会	28日	うごくお蕎麦屋さん
28日	消防訓練	25日	お蕎麦屋さん

(3) 看護課

「相手の身になってBE WITH YOU～ひとつひとつに心をこめて～」の実現に向けて、個人の尊厳を大切にしながら体調の管理や身体機能低下の予防に努め、コロナ禍でも心身ともに健やかにストレスを最小に過ごしていただくことを目標に活動した。

多職種と協力し情報を共有することで体調の変化を早期に把握し、嘱託医と連携により早期改善に努めた。必要時には専門科への受診対応を行い家族への受診結果を伝え、体調変化の際はその都度報告し安心していただけるように努めた。

感染症対策については、リモート研修会などを活用し知識を深め、新型コロナウイルス感染症やノロウイルスの感染症予防に努め、感染の蔓延が予測する際には早期に蔓延防止対策を取り最小にとどめることができた。さらに口腔内の感染から肺炎につながるリスクが高いことから口腔ケアを強化し予防に努めた。

要介護度4、5の方が多くなり機能低下や疾病等のリスクが高まる中で、ADL評価に合わせた生活リハビリや個別訓練を行い身体機能の維持・強化に努めた。

ターミナルケアでは、その方の希望を伺いし実現できるようサポートしたり、苦痛や不安が無いように寄り添い、嘱託医や多職種と連携し安楽に過ごしていただけるよう努めた。ご家族には、嘱託医のムンテラを行い意向を伺い、常時御家族との連携を図りながら希望に添えるよう対応した。また、看取りの近い時期には感染対策を十分とり、短時間ながら居室での面会をしてご家族と大切な時間を過せるよう配慮し対応した。

健康管理状況

(1) 入居者疾患状況(述べ人数)

単位：人

	脳血管障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	リウマチ	糖尿病	認知症	精神疾患	心疾患	消化器系(便秘含み)	泌尿器系	皮膚疾患	呼吸器系	内分泌系	悪性新生物	その他	計
男	4	4	0	0	2	5	1	3	6	2	2	1	0	0	4	34
女	8	11	2	0	3	15	4	10	15	4	10	0	0	0	15	97
計	12	15	2	0	5	20	5	13	21	6	12	1	0	0	19	131

(2) 健康診断実施状況

入居者	R5年4月	身長・体重・検尿・血圧・聴打診・心電図	28名
	R5年9月	身長・体重・検尿・聴打診・心電図・胸部写真	28名
	R5年6月	新型コロナワクチン予防接種6回目	28名
	R5年11、12月	新型コロナワクチン予防接種7回目	28名
	R5年11月	インフルエンザワクチン予防接種	29名
職員	R5年5月	身長・体重・血圧・検尿・視力・聴打診・腹囲・採血 胸部写真・心電図・聴力	22名
	R5年10月	体重・血圧・検尿・聴打診・腹囲・心電図・聴力・採血・視力	22名
	R5年6月	新型コロナワクチン予防接種4回目	31名
	R5年11、12月	新型コロナワクチン予防接種	31名
	R5年11月	インフルエンザワクチン予防接種	27名

(3) 通院・薬受け状況

病院名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
県立大船渡病院	脳神経外科	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
	整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	泌尿器科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	内科(循内神内含)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
	外科(乳腺外来含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	眼科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	緩和ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	皮膚科	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	5
	救急センター	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
山崎内科医院	26	3	1	2	1	4	1	1	1	5	3	1	3	51	
阿部歯科医院	5	1	0	0	4	1	0	4	1	1	0	2	0	18	
鳥羽整形外科医院	0	6	0	0	1	3	0	1	5	1	0	5	0	22	
及川皮膚科医院	5	4	3	4	3	1	5	0	5	5	9	2	0	46	
飯塚眼科医院	1	1	2	1	0	1	0	1	2	2	0	0	1	1	
いとう耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
菊池内科医院	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	10	
渡辺歯科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受診科 計	7	6	5	5	5	6	5	6	6	6	6	8	5	70	
実人数	38	11	10	8	8	11	7	7	13	12	13	9	0	147	
延べ人数	40	16	7	9	10	11	9	9	15	15	17	12	0	170	

(4) 嘱託医回診状況

回診日 週2回 (火曜日・木曜日)
 回診時間 14時から15時
 対象者 状態変化のある入居者
 急変者は随時電話にて報告。指示受け対応する。
 休日・回診日以外は毎日電話にて報告する。

(4) 栄養管理室

令和5年度は、「日本全国グルメ旅」を企画し、日清と連携しながら日本全国の古くから受け継がれている美味しい郷土料理と近年で馴染みのあるグルメになった料理を提供した。また、手作りおやつや夕食作りで入居者様に実際に作っていただき、日本の料理を楽しみながら食事をしていただけた。

毎月各ユニットでおやつ作りや夕食作りを実施することで、入居者様の残存機能を活かし、楽しみながら調理していただいた。そして、なじみ深い郷土料理や珍しいご当地グルメから季節感を取り入れた食材を使用し、食欲増進および食事の満足度の向上に繋がるよう工夫した。

現在提供している食形態は、常食、ソフト食、ミキサー食である。食事摂取状況や身体状況を各課や本人と確認しながら、その都度、状態に合わせた食事提供した。その他、嗜好に合わせた食事提供やアレルギー除去食を提供し、入居者様が安心して安全な食事を摂取できるような食事提供に努めた。誕生日には入居者様がリクエストした食事とおよの提供をした。食べたいと希望されたものは特別で、通常よりも箸が進む様子が見られた。もちや寿司、恵方巻き等の行事食は、空間の装飾や職員の服装で雰囲気から楽しんで食事をいただけた。

施設全体で行う行事食や毎週1回選択食、毎月月末にはホーム内喫茶を取り入れ、施設内での生活に変化を感じていただき、入居者様同士の交流ができるような環境作りに取り組んだ。

HACCPの概念に基づき、調理過程における重要管理事項について、点検・記録を行った。食品納入時の検収や十分な加熱を確実にを行い記録し、入居者様が安全に食事できるよう配慮した。

毎朝のミーティングでは、ユニットの情報を把握し、委託業者と蜜に共有しながら入居者様一人ひとりの健康状態や食事摂取量を把握し、各々の生活習慣や嗜好に配慮しながら努めた。

令和6年度も各課と連携を図り、情報を共有し円滑に、きめ細かいサービスの提供に力を尽くす。

給食状況

区分 月別	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	塩分 (g)	レチノール当量 (μg)	V-B1 (mg)	V-B2 (mg)	V-C (mg)	食物繊維 (g)
R5年4月	1,895	63.0	71.1	751	9.0	7.0	639	1.29	1.10	102	15.9
5月	2,030	64.8	80.1	757	9.5	7.2	766	1.27	1.13	93	16.1
6月	1,950	64.3	71.3	811	9.0	7.0	667	1.25	1.12	96	15.7
7月	1,858	62.1	66.0	736	8.8	7.4	718	1.27	1.11	97	15.6
8月	1,890	63.0	70.3	744	7.9	7.2	675	1.26	1.10	94	15.8
9月	1,910	63.3	64.3	752	7.5	7.0	683	1.24	1.09	87	16.1
10月	1,889	61.6	72.1	745	7.1	7.0	699	1.24	1.11	88	15.4
11月	1,843	62.5	61.8	751	7.1	7.1	702	1.27	1.10	110	15.6
12月	1,912	64.7	68.1	739	7.0	7.3	754	1.20	1.15	109	15.4
R6年1月	1,912	64.4	64.0	762	7.6	7.1	690	1.23	1.12	91	15.3
2月	1,946	65.4	64.5	783	7.4	7.0	757	1.29	1.14	104	15.5
3月	1,863	63.0	62.5	798	7.6	7.9	798	1.26	1.16	98	16.4
合計	22,898	635.8	681.5	9,129	80.1	79.0	8,548	12.57	11.24	1,169	156.9
1日平均摂取量	1,908	53	57	761	6.7	6.6	712	1.05	0.94	97	13.1
1日目標基準量	1,540	53	43	660	6.2	7.2	680	1.00	1.14	100	15.4
充足率(%)	124	100	132	115	108	91	105	105	82	97	85

日清医療食品現任者研修

実施月	研修項目
4月	基本方針と四つの約束、コンプライアンス
5月	組織体制(支店/自営業所)、勤怠管理、ワークシェア
6月	安全管理・事故防止、食中毒と感染症の予防に関する基礎知識、メンタルヘルス
7月	施設における規則・マナー、個人情報保護の保護、患者様・入所者・ご家族等との対応
8月	病院・福祉施設等の社会的役割と組織、標準作業書に関する記載事項、医療関連サービスに係る倫理綱領
9月	災害防止(地震対策マニュアル)
10月	ノロウイルス、ノロウイルス対策
11月	おう吐物処理手順
12月	労災防止
1月	食事の特殊性とその意義、治療食に関する知識
2月	食物アレルギー
3月	地震対策マニュアル、日常業務と事業所ルールの確認(nuワークガイドブック更新)

日清医療食品による衛生指導

衛生巡回	月1回	衛生巡回 他事業所チーフによる実施
	月1回	各事業所チーフによる実施
	毎日	各事業所社員による点検実施
支店指導	月1回	SVによる厨房状況確認、指導
	不定期	IRによる厨房状況確認、指導
蔵ハウス大船渡	不定期 8月(年1回)	本社衛生管理室による衛生監査(R元年度は実施なし) 新調理食品検査(検証調査)

行事食実施状況

①施設全体での行事食とユニットでのおやつ作り・夕食作り

実施日	行事名			
4月	4日	手作りおやつ (天神)	 <p style="text-align: center;">夕食作り</p>	 <p style="text-align: center;">海鮮ちらし寿司</p>
	7日	昼食作り (そばコロッケ)		
	8日	花祭り		
	11日	おやつ作り (盛町)		
	18日	おやつ作り (佐倉里)		
	19日	観桜会		
	20日	夕食作り (天神・佐倉里)		
	25日	ホーム内喫茶 (苺モンブラン)		
28日	生もの提供 (海鮮ちらし寿司)			
5月	3日	憲法記念日	 <p style="text-align: center;">夕食作り</p>	 <p style="text-align: center;">手作りおやつ</p>
	5日	端午の節句		
	9日	手作りおやつ (天神)		
	11日	夕食作り (盛町)		
	16日	手作りおやつ (盛町)		
	18日	夕食作り (佐倉里)		
	23日	手作りおやつ (佐倉理)		
	25日	夕食作り (天神)		
	30日	ホーム内喫茶 (アメリカンドッグ)		
	6月	1日		
3日		運動会		
6日		手作りおやつ (天神)		
8日		夕食作り (佐倉里)		
13日		手作りおやつ (盛町)		
15日		夕食作り (天神)		
20日		手作りおやつ (佐倉里)		
27日		ホーム内喫茶 (ケーキ選択)		
29日		爆弾おにぎり (全ユニット)		
7月	4日	手作りおやつ (各ユニット)	 <p style="text-align: center;">夕食作り</p>	 <p style="text-align: center;">ホーム内喫茶</p>
	6日	夕食作り (全ユニット)		
	11日	手作りおやつ (各ユニット)		
	18日	手作りおやつ (全ユニット)		
	21日	夕食作り (天神・佐倉里)		
	25日	ホーム内喫茶 (白桃羊羹)		
	26日	昼食作り (盛町ユニット)		
30日	土用丑の日			
8月	1日	手作りおやつ (各ユニット)	 <p style="text-align: center;">開所記念日</p>	 <p style="text-align: center;">納涼祭</p>
	8日	手作りおやつ (天神・佐倉里)		
	11日	開所記念日		
	15日	手作りおやつ (各ユニット)		
	22日	手作りおやつ (各ユニット)		
	23日	納涼祭		
	25日	夕食作り (盛町)		
	31日	ホーム内喫茶 (あんみつ)		
9月	9日	重陽の節句	 <p style="text-align: center;">敬老会</p>	 <p style="text-align: center;">十五夜団子作り</p>
	12日	手作りおやつ (盛町)		
	15日	敬老会		
	19日	手作りおやつ (天神・佐倉里)		
	22日	夕食作り (盛町)		
	23日	秋分の日		
	26日	ホーム内喫茶 (芋羊羹)		
	28日	夕食作り (天神・佐倉里)		
29日	十五夜団子作り			

実施日	行事名					
10月	5日	夕食作り (盛町)	 手作りおやつ	 ホーム内喫茶		
	9日	体育の日 (海苔巻き)				
	10日	手作りおやつ (天神・佐倉里)				
	18日	手作りおやつ (厨房)				
		まちの蔵舞延期				
	24日	手作りおやつ延期				
	28日	夕食作り (各ユニット)				
30日	ホーム内喫茶 (南瓜プリン)					
11月	1日	生もの解禁	 勤労感謝の日	 文化祭選択食		
	3日	文化の日				
	11日	鮭の日 (はらこ飯)				
	14日	手作りおやつ (天神・佐倉里)				
	16日	夕食作り (各ユニット)				
	21日	手作りおやつ (盛町)				
	23日	勤労感謝の日 (海鮮丼)				
	28日	ホーム内喫茶 (スフレロールケーキ)				
30日	文化祭選択食					
12月	4日	紅白歌合戦	 夕食作り	 クリスマス忘年会		
	12日	手作りおやつ (佐倉里・天神)				
	14日	夕食作り (盛町)				
	19日	手作りおやつ (盛町)				
	22日	クリスマス・忘年会				
	24日	ホーム内喫茶 (ケーキ)				
	25日	クリスマス				
	27日	もちつき大会				
	31日	大晦日 (年越しそば)				
1月	1日	正月メニュー、もちの日	 元旦	 まちの蔵舞		
	2日	正月メニュー				
	3日	正月メニュー				
	4日	もちの日				
	7日	七草				
	12日	水木団子作り				
	15日	小正月				
	19日	まちの蔵舞				
	23日	手作りおやつ (盛町)				
27日	ホーム内喫茶 (ショートケーキ)					
2月	2日	恵方巻作り	 ホーム内喫茶	 餅バイキング		
	3日	節分				
	11日	建国記念の日				
	14日	ホーム内喫茶 (チョコレートフォンデュ)				
	20日	手作りおやつ (佐倉里・天神)				
	21日	餅バイキング				
	23日	天皇誕生日				
27日	手作りおやつ (盛町)					
3月	3日	ひな祭り	 ひな祭り	 うごく蕎麦屋さん		
	5日	手作りおやつ (天神)				
	12日	手作りおやつ (佐倉里)				
	15日	夕食作り (全ユニット)				
	19日	手作りおやつ (盛町)				
	20日	春分の日				
	26日	ホーム内喫茶 (スフレロールケーキ)				
28日	うごく蕎麦屋さん					

行事食実施状況

②日本郷土料理巡り

実施日	都道府県(郷土料理名)		
4月	7日 埼玉県 (そばコロッケ)		
	13日 山形県 (ますのあんかけ)		
	27日 沖縄県 (ヒラヤーチー)		
		沖縄県：ヒラヤーチー	奈良県：にゅうめん
5月	6日 長崎県 (ちゃんぽん)		
	12日 奈良県 (にゅうめん)		
	19日 北海道 (豚丼)		
	23日 兵庫県 (味噌ダレ餃子)		
	6月		
		広島県：もぶり	群馬県：ソースカツ丼
6月	6日 茨城県 (五目いなり)		
	15日 広島県 (もぶり)		
	23日 山口県 (チキンチキンごぼう)		
	26日 青森県 (ごまごはん)		
	7月		
7月	13日 宮崎県 (とうきび飯)		
	20日 福井県 (おろしそば)		
	27日 石川県 (あいませ)		
	31日 群馬県 (ソースカツ丼)		
8月	8日 山梨県 (うすやき)		
	19日 埼玉県 (くるみそば)		
	25日 大阪府 (小田巻蒸し)		
	27日 島根県 (すもじ)		
9月	3日 新潟県 (車麩の煮物)		
	11日 千葉県 (らっかせい味噌)		
	20日 神奈川県 (サンマーメン)		
	26日 東京都 (いもようかん)		
10月	7日 長野県 (治部煮)		
	11日 和歌山県 (しょうが飯)		
	21日 滋賀県 (くるみごぼう)		
	28日 秋田県 (きりたんぼ鍋)		
11月	4日 愛媛県 (石灰汁)		
	11日 岩手県 (はらこ飯)		
	14日 香川県 (あおさ雑炊)		
	16日 岡山県 (けんちんそば)		
	22日 鹿児島県 (豚味噌)		
12月	1日 鳥取県 (大山おこわ)		
	5日 徳島県 (おみいさん)		
	12日 宮城県 (ずんだ団子)		
	20日 静岡県 (桜えびのかき揚げ丼)		
	30日 高知県 (きゅうりと海老の煮物)		
1月	4日 京都府 (白味噌の雑煮)		
	4日 香川県 (島の茶粥)		
	22日 三重県 (てこね寿司)		
2月	3日 熊本県 (だご汁)		
	20日 福岡県 (ふなやき)		
3月	5日 大分県 (石垣もち)		
	12日 岐阜県 (みそぎ団子)		
	26日 愛知県 (箱ずし)		
		鳥取県：大山おこわ	京都府：白味噌の雑煮
		熊本県：ふなやき	愛知県：箱ずし

2 委員会の開催状況

褥瘡予防委員会

毎月委員会を開催し、皮膚トラブルの状況を写真に収めて対応を検討し、褥瘡予防対策に努めた。皮膚の状態に変化があった際には各課・嘱託医との連携で早めの対応を行い、必要時には皮膚科の受診も行った。

入居者様は年々高齢化となり、食事量の減少による低蛋白や・長時間の臥床や車椅子生活により、褥瘡の発生率が高くなってきた。食事の摂取量・体重の変化・アルブミン値などを評価し、低栄養予防に取り組んだ。また、体位変換、車椅子での座位時間や姿勢、環境、エアーマット等をこまめにチェックすることで早期発見に努め、悪化することなく改善することができた。

回	月 日	内 容
第1回	4月13日	①褥瘡発生者経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③今年度の活動について
第2回	5月17日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第3回	6月13日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マットの使用状況
第4回	7月19日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第5回	8月16日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マット使用状況
第6回	9月20日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第7回	10月18日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第8回	11月15日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マット使用状況
第9回	12月20日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第10回	1月17日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第11回	2月21日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第12回	3月15日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③今年度のまとめ

リスクマネジメント委員会

毎月開催時に、事故・ヒヤリハットの報告や事例の検討を行い、その都度対策を講じ再発防止に努めた。

今年度のヒヤリハットは転倒が多く、次いで打ち付けや圧迫による内出血が多く半数以上を占めた。毎月の委員会の事例検討では、発生状況から原因追究を行い、対応が適切だったかを検証し今後の対策を施設全体で検討した。また、適切な記録方法についても学びながら再発防止に繋げた。

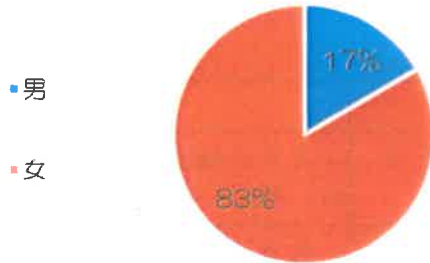
今後も過去の事故・ヒヤリハットから学び、安全・安心・安楽なケアに向けて知識の深耕と実践により事故防止に努めたい。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	4月19日	・4月ヒヤリハットについて ・事例検討	・4月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第2回	5月24日	・5月の報告 ・事例検討	・5月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第3回	6月21日	・6月の報告 ・事例検討	・6月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第4回	7月19日	・7月の報告 ・事例検討 ・内部研修	・7月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討 ・「介護事故の防止」について
第5回	8月9日	・8月の報告 ・事例検討	・8月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第6回	9月20日	・9月の報告 ・事例検討	・9月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第7回	10月25日	・10月の報告 ・事例検討	・10月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第8回	11月15日	・11月の報告 ・事例検討 ・内部研修	・11月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討 ・ヒヤリハットの事例と対処法について
第9回	12月20日	・12月の報告 ・事例検討	・12月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第10回	1月17日	・1月の報告 ・事例検討	・1月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第11回	2月21日	・2月の報告 ・事例検討	・2月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第12回	3月19日	・3月の報告 ・事例検討	・3月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討

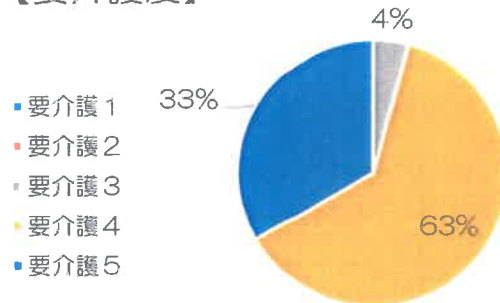
事故・ヒヤリハット発生状況

今年度挙げられた事故報告 3件、ヒヤリハット報告 21件で前年度と比較すると件数は少なくなっている。平均介護度が4.2~4.3と重度化に加え、認知機能の低下している入居者様が大多数を占めている。発生場所は居室が最も多く、見守りが不十分な環境での予期せぬ動きに対応できず事故やヒヤリハットに繋がってしまう事例が多かった。

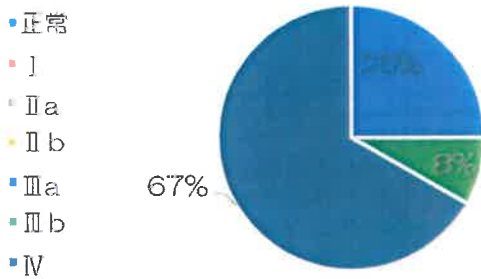
【性別】



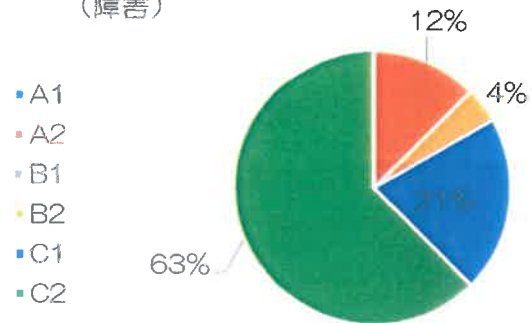
【要介護度】



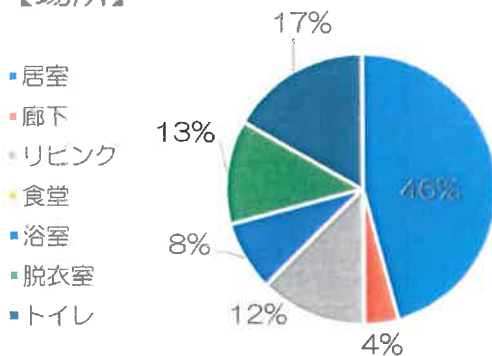
【日常生活自立度】 (認知)



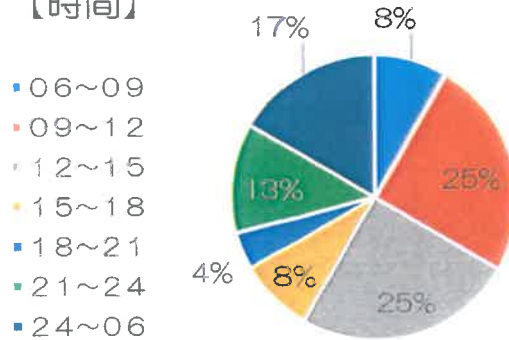
【日常生活自立度】 (障害)



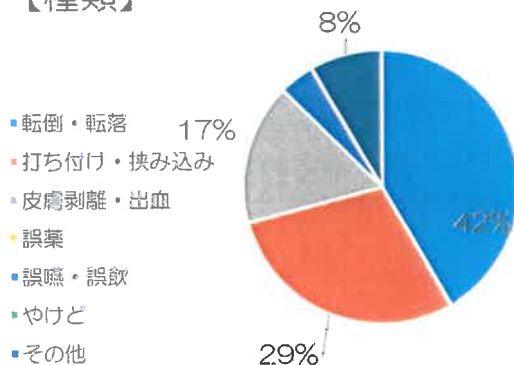
【場所】



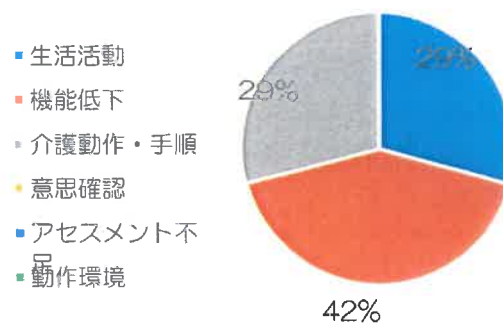
【時間】



【種類】



【原因】



感染症対策委員会

新型コロナウイルス対策については、毎月委員会で新情報を共有し、他県への外出時の注意や面会時の体調確認、標準感染予防策を強化した。新型コロナウイルスは入居者が1名・職員が5名感染したが嘱託医・保健所との連携により感染拡大防止できた。今後も引き続き感染予防策を徹底していく。感染症・食中毒予防対策は、各感染に対する研修会・実技指導を徹底的に行い蔓延防止に努めた。

回	月 日	内 容
第1回	4月19日	①3月の感染症の実態 ②3月の体調不良者の実態 ③新型コロナウイルスワクチン接種について ④入居者の健康診断実施について ⑤その他
第2回	5月17日	①4月の感染症の実態 ②4月の体調不良者の実態 ③職員の健康診断の実施状況について ④コロナ感染対策等について ⑤その他
第3回	6月20日	①5月の感染症の実態 ②5月の体調不良者の実態 ③食中毒予防について ④コロナ感染対策等について ⑤コロナ予防注射について
第4回	7月18日	①6月の感染症の実態 ②6月の体調不良者の実態 ③最近のコロナ感染の実態状況等と予防対策について ⑤その他
第5回	8月15日	①7月の感染症の実態 ②7月の体調不良者の実態 ③職員家族の盆帰省対応について ④その他
第6回	9月19日	①8月の感染症の実態 ②8月の体調不良者の実態 ③感染症・疥癬まん延防止について ③その他
第7回	10月17日	①9月の感染症の実態 ②9月の体調不良者の実態 ③コロナ感染症の感染対策について ④インフルエンザ予防接種について
第8回	11月15日	①10月の感染症の実態 ②10月の体調不良者の実態 ③新型コロナウイルス・ノロウイルス感染予防について ④その他
第9回	12月19日	①11月の感染症の実態 ②11月の体調不良者の実態 ③インフルエンザ予防対策について ④その他
第10回	1月16日	①12月の感染症の実態 ②12月の体調不良者の実態 ③新型コロナウイルス感染症対策について ⑤その他
第11回	2月20日	①1月の感染症の実態 ②1月の体調不良者の実態 ③コロナウイルス感染症対策について ④その他
第12回	3月19日	①2月の感染症の実態 ②2月の体調不良者の実態 ③新型コロナウイルスの対策について ④今年度の反省 ⑤その他

広報委員会

感染症対策で制限されていた活動状況に応じて少しずつ行事を開催するようになり、行事や日々の暮らしの様子を広報誌「みんなの蔵誌」やホームページ、SNSを活用し情報を発信した。

ご家族様へ個別に画像や動画の送信も随時行い、ご家族様とコミュニケーションを図りながらの情報の共有もできた。

コロナ禍で行事等は規模縮小で開催したり、ユニット内でのイベントが主だったが、生活の様子をこまめに写真に収め、個人アルバムの作成とデータ管理、印刷、整理等を随時行った。

月	活動内容	
令和5年4月	ホームページ	観桜会、タイルアート
	蔵ハウス広報紙「みんなの蔵誌」令和5年4月号	観桜会 今年は屋外で、三陸ブルーラインプロジェクト防潮堤ウォールアートに挑戦！、ふるさと巡り
令和5年5月	蔵ハウス広報紙「みんなの蔵誌」令和5年5月号	いざ！ウォールアート見物へ、陶芸に挑戦!!何ができるかはお楽しみ!?, ママ、元気でいてくれてありがとう!ちょっとそこまで… 大船渡町の五年祭(揃え)
令和5年6月	ホームページ	大運動会～THE FINAL～
令和5年7月	ホームページ	お天王様にお参りしてきました
令和5年8月	ホームページ	納涼祭～夜の部～、納涼祭～昼の部～、前田鹿踊り、開所記念日、盛町七夕まつり
令和5年9月	ホームページ	合同敬老会～余興～、合同敬老会～食事～、合同敬老会～写真～、合同敬老会～式典～
	蔵ハウス広報紙「みんなの蔵誌」令和5年9月号	笑いあり、涙あり、驚きありの敬老会、敬老会ダイジェスト、商店街をカー一杯駆け抜ける盛小児童を応援!!、グループホーム「さくら亭」いよいよ着工へ安全祈願祭、日本全国グルメ巡り9月編
令和5年10月	蔵ハウス広報紙「みんなの蔵誌」令和5年10月号	「子どもをまもろうよの会」大船渡公演 in蔵ハウス、歓迎YouTuberクレイジーウォーカー御一行様、盛こども園権現様お披露目会が盛況に開催、「命」を守る訓練毎月実施しています、ユニット調理10・11月
令和5年11月	蔵ハウス広報紙「みんなの蔵誌」令和5年11月号	令和5年度作品展示会 村上セツ子様の個展同時開催、作品展示会&食堂開店、第3回KHM紅白歌合戦、相撲ファン必見!!本物の甚句に触れ感動
令和5年12月	ホームページ	餅つき、クリスマス忘年会、紅白歌合戦
	蔵ハウス広報紙「みんなの蔵誌」令和5年12月号	MERRYCHRISTMAS賑やかに年忘れ、餅つき会、幸せをありがとう新沼謙治オンラインコンサート
令和4年1月	ホームページ	まちの蔵舞オープン、お正月
	蔵ハウス広報紙「みんなの蔵誌」令和6年1月号	本年もよろしくお祈りします、2024蔵ハウス大船渡のお正月、まちの蔵舞、無病息災の祈りを込めて…
令和4年2月	ホームページ	節分
	蔵ハウス広報紙「みんなの蔵誌」令和6年2月号	豆まきで鬼退治!健康と幸福を願い…、あま～いチョコレートをどうぞバレンタイン(ホーム喫茶)、6種の餅の味比べ餅バイキング

研修委員会

法人の研修計画に基づき計画的に内部研修会を行った他、疑似体験を通して日頃のケアの方法を見直す機会を設けた。施設全体で内容の共有を図った。外部研修への参加が難しい中、施設職員としての資質向上とスキルアップを目指し、積極的にオンラインセミナー等にも参加した。

内部研修会

回数	年月日	開催内容	担当職員
第1回	4月19日	「成仁会職員としての心構えについて」	施設長 小笠原登志江
第2回	5月9日	「接遇について」	介護係長 松澤修
第3回	5月17日	「倫理及び法令遵守について」	相談課副部長 鎌田由美
		「守秘義務及び個人情報保護について」	
第4回	6月7日	「感染症（疥癬）食中毒予防、まん延防止について」	副施設長 金野文子
		「プライバシー保護について」	介護主任 佐藤国子
第5回	7月5日	「事故発生時の対応について」	介護主任 新沼悦子
		「褥瘡予防について」	看護係長 鈴木由美子
第6回	8月2日	「緊急時の対応と施設の医療について」	看護師長 金野文子
		「身体拘束について」	介護員 大平加代
第7回	9月7日	「権利擁護について」	相談課副部長 鎌田由美
		「認知症及び認知症ケアについて」	
第8回	10月4日	「ターミナルケアについて」	看護師長 金野文子
		「身体拘束廃止について」	介護員 大平加代
第9回	11月2日	「ノロウイルス予防対策について」	副施設長 金野文子
		「リスクマネジメントについて」	介護主任 新沼悦子
第10回	11月29日	疑似体験「特殊浴槽での入浴」	介護主任 千葉真喜子他
第11回	12月6日	「感染症及びインフルエンザ予防対策について」	副施設長 金野文子
		「褥瘡予防について」	看護係長 鈴木由美子
第12回	1月10日	「職員のメンタルヘルスについて」	副施設長 金野文子
		「交通安全について」	施設長 小笠原登志江
第13回	2月2日	疑似体験「食事」「移乗」	看護係長 鈴木由美子他
第12回	2月20日	「介護保険制度について」	相談課副部長 鎌田由美
		「腰痛予防について」	副施設長 金野文子
第13回	3月27日	「事業計画について」	施設長 小笠原登志江
		「非常災害について」	介護員 伊藤喜史

3 職員研修実施状況

日付	内容	出席者
6月2日	パラマウントベッド 床ずれ対策WEBセミナー（オンライン）	看護係長 鈴木由美子
6月4日	医療・高齢者施設向け研修会（オンライン）	副施設長 金野文子
11月30日	令和3年度気仙地区感染予防研修会（オンライン）	副施設長 金野文子
1月19日	医療安全研修会（オンライン）	副施設長 金野文子

給食委員会

給食委員会では、入居者にとって楽しみの多い食事を提供するために、献立内容や盛り付けなど日々の食事状況について、給食委託業者も交え行った。また、毎日の食事状態を観察し、個々人にとってより良い食形態や本人の好む食品を各課と連携し提供した。

回数	年月日	開催内容	活動内容	参加人数
第1回	4月19日	①4月の反省 ②5月の計画	①5月の行事食について 憲法記念日 ②ホーム喫茶の計画	7
第2回	5月24日	①5月の反省 ②6月の計画	①6月の行事食について ②運動会の献立計画 ③ホーム喫茶の計画	10
第3回	6月21日	①6月の反省 ②7月の計画	①7月の行事食について ②土用の丑の日、野外食の計画 ③ホーム喫茶の計画	8
第4回	7月19日	①7月の反省 ②8月の計画	①8月の行事食について ②開所記念日の献立計画 ③ホーム喫茶の計画	7
第5回	8月16日	①8月の反省 ②9月の計画	①9月の行事食について ②敬老会の献立計画 ③ホーム喫茶の計画	8
第6回	9月20日	①9月の反省 ②10月の計画	①10月の行事食について 野外食、体育の日 ②ホーム喫茶の計画	7
第7回	10月25日	①10月の反省 ②11月の計画	①11月の行事食について ②文化祭の計画 ③ホーム喫茶の計画	6
第8回	11月15日	①11月の反省 ②12月の計画	①12月の行事食について ②クリスマス・忘年会の計画 ③ホーム喫茶の計画	6
第9回	12月20日	①12月の反省 ②1月の計画	①1月の行事食について ②水木団子作りについて ③ホーム喫茶の計画	6
第10回	1月17日	①1月の反省 ②2月の計画	①2月の行事食について ②節分、餅バイキングの計画 ③ホーム喫茶の計画	7
第11回	2月14日	①2月の反省 ②3月の計画	①3月の行事食について 桃の節句、春分の日 ②ホーム喫茶の計画	4
第12回	3月13日	①3月の反省 ②4月の計画	①4月の行事食について ②観桜会、生もの提供の計画 ③ホーム喫茶の計画	5

参加人数合計
81名

蔵ハウス大船渡 1年間の様子



花まつり



観桜会



観桜会(煮しめコンテスト)審査員:東海新報記者



タイルアート作成



ウォールアート見学



バスバイク



押し花クラブ



陶芸クラブ

蔵ハウス大船渡 1年間の様子



蔵ハウス大船渡・まちぐるみ 大運動会



蔵ハウス大船渡 1年間の様子



押し花クラブ



昼食作り



お天王様 お参り



詩吟クラブ



習字クラブ



コーラスクラブ

歳ハウス大船渡 1年間の様子



コロナワクチン接種



七夕まつり見学



あんどん七夕見学



開所記念日



開所記念 お祝い膳



前田鹿踊り 慰問



縁日



縁日

蔵ハウス大船渡 1年間の様子



納涼祭



納涼祭



おやつ作り



蔵ハウス大船渡・まちぐるみ 合同敬老会

蔵ハウス大船渡 1年間の様子



敬老会



敬老会



敬老会 余興



敬老会 余興



敬老会 フォトスタジオ



作品展示会



盛小学校 マラソン大会応援



入居者書道展

蔵ハウス大船渡 1年間の様子



紅白歌合戦



ご家族様の面会



クリスマス忘年会



餅つき

蔵ハウス大船渡 1年間の様子



餅つき



年頭あいさつ



おみくじ



初詣



おみくじ



出初式



餅バイキング



お孫さんの面会

蔵ハウス大船渡 1年間の様子



蔵ハウス大船渡 1年間の様子



田茂山権現様 慰問



さかりこども園鬼行列



さかりこども園鬼行列



豆まき



恵方巻づくり



バレンタインホーム喫茶



打掛撮影会



チェロ演奏会

令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ

1 各課の事業実施状況

(1) 生活相談係

令和5年度は、のテーマ「相手の身になって BE WIEH YOU～ひとつひとつに心をこめて～」と設定し、2年目のカルチャークラブを継続。コミュニケーションを図りながら交流や役割の形成、敬老会や忘年会、文化祭などで発表の場を設けることにより達成感を味わっていただくことができた。また、日々の日常生活の会話や家族の話、懇談会など通じて個々の希望や夢を確認しケアプラン・24時間シート充実を図った。前年同様コロナ禍での支援が続き、事業所内でも陽性者が発生したが、スタッフの協力のもと約2週間で終息をする事ができた。地域交流に関しては5類への移行に伴い、外部との交流も一部戻りつつ、5年ぶりに屋外での運動会、地域の夏祭り、小学校のマラソン大会、こども園との交流などの体験を取り戻すこともできたが、買い物や家族との外出や外泊などは以前のように戻っていない現状である。買い物の代行、郵便物の差出援助など、日常生活に不便をきたさないよう留意し、家族との関係が切れないよう、面会は感染状況に応じて窓越しや玄関での対応、広報誌や電話・SNSを活用したテレビ電話での面会、日常生活の様子を動画にして家族へ送信し家族との結びつきの維持を図った。

テーマの「相手の身になって」と具現化すべく、疑似体験の内部研修を開催し、口腔ケアなどの具体的な介助の仕方をスタッフ同士で確認し合い、多くの意見、改善点を見つけることができた。

令和5年度は5名の方が退所し、新たに5名の方を受け入れした。重度化が進み医療的ケアが必要になり特養に移られた方が2名、医療施設に入院した方が1名、在宅復帰が1名、事業所での看取りが1名だった。入所に関しては、入所検討委員会を通じ法人内での連携・調整図り、状況を確認したうえで公正な対応をした。

介護保険請求では、入退院・要介護度区分変更による月遅れの請求もあったが、過誤申請や返戻など無く確実に行うことができた。

(2) 介護課

入居者個々の有する能力や精神状態などに共感し、身体的かつ精神状態などを見極めながら、安心・安全・笑顔で過ごしていただける様努めた。

毎朝、個別に起床介助を行い、バイタルチェック、食事量、水分量の把握をし、健康管理を行った。

新型コロナウイルスの影響から今期も引き続き利用者の安全、安心生活の維持に努め全職員ならびに入居者様による感染予防に努めてきたが10月に職員6名、入居者様9名の感染が発生しました。蔵ハウス大船渡の看護師の応援・指示のもと、手洗い・消毒・環境整備とゾーニング、2時間おきの換気などの感染対策を実施。看護師、嘱託医と連携し回復に向け体調管理に努め、重症化される方はなく、殆どの方は軽症でしたが感染力の強さとワクチン接種の重要性を実感しました。

日々の活動として、午前中はレク体操、嚥下体操を実施。その他にも1日を通じて趣味活動やゲームなど色々なプログラムを計画し頭や身体を動かすだけでなく、入居者が生きがいを感じられるようなレク活動を心がけADLの維持に努めた。

食事支援においては利用者様の要望や意見の反映、新メニューや全国郷土料理メニューの献立を積極的に取り入れ、47都道府県、51品目を提供する事が出来た。味だけでなく、盛り付けの工夫で視覚でも楽しめるよう取り組んだ。

嚥下状態や嗜好に合わせた食事を提供し、食事摂取量を把握し健康状態の把握に努め併設管理栄養士のアドバイスもいただくことができた。

入居者様の心身等の状況を考慮しそれぞれが行える家事を無理の無い範囲で提供し、職員と一緒にいき、全員何らかの役割を持つことが出来生きがいや自信につなげることができた。

入居者同士の交流やくつろぎの場であるリビングルームや地域交流スペースを中心に日々の暮らしの中でのコミュニケーションや、居室で安らかに過ごせる空間作りを行いながら、全職員と協力し季節に合わせた飾りなどをし季節感の刺激に向けることができた。

日々の健康状態の管理を行い異変や急変時には嘱託医へ連絡相談し、指示を受けることにより受診し、そして他科受診へ行きご家族にも都度報告を行った。

2. 入退所の状況

(1) 入所

今年度は在宅から5名の入居を受入した。ほとんどの方が独居で認知症状があり、ご家族も市外などの遠方におり支援が難しい状況で施設への入居となった。

入居の順番については法人で行っている入所検討委員会の結果を持って各施設と連携を図っている。

No.	年月日	氏名	介護度	摘要	住所
1	令和5年5月28日	T・T様	2	在宅	盛町
2	令和5年7月17日	M・A様	3	在宅	大船渡町
3	令和5年8月8日	A・N様	2	在宅	大船渡町
4	令和6年2月19日	K・S様	1	在宅	赤崎町
5	令和6年3月1日	T・N様	2	在宅	大船渡町

(2) 退所

今年度は5名が医療機関への入院や特養への移動などに伴い退所となった。

No.	年月日	氏名	介護度	摘要
1	令和5年5月26日	Y・S様	4	特養入所のため
2	令和5年7月15日	H・Y様	4	永眠のため
3	令和5年8月7日	M・A様	3	在宅復帰
4	令和6年2月18日	H・S様	4	特養入所のため
5	令和6年2月22日	T・T様	2	入院のため

(3) 入・退院者の状況

No.	入院年月日	氏名	介護度	退院年月日
1	令和6年2月16日	T・T様	2	2月22日付退所

【まちぐるみ】
入退所の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入 所												
男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1
退 所												
男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
女	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
合計	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0
月末入所数												
男	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0
女	8	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	9
合計	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	9

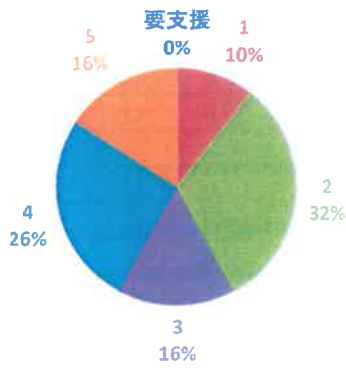
介護度別一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護度1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3
介護度2	3	4	4	4	4	5	5	4	4	4	4	5
介護度3	1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	1	1
介護度4	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
介護度5	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
合 計	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	9
平均介護度	2.5	2.3	2.4	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	1.8	1.8

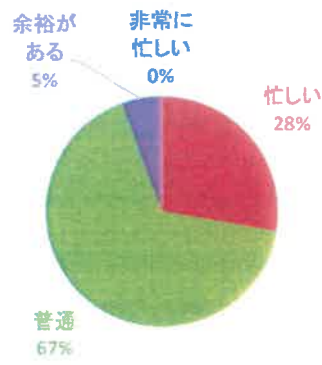
年齢別状況

		~64	~69	~74	~79	~84	~89	~94	~100	101~	計	最高	最低	平均
3月末	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	4	1	4	0	9	97	87	91.3
	計	0	0	0	0	0	4	1	4	0	9			91.3

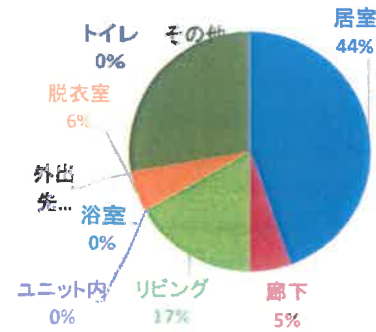
介護度



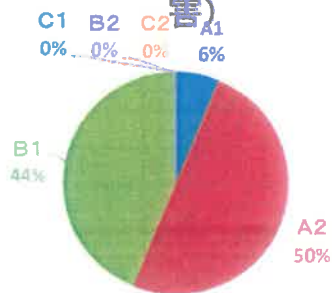
多忙度



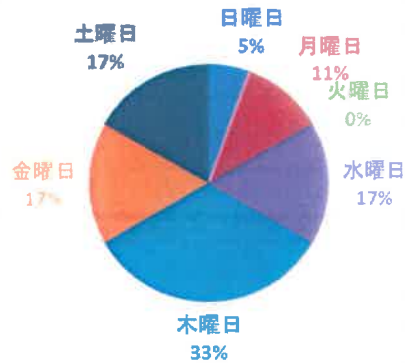
場所



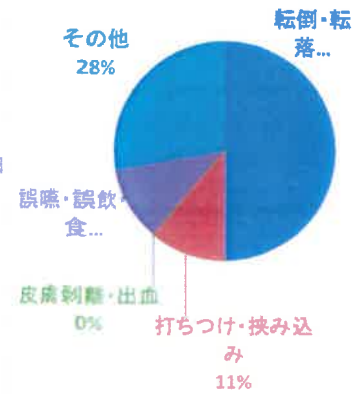
日常生活自立度(障害)



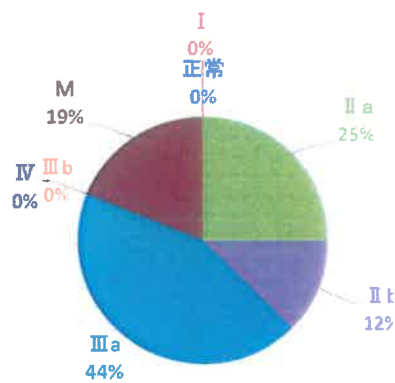
曜日



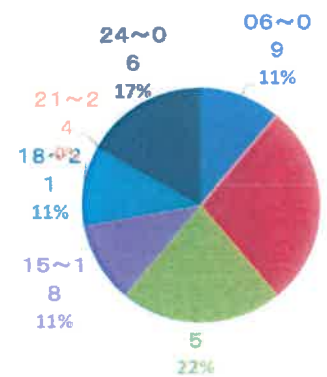
種類



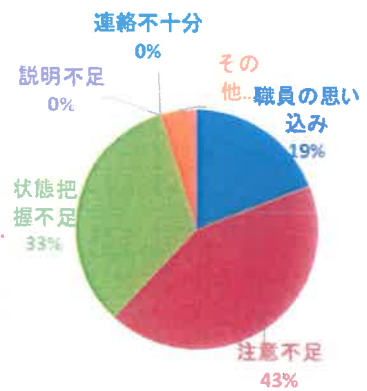
日常生活自立度(認知)



時間



原因



3 リスクマネジメント・身体拘束廃止委員会

認知症高齢者における、様々なリスクについて検討し合い、利用者個々のリスクを予測し、予測し、介護計画に取り入れた。また、ヒヤリハットに基づき、事故につながらないように、見守りや環境整備に努めた。

開催	年月日	会議内容
第1回	4月6日	・先月のヒヤリハットについて
		・ヒヤリハット事例（歩行しようとしたとき転倒しそうになる） ・身体拘束廃止委員会（身体拘束となる具体的な行為について）
第2回	5月5日	・先月のヒヤリハットについて
		・ヒヤリハット事例（パットを当てている最中に転倒しそうになる 寝返りをした際にサイドレールを超えて転落しそうになる）
第3回	6月6日	・先月のヒヤリハットについて
		・ヒヤリハット事例（段差を超えようとしてつまずき転倒しそうになる）
第4回	7月4日	・先月のヒヤリハットについて
		・ヒヤリハット事例（ポータブルトイレで転倒しそうになる） ・身体拘束廃止委員会（身体拘束による3の弊害・5つの方針）
第5回	8月4日	・先月のヒヤリハットについて
		・ヒヤリハット事例（なぜ、「転倒・転落」事故が起こる）
第6回	9月4日	・先月のヒヤリハットについて
		・ヒヤリハット事例（誤薬を防ぐには）
第7回	10月2日	・先月のヒヤリハットについて
		・ヒヤリハット事例（つまずいて転倒しそうになる）
		・身体拘束廃止委員会（身体拘束の基本的な考え方スピーチロック クドラッグロック・フィジカルロック）
第8回	11月4日	・先月のヒヤリハットについて
		ヒヤリハット事例（転倒・転落等の事故を防止するために）
第9回	12月3日	・先月のヒヤリハットについて
		ヒヤリハット事例（事故を防ぐためのポイント）
第10回	1月3日	・先月のヒヤリハットについて
		ヒヤリハット事例（事故・トラブルの発生には法則がある） ・身体拘束廃止委員会（身体拘束ゼロへの手引き）
第11回	2月4日	・先月のヒヤリハットについて
		ヒヤリハット事例（ベットから立ち上がろうとして転倒しそうになる）
第12回	3月5日	・先月のヒヤリハットについて
		ヒヤリハット事例（ちょっと目を離したすきに利用者が外に） （足の高さが違っている状態で座った為転倒しそうになる）

※広報委員会では、2ヶ月に1度「まちぐるみ通信」を身元様に発送し、入居者様個々のアルバム作りを実施した。

4 感染症予防対策委員会

蔵ハウス大船渡の同委員会に属し、予防対策として日常の手洗い・うがい、床のハイター消毒、手すりドアノブの消毒を実施、清潔保持と環境整備に努めた。

入居者様は、感染症を発症することなく過ごされ、職員間での感染もなく自己管理をし感染予防に努めた。

第1回	4月9日	*感染者の有無*3月の体調不良者*尿路感染について*新型コロナウイルスについて
第2回	5月17日	*感染者の有無*4月の体調不良者*感染症について*新型コロナウイルスについて
第3回	6月18日	*感染者の有無*5月に体調不良者*ノロウイルスについて*その他
第4回	7月18日	*感染者の有無*6月の体調不良者*熱中症について*その他
第5回	8月16日	*感染者の有無*7月に体調不良者*食中毒について*その他
第6回	9月22日	*感染者の有無*8月の体調不良者*インフルエンザについて*その他
第7回	10月15日	*感染者の有無*9月の体調不良者*肺炎について*その他
第8回	11月18日	*感染者の有無*10月の体調不良者*寒暖差アレルギーについて*その他
第9回	12月18日	*感染者の有無*11月の体調不良者*水虫について*その他
第10回	1月13日	*感染者の有無*12月の体調不良者*加湿器肺炎について*その他
第11回	2月16日	*感染者の有無*1月の体調不良者*インフルエンザについて*その他
第12回	3月15日	*感染者の有無*2月の体調不良者*花粉症について*その他

5 職員研修実施状況（内部研修）

内部研修では、定期的に認知症についての勉強会を実施し、その他高齢者虐待、身体拘束、プライバシーについてなどの研修を行い、職員のスキルアップに向けた。

開催	年月日	会議内容
第1回	4月3日	認知症勉強会について「認知症ケア」
	4月15日	疑似体験 排泄介助（トイレ介助）対応
	4月21日	医療的ケア 医療的ケアの役割分担と共通理解
	4月23日	三大介護 食事介助について
	4月29日	緊急時の対応について「救急一般講習パンフレット（救急車が来るまでに）」
第2回	5月10日	認知症勉強会について「認知症の人とのコミュニケーションのポイント」
	5月12日	身体拘束廃止委員会（身体拘束せずに事故を防ぐ方法）
	5月15日	接遇（介護職現場で求められる接遇マナー）
第3回	6月5日	認知症勉強会について「コロナ化で認知症の症状が悪化した利用者への対応」
	6月9日	給食委員会「4・5月献立に関して」「ご飯の正しい並べ方、和洋中華の配膳マナーを覚えましょう」
第4回	7月26日	認知症勉強会について「家に帰りたい」と繰り返し言う」
第5回	8月4日	認知症勉強会について「介護負担を減らすケア法」
	8月13日	プライバシーについて「介護におけるプライバシー保護とは」
	8月27日	給食委員会「6・7月の献立の栄養士からのアドバイス」
第6回	9月8日	認知症勉強会について「混乱期のケア方法は？絶えず動き回り、話し続ける」
	9月11日	疑似体験（耳が遠い）
第7回	10月6日	認知症勉強会について「特徴とケア方法」【欲望のままに行動する】が特徴的な症状
	10月7日	給食委員会「8・9月の献立の栄養士からのアドバイス」
	10月9日	医療的ケア 「GH医療行為はどこまで」
	10月30日	緊急時の対応について「転倒・転落による頭部打撲、骨折」
第8回	11月2日	認知症勉強会について「レビー小体型認知症って、どんな病気？」
	11月19日	身体拘束廃止委員会「身体拘束は権利侵害である」
第9回	12月6日	プライバシーについて「介護現場で重要なプライバシーを侵害しない為の排泄介助とは？」
	12月9日	接遇「介護における接遇マナーの5原則とは」
	12月12日	認知症勉強会について「レビー小体型のケア・水分をとらず、脱水症を起こす」
	12月21日	疑似体験（口腔ケア）
第10回	1月13日	給食委員会「R5、10月～11月の献立の栄養士からのアドバイスと反省」
	1月26日	認知症勉強会について「認知機能の低下とは？」
第11回	2月14日	認知症勉強会について「事故が起こりやすい夜間・早朝ケアの工夫」
第12回	3月11日	認知症勉強会について「忙しい早朝ケアのポイント」
	3月19日	給食委員会「1・2月の献立の栄養士からのアドバイス」
外部研修	6月23日	令和5年度あんしんサポート相談員養成研修

6 行事实施状況

季節ごとに特色あるイベントの開催や入居者の誕生日を月ごとに行っています。令和5年度は新型コロナウイルスの5類への移行に伴い地域での行事やイベントが戻りつつ、地域とふれあいができるイベントなども増えたが、時期によっては感染症への警戒を図らざるを得ない時もあり、前年同様施設内での行事を工夫した。

月 日	行 事 概 要	月 日	行 事 概 要
4月1日	吉田睦子様誕生会	10月1日	大森千代子様誕生会
2日	入居者懇談会	押し花教室	
4日	手作りおやつ (いも半月)	2日	入居者懇談会
8日	花祭り	3日	手作り昼食 (スフレパンケーキ)
	カルチャークラブ (クッキング)	6日	手作り夕食 (ひよっこいも)
9日	バスハイク		カルチャークラブ (手芸)
10日	手作り昼食 (しょうゆ焼きそば)	8日	乱拍子来園
11日	フラワーアレンジメント	9日	手作りおやつ (しょうゆ餅)
12日	ウォールアート作成	10日	千葉千穂子様誕生会
13日	桜の押し花作り		フラワーアレンジメント
14日	ウォールアート見物	12日	防災訓練
16日	手作り夕食 (ぶら肉のペジロール)	13日	盛こども園来園 (権現様)
19日	観桜会		外部評価
23日	手作り昼食 (のり巻き)		
5月1日	入居者懇談会	11月1日	入居者懇談会
3日	桜の押し花作り	4日	バスハイク (日頃市方面)
5日	手作り夕食 (鮭の2色焼き)	6日	手作り夕食 (柿の種エビフライ)
7日	手作りバイキング	7日	手作りおやつ (くるくるロールクッキー)
9日	フラワーアレンジメント	8日	消防訓練
10日	消防訓練	9日	入居者インフルエンザ予防注射
12日	カルチャークラブ (クッキング)	10日	佐々木ミサオ様誕生会
14日	母の日 手作りおやつ (ミルクレープ)		運営推進会議
20日	カルチャークラブ (手芸)	14日	フラワーアレンジメント
22日	カルチャークラブ (コーラス)	17日	手作りおやつ (きび団子)
23日	カルチャークラブ (陶芸)	19日	干し柿づくり
24日	バスハイク	20日	手作り昼食 (もやしお好み焼き)
	手作り昼食 (けいらん)	23日	カルチャークラブ (詩吟)
31日	手作り夕食 (ちくわサラダ)		習字クラブ
		25日	大船渡市社会福祉協議会表彰式
		26日	カルチャークラブ (コーラス)
6月1日	入居者懇談会	12月1日	入居者懇談会
3日	千葉武子様誕生会	4日	紅白歌合戦
	合同運動会	6日	手作り夕食 (ロールキャベツ)
11日	手作りおやつ ()		高齢者にやさしいお店講座
12日	佐々木文子様誕生会	11日	大根のビール漬け作り
13日	フラワーアレンジメント		手作り昼食 (餃子入りチヂミ)
16日	カルチャークラブ (クッキング)	13日	フラワーアレンジメント
18日	父の日		消防訓練
20日	手作り昼食	18日	新沼謙治 オンラインコンサート
24日	カルチャークラブ (コーラス)	19日	手作りおやつ (揚げパン)
25日	手作りおやつ (どら焼き)	22日	運営推進会議
26日	運営推進会議		クリスマス忘年会
28日	八代亜紀オンラインコンサート	27日	餅つき
7月1日	入居者懇談会	2月1日	入居者懇談会
3日	手作り昼食 (海鮮チヂミ、ホテトチップス)	2日	節分 (東方巻)
10日	手作り昼食 (おからパンケーキ)		盛こども園鬼行列来園
14日	カルチャークラブ (手芸)	9日	カルチャークラブ (手芸)
22日	カルチャークラブ (コーラス)	14日	バレンタインホーム喫茶
23日	手作り夕食 (ビーマンの肉詰め)	16日	まらぐるみバイキング
24日	昼食バイキング	18日	手作りおやつ (ミニたい焼き)
25日	習字クラブ	20日	フラワーアレンジメント
27日	手作りおやつ (抹茶ホットケーキ)		手作りおやつ (ジャムロール)
30日	バスケットボール大会	21日	餅バイキング
8月1日	入居者懇談会	24日	手作り昼食 (肉巻きおにぎり)
6日	盛町七夕まつり	24日	フラワーアレンジメント
11日	フラワーアレンジメント	27日	手作り昼食 (里芋と焼き鮭のハンバーグ)
	開所記念日	31日	手作りおやつ (リンゴケーキ)
	カルチャークラブ (シネマ同好会)	3月1日	入居者懇談会
13日	迎え火	2日	会長通夜
14日	カルチャークラブ (手芸)	3日	会長葬儀
15日	手作り昼食 (おはぎ)	6日	手作り夕食 (やさいの肉巻き)
16日	前田鹿踊り来園 送り火	7日	ひな祭り 和装撮影
18日	習字クラブ	9日	カルチャークラブ (コーラス)
19日	カルチャークラブ (コーラス)	10日	手作りおやつ (けんかもち)
23日	納涼祭	16日	手作り夕食 (人参餃子)
25日	手作り夕食 (ちくわサラダ)	17日	手作りおやつ (だいこん餅)
27日	千葉輝光様誕生会	18日	訪問歯科診療
29日	運営推進会議	19日	バスハイク (大船渡町方面)
30日	手作りおやつ (ずんだ大福)	22日	運営推進会議
9月1日	入居者懇談会	29日	手作り昼食 (のり巻き)
3日	手作りおやつ (カスタードチョコパイ)	30日	手作りおやつ (揚げドーナツ)
5日	手作り夕食 (お月見コロケ)		
7日	新規G H地鎮祭		
9日	手作り夕食 (黒ごまひじきつくね)		
10日	布田アイ様誕生会		
12日	フラワーアレンジメント		
13日	防災訓練		
15日	敬老会		
18日	カルチャークラブ (手芸)		
19日	手作り昼食 (太巻き)		
22日	彼岸の菩提寺参り		
23日	手作り昼食 (2色おはぎ)		
24日	カルチャークラブ (コーラス)		
25日	手作りおやつ (スイートポテト)		
27日	防災訓練		
29日	十五夜団子づくり・手作りおやつ		
	盛小学校マラソン大会		

7 行事等食事实施状況

年	月	行事名	献立内容
R5年	4月	1日	入居者様誕生会 ・うなぎの葉味寿司・そうめん入りお吸い・アロココー餅・フルーツポ
		4日	手作りおやつ ・いも半月
		8日	花祭り ・なべ焼き
		10日	手作り昼食 ・醤油焼きそば・かきたまスープ・マカロニサラダ・桃缶
		16日	手作り昼食 ・ご飯・みそ汁・豚肉のペジロール・法蓮草のお浸し・渦巻チーズ・作
		23日	観桜会 ・ぼたもち・煮しめ
		手作り昼食 ・のり巻き・いなり寿司・お吸い物・茶碗蒸し・イチゴ	
R5年	5月	5日	手作り夕食 ・ご飯・みそ汁・豚の2色焼き・鶏ももどろり・のり巻き・チーズ・漬物
		7日	昼食バイキング ・いなり寿司・のり巻き・ラーメン・そば・うどん・ハンバーグ・コロッケ・エビフライ・なます・胡瓜の酢の物・コーヒゼリー・プリン
		14日	手作りおやつ(母の日) ・カップケーキ
		24日	手作り昼食 ・炊き込みご飯・けいらん(岩手県)・茶碗蒸し・いちご
R5年	6月	3日	合同運動会 ・カレーライス・かきたまスープ・バナナ
		4日	入居者様誕生会 ・海鮮丼・お吸い物・茶碗蒸し・大根なます・メロン
		11日	手作りおやつ ・かぼちゃのいも餅
		12日	入居者様誕生会 ・寿司・そうめん汁・炊き合わせ・茶碗蒸し・メロン
		19日	手作りおやつ ・柏餅
		20日	手作り昼食 ・おにぎり・芋の子汁・餃子・さくらんぼ
		25日	手作りおやつ ・どら焼き

R5年	7月	3日	手作り昼食	・海鮮チヂミ(韓国)・ワンタンスープ・麻婆春雨・バナナ
		3日	手作りおやつ	・ポテトチップス
		10日	手作り昼食	・おからパンケーキ・野菜ジュース・アボガドサラダ・ぶどう
		23日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・ピーマンと椎茸の肉詰め・春雨サラダ・数の子わさび・春菊の胡麻和え
		24日	昼食バイキング	・のり巻き・焼きおにぎり・トマトサラダ・ポアトサラダ・かけうどん・かけそば・一日豆腐・ところてん・寒天ゼリー
		27日	手作りおやつ	・抹茶ホットケーキ



R5年	8月	11日	開所記念日	・いか飯・梅すまし汁・天ぷらの盛り合わせ・茄子のはさみ焼き田楽・スッキーニのヒリ辛和え・トマトの白だし煮浸し・冷やしぜんざい
		15日	手作り昼食	・おはぎ・お吸い物・なすとこんにやくの味噌田楽・桃
		23日	納涼祭	・焼きそば・たこ焼き・枝豆・チョコバナ・おけんぼ・ト・胡瓜漬け・焼きおにぎり・冷やし甘酒・焼き鳥
		25日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・ちくわサラダ・きのこのボン酢炒め・茄子とピーマンのオイスターソース炒め・チーズ
		27日	入居者様誕生会	・手巻寿司・そうめん入りお吸い・大根なます・茶碗蒸し・メロン
			手作りおやつ	・ずんだ大福



R5年	9月	3日	手作りおやつ	・カスタードチョコパイ
		5日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・月見コロッケ・スパゲティサラダ・漬物・チーズ
		9日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・白菜の甘酢和え・黒ごまひじきつくね・煮豆・キムチ
		10日	入居者様誕生会	・海鮮ちらし・お吸い物・茄子の味噌田楽・三色なます・メロン
		15日	敬老会	・くるみ餅・おちつきうどん・天ぷら盛り合わせ・手巻寿司・ゴマ豆腐・合鴨すし缶詰添え・揚げナスのゆず味噌和え・真鯛うま煮・茶碗蒸し・長芋わ和え・網田巻き
		19日	手作り昼食	・のり巻き・豚汁・春雨サラダ・ヨーグルト
		23日	手作り昼食	・あんこ・ずんだおはぎ・お吸い物・なます・煮しめ・ぶどう
		25日	手作りおやつ	・プリンで作るスイートポテト



R5年	10月	1日	入居者様誕生会	・ちらし寿司・お吸い物・含め煮・大根なます・ぶどう
		3日	手作り昼食	・スフレパンケーキ・クリームシチュー・キャベツサラダ・プリン
		6日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・柿と豚肉の酢豚風炒め・ひよっこりいも・ミニ奴・漬物
		9日	手作りおやつ	・しょうゆ餅
		10日	入居者様誕生会	・鯉ちらし寿司・レタス・カニカマ入り若布スープ・胡瓜と竹輪の酢の物
				
R5年	11月	6日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・柿の種エビフライ・マカロニサラダ・玉子豆腐・ブナ
		7日	手作りおやつ	・くるくるロールクッキー
		10日	入居者様誕生会	・五目ちらし・芋の子汁・柿なます・フルーチェ
		17日	手作りおやつ	・きび団子
		20日	手作り昼食	・もやしモリモリお好み焼き・ワカンスープ・茄子とピーマンのみそ炒め・
		29日	手作りおやつ	・アップルパイ
		30日	選択食	・きつねそば、うどん・たぬきそば、うどん・磯ラーメン・いなり寿司・ミニカレーライス・味噌おにぎり
				
R5年	12月	6日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・ロールキャベツ・小松菜のピーナツ和え・しそ味噌・佃
		11日	手作り昼食	・餃子入りチヂミ・スープ・グリーンサラダ・みかん
		19日	手作りおやつ	・揚げパン
		22日	クリスマス忘年会	・寿司・サンドイッチ・エビフライ・ポテトサラダ・グラタン・スープ・シャンメリー
		27日	餅つき	・あんこ餅・きな粉餅・お吸い物・炊き合わせ・りんご
		31日	大晦日	・ちらし寿司・年越し蕎麦・春菊としいたけの白和え・卵あんかけ豆腐
				

R6年	1月	1日	おせち料理	・くるみ餅・ひき菜汁・おせち盛り合わせ・三色蒲鉾・栗きんとん・ミニ煮しめ・黒豆・タコ照り焼き煮・炙り黄金ニシン・いくらなます・ソーグー
		4日	お正月御膳	・ごま餅・白味噌の雑煮・レンコンの酢の物・含め煮・りんご
		7日	手作りおやつ	・芋ようかん
		15日	お正月御膳	・あんこ餅・お吸い物・鯛の塩焼き・イカの酢物・みかん
		16日	手作り昼食	・チュモツパ(韓国)・豚汁・ミモザサラダ・フルーツゼリー
		19日	まちの磯舞	・サンドイッチ・ミネル・味噌おにぎり・おでん・イカ焼き・ホッケ・ポテト・チーズフライ・アメリカンドッグ・エビのから揚げ・フルーツポンチ・プリン・ケーキ
		23日	手作りおやつ	・ほたようかん
		27日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・焼鮭ときのこのハンバーグ・岩魚の昆布巻き・チーズ
		31日	手作りおやつ	・りんごカスタードケーキ



R6	2月	2日	節分	・のり巻き・稲荷寿司・お吸い物・茶碗蒸し・みかん・恵方巻
		4日	手作りおやつ	・どら焼き
		16日	まわぐるみバイキング	・梅カッパ巻き・いなり・ホタテフライ・春巻・中華炒め・グリーンサラダ・そば・うどん・ミートボール・フルーツポンチ
		18日	手作りおやつ	・たい焼き
		20日	手作りおやつ	・ジャムロール
		21日	餅バイキング	・餅(あんこ・きな粉・くるみ・ごま・磯部・大根おろし)・キャバツの浅漬け風・お吸い物・炊き合わせ・キウイ
		24日	手作り昼食	・肉巻きおにぎり・ひき菜温麺・若布と胡瓜の酢の物・フルーツゼリー



R6	3月	6日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・野菜肉巻き・さつま芋きんとん・玉子豆腐・漬物
		10日	手作りおやつ	・けんか餅
		16日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・人参餃子サラダ添え・若布の酢物・桃缶・漬物
		17日	手作りおやつ	・大根餅
		24日	手作りおやつ	・冷やし汁粉
		29日	手作り昼食	・のり巻き・お吸い物・菜の花の辛し和え・フルーチェ
		30日	手作りおやつ	・揚げドーナツ



<p>4月4日 いも半月（佐賀県）</p> 	<p>4月10日 しょうゆ焼きそば（埼玉県）</p> 	<p>4月22日 キャベツ焼き（大阪府）</p> 
<p>4月25日 勝手丼（北海道）</p> 	<p>5月3日 フーイリチー（沖縄県）</p> 	<p>5月12日 カレー焼きそば（新潟県）</p> 
<p>5月24日 けいらん（岩手県）</p> 	<p>6月8日 お相何さん、湯葉と豆腐のスープ（栃木県）</p> 	<p>6月22日 かて飯（神奈川県）</p> 
<p>6月27日 ぼっかけ焼きそば（兵庫県）</p> 	<p>7月3日 海鮮チヂミ（韓国）</p> 	<p>7月11日 ロコモコ（ハワイ）</p> 

<p>7月18日 ヒカド (長崎県)</p> 	<p>7月19日 越前そば (福井県)</p> 	<p>7月28日 たぬきむすび (静岡県)</p> 
<p>8月4日 油そば (東京都)</p> 	<p>8月10日 アイス・レモンの地中海スープ (広島県)</p> 	<p>8月16日 (青森県) アイスとりんごとさつま芋の本</p> 
<p>8月25日 ちくわサラダ (熊本県)</p> 	<p>8月29日 芋蛸 (石川県)</p> 	<p>9月9日 栗おこわ (茨木県)</p> 
<p>9月12日 たぬきうどん (京都府)</p> 	<p>9月18日 里芋ご飯 (奈良県)</p> 	<p>9月22日 ピーマン味噌 (岩手県)</p> 

<p>9月27日 ひつひ飯・かほらやナススープ (香川県)</p> 	<p>10月6日 ひよつくり芋 (神奈川県)</p> 	<p>10月9日 しょうゆ餅 (愛媛県)</p> 
<p>10月28日 からいもご飯 (鹿児島県)</p> 	<p>10月30日 白菜の白和え (山口県)</p> 	<p>11月3日 かぶらごき (富山県)</p> 
<p>11月9日 梨の酢の物 (島根県)</p> 	<p>11月14日 味噌おでん (愛知県)</p> 	<p>11月17日 ソゲンのニンニク和え (秋田県)</p> 
<p>11月23日 とつがんの鱈出魚 (二里 島)</p> 	<p>11月28日 不ヤみそ・ねさ味噌おひ そば (秋田)</p> 	<p>12月1日 おしくじり (山梨県)</p> 

<p>12月16日 だし (山形県)</p> 	<p>1月3日 ぶり雑煮 (岡山県)</p> 	<p>1月9日 スタミナ納豆 (鳥取県)</p> 
<p>1月16日 豆腐焼き (和歌山県)</p> 	<p>1月16日 チュモツパ (韓国)</p> 	<p>1月23日 ほたようかん (徳島県)</p> 
<p>1月26日 いもかん (福島県)</p> 	<p>1月31日 干しきのこ飯 (長野県)</p> 	<p>2月7日 んぴょうと里芋煮 (滋賀県)</p> 
<p>2月17日 チャンラー (福岡県)</p> 	<p>2月24日 肉巻きおにぎり (宮崎県)</p> 	<p>2月28日 きのこカレー (大分県)</p> 
<p>3月10日 けんかもち (高知県)</p> 	<p>3月22日 とじみそ焼きそば (岐阜県)</p> 	<p>3月24日 ごんじゅう (千葉県)</p> 

9 運営推進会議の実施状況

地域密着型サービス事業所の運営を透明性のあるものにし、サービスの質確保と向上を図り、地域資源として機能していくために、各関係機関及び地域の代表者を委員として運営推進会議を開催。新型コロナウイルスの感染状況などにより開催時期がずれた回もあるが年度を通して参集開催が出来た

年月日	内容	開催主体	出席者
令和5年4月27日	①令和5年2月～3月の入所状況及び活動報告などについて ②蔵ハウス大船渡及びグループホームまちぐるみ令和5年度事業計画について ③運営推進委員より意見交換	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	大船渡市保健福祉部・長寿社会課課長 入居者の家族 民生委員 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員
令和5年6月26日	①令和5年第1回運営推進会議の報告について ②令和5年4月～5月の入所状況及び活動報告などについて ③蔵ハウス大船渡及びグループホームまちぐるみ令和4年度事業報告について ④運営推進委員より意見交換	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	大船渡市保健福祉部・長寿社会課課長 入居者の家族 民生委員 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員
令和5年8月29日	①令和5年第2回運営推進会議の報告について ②令和5年6月～7月の入所状況及び活動報告などについて ③グループホームまちぐるみ外部評価の実施について ④「カルチャークラブ」等の進捗状況について ⑤運営推進委員より意見交換	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	大船渡市保健福祉部・長寿社会課課長 入居者の家族 民生委員 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員
令和5年11月10日	①令和5年第3回運営推進会議の報告について ②令和5年8月～9月の入所状況及び活動報告などについて ③運営推進委員より意見交換	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	大船渡市保健福祉部・長寿社会課課長 入居者の家族 民生委員 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員
令和5年12月22日	①令和5年第4回運営推進会議の報告について ②令和5年10月～11月の入所状況及び活動報告などについて ③運営推進委員より意見交換	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	大船渡市保健福祉部・長寿社会課課長 入居者の家族 民生委員 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員
令和6年3月22日	①令和5年第5回運営推進会議の報告について ②令和5年12月～令和6年1月の入所状況及び活動報告などについて ③グループホームまちぐるみ外部評価の報告について ④運営推進委員より意見交換	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	大船渡市保健福祉部・長寿社会課課長 入居者の家族 民生委員 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員

まちぐるみ 1年間の様子



お花見



運動会



カルチャークラブ(詩吟)



盛町七夕祭り



七夕祭り見物(さすけ)



開所記念日



敬老会



敬老会(余興)

まちぐるみ 1年間の様子



敬老会(フォトスタジオ)



ウォールアート



さかりこども園権現様お披露目会



乱拍子・和太鼓演奏



まちの蔵舞



紅白歌合戦



クリスマスパーティー



お正月行事

まちぐるみ 1年間の様子



お花見



面会



陶芸クラブ



母の日



夫婦の時間



手芸クラブ



まちぐるみ 1年間の様子



前田獅子踊り



送り火・迎え火



余暇時間



食事作り



シネマ同好会



バスケットボール大会



八代垂紀オンラインコンサート



バスハイク

まちぐるみ 1年間の様子



本増寺参り



ドライブ



作品展示会



タペストリーづくり



新治謙治オンラインコンサート



餅つき



まちぐるみ 1年間の様子



パイキング



節分



ひな祭り



チェロ演奏会



おやつ作り



花壇の手入れ



田茂山権現様



作品作り

令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

大船渡市デイサービスセンター

令和5年度の事業を振り返って

やさしく、笑顔で、温かく
～相手の身になって～

令和5年度も昨年に引き続き感染予防に努めた事業運営となりましたが、新規利用者の受け入れを積極的に行い、事業の安定化に努めました。

1日の定員は33名のところ、利用者数は1日平均31.3名で、稼働率は94.9%（最大値10月99.9%）となり、前年度より8.5%高い数値となりました。

登録中止者は49名、新規登録者は55名で昨年度より6名増員となり、全登録者数は131名でした。

コロナ禍においても有意義な時間を過ごしていただけるよう、テーマである「やさしく、笑顔で、温かく」を実現できるように、ご利用者のニーズに合わせたサービスの提供に心掛けました。アクティビティ（活動）は、室内で行うことが多くなりましたが、新たなレクリエーションを職員が考案し、笑顔と笑い声があふれる楽しい時間を過ごしていただけるよう工夫をしながら取り組みました。

食事に関しても、季節感が感じられ、見ても楽しく、食べても美味しいメニューをセンター職員、栄養士、日清医療食品とで検討し、食べることの楽しさを感じていただけるよう創意工夫しました。ご利用者からは大変好評をいただいております。

当センターでは、故山崎シゲ会長の目指す、地域福祉の拠点づくりの一端を担うべく個人の尊厳を大切に、科学的根拠に基づくパーソナルケアを実践し、利用者一人ひとりのこれまでの人生の歴史を大切に、その人らしさを大切にしたケアの提供に5年度も事業を展開してきました。今後も更に社会貢献が実践できる施設となるべく、スタッフの資質の向上を図りながら、努めてまいります。

大船渡市デイサービスセンター

所長 鈴木 千賀子

1 各係の業務実施状況

(1) 総務相談係

相談係は前日にご利用者の健康状態を確認し、本人あるいはご家族が感染症に感染した場合には最新の情報を得ながら適切に対応した。また、感染症以外でも前日の健康状態や身体状況の確認を行うことで介護係と連携し適切な対応を行った。

今年度も新規利用者の確保のため、積極的に受け入れを行う内容のインフォメーションを作成し、市内居宅支援事業所等へ配布する等の活動を展開した。結果、年間を通して8.5%の利用率アップに繋げることができた。

また、パーソナルケアの取組みとして、利用者をより深く理解しながら質の高いサービスを提供できるように事前に聞き取りを行いサービスに反映した。利用開始後もご本人やご家族とのコミュニケーションを取るなかで得た新たな情報を随時共有しその時々に対応した。

新規ご利用者は、定期枠、不定期枠、介護度に関わらず広く積極的に受け入れをした。ご利用者の状態に応じた入浴方法や食事形態、移動方法、余暇時間の過ごし方等を柔軟に対応することで様々な受け入れをすることができた。また、送迎の時間を工夫することで家族の状況に合わせた利用につながった。

今後も利用者が必要とするサービスが、必要な時に提供できるよう、地域の社会的資源としての役割を果たしながら、社会貢献につながる施設運営に努めたい。

【センターでの感染症対策】

1. 前日のご利用者健康確認
2. 当日迎え時の健康状態確認と体温測定
3. 抗体スプレーを口腔噴霧
4. センター到着後は玄関先での手指消毒及びうがい
5. センター内での再度体温測定
6. 食事前及び午後のおやつ前の手指消毒(使い捨てタイプのおしぼりを提供)
7. 利用者・職員ともに、常時マスクの着用を徹底(職員は入浴介助時にもマスクの着用)
8. テーブル上にアクリルパーテーションを設置(飛沫防止)
9. プレミアム電解水の噴霧と定期的な換気
10. 送迎車両の徹底清掃と除菌

(2) 介護係

まだまだ油断できない感染症の状況において、センター内での交流を通じ、利用者の社会的孤独感を軽減し、心身機能の維持及びご家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることで、家族の生活環境が円滑かつ安定的なものとなるよう努めた。

入浴は、ご利用者の尊厳に配慮しながら身体の清潔保持を第一に、利用者個々の身体状態に合わせ安全安楽で快適な入浴が提供できるように心がけた。また、ゆず湯など季節を五感で感じていただきながらゆっくり入浴していただくとともに、相談係・看護係と連携し、身体状態の変化の早期発見に努め、家族や担当ケアマネージャーへの報告と情報提供に繋げることができた。

食事は、利用者様にとって大切な楽しみの一つであるため、季節を感じる事ができるメニューやご当地グルメなどバラエティーに富んだ食事の提供に努めた。特に「お正月」「敬老週間」「クリスマス忘年会」等の大切な節目に提供した食事内容に関しては、ご利用者からも好評をいただくことができた。また、ご利用者の嗜好の確認や状況の変化(摂取量の減少・嚥下機能低下)に早期に気づき、相談係・看護係と連携し、その都度見直しを行い対応した。さらには嚥下困難な利用者様に対しての食事介助については細心の注意と配慮を行いながら、安全安心な食事摂取となるよう努めた。

アクティビティ及びレクリエーションに関しては、コロナ感染対策を行いながら少しずつレクリエーションの幅を広げ実施した。利用者様からの要望や意見を踏まえながら、プログラムメニューを多種多様な内容となるようスタッフ全員で考え、ご利用者が笑いと楽しみがもてるよう工夫しながら取り組んだ。

今後も介護課の役割として、安心してサービスをご利用していただけるよう、通所することが楽しみになっていただけるよう、スタッフ一人ひとりが「やさしく・笑顔で・温かく」相手の身になって、利用者スタッフの思いが一つになって深い信頼関係を築き上げ、利用者様が「いつまでも自分らしく」を送ることができるケアを提供できるよう努めます。

(3)看護係

令和5年度も年間を通してご利用者の感染症対策を徹底して行った。特に発熱や咳症状等の場合には、感染症を前提とした対応に心掛けた。

入浴、食事、排泄、移動等の生活基本動作に加え、アクティビティ(活動)をご利用者個々の身体状態に合わせて行い、ADL(日常生活動作)の低下を予防し、残存機能が維持できるように援助した。また、利用者一人ひとりの全身状況の観察や食事の摂取状況、入浴時の全身観察を通して変化や異常が見受けられた場合には、速やかに家族と担当ケアマネジャーに連携し、その後の対応を行った。

また職員については、感染症の媒体となることが無いよう週2回の抗原検査と、本部との連携のもと私生活を含め、年間を通して自己の健康管理を徹底するよう指導を続けた。

研修では感染症に関する最新情報やその対応策の他、利用者等が抱える疾患に関する内容を中心に、より知識が定着するよう工夫して実施した。

職員の健康診断は年2回実施。11月は岩手県予防医学協会による健康診断により、詳細な健診結果をもとに職員への健康指導を行い、意識向上と改善につなげた。また、年1回のストレスチェックにより、心身の健康維持につなげた。

2 職員研修実施状況

(施設内研修)

年月日	研 修 内 容
令和5年4月	頭を打った後の注意
5月	インフルエンザ(季節性)対策
6月	C型肝炎について
7月	夏の血圧低下について
8月	水疱性類天疱瘡について
9月	心不全とは
10月	感染症対策について
11月	てんかんとけいれんについて
12月	高齢者の窒息事故について
令和6年1月	ノロウイルス対策
2月	汚物処理について
3月	アルコール消毒による皮膚の異常

(外部研修)

- ◆令和5年度 岩手県認知症介護基礎研修(eラーニング型)【主催:岩手県】
受講者:吉田直哉、蕨野聖子、杉山昭雄
受講可能期間:令和5年5月15日(月)～12月22日(金)

日常活動実施状況

月	活 動 内 容		
4	レク体操・口腔機能向上体操 バスハイク(市内桜見物) カップに入れてピンポン	狙って倒せボウリング 紐通しゲーム 脳トレクイズ(4月編)	鯉のぼり塗り絵 装飾づくり(藤の花) 利用者懇談会・お茶会
5	レク体操・口腔機能向上体操 ダーツゲーム 装飾づくり(紫陽花)	脳トレクイズ(5月編) バスハイク(藤棚見物) 利用者懇談会・お茶会	カラオケ会 歌詞当てクイズ
6	レク体操・口腔機能向上体操 装飾づくり(ミニ傘づくり) 七夕短冊作り	輪投げゲーム 脳トレクイズ(6月編) 利用者懇談会・お茶会	バスハイク(基石方面) 野外体操
7	レク体操・口腔機能向上体操 七夕飾り付け 脳トレクイズ(7月編)	機能訓練体操 カラオケ会 利用者懇談会・お茶会	バスハイク(道の駅三陸) すごろくゲーム
8	レク体操・口腔機能向上体操 パターゴルフ 利用者懇談会・お茶会	金魚すくい 脳トレクイズ(8月編)	スイカ割り・かき氷 佐藤忠清さんミニライブ
9	レク体操・口腔機能向上体操 紙コップピラミッドゲーム 装飾品づくり(ぶどう)	脳トレクイズ(9月編) 重さ当てゲーム 利用者懇談会・お茶会	防災クイズ 間違い探し 敬老と健康を祝う会
10	レク体操・口腔機能向上体操 装飾品づくり(紅葉・落ち葉) 紅葉バスハイク	脳トレクイズ(10月編) カラオケ会 利用者懇談会・お茶会	加減が大事ゲートボール 魚釣りゲーム
11	レク体操・口腔機能向上体操 脳トレクイズ(11月編)	玉入れ 山崎杯輪投げ大会	装飾品づくり(クリスマス) 利用者懇談会・お茶会
12	レク体操・口腔機能向上体操 脳トレクイズ(12月編) バスハイク(綾里方面)	手作りカレンダー クリスマス忘年会 大晦日お茶会	ボッチャ もちつき大会 利用者懇談会・お茶会
1	レク体操・口腔機能向上体操 正月遊び(福笑い・かるた) 紙コップリレー	おみくじゲーム 小正月飾りづくり 水木団子づくり	書初め 脳トレクイズ(1月編) 利用者懇談会・お茶会
2	レク体操・口腔機能向上体操 脳トレクイズ(2月編) 利用者懇談会・お茶会	鬼福ボウリング 間違い探しゲーム	豆まき(節分) すごろくゲーム
3	レク体操・口腔機能向上体操 間違い探しゲーム 利用者懇談会・お茶会	脳トレクイズ(3月編) 佐藤忠清さんミニライブ	雛祭りお茶会 3.11追悼TV鑑賞会

利用者の状況

(1)月別利用状況

令和5年度の年間利用者数は11,460名、1日平均 31.3名で稼働した。

(単位：名)

日／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	0	32	32	26	33	33	33	33	33	19	33	30
2	0	28	32	26	33	33	33	33	33	28	32	33
3	32	29	30	24	33	33	33	33	33	30	33	27
4	33	26	31	29	33	33	33	33	31	31	33	29
5	31	33	30	27	33	32	33	33	33	32	33	30
6	31	25	32	30	33	33	33	33	33	32	31	28
7	32	27	28	33	31	33	33	33	33	29	33	30
8	28	33	33	25	33	33	33	33	33	33	32	30
9	32	29	32	30	33	33	33	33	33	33	33	33
10	31	29	29	30	33	33	33	33	33	33	32	31
11	29	30	31	32	32	33	33	33	33	32	33	33
12	32	31	31	33	33	33	33	33	33	32	33	32
13	31	30	27	32	31	33	33	33	33	31	33	32
14	32	24	32	31	26	33	33	33	30	31	31	33
15	28	29	29	24	24	33	33	33	33	32	33	33
16	28	28	31	31	30	33	33	32	32	30	33	33
17	32	33	23	31	33	33	33	33	33	33	33	30
18	30	31	31	32	33	33	33	33	33	30	32	32
19	29	30	32	32	33	33	33	33	32	33	32	30
20	29	32	31	31	33	33	33	33	33	31	32	30
21	30	25	33	31	32	33	33	33	33	32	32	33
22	29	30	27	28	32	33	33	33	33	33	33	32
23	27	29	33	30	33	31	33	33	33	33	33	31
24	33	26	28	29	30	33	33	33	33	32	33	28
25	30	31	29	30	33	33	33	33	33	29	33	33
26	30	32	33	30	32	33	33	32	32	30	30	30
27	30	28	30	33	31	33	33	33	33	33	33	33
28	31	30	28	32	31	33	33	33	33	31	32	33
29	30	33	31	30	33	33	32	32	33	33	32	30
30	28	31	28	32	33	33	33	33	30	32	—	33
31	—	31	—	32	33	—	33	—	27	33	—	31
合計	848	915	907	926	989	987	1,022	987	1,006	966	941	966
1日平均	28.3	29.5	30.2	29.9	31.9	32.9	33.0	32.9	32.5	31.2	32.4	31.2
令和5年度稼働率(A)	85.7%	89.4%	91.6%	90.5%	96.7%	99.7%	99.9%	99.7%	98.3%	94.4%	98.3%	94.4%
前年度稼働率(B)	93.1%	97.9%	94.9%	95.3%	91.3%	95.2%	95.3%	94.5%	93.3%	88.4%	88.8%	89.9%

令和5年度年間稼働率(A)	94.9%
前年度年間稼働率(B)	86.4%

(2)登録者年齢構成

令和6年3月31日現在(単位:名)

年齢区分	男	女	計
64歳以下	0	0	0
65～74歳	2	1	3
75～79歳	1	6	7
80～84歳	5	10	15
85～89歳	10	24	34
90～94歳	9	36	45
95～99歳	5	18	23
100歳以上	1	3	4
合計(名)	33	98	131

平均年齢 : 90.1歳

(男性 : 87.8歳 女性 : 90.0歳)

(3)利用者介護度登録状況 ※総合事業対象者含む

令和6年3月31日現在(単位:名)

区分	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
男	1	0	5	3	9	8	3	3	1	33
女	1	5	23	17	31	11	5	0	5	98
合計(名)	2	5	28	20	40	19	8	3	6	131
前年度	2	12	25	23	28	15	16	4	5	130

平均介護度 1.76

※事業対象者2名と申請中6名は平均介護度の算定に加えていない。

(4)新規利用受入れ状況

(単位:名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
新規利用受け入れ	1	5	8	7	3	7	4	1	3	2	8	6	55

(5)利用中止状況

(単位:名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
死亡	2	2	3	0	3	1	1	0	2	0	0	4	18
施設入所	0	0	2	5	0	5	0	0	2	1	1	1	17
体調不良(入院・通所不可能)	0	0	2	3	0	2	2	0	1	0	2	1	13
他事業所への変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転居・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	2	2	7	8	3	8	3	0	5	2	3	6	49

デイサービスセンター 1年間の様子

4月



お花見バスハイク



タイルアート作成



糸通しゲーム



こいのぼりつくり



藤の花つくり



お花見散歩

5月



アジサイ作り



タイルアート見物バスハイク

デイサービスセンター 1年間の様子

5月



野外散歩



機能訓練体操



藤棚バスハイク



つつじ見物バスハイク



普門寺バスハイク



母の日

6月



魚市場バスハイク



傘作り

デイサービスセンター 1年間の様子 6月



七夕飾り作り



父の日



野外体操



輪投げ大会

7月



カラオケ会



すごろくゲーム



七夕飾りつけ



装飾造り(ひまわり)

デイサービスセンター 1年間の様子

8月



かき氷



きりこ太鼓見物



パターゴルフ



スイカ割り



金魚すくい



佐藤忠清さんサマーライブ



盆踊り



装飾造り(朝顔)

デイサービスセンター 1年間の様子

9月



防災クイズ



東屋・寺町一座チンドン共演



季節の装飾作り(ぶどう)



紙コップピラミット



敬老と健康を祝う会

10月



加減が大事ゲートボール大会



魚釣りゲーム

デイサービスセンター 1年間の様子

10月



消防訓練



さんま給食



季節の装飾作り(ハロウィン)



季節の装飾作り(紅葉)

11月



玉入れ



山崎杯輪投げ大会



寿司バイキング



ケーキの日

デイサービスセンター 1年間の様子 12月



カレンダー作り



ポッチャ



冬至ゆず湯



もちつき大会



元旦おみくじ



初詣



書初め



福笑い

デイサービスセンター 1年間の様子

1月



水木だんご作り

2月



節分



鬼福ボーリング



バレンタインデー

3月



ひなまつり



枯れ木に花を咲かせましょう



季節の装飾作り(さくら)



佐藤忠清さんスプリングライブ

令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷

令和5年度の事業を振り返って

声かけて にっこり寄り添う 地域の和
～心でつながる思いやりの郷を目指して～

令和5年度は、「声かけて にっこり寄り添う 地域の和～心でつながる思いやりの郷を目指して～」をテーマとして掲げました。ご利用者様一人ひとりの人生を知り、本人や家族の「思い」や「願い」に耳を傾けながら、慣れ親しんだ土地での生活をお手伝いするべく、ふさわしいケアプランを作成し、全職員で最善のサービスを検討し、必要なサービスを調整してまいりました。小規模多機能型居宅介護という事業所の特徴として、臨機応変なサービス利用が可能であることが挙げられますが、緊急で宿泊が必要となった利用者様には、出来るだけご希望に沿うような調整をしてまいりました。

事業所における感染症予防としては、インフルエンザやコロナウィルスを持ち込むまいと、利用前のご本人の体調伺いと、ご家族への聞き取りや連携を徹底して行いました。職員と利用者様の安全を第一に考え取り組んだ結果、利用者様のインフルエンザ及びコロナウィルスへの罹患無く経過しました。

又、山崎会長や理事長の想いを職員一同が胸に持ち、法人の基本理念の実践のため、全職種一丸となり介護の質の向上に取り組みました。基本や根拠を大切に、プロとしての介護技術を持ち、且つ、家庭的なゆったりとした、楽しい雰囲気づくりを意識し、利用者様やご家族様に「ひころいちの郷を利用してよかった」と思っていただけよう努めてまいりました。

地域との交流については、感染症予防の徹底を行いながら、地域貢献を念頭に、地域の文化祭への作品展示、小学校や保育園との交流を節目節目に持つことができました。運営推進会議の開催についても、2か月に1度確実に開催し、地域でできる事を模索しながら、運営状況や活動内容、研修内容などを報告いたしました。

新年度も、地域住民の皆様の多様な相談を受け、地域の「つなぎ役」「窓口」として、住民と一緒に地域を支えていく事を念頭に置き、職員一丸となって、より一層の精進を続けてまいります。

小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷
所 長 山崎 絹花

1 各係の事業実施状況

(1) 総務相談係

令和5年度は、登録解除者は13名、新規登録者は19名で新規登録者の方が多く、利用者獲得に苦慮した年で、登録者平均は後半で20台になったものの、トータルで利用者平均が19.58名で定員を5名以上下回っているため、次年度にはより一層新規獲得と定着を課題としたい。また、法人全体で目指すパーソナルケアの実践のため、ご利用前の実態調査はご利用者様を全人的に把握できるよう努め、更には日々のケアの中からも細やかに観察や情報収集を職員全員が行っていくように連携し、周知するように努めた。

新型コロナウイルスは第5類に移行してからも、変わらずに感染症予防対策を行い、遠方からの家族が帰省した時の抗原検査実施、ご利用前と当日の体調確認をご利用者様本人や家族の協力により行い、感染症予防の徹底を図った。事業所内でも本部からの対応策などの情報や指示を職員間で周知徹底し予防に努め実施した。

また、事業計画に基づき内部研修を実施し、外部研修への参加も行いながら職員の資質の向上を図った。日頃市地区公民館の依頼により助け合い協議会への参加、文化祭への作品展示、日頃市保育園や日頃市小学校の園児・生徒との交流を図り、サロンへの参加や民生委員の皆さんと連携を取りながら地域貢献に努めた。1年を通しての各活動行事内容などを運営推進会議においてサービス評価も含めて報告し、外部評価もしていただいた。

(2) 介護係

令和5年度も昨年に引き続き、ご利用者様の状態の変化など日々のケアでの気づいたことを職員間で情報共有を行い、相手の身になって寄り添うケアを継続していき、パーソナルケアの実践に努めた。

マスクの着用やご利用者様・職員・来所者などのうがい手洗い検温の実施、施設内や公用車内の消毒を徹底的に行い感染症予防に努めた。ホールのテーブルにはパーテーションを設置し、飛沫感染予防策をとると共に、他職種間と連携して利用前日や当日の体調の聞き取り、接触者等の追跡に努めた。

新型コロナウイルス感染予防を行いながら、田植えや稲刈りといった学校行事の応援やクリスマスや卒園卒業のプレゼント作りなどを行ったり、余暇活動に作品作りを行い地域の文化祭に作品を展示するなど交流を深めることができた。また、保育園の和太鼓演奏の慰問を受け入れたり、敬老会では地元の寺町一座の慰問を受け入れることで交流を深めることができた。また、地域の方から柿を提供していただき干し柿を作ることで季節を感じていただけた。

新年度も各課やご家族様との連携を密に行い、体調の変化に留意しながら感染症予防を

継続し、色々なイベントを企画し、ご利用者様に楽しく安心してご利用いただけるように努めていく。

(3) 看護係

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類感染症となりましたが、変わらず感染症予防対策に基づき徹底して予防を行い、最新の情報を集めるように努め、法人本部からの情報や指示に従い、ご利用者様や職員の健康管理および全身状態の観察を行い、感染予防の強化に努めた。また、コロナウイルスワクチン接種会場に行けないご利用者様のワクチン接種に対応し、貢献活動をした。職員もほぼ全員ワクチン接種を行い、また、日々の健康チェックや必要時には抗原検査の実施、人の集まる場所に参加した場合は媒体とならないようにマスクの使用と手洗いうがいを徹底し感染症予防に努めた。しかし家庭内感染にて職員2名、利用者の家族がバラバラの時期にコロナ陽性となったが、事業所内には持ち込まないように努め、感染の予防ができた。今年度も感染症予防の徹底に努めたい。

新型コロナウイルスを含む感染症予防、食中毒予防、緊急時の対応等について研修会を開催し、職員に周知徹底を図り、職員の資質向上に努めた。また、体調不良等で救急搬送をし、家族への連絡と救急隊及び救急センター医師への連携を適切に行い迅速に対応する事が出来た。今年度は職員全員が救急搬送対応できるように研修を行っていききたい。

令和6年度も利用者、職員ともに安心・安全で穏やかな日々を過ごせる施設を目指して対応をしていききたいと考えている。

2 利用状況について

令和5年度は通いで職員の配置人員に合わせたご利用者数を調整しながら行ってきたが、訪問の利用者の需要が徐々に増えてきたり、施設入所や入院される方もおり新規利用者の獲得に努めた。また、緊急のニーズに応え、緊急で短期利用居宅介護の対象者を受け入れている。

(1) 登録者状況について

① 登録者数

単位：人

月\性別	男性	女性	計	月\性別	男性	女性	計
4月	4	15	19	10月	3	17	20
5月	4	15	18	11月	5	16	21
6月	3	16	18	12月	7	14	21
7月	2	15	18	1月	7	14	21
8月	3	13	17	2月	7	14	21
9月	4	16	19	3月	8	14	22

② 登録者内訳

新規登録	氏名	備考	登録解除	氏名	備考
1 4月23日	Y・K様	在宅より	1 4月6日	K・G様	長期入院
2 6月1日	Y・S様	里居宅より	2 4月21日	C・T様	まちぐるみへ
3 6月1日	T・S様	里居宅より	3 4月20日	S・S様	百年へ
4 7月21日	O・H様	里居宅より	4 5月7日	O・H様	長期入院
5 8月26日	I・H様	里居宅より	5 7月31日	S・K様	長期入院
6 9月1日	T・K様	社協居宅より	6 8月15日	S・K様	長期入院
7 9月1日	T・M様	社協居宅より	7 8月15日	Y・K様	契約解除
8 9月4日	A・T様	在宅より	8 9月15日	S・T様	長期入院
9 9月9日	S・R様	里居宅より	9 10月18日	S・S様	長期入院
10 9月29日	S・S様	在宅より	10 10月27日	A・T様	蔵ハウスへ
11 11月1日	Y・Y様	気仙居宅より	11 10月31日	S・R様	在宅へ
12 11月1日	N・M様	社協居宅より	12 12月30日	T・S様	百年へ
13 11月11日	I・K様	里居宅より	13 1月31日	Y・S様	在宅へ
14 12月1日	O・Y様	里居宅より			
15 12月1日	F・K様	気仙居宅より			
16 12月1日	N・C様	在宅より			
17 1月8日	S・M様	包括より			
18 2月1日	S・R様	気仙居宅より			
19 3月13日	O・Y様	気仙居宅より			

②-2 短期利用居宅介護

5月4日～6日	N・M様	社協居宅	10月30日～31日	U・M様	里居宅
6月2日～3日	N・M様	社協居宅	11月1日～11日	U・M様	里居宅
7月2日～9日	I・C様	里居宅	11月11日～14日	O・Y様	社協居宅
7月25日～27日	N・M様	社協居宅	11月21日～22日	O・Y様	社協居宅
8月21日～23日	N・M様	社協居宅	11月20日～25日	S・M様	社協居宅
9月25日～27日	N・M様	社協居宅	11月26日～30日	O・Y様	社協居宅
10月26日～31日	N・M様	社協居宅			

③ 利用延べ人数

単位：人

	通い		泊り		訪問	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
4月	325	10.80	257	8.56	8	0.26
5月	353	11.38	271	8.74	70	2.25
6月	357	11.90	257	8.83	75	2.50
7月	331	10.60	233	7.51	55	1.77
8月	280	9.03	219	7.06	47	1.51
9月	363	12.10	264	8.80	52	1.70
10月	372	12.00	261	8.40	65	2.00
11月	372	12.40	252	8.40	67	2.23
12月	419	13.51	271	7.70	56	1.81
1月	396	12.77	265	8.54	67	2.16
2月	384	13.24	257	8.86	74	2.55
3月	406	13.09	272	8.51	69	2.22

④ 年齢別利用状況

単位：人

月/年齢	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
4月	0	1	0	3	1	1	5	7	1	19
5月	0	1	0	3	1	1	5	6	1	18
6月	0	1	0	3	1	1	6	5	1	18
7月	0	1	0	3	1	1	5	6	1	18
8月	0	1	0	3	1	1	6	4	1	17
9月	0	1	0	3	2	1	8	3	1	19
10月	0	1	0	2	2	1	7	6	1	20
11月	0	1	0	2	2	2	6	7	1	21
12月	1	1	0	2	2	1	6	7	1	21
1月	1	1	0	2	2	2	4	8	1	21
2月	1	1	0	2	1	2	6	8	1	21
3月	1	1	0	2	1	2	6	8	1	22

⑤ 要介護度別利用状況

月/介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均介護度 (支援を除く)
4月	0	5	4	5	3	2	0	19	1.73
5月	0	5	4	6	1	2	0	18	1.60
6月	0	5	4	4	2	3	0	18	1.77
7月	1	4	3	4	2	3	1	18	1.99
8月	1	3	3	4	2	3	1	17	2.08
9月	1	3	5	3	4	2	1	19	2.20
10月	1	3	6	3	5	1	1	20	2.20
11月	1	3	7	5	5	0	0	21	1.64
12月	1	4	8	3	4	1	0	21	1.56
1月	1	5	7	4	3	1	0	21	1.44
2月	1	6	7	3	3	1	0	21	1.36
3月	1	6	8	3	3	1	0	22	1.34

(2) 行事実施状況

令和5年度も、ご利用者様が在宅生活を継続しながら、毎日の生活に楽しみを感じていただけるようにと各行事や活動に取り組む事ができた。

年 月 日	活 動 内 容	年 月 日	活 動 内 容
令和4年4月1日 4月2日 4月8日 4月13日～ 4月17日 4月19日 4月27日	ひころいちの郷8周年「お祝い膳」 利用者懇談会 花まつり お花見バスハイク 防災訓練（部分訓練） 4月誕生会 観桜会	5月1日 5月11日 5月14日 5月15日 5月8日～	利用者懇談会・端午の節句 日頃市小学校田植え応援 母の日 防災訓練 藤棚・ツツジ観賞バスハイク
6月1日 6月14日 6月15日 6月18日 6月19日 6月22日 6月28日 6月6日・29日	利用者懇談会 ひころいちの郷運動会 6月誕生会 宿地区婦人部寄せ植え会 防災訓練（総合訓練） 日頃市小学校田んぼの草刈り応援 梅ジュースづくり バスハイク	7月1日 7月7日 7月15日～ 7月17日～ 7月28日 7月31日	利用者懇談会 七夕手作りおやつ 夏のバスハイク 魚釣り大会週間 7月誕生会 防災訓練（夜間想定）
8月1日 8月5日 8月12日 8月13・16日 8月14日 8月16・18日 8月24・25・26日	利用者懇談会 輪島キリコ太鼓見学 6月誕生会 お盆迎え火送り火 防災訓練 スイカ割大会 納涼祭	9月1日 9月4日 9月15日 9月22日 9月25日 9月29日	利用者懇談会 地域サロン交流 長寿を祝う会 かかしづくりと小学校稲刈り 防災訓練（部分訓練） お月見
10月1日 10月4日 10月10日～ 10月21日 10月23日 10月25日 10月27日 10月31日	利用者懇談会 誕生会 文化祭作品作り 大沢桃子ミニコンサート ひころいちの郷小さな文化祭 明和保育園和太鼓慰問 防災訓練（部分訓練） ハロウィン	11月1日 11月6日～ 11月12日 11月16日 11月19日 11月20日 11月21日 11月25日 11月27日 11月29日	利用者懇談会・消防署による防火点検 紅葉バスハイク 日頃市町文化祭参加 読み聞かせの会 寄せ植え 防災訓練（部分訓練・地震） 干し柿づくり 11月誕生会 焼き芋会 オンラインレク
12月1日 12月4日 12月12日 12月14日 12月15日 12月24日 12月22日 12月28日	利用者懇談会 焼き芋会 防災訓練（内部研修・地震） 干し柿づくり おやつ作り クリスマス忘年会 12月誕生会 餅つき大会	令和4年1月1日 1月3日 1月5日 1月10日～15日 1月11日 1月17日 1月18日	正月風景 利用者懇談会 初詣・おみくじ 水木団子作り 読み聞かせの会 1月誕生会 防災訓練（伝達訓練）

2月1日	利用者懇談会	3月1日	利用者懇談会
2月3日	節分 豆まき	3月3日	ひな祭り
2月12日	つばき祭りバスハイク	3月6日	卒園・卒業カード作り週間
2月13日	カラダWEEK	3月17日	かもしか号巡回
2月14日	バレンタインデー	3月18日	3月誕生会
2月19日	カラオケWEEK	3月20日	防災訓練（部分訓練）
2月23日	2月誕生会	3月21日	カラダweek
2月26日	防災訓練（総合訓練）	3月28日	読み聞かせの会
2月29日	お茶会		
・その他の活動			
①体力作り（毎日のラジオ体操・レク体操・口腔機能体操）			
②レクリエーション（毎日違うメニューでのレクリエーション活動）			
③生活リハビリ（おやつ作りなど）			
④屋外活動（畑や庭の手入れ、花植え、バスハイク、間接的な地域行事への参加）			

(3) 職員施設内外研修会及び会議開催状況

① 施設外研修

年月日	内 容	場 所	出席者
R5. 6. 15~26	主任ケアマネの更新研修eラーニング	ひころいちの郷	1名 鈴木浩子
R5. 7. 3~5	主任ケアマネの更新研修集合研修	盛岡市	1名 鈴木浩子
R5. 8. 8~9	主任ケアマネの更新研修集合研修	盛岡市	1名 鈴木浩子
R5. 11. 14	「アンガーマネジメント」について	大船渡市	1名 今野誠彦
R6. 2. 14	「メンタルヘルスケア」について	大船渡市	1名 澤田倫子
R6. 3. 18	「認知症の理解と対応」について	陸前高田市	1名 吉田朋美

② 施設内研修

年月日	内 容	場 所	出席者
R5. 3. 13	内部研修「地域貢献について」について（鈴木）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 3. 10	内部研修「防災内部研修」について（今野）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 4. 24	内部研修「事業計画」について（鈴木）	ひころいちの郷ホール	全職種 4名
R5. 5. 17	内部研修「サービス評価」について（澤田）	ひころいちの郷ホール	全職種 4名
R5. 5. 19	内部研修「成年後見制度」について（今野）	ひころいちの郷ホール	全職種 4名
R5. 6. 9	内部研修「感染症」について（鈴木）	ひころいちの郷ホール	全職種 4名
R5. 6. 21	内部研修「内部評価」について（澤田）	ひころいちの郷ホール	全職種 4名
R5. 7. 20	内部研修「食中毒予防」について（鈴木）	ひころいちの郷ホール	全職種 4名
R5. 8. 10	内部研修「交通安全」について（柏崎）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 8. 18	内部研修「リスクマネジメント」について（佐藤）	ひころいちの郷ホール	全職種 4名
R5. 8. 20	内部研修「外部評価」について（澤田）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 8. 28	内部研修「パーソナルケア」について（今野）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 9. 13	内部研修「自立支援について」について（吉田）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 10. 5	内部研修「事業所自己評価」について（澤田）	ひころいちの郷ホール	全職種 6名
R5. 10. 16	内部研修「職場の安全について」について（中村）	ひころいちの郷ホール	全職種 6名
R5. 10. 17	内部研修「介護サービス情報公表」について（鈴木）	ひころいちの郷ホール	全職種 6名
R5. 10. 27	内部研修「高齢者虐待防止に」について（今野）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 11. 14	内部研修「介護保険制度」について（吉田）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 11. 24	内部研修「アンガーマネジメント（復命）」について（今野）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 11. 27	内部研修「感染症」について（鈴木）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 12. 13	内部研修「倫理・個人情報・フラグシ」について（澤田）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 12. 15	内部研修「コミュニケーション技術」について（中村）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R5. 12. 27	内部研修「外部評価」について（澤田）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R6. 1. 19	内部研修「身体拘束について」について（佐藤）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R6. 2. 13	内部研修「倫理・個人情報・フラグシ」について（澤田）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R6. 2. 18	内部研修「地域貢献」について（鈴木）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
R6. 3. 12	内部研修「防災」について（今野）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名

3 公益的活動の状況

年月日	活動名	場 所	内 容
令和6年 9月4日	地域サロン交流	日頃市町 坂本沢地区公民館	・介護保険に関する勉強会 ・消費者トラブル防止啓発活動

4 運営推進会議の実施状況

年月日	内 容	配布先	年月日	内 容	配布先
令和5年 5月25日	・令和5年度事業計画について ・令和5年3月～4月の利用状況及び活動状況について ・サービス評価総括表について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会副理事長	11月21日	・ひころいちの郷見学 ・令和5年9月～10月の利用状況及び活動状況について ・外部評価について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会副理事長
7月26日	・令和4年度事業報告について ・令和5年5月～6月の利用状況及び活動状況について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会副理事長	令和6年 1月23日	・令和5年11月～12月の利用状況及び活動状況について ・外部評価について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会副理事長
9月26日	・令和5年7月～8月の利用状況及び活動状況について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会副理事長	3月26日	・令和6年1月～2月の利用状況及び活動状況について ・サービス評価総括表について ・令和5年度3月防災訓練	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会副理事長

ひころいちの郷 1年間の様子

4月



【開所記念】



【お花見バスハイク】

5月



【日頃市小学校田植え応援】



【藤棚・つつじ見学】

6月



【運動会】



【日頃市小学校草刈り応援】

7月



【バスハイク末崎町蓮】



【魚釣り大会】

8月



【スイカ割り】



【ひころいちの郷納涼祭】

9月



【長寿を祝う会】



【日頃市小学校稲刈り見学】

10月



【明和保育園和太鼓慰問】



【紅葉狩り】

11月



【寄せ植え会】



【日頃市町文化祭参加】

12月



【クリスマス忘年会】



【もちつき大会】

1月



【元旦・宿地区悪魔祓い】



【水木団子】

2月



【節分】



【つばき祭りバスハイク】

3月



【ひな祭りお茶会】



【おおふなポートバスハイク】

令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

富美岡荘ホームヘルプ事業所

令和5年度の事業を振り返って

～ 住み慣れた我が家で安心できる暮らしを～
安心できる高齢社会を目指して

令和5年度、新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられたため、さらなる感染拡大予防に努めながらの運営となりました。本部と連携を図りながら会長・理事長のご指示のもと、大事に至るケースもなく今年も1年スムーズに訪問に当たることができましたこと本当にありがとうございます。

さて今年度、最大の苦難だったことはヘルパー体制が落ち着かなかったことでした。ただでさえ人員不足の状況の中、契約ヘルパーの病気休暇や家庭の事情による長期にわたる休暇が同時期に重なり、ひどい時には5名のヘルパーが足りない中での運営でした。特に感染症など緊急事態が起こった場合は人手が必要になりますが、その人手が根本から不足している状態で今日1日の訪問をどのように割り振ってこなしていくか必至の連続でした。新規の依頼も一時ストップし、受け入れは体制状況を判断しながらの対応としました。一人でも多くの困った方々のお役に立っていきたいという思いがありながら、どうすることもできず申し訳ない思いでいっぱいでした。少しずつ受け入れを再開したものの新規依頼は軽度の要支援の利用者が多く、そのため要支援の訪問だけが昨年度の実績を上回る結果となりました。また、ターミナル期の利用者の依頼も多かったのですが、残念なことに短期間で終了となるが多いため実績に結びつかなかったと思っております。

いつまでも住み慣れた我が家で生活し歳を重ねたいものです。在宅を回り感じることは、そこには自分の居場所があって自分らしい生き方ができるからなのだと思います。誰しもが尊い存在で大事にされているかけがえのない家族の一員です。シゲ会長がおっしゃっていた「個人の尊厳」を改めて考えさせられる日々です。今後もご本人・家族の思いを大切に尊重し、優しい言葉に手を添えて対応していきます。ヘルパーが不足し厳しい状況下でもこの思いは変わらずに持ち続けながら社会貢献に努めてまいります。

富美岡荘ホームヘルプ事業所
所長 佐々木和美

富美岡荘ホームヘルプサービス事業所

1. 令和5年度の実施概要

5月から新型コロナウイルス感染症の位置づけが、感染症法で5類感染症に移行した。さらなる感染拡大の危険性が高まる中で、訪問対応について本部と連携を密に行い確認しながら引き続き感染症予防の対応を図り訪問した。

また、ヘルパーの体制として、病気休暇等例年にない程の契約ヘルパーの長期休暇が相次ぎ、同時期に5名のヘルパーが不足する事態となった。そのため、訪問調整に苦慮することが多く、新規利用者の受け入れや訪問増への対応が思うようにできず実績も伸び悩む年となった。実績減の要因として、要介護者よりも要支援の方の利用が増えたこともある。サービス内容の内訳をみても、支援の訪問回数だけが19件ではあるが昨年度を上回っている。

ヘルパー会議・研修会は5類に移行したこともあり開催を試みたが、ヘルパーからインフルエンザやコロナ感染が発生したりし資料開催となった。サービス提供責任者3名、契約ヘルパー17名、計20名。

2. サービスの内容

(1)身体介護中心型

健康チェック、排泄介助、食事介助、入浴介助、整容、清拭、着脱介助、移乗・移動介助、通院介助、外出介助を主な業務としたサービスを行った。

(2)生活援助中心型

調理(配膳・後片付け)、買い物、洗濯、衣類の整理・補修、居室の掃除、ベットメーカー、薬の受取り、用足し等を主な業務としたサービスの提供を行った。

(3)介護予防・総合事業訪問型

身体介護・生活援助の枠は設けず、利用者と一体型のサービスを提供した。

3. ホームヘルパー派遣実績

(1) ホームヘルプサービスの利用状況

①地区別利用者数(前々年度・前年度比派遣実績)

地区	大船渡町			盛町			赤崎町			立根町			猪川町		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
年度	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
男性	8	18	14	9	9	10	5	7	8	7	6	5	6	6	8
女性	42	36	27	20	13	14	15	13	9	15	14	8	20	21	20
合計人数	50	54	41	29	22	24	20	20	17	22	20	13	26	27	28

日頃市町			末崎町			三陸町			合計		
R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
5	6	4	8	5	4	4	2	2	52	59	55
11	10	10	8	5	5	6	7	7	137	119	100
16	16	14	16	10	9	10	9	9	189	178	155

②月別派遣回数(前々年度・前年度比派遣実績)

区分	4月			5月			6月			7月			8月		
年度	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
利用者数	114	123	123	117	121	121	116	121	124	121	125	125	122	128	123
派遣回数	1,467	1,602	1,485	1,410	1,658	1,551	1,482	1,630	1,433	1,487	1,721	1,472	1,519	1,690	1,340
内訳(身体)	482	518	360	423	582	410	424	505	356	407	525	418	408	505	342
(生活)	497	582	675	509	618	678	552	650	686	601	675	674	615	729	601
(身生)	231	212	205	240	183	197	238	199	124	220	208	78	239	184	116
(予防)	257	290	245	238	275	266	268	276	267	259	313	302	257	272	281
一日平均(回)	48.9	53.4	50.0	45.5	53.4	50.0	49.4	54.3	48.0	47.9	55.5	48.0	49.0	54.5	43.2

区分	9月			10月			11月			12月		
年度	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
利用者数	121	129	114	122	132	120	120	129	120	119	134	120
派遣回数	1,497	1,804	1,207	1,537	1,871	1,369	1,505	1,694	1,415	1,475	1,737	1,297
内訳(身体)	392	565	248	437	615	294	426	558	362	429	552	284
(生活)	619	721	552	634	763	633	638	698	598	593	712	543
(身生)	217	245	121	187	231	137	171	166	142	177	205	169
(予防)	269	273	286	279	262	305	270	272	313	276	268	301
一日平均(回)	49.9	60.1	40.2	49.5	60.3	44.1	50.1	54.6	47.1	47.5	56.0	42.0

1月			2月			3月			合計			年間平均		
R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
119	130	117	113	131	117	118	120	117	/	/	/	119	126	120
1,477	1,671	1,195	1,362	1,438	1,249	1,610	1,503	1,221	17,828	20,019	16,234	1,485	1,671	1,353
490	499	233	391	432	280	500	360	244	5,209	6,216	2,643	434	518	220
567	711	548	540	594	568	605	679	585	6,970	8,132	7,341	580	677	611
152	193	156	153	159	158	202	192	146	2,427	2,377	1,749	202	198	145
268	268	258	278	253	243	303	272	246	3,222	3,294	3,313	269	275	276
47.6	53.9	39.0	48.6	51.3	43.0	51.9	48.4	39.3	/	/	/	48.8	54.6	45.0

(2) ヘルパー合同会議の実施

年月日	会議内容(議題)	参加者
R5.4.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	感染予防のため資料開催とする
R5.5.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃
R5.6.23	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃
R5.7.24	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃
R5.8.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃

年月日	会 議 内 容 (議 題)	参 加 者
R5.9.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃
R5.10.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃
R5.11.24	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃
R5.12.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃
R6.1.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃
R6.2.23	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃
R6.3.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	〃

(3) 施設内・外研修

年月日	研 修 名 等 (内 部)	場 所	参 加 者
R5.4.25	接遇に関する研修(接遇の基本)		資料開催とする
R5.5.25	プライバシー保護について		〃
R5.6.23	緊急時の対応について		〃
R5.7.24	倫理・法令順守について(介護職としての倫理法令順守)		〃
R5.8.25	事故発生に関する研修(介護事故、その後の対策を考える)		〃
R5.9.25	事故再発防止に関する研修(事故再発防止を事例から学ぶ)		〃
R5.10.25	感染症に関する研修(ヘルパーの感染症対策と予防方法)		〃
R5.11.24	認知症に関する研修(認知症の方への配慮と対応)		〃
R5.12.25	食中毒に関する研修(食中毒予防の三原則)		〃
R6.1.25	虐待に関する研修(高齢者虐待防止について)		〃
R6.2.23	困難事例、問題事例(苦情やクレームの対応)		〃
R6.3.25	今年度の苦情報告ヒヤリハット報告		〃

令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所

令和5年度の事業を振り返って

「私たちは、岩手のそして大船渡の高齢社会に貢献する」
～人生歴に心から寄り添い自立した生活ができるように
明るく元気に前向きに支援します～

令和5年度は、4月にベテランケアマネが異動になり新メンバーが加わりケアマネジャー7名でのスタートになりました。令和5年11月にもケアマネ1名の異動があり6名体制での事業所運営になりました。

異動になったケアマネの利用者を5～6人ずつ引継ぎ新規依頼も積極的に受け介護報酬上減算にならないように、随時、居宅全体の人数確認や調整を行って対応してまいりました。今年度の事業実績は、介護サービス給付管理件数が2673件、予防介護サービスが483件、利用者の移行状況は、新規受け入れが109件、施設やグループホーム入所が45件、在宅で死亡45件・入院し在宅復帰できない方36件、その他17件でイン・アウトの回転が速い1年でした。令和5年度は前年度より新規受け入れ件数や相談件数が多く、持ち人数上限に近い人数を継続して対応してきました。各ケアマネは頭や気持ちの整理や書類作成・事務処理等に追われ大変な時もありましたが、いつも会長や理事長の暖かい応援をいただきましたので頑張ってきたと思います。ありがとうございます。

今後も、ケアマネ担当の依頼が継続し声をかけていただけるように、山崎シゲ会長の「常に相手の身になって」この思いを胸に、誠意ある対応を心がけ、地域の信頼を得ると共に、可能な限り新規依頼にこたえるよう職員体制を整え、来年度も努めてまいりますので宜しくお願いいたします。

大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
所長 石井千枝子

1 事業の実施

ご利用者の心身の状況や生活状況を勘案し、ご利用者やご家族の意向を尊重した上で、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう本人に寄り添った計画書を作成し支援を行なった。対応困難事例や新規ケースについて多職種と協働しながら情報共有を行い事業所全体で取り組んだ。コロナ対策で研修には動画やZOOMを多用せねばならなかったが、介護報酬改定情報の取得と熟知に努めた。また、運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けずに適正に運営している。

2 主な業務内容

- (1) ケアプランの管理と評価
- (2) 各事業所との連絡調整とサービス担当者会議の運営
- (3) 介護にかかわる相談業務
- (4) 介護保険関連のさまざまな手続きの申請代行
- (5) 介護サービスを利用するために必要な居宅サービス計画の作成・交付
- (6) 給付管理及び請求業務
- (7) 要介護認定訪問調査

3 事業実績

(1) 指定居宅介護支援の提供

※令和5年11月よりケアマネジャー7人から6人体制

(単位:件)

		要介護認定 申請代行件数	要介護認定 訪問調査受託件数	介護サービス 給付管理件数	予防介護サービス 計画作成件数	介護保険苦情 相談件数
4月		21	5	223	49	0
5月		24	3	232	43	0
6月		14	4	235	43	0
7月		22	5	225	45	0
8月		16	2	217	43	0
9月		27	5	218	40	0
10月		20	2	233	39	0
11月		13	1	215	39	0
12月		18	2	214	38	0
1月		26	1	224	35	0
2月		18	7	217	35	0
3月		22	2	220	34	0
5年度	合計	241	39	2673	483	0
	平均	20.08	3.25	222.8	40.25	0
↑						
4年度	合計	256	50	2800	632	0
	平均	21.3	4.16	233.3	52.6	0

(2) 利用者の移行状況

利用者の移行先	令和4年度	令和5年度
新規受け入れ	年間 104件	年間 109件
施設(特養・老健)入所	年間 25件	年間 40件
小規模多機能・グループホーム	年間 7件	年間 5件
在宅死亡	年間 35件	年間 45件
病院入院	年間 15件	年間 36件
その他	年間 12件	年間 17件

(3) 居宅特定事業所会議

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている、概ね週1回の割合で利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的を開催することという規定に基づき、令和5年度も合計48回開催し情報の共有化と介護保険最新情報などの取得並びに周知を図った。

(単位:人)

年月日	会議内容	参加人数
令和5年04月07日	役割分担について	7
04月11日	介護支援予防について	7
04月18日	褥瘡の原因と予防	7
04月28日	事例検討会	7
05月02日	ミトコンドリア病について	7
05月09日	難病指定疾患	7
05月16日	口腔機能向上	7
05月23日	事例検討会	7
06月02日	パーキンソン病患者血中のカフェイン低め	7
06月14日	事例検討会	7
06月16日	多系統萎縮症について	7
06月23日	障がいサービスと介護サービスの利用について	7
07月06日	子ども家庭福祉の知識	7
07月14日	事例検討会	7
07月21日	介護保険と医療保険の訪問看護の利用	7
07月28日	誤嚥性肺炎について	7
08月01日	腎臓病の食事について学ぶ	7
08月10日	統合失調症の基礎知識	7
08月18日	生活習慣病の原因は「体力の低下」だった	7
08月28日	ケアマネの更新研修	7
09月04日	在宅ケアの役割と課題について	7
09月12日	事例検討会	7
09月20日	統合失調症について学ぶ	7
09月25日	コミュニケーション能力とは	7
10月04日	インターバル速歩でわかったこと	7
10月10日	来年度から報酬増も居宅介護支援事業所が取り組むべき理由	7
10月17日	事例検討会	7
11月06日	災害時に認知症の方と安全に避難するには	6
11月13日	事例検討会	6
11月17日	がんと緩和ケア	6
11月24日	厚労省福祉用具サービス見直し	6
12月04日	在宅酸素療法を用いた日常生活の注意点	6
12月12日	骨粗鬆症の予防のための食生活	6
12月20日	事例検討会	6
12月25日	報酬改定最新動向	6
令和6年01月05日	テレビ電話でのモニタリング	6
01月12日	高齢者のうつ病、認知症・統合失調症	6
01月18日	事例検討会	6
01月26日	介護報酬の改定について	6
02月02日	アルツハイマー型新薬「レカネマブ」	6
02月09日	入浴介助加算	6

02月15日	事例検討会	6
02月22日	要介護高齢者の口腔ケア	6
03月03日	ヤングケアラー	6
03月12日	がんと緩和ケア	6
03月18日	ターミナルケアマネジメント加算について	6
03月28日	介護保険改正	6
03月29日	業務改善計画に関する研修	6

(4) 研修会参加状況

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている計画的な研修の実施に伴い、個別研修計画を作成し、内外の研修に参加してスキルアップと情報収集に努め研修目標をおおむね達成できています。
(単位:人)

年 月 日	研 修 名	参加人数
令和5年04月13日	訪問薬剤管理指導について	7
05月19日	まるさばを活用しよう	7
06月17日	介護支援専門員向け事例研究のポイント	7
06月23日	福祉用具勉強会	7
07月15日	日本死の臨床研究会コミュニケーションのスキルを学ぶ	4
07月20日	親族支援もなく意志疎通が難しい独居高齢者への関わりかた	3
08月23日	感染症について正しく知ろう	7
09月09日	令和5年度認知症講演会	7
09月21日	社会福祉士向け研修から学ぶ支援者の求められる役割の意識	2
10月17日	業務継続計画(BCP)の策定について	6
10月19日	退院調整にかかわる現状(在宅医WG)	2
11月02日	もっとうまくいく緩和ケアがん疼痛治療	2
11月04日	患者・家族に寄り添う看取りケア	2
11月30日	職場におけるハラスメント	2
12月01日	職場におけるハラスメント	4
12月06日	認知症ケアの先進的事例から紐解く具体的な地域実践	2
12月11日	気仙地域難病患者支援検討会	2
12月16日	問題解決をしない事例検討会	1
令和6年01月20日	気仙地域の医療・福祉の現状と課題	6
02月14日	個人情報、プライバシー保護、倫理・法令順守	6
03月12日	ヤングケアラー	3
03月23日	住宅改修	1
03月23日	介護保険改正	1
03月29日	特例入所	1

(5) 消防訓練

令和5年04月24日	消化器及び消火栓を使用した消化訓練	7
07月28日	介護センター日中想定震度6弱の地震後給湯室より出火	7
09月13日	暴風雨からの大雨特別警報発令。介護センターの重要書類の搬出	7
令和6年01月25日	Biz安否確認アプリのログイン状況確認、アプリ使用訓練	6

令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

大船渡市福祉の里在宅介護支援センター

令和5年度の事業を振り返って

～ 4つの助（自助・互助・共助・公助）の安心窓口を目指して ～

令和5年度は地域の高齢者やその家族からの相談に応じて、必要な保健・福祉分野のサービスを受けられるように、行政機関や介護サービス提供機関や居宅介護支援事業所との連絡調整を密に行い介護サービスにつなげてまいりました。しかしコロナ禍で市の主催する介護予防及び健康増進を目的とした介護予防教室等は開催できませんでした。次年度も周知活動を行い地域に根差した活動を続けて行きます。

1 事業内容

(1) 相談窓口設置業務

地域高齢者とそのご家族からの福祉全般に関する相談を受けたり、周知活動を行ったり、情報共有の為に地域の会議などへの参加等、実態把握を通じて知った定期的な見守りが必要な方への訪問等、身近な相談窓口として利便性を高めた。

(2) 実態把握調査

地域包括支援センターからの依頼で実態調査を行うとともに、家族や民生委員からの要請で訪問活動を行い地域高齢者の実態把握を行い潜在的なニーズや問題の掘り起こしを行って地域包括と情報共有をしている。

(3) 介護予防教室・包括事業への協力

介護予防及び健康増進を目的とした介護予防教室はコロナ禍に伴い開催ができなかった。

大船渡市福祉の里在宅介護支援センターは、平成7年10月に高齢者の介護相談と福祉サービスの利用調整を大きな目的として、大船渡市から委託を受けて開設した。

しかし、平成12年の介護保険事業の施行と同時に、介護サービスの利用調整は、居宅介護支援事業所の業務となり、在宅介護支援センターは、高齢者の実態把握調査と介護予防教室のほか、介護保険対象外の高齢者の相談窓口が主な業務となった。

平成18年から大船渡市でも地域包括支援センターが新設され、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うために、介護予防ケアマネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業等を行っており、当在宅介護支援センターはこの中の総合相談支援事業で包括の窓口（ブランチ）を担っている。

また、相談支援の他に地域の高齢者の実態把握とその実態把握のために民生委員や相談協力委員の方との地域のネットワーク形成づくり、そして各種の福祉用具を展示、利用の便宜をはかっている。

① 相談者数

相談者実人数	130人
--------	------

② 相談方法別件数

電話	来所	訪問	その他	合計
22人	32人	76人	0人	130人

③ 実態把握調査

実態把握調査	30人
--------	-----

④ 会議・研修会等

年月日	内容	場所	出席者
令和5年4月17日	第1回理事会	ふれあいランド岩手2階	石井千枝子
4月19日	臨時総会	書面議決	石井千枝子
5月22日	第2回理事会	ふれあいランド岩手1階	石井千枝子

令和5年度

事業報告

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

社会福祉法人 成仁会 SGビル

社会福祉法人 成仁会 SGビル 事業報告書

【事業の名称】

社会福祉法人 成仁会 SGビル

【事業の所在地】

岩手県大船渡市盛町字町6番地8

【事業の設立年月日】

平成20年8月1日

【事業の目的】

社会福祉法人においても、収益を目的とする事業を行うことが認められたことに伴い、法人の自立性を高める観点から、収益事業を行う。

【事業の種類】

- ・不動産貸しビルの経営
- ・医療検査サービスシステム事業に係る医療・健診用器材の販売等

【賃貸借物件】

所 在	岩手県大船渡市盛町字町6番地8
種 類	居宅・旅館
構 造	鉄骨・木造陸屋根・瓦葺4階建
床面積	1階 267.63 m ² 2階 432.28 m ² 3階 207.61 m ² 4階 34.47 m ²

【事業報告】

- ・医療検査サービスシステム事業に係る医療・健診用器材の販売実績
- | | |
|----------------------|---------|
| 微量採血検査事業（ガンリスク等） | 60 件 |
| 新型コロナウイルス抗原検査キット販売事業 | 1,727 個 |
| シューティングミスト | 89 個 |

